第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	鬢櫛　美咲

部名	総務部	課名	総務課	担当名	職員担当	記入者	滝口　博之

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	3.0人	3.0人		
	フルタイム会計年度任用職員	1.0人	1.0人		
	パートタイム会計年度任用職員				

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	3.0　人×　　0 日	3.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	1.0　人×　　0 日	1.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	02-01-01	一般会計	職員福利厚生事業	×	×	×	×	なし	100人日	40人日	100人日	40人日				
	02-01-01	一般会計	職員衛生管理事業	×	×	×	×	なし	100人日	100人日	100人日	100人日				
1	02-01-01	一般会計	職員研修事業	○	×	×	×	要評価	100人日	50人日	100人日	50人日				
	02-01-01	一般会計	職員人事給与事業	×	×	×	×	なし	420人日	50人日	426人日	52人日				

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
2										
3										
4										
5										
		人日合計	720人日	240人日	726人日	242人日				

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	職員研修事業			款項目	02-01-01	評価責任者	鬘櫛　美咲
担当部	総務部	担当課	総務課	担当	職員担当	記入者	滝口　博之
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	2	質の高い行政サービスが提供されるまち
	施策	1	信頼できる職員の育成と充足したサービス提供
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：都留市職員		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 職員研修計画の策定、職員研修の開催及び研修機会の情報提供		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 職員一人ひとりがその知識・能力を伸ばし、それを最大限発揮することにより、市民サービスの向上を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		2,636,000円		2,636,000円					
	決算額[Ｂ]		2,012,740円		1,086,653円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		76.4%		41.2%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		職員研修講師謝礼 435,440円 職員研修特別負担金 184,660円 研修管理負担金 980,000円		職員研修特別負担金 67,493円 研修管理負担金 995,000円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	2,012,740円		1,086,653円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		2,012,740円		1,086,653円					
人件費	会計年度（フル）		100人日	2,682,167円	100人日	2,671,616円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		50人日	451,000円	50人日	466,810円				
		対象外事業分		円		円				
	臨時職員			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		3,133,167円		3,138,426円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			5,145,907円		4,225,079円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
職員1人あたりの研修参加回数	年間研修出席者延べ人数÷4月1日職員数	回	目標値		3.0	3.3	3.6	4.0
			実績値	2.6	3.6	3.5		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.6	4.6		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	市民ニーズに的確に対応し、市民満足度を向上するため、職員一人ひとりの勤務能率の発揮及び増進に向け、職員研修の充実を図るとともに、職員の伸ばすべき能力や必要とする能力に沿った研修を実施する必要がある。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な研修や講義が延期または中止となったため、一人当たりの参加回数が減ってしまっている。リモートでの研修や動画配信などの講義を取り入れ、受講する機会を増やす必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	山梨県市町村職員研修所の階層別研修を積極的に活用するとともに、研修の受講実績を人事評価に適切に反映することにより、職員のスキルアップに対するモチベーションの向上を図る。
令和4年度予算に向けて	新型コロナウイルス感染症の影響を考え、今後拡大されるリモート研修に対応するよう環境整備を充実させていく。また、最新の研修動向を調査し、一度だけの受講だけではない、継続して受ける研修などを取り入れ、職員の能力向上を図っていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	田中　正樹　☑	鬘櫛　美咲　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	鬢櫛　美咲

部名	総務部	課名	総務課	担当名	秘書担当	記入者	高部　貴行

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	2.0人	2.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員				

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	2.0　人×　　0 日	2.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	02-01-01	一般会計	秘書事務費	×	×	×	×	なし	467人日		482人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
	市長と職員とのランチミーティング		5人日		1人日					
	ふれあい集会開催事業	法制広報担当	8人日		1人日					
		人日合計	480人日		484人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	鬢櫛　美咲

部名	総務部	課名	総務課	担当名	危機管理担当	記入者	河野　淳

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	2.0人	2.5人		
	フルタイム会計年度任用職員	1.0人			
	パートタイム会計年度任用職員		1.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	2.0　人×　　0 日	2.5　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	1.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日			

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	03-05-01	一般会計	災害救助費	×	×	×	×	なし			4人日					
	04-01-01	一般会計	ＡＥＤ設置推進事業	×	×	×	×	なし	5人日		20人日					
1	08-01-06	一般会計	地域防災力強化対策事業	○	×	×	×	要評価	415人日	40人日	495人日					
2	08-01-06	一般会計	防災行政無線管理事業	○	×	×	×	要評価	60人日	200人日	30人日					
	08-01-06	一般会計	新型コロナウイルス感染症対策事業	×	×	×	×	なし			60人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
3										
4										
5										
6										
		人日合計	480人日	240人日	605人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地域防災力強化対策事業	款項目	08-01-06	評価責任者	鬢櫛　美咲
担当部	総務部	担当課	総務課	担当	危機管理担当	記入者	河野　淳
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	災害対策基本法
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	2	★地域防災力・減災力の強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 地域住民、自主防災会など		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 防災訓練・防災講習会等による防災啓発及び人材育成 自主防災会資機材整備費への補助金交付など		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 地域の防災活動が活性化することにより、地域の防災力が向上し、安全・安心のまちづくりの実現を目指す。		

２．実施結果（DO）

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額［Ａ］	10,896,000円	7,582,000円		
	決算額［Ｂ］	9,855,756円	6,487,333円		
	執行率［Ｂ］/［Ａ］	90.5%	85.6%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）	・自立型ソーラースタンド設置費（1,628,000円） ・災害用医療救急セット（1,036,800円） ・防災資機材整備費補助金（1,197,000円）	・防災資機材整備費補助金（1,338,300円） ・備蓄用非常食購入（1,194,480円） ・土嚢袋購入（677,600円）		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	9,855,756円	6,487,333円		
財源合計［Ｃ］(=［Ｂ］)		9,855,756円	6,487,333円		

人件費									
一般職員		415人日	11,130,992円	495人日	13,224,498円				
対象外事業分			円		円				
会計年度（フル）		40人日	360,800円	0人日	円				
対象外事業分			円		円				
会計年度（パート）			円	40人日	299,760円				
別担当職員			円		円				
人件費合計［Ｄ］		11,491,792円		13,524,258円					
総事業費［Ｂ］+［Ｄ］		21,347,548円		20,011,591円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
地区防災計画策定数	自主防災会が地区防災計画を策定した数（累計）	箇所	目標値		5.0	7.0	9.0	11.0
			実績値	3.0	4.0	5.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	3	3		
平均得点	4.4	4.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	近年、全国各地で災害が発生し、備蓄等の重要性が指摘されており、本市においても、市指定避難所の備品・食料等の確保に努めていくが、予算の平準化を図るため、数カ年の計画による整備を進めていく。地区防災計画については、2地区を策定目標としたが、1地区が策定し、その他2地区は策定準備段階までとなった。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症により、避難体制の構築の難易度が増している。指定避難所での受け入れ態勢の強化に加え、市民一人ひとりの避難に対する備えの強化が不可欠となってくることから、市民への防災意識啓発活動に力を入れていく必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	予算の平準化を図るため、購入年度計画に基づき、市指定避難所の備品や食料などの整備に努めていく。 地区防災計画策定を増加させるため、市は積極的に、自主防災会に策定支援を行っていく。
令和4年度予算に向けて	市の防災資機材（備蓄食等含む）の備えを維持・強化するため、購入年度計画に基づき、引き続き整備に努めていく。また、市民一人一人の危機管理意識醸成に向け、セーフコミュニティの対策委員会や自主防災会と連携し、対策を講じていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	田中正樹　☑	鬢櫛美咲　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	防災行政無線管理事業			款項目	08-01-06	評価責任者	鬢櫛　美咲
担当部	総務部	担当課	総務課	担当	危機管理担当	記入者	河野　淳
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	災害対策基本法・電波法		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	2	★地域防災力・減災力の強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 防災行政無線等の整備		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 防災情報及び行政活動を迅速・的確に周知する		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		162,262,000円	212,536,100円		
	決算額[Ｂ]		158,756,927円	197,587,828円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		97.8%	93.0%		
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		・防災行政無線デジタル化整備工事費（143,065,800円） ・防災行政無線デジタル化整備工事監理業務委託費（6,930,000円） ・防災無線連携CATV放送装置設置業務委託費（6,930,000円）	・防災行政無線デジタル化整備工事費（184,976,100円） ・防災行政無線デジタル化整備工事監理業務委託費（7,370,000円）		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債	149,900,000円	192,200,000円		
		その他特定財源				
		一般財源	8,856,927円	5,387,828円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		158,756,927円	197,587,828円		

人件費		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	一般職員	60人日	1,609,300円	30人日	801,485円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	200人日	1,804,000円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円	200人日	1,498,800円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]		3,413,300円		2,300,285円				
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			162,170,227円		199,888,113円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
防災つるメールの登録者数	年度末時点の登録実績値（累計）	件	目標値		1850.0	1900.0	1950.0	2000.0
			実績値	1800.0	1880.0	2315.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.6	4.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	防災行政無線デジタル化工事の2期目（2年目）となり、大きな予算を必要となる年度であったが、デジタル化整備工事と合わせて、難聴地域（防災行政無線が聞こえない地域）に屋外拡声子局を設置するなど、これまでの課題に対応することができた。また、多様な方法（メール・CATV等）による伝達強化を進めていく。
令和2年度	防災行政無線デジタル化工事が完了した。これに伴い、これまでとの聞こえ方の違い等から、放送が聞き取りにくいとの声も出ている。このような声に対し、情報伝達のために用意している多様な方法の説明や、機器の調整等を１つ１つ積み重ね、自民のニーズに応えていく。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○				○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		防災行政無線デジタル化整備工事費（削減） 防災行政無線デジタル化整備工事監理業務委託費（削減）											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度に防災行政無線デジタル化工事が完了することから、令和3年度については予算の大幅な減額となるが、令和3年度以降についても、限られた予算の中で、防災行政無線事業の充実を図っていく。セーフコミュニティ事業において、「防災つるメール」の登録者を増加させる取り組みを実施していく。
令和4年度予算に向けて	防災行政無線を適切に維持し、有事に確実に情報を伝達できるよう備えていく。また、「防災つるメール」等の多様な情報伝達手段を周知等、放送を聞き取りにくい方にも確実に防災関連情報を伝達できるよう、新たな手段の検討を含め、対応していく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	田中正樹　☑	鬢櫛美咲　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	鬢櫛　美咲

部名	総務部	課名	総務課	担当名	法制広報担当	記入者	神谷　彰

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	3.0人	3.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員	1.0人	1.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	3.0　人×　　0 日	3.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
1	02-01-01	一般会計	国際交流事業	○	×	×	×	要評価	12人日		10人日					
	02-01-01	一般会計	市制祭関係事業	×	×	×	×	なし	60人日		10人日					
	02-01-01	一般会計	指定管理者選考委員会運営事業	×	×	×	×	なし	10人日		15人日					
	02-01-01	一般会計	いじめ問題再調査委員会運営事業	×	×	×	×	なし	1人日		1人日					
	02-01-02	一般会計	文書取扱費	×	×	×	×	なし	180人日		190人日					
	02-01-02	一般会計	法規管理費	×	×	×	×	なし	190人日		200人日					
2	02-01-03	一般会計	広報発行事業	○	×	×	×	要評価	220人日		244人日					
	02-01-15	一般会計	ふれあい集会開催事業	×	×	×	×	なし	1人日		1人日					
	02-01-15	一般会計	平和都市宣言事業	×	×	○	×	なし	1人日		10人日					
	02-01-15	一般会計	市民総合賠償補償事業	×	×	○	×	なし	5人日		5人日					
	02-01-15	一般会計	渉外経費	×	×	×	×	なし	5人日		5人日					
	09-04-01	一般会計	奨学金貸与事業	×	×	×	×	なし	35人日		35人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
3										
4										
5										
6										
		人日合計	720人日		726人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	国際交流事業			款項目	02-01-01	評価責任者	鬘櫛　美咲
担当部	総務部	担当課	総務課	担当	法制広報担当	記入者	神谷　彰
会計	一般会計	事業開始年度	昭和58年度	法定根拠・法令等	都留市国際交流事業補助金交付要綱		
事業実施方法	その他			←その他の場合の詳細	補助金交付事業及び直接事業		

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	5	地域間連携の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 都留・ヘンダーソンビル友好委員会、一般市民・事業者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 アメリカ合衆国テネシー州ヘンダーソンビル市との姉妹都市交流事業（小学校高学年～大人まで幅広い層での人的交流の実施）、中国四川省内江市との交流事業（令和元年度から開始）		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市民の国際理解と国際感覚を養うとともに、今後の継続的な交流発展に寄与する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		1,019,000円		3,660,000円					
	決算額[Ｂ]		153,547円		19,000円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		15.1%		0.5%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		中国四川省内江市との意向書締結にかかる物品・記念品購入（42,747円） 中国四川省内江市との意向書締結式会場使用料（91,800円）		山梨県国際交流協会法令外負担金（9,000円） 都留・ヘンダーソンビル有効委員会会費（10,000円）					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	153,547円		19,000円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		153,547円		19,000円					
人件費	一般職員		12人日	321,860円	10人日	267,162円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		321,860円		267,162円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			475,407円		286,162円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
国際交流情報の会員への提供	交流都市や都留・ヘンダーソンビル友好委員会の情報提供（累計）	回	目標値		3	5	7	9
			実績値	1	3	4		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	3	3		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3	3		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	2	2		
達成度（目標が実現できているか）	5	4		
平均得点	3.4	3.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	公式訪問団来市の予定は、ヘンダーソンビル市側の事情により中止となった。都留興譲館高等学校の姉妹校訪問も新型コロナウィルス感染症の影響で中止となった。一方で、山梨県の姉妹県省である四川省の内江市との間で交流に関する意向書を締結し、将来的な交流活動への検討を開始している。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、ヘンダーソンビル市の公式訪問団の来訪、四川省内江市との交流計画は、令和3年度に全て延期となった。数年先を見据えた交流計画が立っていないのが現状である。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	姉妹都市交流となる公式訪問団の相互交流などへの金銭的・人的補助、情報提供を行い、都留・ヘンダーソンビル友好委員会の継続を促し、姉妹都市交流の継続を図っていく。また、中国四川省内江市との交流は、民間交流を基軸として様々な可能性を模索していく。
令和4年度予算に向けて	新型コロナウイルス感染症の収束後に向けた事業計画を立て、交流が可能になった段階で速やかに相手方と協議が進められるよう必要な準備を進めていく。ヘンダーソンビルとの交流事業については、訪問及び来訪に大幅な変更が生じる可能性があるので、今後の理事会・総会で検討を行い、より良い交流を継続させていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	田中　正樹　☑	鬘櫛　美咲　☑	□	□

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	広報発行事業			款項目	02-01-03	評価責任者	鬘櫛　美咲
担当部	総務部	担当課	総務課	担当	法制広報担当	記入者	神谷　彰
会計	一般会計	事業開始年度	昭和29年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	2	市政情報提供手法の充実・多角化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民及び市外者（都留市出身者、移住・観光など都留市に興味を持った方）		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 毎月１回の広報誌発行及び市ホームページ、各種ＳＮＳの管理運営		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市の行政情報や魅力を伝えること		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額［Ａ］		10,428,000円		11,199,000円					
	決算額［Ｂ］		9,242,066円		9,232,348円					
	執行率［Ｂ］/［Ａ］		88.6%		82.4%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		広報印刷製本費（7,442,029円） 広報編集機器リース料（136,595円） ホームページシステム使用料（1,489,320円）		広報印刷製本費（6,977,171円） 広報編集機器リース料（485,760円） ホームページシステム使用料（1,475,100円）					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源	645,146円		266,970円					
		一般財源	8,596,920円		8,965,378円					
	財源合計［Ｃ］(=［Ｂ］)		9,242,066円		9,232,348円					
人件費	一般職員		220人日	5,900,767円	244人日	6,518,742円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計［Ｄ］		5,900,767円		6,518,742円					
総事業費［Ｂ］+［Ｄ］			15,142,833円		15,751,090円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
ホームページアクセス数	グーグルアナリティクスによるページビュー数（累計）	回	目標値		1,493,562	1,657,675	1,821,788	1,985,901
			実績値	1,329,449	1,542,155	1,919,701		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	5.0	5.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	ホームページリニューアルに伴い、ウェブアクセシビリティの強化に取り組んでいるが、職員の意識はいまだ低く今後も随時指導が必要。また、各課に読者重視のわかりやすい広報つるの原稿の提出を求めているが、広報誌に掲載することで各課の事業が周知できたと思ってしまう傾向があるため、職員の意識改革が必要。
令和2年度	広報つるをリニューアルし、より見やすいものとなった。要望が多くあった広報の綴じ穴は令和3年度以降に復活することとするなど、市民の声を聞きながら引き続き改善を図っていく。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もあり、CATVなどのメディアを活用する意識が全庁的に芽生えてきた。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度に広報つるをリニューアルし、ホームページと各種ＳＮＳと連動させ、効果的な情報発信に取り組む。ホームページへのアクセス誘導ツールとしてＳＮＳによる情報発信を開始し、徐々に効果が表れているので、今後も職員への広報活動の方法の指導を継続し、さまざまな手段での情報発信を行っていく。
令和4年度予算に向けて	広報つる、ホームページを中心とし、様々なメディアを活用した情報発信について引き続き効果的な手法を検討していく。特にＳＮＳについては、各課が活用し情報発信しやすいような運用方法を構築し、有用な情報発信を行っていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	田中　正樹　☑	鬘櫛　美咲　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	中野 一成

部名	総務部	課名	企画課	担当名	政策担当	記入者	三澤 知貴

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	3.0人	3.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員				

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	3.0 人× 0 日	3.0 人× 0 日	人× 日	人× 日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人× 日	人× 日	人× 日	人× 日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	02-01-08	一般会計	政策推進費	×	×	×	×	なし	100人日		100人日					
1	02-01-15	一般会計	ふるさと応援寄付金事務費	○	×	×	×	要評価	429人日		429人日					
	12-01-02	一般会計	都留市ふるさと応援基金積立	×	×	×	×	なし	1人日		1人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
2	都留市総合戦略（第２版）策定事務		40人日		6人日					
3	地方創生等新プロジェクト事業		40人日		80人日					
4	行政評価事務		70人日		70人日					
5	自治体経営白書作成事務		40人日		40人日					
		人日合計	720人日		726人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	ふるさと応援寄付金事務費	款項目	02-01-15	評価責任者	中野 一成
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	政策担当	記入者	三澤 知貴
会計	一般会計	事業開始年度	平成20年度	法定根拠・法令等	地方税法、地方税法施行規則、総務省告示第179号
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	4	★地場産業・商業の活性化と起業の支援
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市民全体 対象物：まち全体		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 ふるさと納税寄附額向上のために、各ふるさと納税ポータルサイトを運用し、地場産品の掘り起こしを行う。また、本市のPRをするためにふるさと納税の各種イベントに参加し、PRを強力に行う。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 ふるさと納税による寄附件数と寄附額を成果とし、ふるさと納税を自主財源として事業を行うことにより、賑わいと活力あるふるさとづくりに資することを目的とする。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		105,433,173円		1,016,746,000円					
	決算額[Ｂ]		96,565,314円		1,000,000,000円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		91.6%		98.4%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		・ふるさと納税ポータルサイト使用料等 10,997,343円 ・ふるさと納税事務委託料 85,023,544円		・ふるさと納税ポータルサイト使用料等 74,730,568円 ・ふるさと納税事務委託料 282,608,280円 ・ふるさと応援基金積立金 500,000,000円					
	財源内訳	国庫支出金	1,500,000円		1,500,000円					
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	95,065,314円		998,500,000円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		96,565,314円		1,000,000,000円					
人件費	一般職員		429人日	11,506,495円	429人日	11,461,231円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		11,506,495円		11,461,231円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			108,071,809円		1,011,461,231円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
ふるさと納税寄附受入額	都留市ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）の単年度での寄附受入額の実績値	千円	目標値		60000.0	70000.0	80000.0	100000.0
			実績値	12427.0	203842.0	120000.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.8	4.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	各種ポータルサイトの導入や返礼品等数の増加が功を奏し、寄附額が飛躍的に向上した（前年度の16倍以上）。しかし、寄附状況を深堀すると、本市の返礼品等は寝具類など一過性の品が主であり、本市のリピーターとなるかが問題点と言える。
令和2年度	返礼品等の見せ方を強化するためのデザイン構築や露出度を上げるための広告を実施したところ、寄附件数及び寄附額が飛躍的に増加した（前年度の寄附件数は12倍以上、寄附額は約６倍）。しかし、寄附件数が増えたことにより、寄附受領証明書の遅延等、寄附者対応について多くの問題点が浮かび上がった。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○			○						
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		・ふるさと納税ポータルサイト使用料等 ・ふるさと納税事務委託費など			・ふるさと納税ポータルサイト使用料等 ・ふるさと納税事務委託費 ・ふるさと応援基金積立金など								

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	本市のリピーターの増加を図るため、更なる地場産品の掘り起こしを行うとともに、既に導入している電子感謝券の普及をより一層図る。また、他の自治体と連携することによる共通の返礼品等を増加させ、新たな寄附者の増加を図る。
令和4年度予算に向けて	寄附者対応について自治体のホスピタリティ力を向上させるために、寄附受領証明書の早期発送等を行い、寄附者に満足のいくサービスを提供する。また、寄附金を活用した事業を寄附者に報告することにより、都留市のファンづくりにも取り組む。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田　剛　☑	中野一成　☑	□	□

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	中野 一成

部名	総務部	課名	企画課	担当名	企画担当	記入者	園田　裕也

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	2.0人	2.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員				

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	2.0　人×　　0 日	2.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（**上の配分残が０となるよう**に分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
1	02-01-08	一般会計	行財政改革推進費	○	×	×	×	要評価	100人日		100人日					
	02-01-08	一般会計	企画推進費	×	×	×	×	なし	40人日		40人日					
	02-01-15	一般会計	広域行政費	○	×	○	×	なし	10人日		10人日					
2	09-04-01	一般会計	公立大学法人都留文科大学関係費	○	×	×	×	要評価	50人日		50人日					
	09-04-01	一般会計	公立大学法人都留文科大学用地拡張事業	○	×	×	○	なし	50人日		50人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
3	庁議（企画会議・課長会議）・企画推進局・総合教育会議、リニア富士北麓協議会等の会議運営事業	企画担当	100人日		100人日					
4	長期総合計画実施計画策定・進捗管理	企画担当	60人日		60人日					
5	市長会県施策要望、国への要望等のとりまとめ	企画担当	20人日		20人日					
6	住宅新築資金等貸付金・旧改良住宅土地売買代金回収事業	企画担当	50人日		54人日					
		人日合計	480人日		484人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	行財政改革推進費			款項目	02-01-08	評価責任者	中野 一成
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	企画担当	記入者	園田　裕也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	地方自治法		
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	1	健全な行政運営のまち
	施策	1	次代に向けた適切な行財政運営と改革
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市が所有する公共施設等（公共建築物、インフラ）		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 公共施設等総合管理計画に基づく、個別施設ごとの具体的な対応方針を定めるため、建物現況調査を実施したうえで、利用状況等を分析する施設カルテをまとめ、将来のまちづくりを見据えた計画とする。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 公共施設等の全体を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現すること。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額［A］		9,493,000円		10,505,000円					
	決算額［B］		9,273,000円		10,505,000円					
	執行率［B］/［A］		97.7%		100.0%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		都留市公共施設個別施設計画策定支援業務委託料		都留市公共施設個別施設計画策定支援業務委託料					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	9,273,000円		10,505,000円					
	財源合計［C］(=［B］)		9,273,000円		10,505,000円					
人件費	一般職員		100人日	2,682,167円	100人日	2,671,616円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計［D］		2,682,167円		2,671,616円					
総事業費［B］+［D］			11,955,167円		13,176,616円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
庁内WG等の開催回数	個別施設計画策定にあたり、公共施設活用推進班（WG含む）を開催することにより公共施設の適正配置及び利活用を進める。	回	目標値		3.0	4.0	5.0	6.0
			実績値	0.0	7.0	11.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	5.0	5.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	公共施設個別施設計画策定支援業務委託業者（有限責任監査法人トーマツ）の提案した策定スケジュールに基づき、実施しており、令和1年度は今後の方向性を問う市長ヒアリング、建物現況調査、公共施設活用推進班での研修等を実施した。
令和2年度	支援業者（有限責任監査法人トーマツ）の協力の下、公共施設活用推進班（3回）個別施設計画策定PT（1回）の開催等を通じた全庁的な取り組みの中で、都留市公共施設個別施設計画を策定した。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持	○				○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		都留市公共施設等総合管理計画策定業務委託											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	委託料については、有限責任監査法人トーマツと2か年（19,778,000円）で契約済。今後は委託業者と連携する中で、教育委員会所管施設の計画と合わせて、各施設の廃止、機能転用、改修等の経費を平準化し、実施計画に落とし込み、財源の裏付けがある実効性の高い計画としていく。
令和4年度予算に向けて	公共施設等総合管理計画の改定が終了し、企画担当として特段の予算措置が必要な事業費は生じない見込。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田　剛　☑	中野一成　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	公立大学法人都留文科大学関係費	款項目	09-04-01	評価責任者	中野 一成
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	企画担当	記入者	園田　裕也
会計	一般会計	事業開始年度	H21	法定根拠・法令等	地方独立行政法人法、定款
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	1	知の資源と連携したまちづくり
	施策	2	★知の拠点である大学等と地域の魅力づくり
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 本市が設立している公立大学法人都留文科大学に対し、地方独立行政法人法第42条第1項の規定に基づき、運営費交付金を交付する。		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 法人の資金計画に基づき、経費の性質に応じた運営費交付金（標準運営費交付金、特定運営費交付金、施設整備等補助金）を法人に支出する。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 公立大学法人都留文科大学の運営に支障がないように財源措置する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		976,776,000円		1,717,430,000円					
	決算額[Ｂ]		976,776,000円		1,052,960,100円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		100.0%		61.3%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		標準運営費交付金 976,776,000円		標準運営費交付金 800,000,000円 特定運営費交付金 （修学支援制度分） 169,266,000園 施設整備費等補助金 75,042,000円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源			75,042,000円					
		一般財源	976,776,000円		977,918,100円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		976,776,000円		1,052,960,100円					
人件費	一般職員		50人日	1,341,083円	50人日	1,335,808円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		1,341,083円		1,335,808円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			978,117,083円		1,054,295,908円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
法人の業務実績評価（総合評定）	各事業年度における法人の業務実績評価の総合評定　※該当年度の評点は前年度値をもとに算出		目標値		3.7	3.8	3.9	4.0
			実績値	3.6	3.7	3.7		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	3		
平均得点	5.0	4.6		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	現在、運営費交付金は、施設整備を除き、普通交付税算定における基準財政需要額をベースとしたルールを定め、法人に交付しているが、法人における人件費の増加や目的積立金の減少等に伴い、標準運営費交付金が増加している状況にあるため、算定ルールの再検討が必要な時期となっている。
令和2年度	令和２年度については、旧南都留合同庁舎を改修する新棟整備事業の予算として、３月に６億円超の補正予算を計上した。令和３年度以降、新棟整備に加えて、個別施設計画に基づく施設の長寿命化等も本格化し、大学施設整備基金を取り崩した施設整備費等補助金の交付が増加していく見込。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	今後は、県より取得した旧南都留合同庁舎の土地・建物の利活用を含めた知のﾌｫﾚｽﾄｷｬﾝﾊﾟｽ構想及び法人が策定する個別施設計画に基づく既存建物の施設改修等が控えているため、大学運営費基金の有効活用と法人への更なる経費削減を求めていく。
令和4年度予算に向けて	新棟整備事業に拠点整備交付金を活用し、補正予算債の借り入れを行うことで、今後、起債返済額の負担を運営費交付金上にどのように反映されるかの協議が必要となる。また、生涯活躍のまち・つる事業の大学連携型施設の整備も本格化する。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田　剛　☑	中野一成　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	中野一成

部名	総務部	課名	企画課	担当名	情報政策担当	記入者	秦　和也

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	3.0人			
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員				

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	3.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日			
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
1	02-01-09	一般会計	情報ネットワーク管理事業	○	×	×	×	要評価	225人日		220人日					
2	02-01-09	一般会計	基幹系システム管理事業	○	×	×	×	要評価	220人日		230人日					
3	02-01-09	一般会計	各種業務システム管理事業	○	×	×	×	要評価	100人日		105人日					
4	02-01-09	一般会計	総合行政ネットワーク事業	○	×	×	×	要評価	65人日		50人日					
5	02-01-09	一般会計	社会保障・税番号制度事業	○	×	×	×	要評価	110人日		115人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
6										
7										
8										
9										
		人日合計	720人日							

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	情報ネットワーク管理事業	款項目	02-01-09	評価責任者	中野一成
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	情報政策担当	記入者	秦　和也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	1	健全な行政運営のまち
	施策	2	情報ネットワークの強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：都留市職員 対象物：通信ネットワーク、端末、プリンター、各種サーバ等		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 地域イントラネット及び情報系システムの維持管理を行うための事業。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 都留市職員が効率的に業務ができる状態。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		97,139,292円		81,170,000円					
	決算額[Ｂ]		89,588,460円		79,868,921円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		92.2%		98.4%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		ネットワークシステム保守業務委託 11,580,160円 自治体情報システム強靭化ネットワーク運用保守 5,886,000円		都留市ネットワークシステム保守業務委託 11,686,400円 自治体情報システム強靭化ネットワーク運用保守 5,940,000円					
	財源内訳	国庫支出金	165,000円							
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源	14,555,000円		14,134,000円					
		一般財源	74,868,460円		65,734,921円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		89,588,460円		79,868,921円					
人件費	一般職員		225人日	6,034,875円	220人日	5,877,555円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		6,034,875円		5,877,555円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			95,623,335円		85,746,476円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
情報セキュリティインシデント	情報の機密性、完全性及び可用性が維持できない事象等ヒヤリハット数（発生件数/年）	件	目標値		1.0	1.0	0.0	0.0
			実績値	2.0	1.0	0.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.6	4.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	平成31年4月に本来、3階層で構成されるセキュリティポリシーにおいて、マニュアル的な位置づけとなる「実施手順」を策定し、職員を対象とした説明会を実施した。今後も説明会の開催等により、継続して情報セキュリティ意識の向上を図っていく。
令和2年度	標的型攻撃メール等の新たなる脅威に備えて、最新情報による職員への注意喚起、Eラーニングによる研修、メール訓練等を実施した。また、資産管理システムを令和3年3月に導入し、セキュリティ強化を図った。今後も研修の開催等により、継続して情報セキュリティ意識の向上を図っていく。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持					○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		・本庁舎内LAN改修工事											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	庁内のネットワーク・インフラ環境のリスク対策強化及び適正なIT資産管理の運用の実現を可能とするため、IT資産管理システムを導入し、適正な管理、運用を図る。
令和4年度予算に向けて	テレワーク、リモートワーク、無線LANによる利用等の環境整備に伴い、「情報セキュリティーポリシー」を改訂し、適切な維持、管理を図る。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田　剛　☑	中野一成　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	基幹系システム管理事業	款項目	02-01-09	評価責任者	中野一成
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	情報政策担当	記入者	秦　和也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	1	健全な行政運営のまち
	施策	2	情報ネットワークの強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：都留市民 対象物：各種証明書		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 住民票、戸籍及び税証明等の各種証明書を発行する基幹系システムの維持管理を行うための事業。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 都留市民が必要な時に必要な証明書を取得できる状態。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		80,645,580円		133,462,000円					
	決算額[Ｂ]		79,896,842円		133,193,620円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		99.1%		99.8%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		基幹系システム運用保守 12,046,680円 基幹系システムソフト使用料 12,818,400円		基幹系システム運用保守 12,157,200円 基幹系システムソフト使用料 13,014,100円					
	財源内訳	国庫支出金	2,391,000円		3,267,000円					
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	77,505,842円		129,926,620円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		79,896,842円		133,193,620円					
人件費	一般職員		220人日	5,900,767円	230人日	6,144,716円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		5,900,767円		6,144,716円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			85,797,609円		139,338,336円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
安定稼働	接続不可等のエラー、不具合件数件（発生件数/年）	件	目標値		0.0	0.0	0.0	0.0
			実績値	3.0	0.0	0.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.6	4.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	現行の基幹系システムは、「令和3年12月末日」に契約期間満了を迎えるため、基幹系システムの最適化を目的とした調達計画を含む「都留市ICT最適化計画」を策定した。今後、ICT最適化計画に基づき、適正なシステム選定及び、着実なシステム構築に努める。
令和2年度	基幹系システムへの確実な移行及び、今後の標準準拠システムへの移行を踏まえ、標準化を意識した更改仕様書を完成させ、システム更改に向けたプロポーザルによる事業者の選定、契約締結等のプロセスを着実に実施した。今後も、システムの確実な移行および安定した業務運用の実現に努める。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持					○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		・基幹系システム更改支援業務委託											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	次期基幹系システムの調達、構築については、将来的な自治体クラウドへの移行を見据え、カスタマイズを極力抑えるよう業務フローの見直しも実施し、費用の適正化、業務の効率化に努める。
令和4年度予算に向けて	これまでの自庁導入型の基幹系システムからデータセンターを利用したクラウドサービス型の基幹系システムへ確実に移行するとともに、将来的な自治体クラウドへの移行に向けて業務の標準化を推進する。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田　剛　☑	亀田　剛 中野一成　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	各種業務システム管理事業	款項目	02-01-09	評価責任者	中野一成
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	情報政策担当	記入者	秦　和也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	1	健全な行政運営のまち
	施策	2	情報ネットワークの強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：都留市職員 対象物：情報系システム及び基幹系システム以外のシステム		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 統合型GISシステム等の維持管理を行うための事業。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 都留市職員が利用したいときに利用できる状態。		

２．実施結果（DO）

単位：円		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]	4,383,000円		13,808,000円					
	決算額[Ｂ]	4,360,960円		10,220,406円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]	99.5%		74.0%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）	統合型GIS運用保守 2,138,400円 電子申請等システム共同化事業負担金 1,155,000円		統合型GIS運用保守 2,178,000円 電子申請等システム共同化事業負担金 1,218,000円					
財源内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他特定財源	584,000円		357,000円					
	一般財源	3,776,960円		9,863,406円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])	4,360,960円		10,220,406円					
人件費	一般職員	100人日	2,682,167円	105人日	2,805,197円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]	2,682,167円		2,805,197円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]		7,043,127円		13,025,603円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
システム利用の拡充	GIS搭載レイヤー数（レイヤー累計数）	件	目標値		1510.0	1520.0	1530.0	1540.0
			実績値	1503.0	1511.0	1543.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.8	4.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	現行の統合型GISシステムの契約満了（令和2年10月末）となるため、本システムの更改に向けて、基幹系システムとの連携などについて検討する必要がある。
令和2年度	統合型GISシステムの更なる利活用を実現させる目的で更新するためには、システムとデータのベンダーロック等の問題解決を解消する必要がある。今後、「基幹系」「LG系」のネットワーク毎での取扱いに関する利用ルールの明確化を図るほか、住基情報利活用等の運用ルールの確立する必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	庁内全体の統合型GISシステムの利活用による業務効率化を図るため、更なる検討、研究を進め、再構築の方針を決定し、統合型GISシステムの再構築を進める。
令和4年度予算に向けて	統合型ＧＩＳシステム等で利用している家屋図、地番図等と、業務主管課の道路台帳や上下水道等の部門GISシステムで管理されている地図情報について、空間データを整備し、基盤地図データのデータ規格、フォーマットを統一した共通仕様書を作成し、システムとデータのベンダーロック等の問題解決を図る。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田　剛　☑	亀田　剛 中野一成　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	総合行政ネットワーク事業	款項目	02-01-09	評価責任者	中野一成
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	情報政策担当	記入者	秦　和也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	1	健全な行政運営のまち
	施策	2	情報ネットワークの強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：都留市職員 対象物：サーバ及びネットワーク機器		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 高度なセキュリティを維持した行政専用のネットワークの維持管理を行うための事業。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 地方公共団体間の円滑なコミュニケーション及び情報の共有が図れる状態。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		271,000円		271,000円					
	決算額[Ｂ]		270,864円		270,864円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		99.9%		99.9%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		第四次LGWANネットワーク機器リース料 270,864円		第四次LGWANネットワーク機器リース料 270,864円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	270,864円		270,864円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		270,864円		270,864円					
人件費	一般職員		65人日	1,743,408円	50人日	1,335,808円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		1,743,408円		1,335,808円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			2,014,272円		1,606,672円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
安定稼働	常時、稼働し、利用できない状態を発生させない。等に対するヒヤリハット数（発生件数/年）	件	目標値		0.0	0.0	0.0	0.0
			実績値	1.0	0.0	0.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.8	4.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	これまで通り、ネットワーク保守業者と連携を図る中で、ネットワーク環境の適正な運用管理に取り組む。
令和2年度	第四次LGWAN は、行政事務や情報連携、更には令和3年度に予定しているコンビニ交付など住民直結のサービスインフラとして重要性を増している。LGWANが利用できない状況に陥ると、住民に対しても影響が生ずることとなるため、安定稼働に向け、冗長化などを検討する必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	安定稼働が原則であり、停止してしまうと他団体にも影響が及ぶため、細心の注意を払い、適正な管理を継続していく。
令和4年度予算に向けて	LGWAN網との接続における可用性を向上させるため、アクセス回線及びLGWAN接続ルータを冗長構成等について研究、検討し、更なる安定稼働に向けた取組みを行う。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田　剛　☑	亀田　剛 中野一成　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	社会保障・税番号制度事業	款項目	02-01-09	評価責任者	中野一成
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	情報政策担当	記入者	秦　和也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	2	情報ネットワークの強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：都留市民 対象物：特定個人情報（マイナンバーを含む個人情報）		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 情報連携が可能な事務手続において、これまで提出する必要があった書類を省略できるようにし、都留市民の利便性を高める事業。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 都留市民にとって、社会保障・税制度の効率性を高め、利便性の高い、公平・公正な社会が実現できる状態。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		445,128円		円					
	決算額[Ｂ]		円		円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		0.0%		#DIV/0!					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		※業務主管課での執行となったため、当該事業からは未執行となった							
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源								
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		円		円					
人件費	一般職員		110人日	2,950,383円	115人日	3,072,358円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		2,950,383円		3,072,358円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			2,950,383円		3,072,358円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
利用拡大	マイナポータルの利用件数（利用件数/年）	件	目標値		100.0	200.0	250.0	300.0
			実績値	0.0	124.0	190.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.6	4.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	マイナンバー制度の活用により、事務手続きが簡略化し、市民の利便性を高めるため、図書館利用など行政サービスでの利用できる仕組みづくりと、公的個人認証サービス等の導入の可能性について研究、検討し、利用拡大を図る必要がある。
令和2年度	「マイナポイント手続スポット」として、マイナポータル専用端末を庁舎内に設置、職員による手続き支援等を実施したが、新型コロナウイルスへの感染拡大防止の観点から、マイナンバーカードの「出張申請受付方式」の実施見合わせなどの制約がある中での取組みとなった結果、利用者数等が伸びが鈍化した。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		コンビニ交付対応LGWAN-ASP接続設定業務委託											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	今後もマイナンバー法本来の運用として、その趣旨に則った適切な運用を図ると共に、独自利用の研究、検討を行う。また、利用拡大を図るため、市内の企業や各種団体等を対象として、希望の会場に出向いてマイナンバーカードの申請を受け付ける「出張申請受付方式」を本格的に実施する。
令和4年度予算に向けて	今後もマイナンバー法本来の運用として、その趣旨に則った適切な運用を図ると共にマイナンバーの利用促進に関する取組みを実施する。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田　剛　☑	亀田　剛 中野一成　☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	中野一成

部名	総務部	課名	企画課	担当名	つる創生推進室	記入者	森嶋昭人

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	3.0人	3.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員				

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	3.0 人× 0 日	3.0 人× 0 日	人× 日	人× 日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人× 日	人× 日	人× 日	人× 日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
1	02-01-14	一般会計	生涯活躍のまち・つる事業	○	×	×	×	要評価	400人日		556人日					
2	02-01-08	一般会計	地域おこし協力隊推進事業	○	×	×	×	要評価	100人日		30人日					
3	02-01-08	一般会計	定住人口対策費	○	×	×	×	要評価	220人日		140人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
4										
5										
6										
7										
		人日合計	720人日		726人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	生涯活躍のまち・つる事業	款項目	02-01-14	評価責任者	中野一成
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	つる創生推進室	記入者	森嶋昭人
会計	一般会計	事業開始年度	平成25年度	法定根拠・法令等	まち・ひと・しごと創生法、地域再生法
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	1	★生涯活躍のまち・つるを中心とした企業誘致と産業創生
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民全体、まち全体		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市内に立地する3大学等や民間事業者等と連携し、生涯にわたって活躍できる受け皿をソフト・ハードともに整備する。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 本市に住む市民全体の豊かな暮らしの実現		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		284,758,000円		78,409,943円					
	決算額[Ｂ]		202,379,639円		31,003,503円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		71.1%		39.5%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		委託料（推進協会15,000,000円）、負担金（東京ブース5,000,000円、単独型整備19,589,479円）、補助金（推進協会15,093,069円、サ高住住宅整備補助144,000,000円）		委託料（生涯活躍のまち事業11,000,000円、複合型P実施設計48,950,000円）、補助金（生涯活躍のまち10,600,000円）、負担金（東京ブース6,000,000円）					
	財源内訳	国庫支出金	17,365,334円		10,800,000円					
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源	2,467,050円							
		一般財源	198,009,008円		20,203,503円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		217,841,392円		31,003,503円					
人件費	一般職員		400人日	10,728,667円	556人日	14,854,183円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		10,728,667円		14,854,183円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			213,108,306円		45,857,686円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
生涯活躍のまち・つるに伴う移住候補者の確保	生涯活躍のまち・つる事業に伴う移住促進事業で、移住候補者名簿に登載された人数（累計）	人	目標値		836.0	871.0	906.0	941.0
			実績値	801.0	861.0	913.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	5.0	5.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	単独型PJについては、年度中旬にサ高住、下谷交流センターともオープンし、順調に入居・利用者が増えている。次年度は、既存の推進協会（任意団体）から法人格を有する団体が、生涯活躍のまち・つる事業全体をマネジメントする見込み。また、複合型PJについても、事業者選定などを含め本格的に事業が動き出す。
令和2年度	単独型PJについては、順調に入居・利用者が増加し、現在80戸中77戸まで入居申し込みをうけている。また、令和元年度中に設立された、地域再生推進法人が生涯活躍のまち・つる事業全体をマネジメントし各種取組みを行っている。また、複合型PJについても、現在事業者を選定中。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○		○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		複合型居住プロジェクト（地域交流拠点施設の整備）											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	複合型PJでは、R3・4年度にかけて地域拠点施設の建設予定など、ハード面の整備を進めていくため、全体の事業費は増加見込み。また、サ高住等を整備する（民間）事業者の公募、エリア全体の統一感（景観、建物の構造等）も勘案しながら、その後の選定を適切に行い、複合型PJを推進する。
令和4年度予算に向けて	複合型PJについては、R4年度中に交流拠点が完成予定であり、整備後施設を活用するためのソフト事業などに幅広く取組み、エリア全体の活性課を図る必要がある。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田　剛　☑	中野一成　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地域おこし協力隊推進事業	款項目	02-01-08	評価責任者	中野一成
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	つる創生推進室	記入者	森嶋昭人
会計	一般会計	事業開始年度	平成25年度	法定根拠・法令等	地域おこし協力隊推進要綱（H21総行応第38号）
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	1	★生涯活躍のまち・つるを中心とした企業誘致と産業創生
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民全体、まち全体		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 都市部に居住する方に、本市に移住してもらい、様々な活動を通してまちづくりを進める。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 隊員の定住と新たな産業（起業）の創出		

２．実施結果（DO）

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]	16,000,000円	19,360,000円		
	決算額[Ｂ]	13,140,998円	19,360,000円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]	82.1%	100.0%		
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）	・報酬　498,000円 ・報酬　6,872,500円 ・委託料 2,142,661円 ・負担金 2,375,400円	・委託料19,360,0001円		
	財源内訳：国庫支出金				
	財源内訳：県支出金				
	財源内訳：地方債				
	財源内訳：その他特定財源				
	財源内訳：一般財源	16,000,000円	19,360,000円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])	16,000,000円	19,360,000円		

人件費									
一般職員	100人日	2,682,167円	30人日	801,485円				
対象外事業分		円		円				
会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
対象外事業分		円		円				
会計年度（パート）		円		円				
別担当職員		円		円				
人件費合計[Ｄ]		2,682,167円		801,485円				
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]		15,823,165円		20,161,485円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
隊員の定住と、起業の数	現状の隊員が任期終了後に、定住や起業した数を目標値とする。(小計)定住、起業それぞれ1カウント。	人	目標値		0.0	0.0	1.0	3.0
			実績値	0.0	0.0	0.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	#DIV/0!		
平均得点	4.6			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	企画課では「移住・定住に向けた対応」などをミッションとする日常業務を行う為、任期中は専門・具体的な産業や事業への従事でない(生計を立てる仕事に直結していない)ので、任期終了後の定住に繋がり難い。次年度からは、まちづくり団体に所属する方を隊員として受入れ、仕事づくりを行う中で定住可能性を高めていきたい。
令和2年度	企画課所属では「移住・定住に向けた対応」などをミッションとする日常業務を行う為、任期中は専門・具体的な産業や事業への従事でない(生計を立てる仕事に直結していない)かったが、まちづくり団体に所属したことにより、各自が任期終了後の生業づくりに具体的に取組み、定住可能性を高めている。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年4月より、地方公務員法及び地方自治法の改正に伴い、市で雇用する場合には、各種手当も必要となる会計年度任用職員という身分になったが、企画課では、直接雇用はぜずに、まちづくり団体に委託し当該団体に所属する者を、地域おこし協力隊として委嘱し、引き続き、まちづくりの取組みを推進いただく予定。
令和4年度予算に向けて	令和4年度以降も原則、まちづくり団体に委託し当該団体に所属する者を、地域おこし協力隊として委嘱し、引き続き、まちづくりの取組みを推進いただく予定。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田剛 ☑	中野一成 ☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	定住人口対策費			款項目	02-01-08	評価責任者	中野一成
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	つる創生推進室	記入者	森嶋昭人
会計	一般会計	事業開始年度	平成23年度	法定根拠・法令等	都留市移住定住促進奨励金交付要綱、都留市空き家バンク利活用事業補助金交付要綱、都留市快適遠距離通勤補助金交付要綱		
事業実施方法	補助金等支出事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	5	★移住促進と定住支援
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民（転入者を含む）全体、まち全体		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 本市へのU・J・Iターンを希望する移住者や、定住を望む方へ補助金等を交付し、人口減少対策につなげる。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 人口減少の克服		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		15,750,000円		24,010,000円					
	決算額[Ｂ]		14,390,900円		16,826,492円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		91.4%		70.1%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		・移住定住促進奨励金 11,880,000円 ・遠距離通勤補助金 1,950,900円 ・空き家バンク利活用補助 560,000円		・移住定住促進奨励金 9,194,000円 ・遠距離通勤補助金 1,592,358円 ・空き家バンク利活用補助 3,937,000円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金			1,450,000円					
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	14,390,900円		15,376,492円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		14,390,900円		16,826,492円					
人件費	一般職員		220人日	5,900,767円	140人日	3,740,262円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		5,900,767円		3,740,262円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			20,291,667円		20,566,754円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
補助事業に伴う移住・定住者数	補助事業に伴い移住及び定住につながった人数（属する世帯を含む）（累計）	人	目標値		35.0	40.0	50.0	60.0
			実績値	31.0	61.0	34.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3		
達成度（目標が実現できているか）	5	2		
平均得点	4.4	3.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	消費増税に伴う駆込新築もあるが、令和元年度から改正し対象を拡充した移住定住促進奨励金の利用が急増した。又、当初は令和元年度末失効予定の遠距離通勤補助を、一定の定住効果があることから3年間延長した。更に次年度から、遠距離通学補助制度を新設し、大学等への進学時においても、定住を支援する制度を整備した。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、都市から地方への人の流れが発生しており、本市への移住者も増加しつつある。特に空き家への関心が高く、空き家バンク利活用補助金の利用が増加している。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	遠距離通勤・通学補助については、一定距離を通勤又は通学する場合には、方面に限らず補助の対象としたので、利用者の拡大も予想される。
令和4年度予算に向けて	今後、ニ地域居住等のニーズも高まる可能性があるので、これらに対応した制度を検討する。なお、通学補助については、県の補助事業がR3をもって終了する予定であることから、県の動向を踏まえ、補助の内容を見直す必要がある。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田剛 ☑	中野一成 ☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	亀田　　剛

部名	総務部	課名	財務課	担当名	財政担当	記入者	宮澤　洋輔

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	3.0人	3.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員				

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	3.0　人×　　0 日	3.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	02-01-04	一般会計	予算事務	×	×	×	×	なし	319人日		325人日					
	02-01-04	一般会計	財務会計システム管理事業	○	×	○	×	なし	10人日		10人日					
1	02-01-04	一般会計	地方公会計制度推進事業	○	×	×	×	要評価	20人日		20人日					
	02-01-15	一般会計	財政諸費	×	×	×	×	なし	2人日		2人日					
	04-01-01	一般会計	簡易水道事業繰出金	○	×	○	×	なし	1人日		1人日					
	04-03-01	一般会計	病院事業繰出金	○	×	○	×	なし	1人日		1人日					
	07-04-3	一般会計	下水道事業特別会計繰出金	○	×	○	×	なし	1人日		1人日					
	11-01-01	一般会計	元金	×	×	×	×	なし	3人日		3人日					
	11-01-02	一般会計	定時償還分利子	×	×	×	×	なし	1人日		1人日					
	12-01-01	一般会計	財政調整基金積立	×	×	×	×	なし	1人日		1人日					
	12-01-03	一般会計	都留市産業活性化推進基金積立	×	×	×	×	なし	1人日		1人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
2	決算統計事務（健全化判断比率含む）	財政担当	80人日		80人日					
3	交付税算定事務	財政担当	75人日		75人日					
4	市債借入事務	財政担当	85人日		85人日					
5	上記以外各種調査業務	財政担当	120人日		120人日					
		人日合計	720人日		726人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地方公会計制度推進事業			款項目	02-01-04	評価責任者	亀田　剛
担当部	総務部	担当課	財務課	担当	財政担当	記入者	宮澤　洋輔
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法				←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	1	健全な行政運営のまち
	施策	1	次代に向けた適切な行財政運営と改革
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 職員		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 統一的な基準に基づく財務書類の作成		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 統一的な基準に基づく財務書類（貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書）の作成及び指標を用いた分析		

２．実施結果（DO）

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]	5,364,000円	3,616,000円		
	決算額[Ｂ]	4,713,542円	3,492,500円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]	87.9%	96.6%		
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）	作成支援業務委託等 5,240,871円	ＰＰＰ公会計システム　年間保守業務委 440,000円 公会計財務書類作成支援業務委託 3,052,500円		
	財源内訳　国庫支出金				
	財源内訳　県支出金				
	財源内訳　地方債				
	財源内訳　その他特定財源				
	財源内訳　一般財源	4,713,542円	3,492,500円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])	4,713,542円	3,492,500円		

人件費		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	一般職員	20人日	536,433円	20人日	534,323円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]	536,433円		534,323円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]		5,249,975円		4,026,823円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
一般会計等に係る指標	有形固定資産減価償却率、基礎的財政収支、純資産比率等による分析	個	目標値		9.0	9.0	9.0	9.0
			実績値	9.0	9.0	9.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.4	4.6		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	統一基準に基づく財務書類の作成が3年目となり、作成する内容等もある程度定まったため、助言指導等を監査法人から税理士へ変更したことに伴い、費用負担が減少し、きめ細やかで包括的な支援を受けることも可能となり、作成に要する時間も大幅に減少させることができた。
令和2年度	統一基準に基づく財務書類の作成が4年目となり、各種分析指標を基に複数年の推移を類似団体と比較するなど、国の方向性に基づいた分析ができているため、今後は固定資産台帳を活用した指標である資産老朽化比率を基に施設の維持管理の方向性を定めていく必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度 コスト 削減	維持	増加	令和4年度 コスト 削減	維持	増加	令和5年度 コスト 削減	維持	増加	令和6年度 コスト 削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	財政状況資料集の中で類似団体比較が可能となったため、都留市の財政運営の参考指標として活用するとともに総務省に設置されている「地方公会計の推進に関する研究会」の協議内容を注視し、活用策などの方針が示された時点で適切に対応できるよう引き続き情報収集に努める。
令和4年度予算に向けて	類似他団体との数値の比較及び財務書類の中身についての理解を深めることで、より一層財政運営の参考指標として活用するとともに、国の研究会の動向、指標の活用方法等を注視し、制度変更等にも適切に対応できるよう引き続き情報収集に努める。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	高山　竜一　☑	亀田　剛　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	亀田　剛

部名	総務部	課名	財務課	担当名	契約担当	記入者	広瀬　敦士

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	2.0人	2.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員				

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	2.0　人×　　0 日	2.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（**上の配分残が０となるよう**に分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	02-01-06	一般会計	契約事務管理事業	○	×	○	×	なし	480人日		484人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
		人日合計	480人日		484人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	高山　竜一

部名	総務部	課名	財務課	担当名	管財担当	記入者	石川　陽一

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	2.0人	2.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員	1.0人	1.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	2.0　人×　　0 日	2.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
1	02-01-06	一般会計	財産管理関係経費	○	○	×	×	要評価	258人日		258人日					
	02-01-06	一般会計	土地開発公社経営健全化事業	○	×	×	○	なし	50人日		50人日					
	02-01-06	一般会計	登記管理経費	×	×	○	×	なし	70人日		70人日					
2	02-01-07	一般会計	公用車車両管理経費	○	×	×	×	要評価	90人日		90人日					
	02-01-12	一般会計	公共事業用地対策費	×	×	×	×	なし	2人日		2人日					
	09-04-01	一般会計	公立大学法人都留文科大学用地拡張事業	○	×	○	×	なし	10人日		14人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
3										
4										
5										
6										
		人日合計	480人日		484人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	財産管理関係経費			款項目	02-01-06	評価責任者	亀田　剛
担当部	総務部	担当課	財務課	担当	管財担当	記入者	石川　陽一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	2	質の高い行政サービスが提供されるまち
	施策	2	公有財産の有効活用と適正な配置
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象物：市役所庁舎		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 庁舎の修繕・管理		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 庁舎の良好な状態の確保や長寿命化		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		90,048,000円		72,305,000円					
	決算額[Ｂ]		54,922,830円		51,984,719円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		61.0%		71.9%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		庁舎地下１階照明LED取替修繕　1,263,600円 北別館及び第二北別館屋根修繕　4,950,000円 都留市役所非常用発電設備設置及び幹線増設工事 13,370,000円		旧藤本旅館敷地法面改良工事設計業務委託　1,760,000円 庁舎未警戒区域消防設備設置委託業務　702,350円 庁舎1階カウンター衝立設置修繕　13,959,000円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源	22,566,400円		23,546,000円					
		一般財源	32,356,430円		28,438,719円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		54,922,830円		51,984,719円					
人件費	一般職員		258人日	6,919,990円	258人日	6,892,769円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		6,919,990円		6,892,769円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			61,842,820円		58,877,488円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
光熱費の削減	節電対策を行うことにより、光熱費の削減を図る	千円	目標値		3500.0	3500.0	3500.0	3500.0
			実績値	3628.0	3980.0	4849.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	3		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.8	3.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	令和元年度、猛暑日等によるエアコン使用回数の増加等により、電気料金が増加したため、料金是正に向け、電力供給業者を入札により、株式会社関電エネルギーソリューション及び川重商事株式会社としたが、切り替えた4～５月分の電気代単価が高額になってしまった。
令和2年度	今年度５台のエアコンの入れ替えなどにより、電力の削減を図ったが、新型コロナウイルスの影響により、換気と室内温度の最適化を行うために、例年に比べエアコン使用率の増加及び設定温度の変更により、電気料金が増加してしまった。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	光熱費の削減方法について検討する。また、電気料金が高くなるため、古いエアコン等の入替を順次実施する。
令和4年度予算に向けて	今後も新型コロナウイルス対策としての設定温度の変更は致し方ないと思われるが、なるべく節電に対する周知を行いつつ、古いエアコンの入れ替えによる節電対策を実施する。また、良質で安価な電力を安定供給できるよう電力会社の見直しを行う。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	高山　竜一　☑	亀田　剛　☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	公用車車両管理経費			款項目	02-01-07	評価責任者	亀田　剛
担当部	総務部	担当課	財務課	担当	管財担当	記入者	石川　陽一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	2	質の高い行政サービスが提供されるまち
	施策	2	公有財産の有効活用と適正な配置
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象物：公用車		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市の所有する公用車の適正な管理及び整備、老朽化・破損による修繕、車両の買替、車検・定期点検 安全運転の徹底		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 公用車の適正な配置、車両事故の減少		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		22,012,000円	16,853,000円		
	決算額[Ｂ]		19,942,562円	10,797,693円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		90.6%	64.1%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		燃料費　3,891千円 高速道路使用料 2,901千円 公用車4台購入　6,834千円	燃料費　2,895千円 高速道路使用料　1,507千円 公用車1台購入　1,250,000円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	741,162円	2,277,353円		
		一般財源	19,201,400円	8,520,340円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		19,942,562円	10,797,693円		

人件費		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	一般職員	90人日	2,413,950円	90人日	2,404,454円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）	240人日	1,562,400円	240人日	1,798,560円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]		3,976,350円		4,203,014円				
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			23,918,912円		15,000,707円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
事故の件数	講習安全講習などを開催し、事故件数の減少を目指す。	件	目標値		26.0	24.0	22.0	20.0
			実績値	33.0	26.0	15.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.8	5.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	公用車の事故を減らすために研修会等を実施しており、事故件数は減ってはいるが若者の車離れの影響で注意不足による事故が多い。
令和2年度	職員一人一人の意識の向上に加えて、新型コロナウイルスの影響により、市外での研修や会議等が無かったため、公用車の使用回数が少なかったことが事故件数減少の要因の一つだと思われる。今後も事故件数が大幅に増大しないよう研修会等による事故防止に向けた意識付けを行う。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	公用車の事故を減少させるために定期的に研修会及び実技研修を実施する。
令和4年度予算に向けて	事故件数が大幅に増加しないように、令和３年度に実施できなかった研修会等を実施する。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	高山　竜一　☑	亀田　剛　☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	結婚相談事業			款項目	02-01-15	評価責任者	重森　雅貴
担当部	市民部	担当課	市民課	担当	市民窓口担当	記入者	前田　知子
会計	一般会計	事業開始年度	昭和61年度	法定根拠・法令等	なし		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向		安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策		個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策		★個々の果たす役割の明確化と環境の整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 結婚を希望する独身者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 第2・4水曜日17時～19時市役所2階相談ブースにて結婚相談所開設し、結婚相談員が独身者の相談に応じている。また年に2回、パーティーを実施し出会いの場を提供している。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 結婚を希望する独身者の相談に応じ、紹介・引き合わせ等を行ったり、出会う機会の少ない男女の交流の場の提供など、結婚に向けての支援を図り、市の少子化対策、人口増加につなげる。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		962,000円	194,000円		
	決算額[Ｂ]		607,175円	184,067円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		63.1%	94.9%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		結婚相談員謝礼 355,000円 消耗品費 31,036円 施設使用料 172,333円	結婚相談員謝礼 135,000円通信 運搬費 29,067円 連絡協議会負担金 20,000円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	90,000円	円		
		一般財源	517,175円	184,067円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		607,175円	184,067円		

人件費									
一般職員	5人日	#REF!	5人日	#REF!					
対象外事業分		#REF!		#REF!					
会計年度（フル）	48人日	#REF!	0人日	#REF!					
対象外事業分		#REF!		#REF!					
会計年度（パート）		#REF!	20人日	#REF!					
別担当職員		#REF!		#REF!					
人件費合計[Ｄ]		#REF!		#REF!					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]		#REF!		#REF!					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
カップル成立数	ふれあいパーティーにおけるカップル成立数（累計）	組	目標値		19.0	22.0	25.0	28.0
			実績値	16.0	19.0	19.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3		
達成度（目標が実現できているか）	5	3		
平均得点	3.8	3.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	結婚相談所登録者数の男女比の差（令和2年1月末現在：男性51名、女性7名）や登録者の年齢構成（20代3名、30代11名、40代30名、50代10名、60代4名）に偏りがあるため、結婚相談員が紹介や引き合わせを行っても成婚につながる数が少ない。女性や若年層の登録者を増やすことが課題である。
令和2年度	ふれあいパーティーの参加者（特に男性）において、パーティー当日の女性への接し方に課題がある方が多い。今年度開催したオンライン婚活では、事前に研修会等を開催したところ、少数の参加者ながらカップル成立が多数となった。今後は事前研修会等を開催し、自己アピール方法などを学んでもらうことで、より多くのカップル成立を目指していく。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	ふれあいパーティーへの参加者は相談所登録者に限っていないため、女性や若年層の参加も多い。パーティー参加者へ相談所登録への魅力をアピール（結婚相談員が希望にそった相手に引き合わせてくれる等）し、登録者の増加へとつなげる。また、パーティーの内容を見直すことによって、カップルの成立数を増やす。
令和4年度予算に向けて	パーティ―参加者への事前研修会等を開催し、当日のカップル成立数を増やす。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	佐藤　好男　☑	重森　雅貴　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	重森　雅貴

部名	市民部	課名	市民課	担当名	保険年金担当	記入者	小口　純枝

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	6.0人	6.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員	2.0人	1.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	6.0　人×　77.2 日	6.0　人×　77.2 日	人×　　日	人×　　日
	配分残463人日	配分残463人日		
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	法定受託事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	03-01-01	一般会計	国民健康保険事業特別会計繰出金	○	×	○	×	なし	5人日		5人日					
	03-01-02	一般会計	老人医療費支給事務	×	×	○	×	なし								
	03-01-02	一般会計	後期高齢者医療特別会計繰出金	○	×	○	×	なし	5人日		5人日					
	03-01-03	一般会計	国民年金事務費	×	×	○	×	なし	144人日		167人日					
	04-01-04	一般会計	後期高齢者健診事業	×	×	×	×	なし	5人日		5人日					
	01-01-01	国保特会	一般管理費	×	×	○	×	なし	72人日		72人日					
	01-01-02	国保特会	国民健康保険団体連合会運営事業	×	×	○	×	なし	12人日		12人日					
	01-02-01	国保特会	賦課徴収費	×	×	○	×	なし								
	01-03-01	国保特会	運営協議会事業	×	×	○	×	なし	26人日		26人日					
	02-01-01	国保特会	一般被保険者療養給付事業	×	×	○	×	なし	12人日		12人日					
	02-01-02	国保特会	退職被保険者等療養給付事業	×	×	○	×	なし	12人日		1人日					
	02-01-03	国保特会	一般被保険者療養費支給事業	×	×	○	×	なし	60人日		60人日					
	02-01-04	国保特会	退職被保険者等療養費支給事業	×	×	○	×	なし	5人日							
	02-01-05	国保特会	審査委託事業	×	×	○	×	なし	12人日		12人日					
	02-01-06	国保特会	傷病手当金支給事業	×	×	×	×	なし			10人日					
	02-02-01	国保特会	一般被保険者高額療養費支給事業	×	×	○	×	なし	426人日		426人日					
	02-02-02	国保特会	退職被保険者等高額療養費支給事業	×	×	○	×	なし	5人日							
	02-02-03	国保特会	一般被保険者高額介護合算療養費支給事業	×	×	○	×	なし	20人日		20人日					
	02-02-04	国保特会	退職被保険者等高額介護合算療養費支給事業	×	×	○	×	なし								

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
	いきいきプラザ都留連絡窓口		156人日		156人日					
		人日合計	977人日		989人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	重森　雅貴

部名	市民部	課名	市民課	担当名	保険年金担当	記入者	小口　純枝

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	6.0人	6.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員	2.0人	1.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	6.0　人×　165 日	6.0　人×　167 日	人×　　日	人×　　日
	配分残990人日	配分残1,001人日		
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	02-03-01	国保特会	一般被保険者移送費支給事業	×	×	○	×	なし								
	02-03-02	国保特会	退職被保険者等移送費支給事業	×	×	○	×	なし								
	02-04-01	国保特会	出産一時金	×	×	○	×	なし	24人日		24人日					
	02-05-01	国保特会	葬祭費支給事業	×	×	○	×	なし	24人日		24人日					
	03-01-01	国保特会	一般医療給付費分納付金	×	×	○	×	なし	20人日		20人日					
	03-01-02	国保特会	退職医療給付費分納付金	×	×	○	×	なし	20人日		3人日					
	03-02-01	国保特会	一般後期高齢者支援金等分納付金	×	×	○	×	なし	20人日		20人日					
	03-02-02	国保特会	退職後期高齢者支援金等分納付金	×	×	○	×	なし	20人日		3人日					
	03-03-01	国保特会	介護納付金分納付金	×	×	○	×	なし	20人日		20人日					
	04-01-01	国保特会	共同事業拠出金	×	×	○	×	なし								
	05-01-01	国保特会	医療費適正化対策事業	×	×	×	×	なし	30人日		30人日					
	05-01-02	国保特会	疾病予防事業	×	×	×	×	なし	120人日		150人日					
	05-02-01	国保特会	特定健康診査等事業	×	×	×	×	なし	30人日		35人日					
	06-01-01	国保特会	財政調整基金積立金	×	×	○	×	なし								
	07-01-01	国保特会	一般被保険者過年度還付金	×	×	○	×	なし								
	07-01-02	国保特会	退職被保険者等過年度還付金	×	×	○	×	なし								
	07-01-03	国保特会	償還金	×	×	○	×	なし	1人日		1人日					
	08-01-01	国保特会	予備費	×	×	○	×	なし	1人日		1人日					
	01-01-01	後期医療特会	一般管理費	×	×	○	×	なし	120人日		120人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
		人日合計	450人日		451人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	重森　雅貴

部名	市民部	課名	市民課	担当名	保険年金担当	記入者	小口　純枝

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	6.0人	6.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員	2.0人	1.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	6.0　人×　238 日	6.0　人×　240 日	人×　　日	人×　　日
	配分残1,427人日	配分残1,440人日		
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	01-02-01	後期医療特会	徴収費	×	×	○	×	なし								
	02-01-01	後期医療特会	後期高齢者医療広域連合納付金	×	×	○	×	なし	12人日		12人日					
	03-01-01	後期医療特会	保険料還付金	×	×	○	×	なし								
	03-01-02	後期医療特会	還付加算金	×	×	○	×	なし								
	03-01-03	後期医療特会	過年度国庫補助金償還金	×	×	○	×	なし	1人日							
	04-01-01	後期医療特会	予備費	×	×	○	×	なし								

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
		人日合計	13人日		12人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	重森 雅貴

部名	市民部	課名	市民課	担当名	市民窓口担当（コミセン）	記入者	志村 高男

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	3.0人	3.0人		
	フルタイム会計年度任用職員	1.0人	1.0人		
	パートタイム会計年度任用職員	4.0人	4.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	3.0 人× 0 日	3.0 人× 0 日	人× 日	人× 日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	1.0 人× 0 日	1.0 人× 0 日	人× 日	人× 日
	配分残0人日	配分残0人日		

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
1	02-01-06	一般会計	コミュニティセンター管理事業	○	○	×	×	要評価	360人日	120人日	366人日	122人日				
	02-01-10	一般会計	盛里地域コミュニティセンター運営事業	×	×	×	×	なし		120人日	120人日					
	02-01-10	一般会計	東桂地域コミュニティセンター運営事業	×	×	×	×	なし	120人日		120人日					
	02-01-10	一般会計	禾生地域コミュニティセンター運営事業	×	×	×	×	なし	120人日		120人日					
	02-01-10	一般会計	宝地域コミュニティセンター運営事業	×	×	×	×	なし	120人日			120人日				

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
2										
3										
4										
5										
		人日合計	720人日	240人日	726人日	242人日				

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	コミュニティセンター管理事業	款項目	02-01-06	評価責任者	重森 雅貴
担当部	市民部	担当課	市民課	担当	市民窓口担当（コミセン）	記入者	志村 高男
会計	一般会計	事業開始年度	平成2年度	法定根拠・法令等	コミュニティセンター条例
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	2	質の高い行政サービスが提供されるまち
	施策	2	公有財産の有効活用と適正な配置
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市内4地域コミュニティセンターの管理		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市内4地域コミュニティセンターの適正な施設管理を行うことにより、地域活動の拠点として、支所業務、まちづくり事業、貸館業務等、市民サービスの提供を行う。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市民活動の拠点として、利用率の向上を目指す。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		13,009,000円		11,647,770円					
	決算額[Ｂ]		11,268,015円		11,029,809円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		86.6%		94.7%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		需用費　4,766,803円 内光熱水費 2,741,718円 内修繕費　1,026,655円 委託料　6,295,136円 内管理委託業務 2,508,000円 内機械警備 1,789,140円		需用費　4,280,418円 内光熱水費 2,390,019円 内修繕費　1,124,945円 委託料　6,283,867円 内管理委託業務 2,520,000円 内機械警備 1,805,577円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	11,268,015円		11,029,809円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		11,268,015円		11,029,809円					
人件費	一般職員		360人日	9,655,800円	366人日	9,778,114円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		120人日	1,082,400円	122人日	1,139,016円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		10,738,200円		10,917,130円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			22,006,215円		21,946,939円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
貸館利用団体数	貸館利用団体数を増加させる（学童保育施設を除く）目標値：全会議室数13×稼働日数（255日）×0.5（稼働日数の50%を想定）	団体	目標値		1600.0	1650.0	1655.0	1660.0
			実績値	1485.0	1593.0	747.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	3		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	1		
平均得点	4.0	3.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	利用団体数が前年度（1,485団体）に比べ大幅に増加しており、4地域コミュニティセンターにおいて前年度と同等もしくは増加している状況である。利用者をさらに増加させるためには、安全・安心な施設の提供はもちろんのこと、利用者が利用しやすい施設とすることも重要である。
令和2年度	利用団体数が前年度（1,593団体）に比べ半減となっており、新型コロナウイルス感染予防対策として施設利用を制限したことが要因と考える。今後においても通常の施設利用がいつからできるかは目途が立っておらず、目標達成は厳しい状況であるが、利用者へ安全・安心な施設の提供を行うため、適切な維持管理を行っていく必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	宝コミセンを除く各施設においては老朽化による施設や設備の不具合等の状況を確認し、安全安心な施設の提供を目指し、個別施設計画により計画的に施設の長寿命化を図っていく。また、東桂コミセンにおいては建替えによる整備計画として、基本・実施設計、解体設計を行い、計画的な施設管理を行っていく。
令和4年度予算に向けて	東桂コミセンについては、老朽化による不具合が多数発生していることから、建替えにより施設整備を行う。また、東桂コミセンを除く各施設については、個別施設計画により計画的に施設の長寿命化を図っていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	佐藤 好男 ☑	重森 雅貴 ☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	井上　佳久

部名	市民部	課名	税務課	担当名	収納対策室	記入者	鈴木　卓

職員体制（事業費に含む者は除く） 年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般職員	18.0人	19.0人		
フルタイム会計年度任用職員	2.0人	6.0人		
パートタイム会計年度任用職員	4.0人	0.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	18.0　人×　　0 日	19.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	2.0　人×　　0 日	6.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください） 令和1年度 職員	令和1年度 嘱託	令和2年度 職員	令和2年度 会計（フル）	令和3年度 職員	令和3年度 会計（フル）	令和4年度 職員	令和4年度 会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
1	02-01-15	一般会計	債権回収特別対策費	○	×	×	×	要評価	10人日	0人日	10人日	0人日				
2	02-02-02	一般会計	賦課徴収費	○	×	×	×	要評価	4310人日	480人日	4588人日	1452人日				

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度 職員	令和1年度 嘱託	令和2年度 職員	令和2年度 会計（フル）	令和3年度 職員	令和3年度 会計（フル）	令和4年度 職員	令和4年度 会計（フル）
3										
4										
5										
6										
		人日合計	4320人日	480人日	4598人日	1452人日				

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	債権回収特別対策費	款項目	02-01-15	評価責任者	井上　佳久
担当部	市民部	担当課	税務課	担当	収納対策室	記入者	鈴木　卓
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	地方税法・都留市市税条例など
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	1	健全な行政運営のまち
	施策	1	次代に向けた適切な行財政運営と改革
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市内住民･法人、固定資産を所有する市外住民･法人　等		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 債権回収業務に係る職員の技術向上		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 税等負担の公平性の確保と財政力の強化		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額［A］		7,862,060円	7,556,984円		
	決算額［B］		7,774,683円	7,226,775円		
	執行率［B］/［A］		98.9%	95.6%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		短時間勤務職員人件費7,202,268円、債権回収アドバイザー業務委託料546,000円、債権回収のための旅費7,300円	短時間勤務職員人件費7,162,984円、債権回収アドバイザー業務委託料55,000円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	7,774,683円	7,226,775円		
	財源合計［C］(=［B］)		7,774,683円	7,226,775円		

人件費		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	一般職員	10人日	268,217円	10人日	267,162円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計［D］		268,217円		267,162円				
総事業費［B］+［D］			8,042,900円		7,493,937円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市税収納率	市税の収納率	%	目標値		95.5	95.8	96.2	96.5
			実績値	95.4	95.9	93.2		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	1		
平均得点	4.6	3.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	差押件数は昨年から100件以上増加し、捜索回数も増えるなど滞納処分強化により、市税収納率は県下平均を超えた。次年度以降も滞納者数をさらに減らしていく（増加させない）ため、引き続き現年分滞納者等が早期に納税するよう催告を行うとともに、分納管理を徹底していく。また、差押に至るまでの調査（事務）においては、住基ネットを利用し効率化を図るなど、スピード感をもって滞納整理を行っていく。
令和2年度	会計年度任用職員を徴税吏員として加えたことで、納税折衝が強化され、滞納整理の向上につながったが、コロナ特例猶予の影響で収納率は低下した。適時適切に差押、捜索、不動産公売等の滞納処分を行い、収納率は向上しているが、さらに早期催告、分納管理の徹底を行い、収納率の向上に努めていく。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	滞納発生後の速やかな催促や財産調査を実施し、財産調査等を行った場合は迅速・的確な処分の執行を行う。差押えした資産については引き続き公売を行う。
令和4年度予算に向けて	新規滞納者に対しては訪問、電話催告を実施し、過年度分滞納者に対しては分納履行管理を徹底する。 滞納処分について、預金・給与差押えを速やかに実施する。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	重森　雅貴　☑	井上　佳久　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	賦課徴収費			款項目	02-02-02	評価責任者	井上　佳久
担当部	市民部	担当課	税務課	担当	市民税担当	記入者	志村　将史
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	地方税法・都留市市税条例など		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	1	健全な行政運営のまち
	施策	1	次代に向けた適切な行財政運営と改革
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市内住民･法人、固定資産を所有する市外住民･法人　等		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市税料の賦課徴収		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市税料の賦課徴収の適正化及び事務効率化		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		79,328,000円		65,725,000円					
	決算額[Ｂ]		69,342,896円		57,530,093円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		87.4%		87.5%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		確定申告時などの短期事務補助員2名の賃金等727,103円、事務用品購入費や納税通知書等の印刷製本費2,185,039円、賦課徴収に係るシステム保守業務･固定資産標準宅地鑑定業務等の委託料34,358,888円、家屋評価システム等の使用料7,541,701円		確定申告時などの短期事務補助員2名の賃金等735,762円、事務用品購入費や納税通知書等の印刷製本費2,450,044円、賦課徴収に係るシステム保守業務･固定資産標準宅地鑑定業務等の委託料27,101,300円、家屋評価システム等の使用料8,086,502円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源	13,515,233円		15,396,423円					
		一般財源	55,827,663円		42,133,670円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		69,342,896円		57,530,093円					
人件費	一般職員		4310人日	115,601,383円	4588人日	122,573,729円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		480人日	4,329,600円	1452人日	13,556,160円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		119,930,983円		136,129,889円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			189,273,879円		193,659,982円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
電子申告率	給与支払報告書電子申告率の上昇	%	目標値		35.6	39.0	42.3	45.8
			実績値	32.3	53.6	63.2		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3	3		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.2	4.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	家屋評価システムの入替により、過年度基準による評価が可能となり評価の効率･適正化が図られた。申告支援システムの運用、課税資料入力業務の外部委託化等によって、課税誤りの防止など税の公平性の確保につながっている。給与支払報告書や償却資産等の電子申告率が低い水準となっているため、引き続き利用促進の方策を講じる必要がある。
令和2年度	申告支援システムの運用、課税資料入力業務の外部委託化等により、課税誤りの防止など税の公平性の確保につながっている。給与支払報告書や償却資産等の電子申告率は増加しており、引き続き利用を促進していく。業務効率化のため、業務を見直し、外部委託可能なものについては委託し、情報技術の活用が図れるものについては積極的に取り入れていく。課題として、新型コロナ感染症の影響による確定申告期間の延長に伴い、4～5月における申告書入力作業が大幅に増加した。感染症蔓延の状況により、次年度においても申告期限が延長となることを想定し、方策を講じる必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○				○						
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		･償却資産調査課税事務 ･電子マネー等による納付等対応費用及び手数料			･納税通知の業務委託費用 ･スマホ決済アプリによる納付手数料								

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	先進地域や近隣市町村の動向を研究するなかで、ICTの活用や外部委託化の導入などについて検討し、更なる税負担の公平性の確保につなげていく。また、口座振替納付の促進、収納(納付)方法の多様化を検討･推進することで、滞納者を減少させる方策も行う。電子申告を推進し利用者を増加させることで、入力等の事務が削減、人的ミスも防止できることから、広報や説明会等を積極的に行っていく。
令和4年度予算に向けて	事務の効率化、人的ミスの防止を図るため、令和3年度の基幹系システムの入替に併せ、納税通知書の印刷・封入等の業務委託を行う。また、収納事務の効率化、納税者の利便性向上のため、市税等のスマホ決済アプリを導入する。確定申告期間の延長に伴う4～5月における、職員の申告書入力作業を低減するため、作業委託等について検討する。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	重森　雅貴　☑	井上　佳久　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	矢嶋　亘

部名	市民部	課名	地域環境課	担当名	地域振興担当	記入者	加藤　隆

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	4.0人	4.0人		
	フルタイム会計年度任用職員	0.6人			
	パートタイム会計年度任用職員		4.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	4.0　人×　　0 日	4.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	0.6　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日			

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
1	02-01-11	一般会計	交通安全対策事業	○	×	×	×	要評価	65人日		20人日					
2	02-01-11	一般会計	交通安全施設設置事業	○	×	×	×	要評価	22人日		25人日					
3	02-01-11	一般会計	地域公共交通対策費	○	×	×	×	要評価	60人日		30人日					
	02-01-13	一般会計	市民公益活動促進事業	×	×	×	×	なし	8人日	100人日	5人日					
4	02-01-13	一般会計	まちづくり推進事業	○	×	×	×	要評価	88人日		110人日					
5	02-01-13	一般会計	協働のまちづくり事業	○	×	×	×	要評価	28人日	44人日	5人日					
	02-01-13	一般会計	地域コミュテニィ支援事業	×	×	×	×	なし	15人日		20人日					
6	02-01-13	一般会計	男女共同参画推進事業	○	×	×	×	要評価	86人日		90人日					
7	02-01-13	一般会計	セーフコミュニティ事業	○	×	×	×	要評価	450人日		500人日					
8	02-01-15	一般会計	防犯対策事業	○	○	×	×	要評価	45人日		60人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
9	予算編成業務	地域振興担当	21人日		23人日					
10	庶務（庁内各種調査、研修等）	地域振興担当	72人日		50人日					
11	コロナ対策事業（市民マスク配布）	地域振興担当			30人日					
12										
		人日合計	960人日	144人日	968人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	交通安全対策事業			款項目	02-01-11	評価責任者	矢嶋　亘
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当	記入者	加藤　隆
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	5	★交通安全対策の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民、都留市交通対策推進協議会、都留市交通安全連合会		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市内における交通事故の減少、市民の交通安全意識の向上のため関係機関と連携をし、交通安全週間等を活用し多くの市民に啓発を実施する。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内における交通事故発生件数（死亡者数・負傷者数）の減少、市民の交通法規の順守		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		4,081,000円		3,916,000円					
	決算額[Ｂ]		3,705,554円		3,501,165円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		90.8%		89.4%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		街頭啓発活動物品（206,987円） 高齢者免許証自主返納支援事業贈呈品（830,000円） 交通安全連合会補助金（500,000円）		街頭啓発活動物品（110,161円） 高齢者免許証自主返納支援事業贈呈品（508,000円） 交通安全連合会補助金（500,000円）					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源	640,000円		640,000円					
		一般財源	3,065,554円		2,861,165円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		3,705,554円		3,501,165円					
人件費	一般職員		65人日	1,743,408円	20人日	534,323円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		1,743,408円		534,323円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			5,448,962円		4,035,488円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
交通事故負傷者数	市内における交通事故負傷者数 （小計）　年度ではなく年	人	目標値		90.0	85.0	80.0	75.0
			実績値	95.0	74.0	47.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.6	4.6		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	高齢者免許証返納者支援事業に関して、事業開始（H25）から返納者の増加に伴い、贈呈品（公共交通回数券）の報償費は年々増加しているが、使用率は低調である（令和元年度　バス5.9%、タクシー7.1%）であるため、利用してもらう方策を検討するか、回数券に代わる代替案を検討する必要がある。
令和2年度	昨年度と同様になるが、高齢者免許証返納者支援事業に関して、贈呈品（公共交通回数券）の使用率は低調（令和2年バス6.7%、タクシー14.9%　令和元年バス5.9%、タクシー7.2%）であるため、検討する必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	啓発が主な事業となっているので、各種団体のみならず、セーフコミュニティ交通安全対策委員会と連携し、より効果的な啓発方法を実施し、市内における交通事故発生件数等の減少を図る。
令和4年度予算に向けて	セーフコミュニティ事業により市内の交通安全に対する課題が明確になったため、セーフコミュニティ交通安全対策委員会の取り組みを支援する予算及び行政が実施した方が効果的な事業に特化するような予算を検討していく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔　☑	矢嶋　亘　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	交通安全施設設置事業			款項目	02-01-11	評価責任者	矢嶋　亘
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当	記入者	加藤　隆
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	交通安全対策基本法、都留市交通安全条例		
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	5	★交通安全対策の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民（主に運転手）		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 交通事故を防止するため、交通危険箇所にカーブミラー等の交通安全施設を設置する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内における交通事故の減少（主に車両事故）		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		4,536,000円		5,895,700円					
	決算額[Ｂ]		3,406,985円		5,815,700円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		75.1%		98.6%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		・カーブミラーの設置及び修繕費（1,273,420円） ・カーブミラー原材料購入（2,113,045円）		・カーブミラーの設置及び修繕費（2,420,000円） ・カーブミラー原材料購入（3,395,700円）					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	3,406,985円		5,815,700円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		3,406,985円		5,815,700円					
人件費	一般職員		22人日	590,077円	25人日	667,904円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		590,077円		667,904円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			3,997,062円		6,483,604円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
修繕箇所	交通安全施設（カーブミラー）危険度調査を反映した長期修繕計画に基づく修繕（累計）	箇所	目標値		70.0	110.0	150.0	180.0
			実績値	35.0	70.0	110.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	5.0	5.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	GISへ交通安全施設（カーブミラー）の情報を落とし込み、従前の台帳管理と現況写真を統合することができたので、市民からの問合せに迅速に対応することが可能となり、今後の事務効率の向上が図れる。
令和2年度	令和2年度より資材については単価契約に変更し、修繕業務についても年度計画により該当箇所が明らかになっているため、一括修繕を契約に通して実施できるようにしたため、事業費の削減につながっている。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	交通安全施設危険度調査を基に策定した長期修繕計画に沿って実施していく。
令和4年度予算に向けて	令和3年同様、交通安全施設危険度調査を基に策定した長期修繕計画に沿って実施していく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔　☑	矢嶋　亘　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地域公共交通対策費			款項目	02-01-11	評価責任者	矢嶋　亘
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当	記入者	加藤　隆
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅳ	生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
	施策	4	★効率的で利便性の高い公共交通の選択と整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民・公共交通事業者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 路線の維持のため、公共交通事業者の赤字に対する補填。利用者増加のため市民等に実施する利用促進事業。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 ニーズに沿った利便性の良い交通網（時刻・便数・ルート）及び市民満足度の高い公共交通の実現		

２．実施結果（DO）

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]	24,944,000円	25,484,300円		
	決算額[Ｂ]	22,420,656円	20,002,000円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]	89.9%	78.5%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）	・生活バス路線維持費補助金（19,671,000円） ・予約型乗合タクシー運行事業補助金（2,466,000円）	・生活バス路線維持費補助金（19,101,000円） ・予約型乗合タクシー運行事業補助金（866,000円）		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	106,000円			
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	22,314,656円	20,002,000円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])	22,420,656円	20,002,000円		

人件費									
	一般職員	60人日	1,609,300円	30人日	801,485円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]		1,609,300円		801,485円				
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			24,029,956円		20,803,485円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
利用者数	補助対象路線の利用者人数（路線バス・循環バス・乗合タクシー） ※補助対象期間で算定（10月～9月）小計	人	目標値		30208.0	30238.0	30268.0	30298.0
			実績値	30178.0	29900.0	23617.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.0	3.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	一部路線では促進策により乗車人数は増加しているものの、乗車人数の増加以上に人件費及び燃料費の高騰により事業費の経常経費の増加が上回っているため、補助額は年々増加している。
令和2年度	新型コロナウイルスの影響により利用者数は大幅に減少してしまい、公共交通の維持のため、令和3年度に事業者への補助を大幅に上げざるを得なくなり、今後は市の財政負担と市民のニーズの両面から路線の廃止と代替案の検討を本格化させていく必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○			○						
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	第6次長期総合計画中期計画策定に向け実施した市民意識調査によると、「適切で効率的な公共交通の選択と整備」は市民が重要だと考えているが、満足度が低い項目であったため、公共交通に特化した市民意識調査の実施により、ニーズ把握をし、利用される公共交通を目指す。
令和4年度予算に向けて	公共交通維持の費用は増加傾向にあるため、令和5年度中に「地域公共交通計画」の策定に向けた調査研究及び、地域の実情にあった交通形態の見直しを検討していくなかで、利用の少ない路線バスを廃止し、デマンド化及び循環バスの増便による、交通空白地域のカバーと利用者の利便性の両立を図る。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔　☑	矢嶋　亘　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	まちづくり推進事業			款項目	02-01-13	評価責任者	矢嶋　亘
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当	記入者	加藤　隆
会計	一般会計	事業開始年度	平成12年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	1	★まちの担い手の発掘・育成と地域コミュニティの強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 自治会、自治会連合会		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 自治会連合会を介しての市内自治会に対する助成金、地域独自の活動に対する補助金を交付することにより地域コミュニティの維持・活性化を図る。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 コミュニティ活動の維持及び活動の活性化		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		18,409,000円		19,225,000円					
	決算額[Ｂ]		17,325,866円		18,575,383円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		94.1%		96.6%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		まちづくり事業補助金 ・自治会活動振興事業 （12,048,900円） ・自治会施設等整備事業 （1,754,800円） ・防犯灯整備事業 （2,967,000円）		まちづくり事業補助金 ・自治会活動振興事業 （11,892,887円） ・自治会施設等整備事業 （2,839,000円） ・防犯灯整備事業 （1,707,000円）					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	17,325,866円		18,575,383円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		17,325,866円		18,575,383円					
人件費	一般職員		88人日	2,360,307円	110人日	2,938,777円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		2,360,307円		2,938,777円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			19,686,173円		21,514,160円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
自治会加入率	市内全世帯に対する自治会に加入している世帯割合	%	目標値		66.8	66.9	67.0	67.1
			実績値	66.7	65.1	64.7		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3	3		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.0	3.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	助成金、補助金による維持のみで活動はマンネリ化しており、高齢化によりどの自治会も活動が縮小傾向にあるため、次年度から積極的な活動及び財政支援を目的とした自治会活動保険への加入を実施する。
令和2年度	今年度より自治会の財政負担及び活動促進のため自治会活動保険に加入したが、新型コロナウイルスの影響により、ほとんどの自治会で活動ができず、今後もこの状態が続くようであると地域のコミュニティ活動に支障をきたすおそれがある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	H30に実施した自治会アンケートの結果から、新規世帯に対する勧誘方法が分からず、不安を持っている自治会長が多いことから、令和元年度に作成した「自治会加入促進マニュアル」により、支援していく。
令和4年度予算に向けて	自治会長の負担削減のため市の充て職の見直し自治会活動の活性化のため他自治会の活動の紹介等をし、活性化につながる施策を行っていく。；
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔　☑	矢嶋　亘　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	協働のまちづくり事業	款項目	02-01-13	評価責任者	矢嶋　亘
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当
記入者	加藤　隆				
会計	一般会計	事業開始年度	平成13年度	法定根拠・法令等	都留市自治基本条例第5章第4節に基づく支援
事業実施方法		←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	4	★個々の果たす役割の明確化と環境の整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 地域協働のまちづくり推進会		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 地域における各種活動（文化・防災・防犯等）を企画・実践して自主的に行っている地域協働のまちづくり推進会に対し、活動の事業費を補助する。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 自治基本条例に規定された地域コミュニティの促進を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]	2,300,000円		2,250,000円					
	決算額[Ｂ]	2,106,678円		1,068,597円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]	91.6%		47.5%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）	協働のまちづくり事業補助金（東桂・谷村・禾生・宝・三吉・開地・盛里）		協働のまちづくり事業補助金（東桂・谷村・禾生・宝・三吉・開地・盛里）					
	財源内訳　国庫支出金								
	財源内訳　県支出金								
	財源内訳　地方債								
	財源内訳　その他特定財源								
	財源内訳　一般財源	2,106,678円		1,068,597円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])	2,106,678円		1,068,597円					
人件費	一般職員	28人日	751,007円	5人日	133,581円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	44人日	396,880円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]	1,147,887円		133,581円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]		3,254,565円		1,202,178円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
連絡会及び研修の開催数	各地域の協働の活動の推進となるよう連絡会・研修会等を年３回以上開催する。（累計）	回	目標値		3.0	6.0	9.0	12.0
			実績値	3.0	2.0	1.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.6	3.6		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	自治会同様に地域の高齢化・担い手不足が深刻な問題となっている。
令和2年度	自治会同様に地域の高齢化・担い手不足に加え、新型コロナウイルスによる活動の未実施が地域コミュニティに影響を及ぼすおそれがあると懸念される。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度に市民活動団体交流会を実施し、地域協働のまちづくり推進会を含む市内登録団体（約50団体）の横断的な連携を図り、協働のまちづくりの事業に新たな担い手を発掘していく。
令和4年度予算に向けて	新型コロナウイルスの中においても活動可能な事業を実施してもらったが、この状況が続くようであると、組織全体が低下するおそれがある。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔　☑	矢嶋　亘　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	男女共同参画推進事業			款項目	02-01-13	評価責任者	矢嶋　亘
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当	記入者	加藤　隆
会計	一般会計	事業開始年度	平成12年度	法定根拠・法令等	都留市男女共同参画基本条例		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	4	★個々の果たす役割の明確化と環境の整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民、事業所		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 推進計画の策定、計画に基づいた庁内及び市内各事業所に対する取組、推進委員会による各種啓発活動の実施		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 男女共同参画の推進・啓発、認知度の上昇		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		818,000円		833,000円					
	決算額[Ｂ]		389,589円		493,680円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		47.6%		59.3%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		男女共同参画推進委員報酬 370,000円		男女共同参画推進委員報酬 455,000円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	389,589円		493,680円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		389,589円		493,680円					
人件費	一般職員		86人日	2,306,663円	90人日	2,404,454円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		2,306,663円		2,404,454円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			2,696,252円		2,898,134円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
都留市男女共同参画推進フェスティバル満足度	都留市男女共同参画推進フェスティバルの参加者アンケートにおける満足度（大変良かった）	%	目標値		45.0	48.0	50.0	52.0
			実績値	42.0	0.0	0.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3	3		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3		
達成度（目標が実現できているか）	－	－		
平均得点	3.5	3.5		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	第3期都留市男女共同参画推進計画の前期推進計画（平成28～令和3年の6年間）の目標に対する取組にバラつき（実施の有無）が生じているため、後期推進計画策定を見据え、取組を実施していく必要がある。
令和2年度	令和2年度は対外的な活動ができず、市民への周知が皆無であったため、男女共同参画が市内で後退してしまうおそれがある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	男女共同参画推進計画の目標達成に向け、市民・事業者との連携をする上で、目標達成に向けた優先順位の確立、男女共同参画推進委員との連携を強化していく。
令和4年度予算に向けて	令和3年度に実施する市民意識調査の結果等を踏まえ、これまでの活動の見直しを検討し、新たな事業に即した予算計上を行う。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔　☑	矢嶋　亘　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	セーフコミュニティ事業	款項目	02-01-13	評価責任者	矢嶋　亘
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当	記入者	加藤　隆
会計	一般会計	事業開始年度	平成30年度	法定根拠・法令等	
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	1	★地域が自ら行う安全・安心のコミュニティづくり
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 より安全・安心なまちづくりの実現に、各種統計データ等を根拠とし、市民が中心の安全・安心活動を実施し、まちづくりに向けた取組を行う。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内における事けがの減少、市民の不安感の解消、コミュニティ活動の活性化		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		3,062,000円		5,521,700円					
	決算額[Ｂ]		1,948,123円		3,268,854円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		63.6%		59.2%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		推進業務委託　1,072,500円 先進地視察旅費　297,316円		推進業務委託　979,000円 事前指導業務委託 1,952,500円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	2,042,426円		3,268,854円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		2,042,426円		3,268,854円					
人件費	一般職員		450人日	12,069,750円	500人日	13,358,079円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		12,069,750円		13,358,079円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			14,017,873円		16,626,933円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
6つの対策委員会による会議及び活動回数	活動主体である対策委員会による協議により、決定した活動を市民とともに実践していく。（累計）	回	目標値		36.0	76.0	116.0	146.0
			実績値	18.0	70.0	138.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.6	4.6		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	都留市における重点分野、課題の抽出を今年度行い、次年度以降は具体的取組を実践していくことになる。
令和2年度	令和3年度の認証に向け、新型コロナウイルスの影響により活動が制限される中、それぞれの委員会が可能な手段により活動を実施しており、市の事業にも取り入れられる手法もあり、見直しが図れた。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○	○								
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		現地審査、認証式典実施に伴う予算増加			再認証にむけた取組活動の継続により、活動は増えるが審査等は無いため予算は減少する。								

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度の事前指導を踏まえ、活動内容の修正を行い、令和3年度の現地審査に向けていく。
令和4年度予算に向けて	令和8年度の再認証に向けて、取組活動を継続していくが、セーフコミュニティ独自のS+PDCAサイクルによる事業評価により、活動は活発化していくため、対策委員会ごとの啓発に要する費用は増加する見込みである。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔　☑	矢嶋　亘　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	防犯対策事業			款項目	02-01-15	評価責任者	矢嶋　亘
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当	記入者	加藤　隆
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	4	★防犯対策の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 安全・安心ステーションの管理運営、防犯推進員等による防犯活動、市民、防犯団体への情報提供		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内における犯罪件数の減少、市民の犯罪に対する不安感（体感治安）の解消		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]				41,676,254円					
	決算額[Ｂ]				40,224,445円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]				96.5%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		※令和2年度より行政評価の対象		安全・安心ステーション工事 28,248,000円 備品購入費（車両） 2,016,498円					
	財源内訳	国庫支出金			15,931,991円					
		県支出金								
		地方債			15,200,000円					
		その他特定財源			2,459,383円					
		一般財源			6,633,071円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])				40,224,445円					
人件費	一般職員				60人日	1,602,969円				
		対象外事業分				円				
	会計年度（フル）				0人日	円				
		対象外事業分				円				
	会計年度（パート）					円				
	別担当職員					円				
	人件費合計[Ｄ]				1,602,969円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]					41,827,414円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市内犯罪件数	市内における刑法犯認知件数 年度ではなく年	件	目標値			110.0	105.0	100.0
			実績値			108.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）		5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）		4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）		4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）		5		
達成度（目標が実現できているか）		5		
平均得点		4.6		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	
令和2年度	ハード面では次年度からの運用に向け安全・安心ステーションの整備が完了した。ソフト面では、安全ステーションを拠点とした各種施策を展開していく。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持					○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	
令和4年度予算に向けて	安全ステーションのより充実した活用策の検討
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	□	矢嶋　亘　☑	□	□

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	矢嶋　亘

部名	市民部	課名	地域環境課	担当名	環境保全担当	記入者	八代哲之

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	3.0人	3.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員	1.0人	1.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	3　人×　　0 日	3　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	004-02-60	一般会計	衛生害虫駆除事業	×	×	×	×	なし	90人日		90人日					
	004-02-70	一般会計	狂犬病予防事業	×	×	×	×	なし	103人日		139人日					
1	004-02-80	一般会計	合併処理浄化槽設置費補助事業	○	×	×	×	要評価	230人日		200人日					
	004-02-90	一般会計	環境衛生管理運営事業	×	×	×	×	なし	30人日		10人日					
2	004-03-10	一般会計	環境保全対策事業	○	×	×	×	要評価	100人日		100人日					
	004-03-20	一般会計	自然環境保全事業	○	×	○	×	なし	30人日		30人日					
	004-03-50	一般会計	新型コロナウイルス感染症対策事業	○	×	○	×	なし	30人日		50人日					
3	004-03-60	一般会計	清掃事業	○	×	×	×	要評価	75人日		75人日					
	004-03-70	一般会計	大月都留広域事務組合負担金	○	×	○	×	なし	32人日		32人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
4										
5										
6										
7										
		人日合計	720人日		726人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	合併処理浄化槽設置費補助事業	款項目	004-02-80	評価責任者	矢嶋　亘
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	環境保全担当	記入者	八代哲之
会計	一般会計	事業開始年度	平成2年度	法定根拠・法令等	都留市浄化槽設置事業補助金交付要綱
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅳ	生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
	施策	1	★快適な住環境の整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：下水道事業計画区域外へ合併処理浄化槽を設置する申請者　対象物：合併処理浄化槽の設置費		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 申請者に対して、補助金を交付する。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 合併処理浄化槽を設置することにより、水質を保全する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額［A］		29,370,000円	30,031,000円		
	決算額［B］		22,824,000円	22,386,000円		
	執行率［B］/［A］		77.7%	74.5%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		浄化槽設置事業補助金 22,790,000円 ※以下の国と県の支出金の差額3,068,000円は、年度間調整における減額調整	合併処理浄化槽設置事業補助金　22,355,000円 山梨県合併処理浄化槽普及促進協議会負担金　31,000円		
	財源内訳	国庫支出金	4,528,000円	11,078,000円		
		県支出金	7,596,000円	7,451,000円		
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	10,666,000円	3,857,000円		
	財源合計［C］(=［B］)		22,790,000円	22,386,000円		

人件費		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	一般職員	230人日	6,168,983円	200人日	5,343,231円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計［D］		6,168,983円		5,343,231円				
総事業費［B］+［D］			28,992,983円		27,729,231円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
合併浄化槽の設置数	合併浄化槽の設置数（小計）	基	目標値		72.0	72.0	72.0	72.0
			実績値	38.0	62.0	58.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3		
達成度（目標が実現できているか）	4	3		
平均得点	4.2	4.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	補助金の性質上、家の新築や、浄化槽の入替等をする人だけに限られる。制度については設置業者が把握しており、問い合わせや申請は事業者からである。周知は充分行われており、市内でどれだけ浄化槽が設置されるかが件数に影響する。令和２年度の要綱変更に向けて事業者へ通知している。
令和2年度	補助金の性質上、家の新築や、浄化槽の入替等をする人だけに限られる。令和2年度より要綱変更に伴い、宅内配管費や入れ替えに伴う単独浄化槽の撤去費の補助を追加。市内でどれだけ浄化槽が設置されるかが件数に影響する。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持					○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		国の要綱変更に伴い、単独処理浄化槽撤去費及び宅内配管の補助が追加された。											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和２から６年度までの５ヶ年計画を国へ提出済みである。合併処理浄化槽の設置はこれまでの５年間どおり毎年７２基、新規補助については単独処理浄化槽の撤去費１０基、宅内配管１０件を想定している。広報やHPにて周知していきたい。
令和4年度予算に向けて	令和2年から5年間の地域計画に基づき、合併処理浄化槽設置事業補助金を交付している。合併処理浄化槽の設置により、市内の河川水質向上が図られることから、補助金交付事業の周知徹底を図っていきたい。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤　浩稔　☑	矢嶋　亘　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	環境保全対策事業			款項目	004-03-10	評価責任者	矢嶋　亘
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	環境保全担当	記入者	八代哲之
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市まちをきれいにする条例		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅳ	生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
	施策	1	★快適な住環境の整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 各種環境保全事業の実施		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 快適な住環境の保全		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額［Ａ］		7,879,000円		3,630,585円					
	決算額［Ｂ］		6,863,167円		2,930,804円					
	執行率［Ｂ］/［Ａ］		87.1%		80.7%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		美化指導員活動 408,000円 河川水質検査 220,000円 自動車騒音常時監視業務 1,188,000円 不法投棄廃棄物処理業務 288,680円 除塵設備設置3,355,000円		河川水質検査 220,000円 自動車騒音常時監視業務 1,188,000円 不法投棄廃棄物処理業務 288,680円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	6,863,167円		2,930,804円					
	財源合計［Ｃ］(=［Ｂ］)		6,863,167円		2,930,804円					
人件費	一般職員		100人日	2,682,167円	100人日	2,671,616円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計［Ｄ］		2,682,167円		2,671,616円					
総事業費［Ｂ］+［Ｄ］			9,545,334円		5,602,420円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
浄化槽法定検査受験指導通知	浄化槽の法定検査の未受検者に通知し受験指導する	件	目標値		700.0	700.0	700.0	700.0
			実績値	611.0	640.0	15.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	2	1		
平均得点	3.6	3.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	不法投棄廃棄物処理業務については、不法投棄が無くなれば必要のない事業である。不法投棄防止にかかる啓蒙活動が重要である。水質も同様に浄化槽の適正な管理を促すため啓蒙活動が重要である。本年度は啓発チラシを全地区で回覧し、PR動画を放映したが、ふれあい講座等直接訴える場が、地道ではあるが効果的だと考える。
令和2年度	不法投棄廃棄物処理業務については、パトロールを強化し、警察との連携も図り実施しているが、市内各所に不法投棄され、毎年処分が必要となっている。水質については、浄化槽の適切な管理とし啓発を行っているが、今年度は県との連携により地区を絞っての未受験者への通知発送ができなかったため、実績が得られなかった。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名 （増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	自動車騒音常時監視業務等必ず実施しなければならない事業や、不法投棄廃棄物処理等、市民の心掛けで必要のなくなる可能性のある事業が混在しているので、今後の啓蒙活動等でコストの削減が図れる可能性がある。ポイ捨て禁止を含めたごみの減量化のPRを積極的に行うと同時に水質向上のため、浄化槽の法定検査受験指導を行う。
令和4年度 予算に向けて	市内の環境保全に欠かせない事業であり、不法投棄廃棄物処理や河川水質検査等、継続が必要である。また、市民一人一人の心がけでコストは減少していく事業でもある。ごみの減量化の啓発を積極的に行い、河川の水質向上のため、浄化槽の法定検査未受験者への受験指導も県浄化槽協会と連携し行っていく。
令和5年度 予算に向けて	
令和6年度 予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤　浩稔　☑	矢嶋　亘　☑	□	□

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	清掃事業			款項目	004-03-60	評価責任者	矢嶋　亘
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	環境保全担当	記入者	八代哲之
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	生ごみ処理機具設置費補助金交付要綱等		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅳ	生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	1	いつまでも美しいまちづくり
	施策	2	ごみの適正な処理と減量化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 ごみステーションボックスの貸与、生ごみ処理器具設置事業補助金の交付		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 ごみの減量化		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		34,703,463円	29,732,000円		
	決算額[Ｂ]		33,134,586円	28,697,211円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		95.5%	96.5%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		ごみステーション用ダストボックス　1,447,200円 犬・猫等死体回収業務 717,600円 一般廃棄物最終処分場負担金等　26,741,500円	ごみステーション用ダストボックス　1,188,000円 犬・猫等死体回収業務 770,000円 一般廃棄物最終処分場負担金等　25,626,000円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	35,000円	17,000円		
		一般財源	33,099,586円	28,680,211円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		33,134,586円	28,697,211円		

人件費		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	一般職員	75人日	2,011,625円	75人日	2,003,712円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]		2,011,625円		2,003,712円				
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			35,146,211円		30,700,923円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
死体回収業務の減少	犬の登録の管理徹底や猫のTNR活動を通して車に轢かれる犬・猫等の減少を図る	匹	目標値		70.0	65.0	60.0	55.0
			実績値	74.0	55.0	70.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	3		
平均得点	4.6	4.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	ごみステーションダストボックス・ネット等については経年劣化により必要なものである。これらのものは市民生活に直結しているので、必要であると思われる。動物の死骸は廃棄物扱いとなり、小動物死体回収業務においては年々単価が上昇していることから、犬の登録管理の徹底や猫のTNR活動を通して、車に轢かれる小動物の減少を図りたい。
令和2年度	ごみステーションダストボックス・ネット等については経年劣化により必要になる。動物の死体回収業務についても、道路通行上の妨げになり早めの対応が必要となることから、回収業務の必要性が高い。生ごみ処理機設置の補助についても、周知していきたい。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	今後もごみステーションダストボックス・ネット等については経年劣化により必要になるものであるから、現状維持とする。生ごみ処理器具設置費補助金は設置することにより、ごみ減量化が図れることから現状維持とする。ボランティア団体と協力する中で猫のTNR活動を実施する。
令和4年度予算に向けて	ごみステーションダストボックス・ネット等については経年劣化により必要になるものであるから、現状維持とする。生ごみ処理器具設置費補助金は設置する市民が増加傾向にあり、設置することによりごみの減量化が図れることから現状維持とする。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤　浩稔　☑	矢嶋　亘　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	矢嶋　亘

部名	市民部	課名	地域環境課	担当名	環境政策担当	記入者	八代哲之

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	2.0人	2.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員	1.0人	1.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	2.0　人×　　0 日	2.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
1	02-01-15	一般会計	空家等対策推進事業	○	×	×	×	要評価	130人日		110人日					
2	04-01-07	一般会計	家中川小水力市民発電所管理運営事業	×	○	×	×	要評価	50人日		49人日					
3	04-01-07	一般会計	自然エネルギー推進事業	○	×	×	×	要評価	100人日		100人日					
4	04-01-07	一般会計	地下水保全事業	○	×	×	×	要評価	80人日		100人日					
5	04-01-08	一般会計	火葬場事業	×	○	×	×	要評価	100人日		105人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
6	環境政策事業（小学生図画コンクール）	環境政策担当	20人日		20人日					
7										
8										
9										
		人日合計	480人日		484人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	空家等対策推進事業			款項目	02-01-15	評価責任者	矢嶋　亘
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	環境政策担当	記入者	八代哲之
会計	一般会計	事業開始年度	平成27年度	法定根拠・法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅳ	生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
	施策	1	★快適な住環境の整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市内の空家等		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 管理不全空家等の適正管理の指導、空家問題解決のための相談・啓発、利用可能空家等の活用推進		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内の空家等の適正管理、発生抑制、活用		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		3,218,000円		2,467,000円					
	決算額[Ｂ]		150,020円		103,560円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		4.7%		4.2%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		空家等対策協議会委員報酬（40,000円） 空家等対策に係る実務講習会等旅費（51,110円） 空家等対策実務研修会等負担金（49,560円）		空家等対策協議会委員報酬（80,000円） 空家等対策に係る実務講習会等旅費（8,560円） 空家等対策実務講習会等負担金（15,000円）					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	150,020円		103,560円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		150,020円		103,560円					
人件費	一般職員		130人日	3,486,817円	110人日	2,938,777円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		3,486,817円		2,938,777円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			3,636,837円		3,042,337円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
相談会等の開催	空家問題の解決・啓発・相談のための相談会等の開催数(累計)	回	目標値		1.0	2.0	3.0	4.0
			実績値	0.0	1.0	2.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.6	4.6		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	高齢単身者や相続人となる次世代等に対し、生前から空き家をどのように処分するかを含め、空家問題に関する理解を深めるような啓発・相談会等を開催し、新たな空家発生の抑制につなげる。また、事前（苦情発生前）から管理不全空き家の所有者調査をしておくことが、苦情等の迅速な解決につながる。
令和2年度	従来、隣人同士の民・民の問題と考えられていた空家問題が、全国的にも適正管理がされない空家の増加から社会問題となっている。平成29年度創設の空き家リフォーム補助金、並びに空き家除却補助金については、制度上、予算を確保しているが、利用条件が厳しいこともあり活用されていないため、予算執行状況が低くなっている。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	空家問題に関する啓発冊子を作成（職員が作成）するとともに、相談会等の開催については、「いーばしょ」なども活用しながら実施する（対面式となるので、相談会等の開催については、COVID-19の状況による）。また、空き家の除却に関する補助金要綱の内容を見直し、活用しやすくなるよう早期に検討し、実施する。
令和4年度予算に向けて	令和2年度に作成した「空き家問題小冊子」も活用し、空き家の適正管理を周知するとともに、令和3年度からの「不良空家等解体事業費補助金」を空家の所有者に活用いただく中で、市内の不良空家の解体が進むよう取り組む。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔　☑	矢嶋亘　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	家中川小水力市民発電所管理運営事業	款項目	04-01-07	評価責任者	矢嶋　亘
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	環境政策担当	記入者	八代哲之
会計	一般会計	事業開始年度	平成11年度	法定根拠・法令等	
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅳ	生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
	施策	3	地球温暖化対策と自然エネルギーの普及
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 ・家中川小水力市民発電所「元気くん1号、2号、3号」		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 ・「元気くん1号、2号、3号」が適切に稼働できる状態の管理（水量等）、施設の維持管理・修繕		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市制50周年を記念して水のまち都留市のシンボルとして設置したが、水車により発電した再生可能エネルギー（電力）の庁舎利用や、環境教育の場として活用することで、脱炭素社会の実現につなげる。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		1,775,000円		1,778,000円					
	決算額[Ｂ]		1,632,045円		1,545,960円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		91.9%		86.9%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		家中川小水力市民発電所保守点検業務委託料（1,102,000円） ギアボックスオイル交換修繕費(165,000円)		家中川小水力市民発電所保守点検業務委託料（973,500円） 発電所遠方監視サービス(112,860円)					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源	553,000円		380,818円					
		一般財源	1,079,045円		1,165,142円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		1,632,045円		1,545,960円					
人件費	一般職員		50人日	1,341,083円	49人日	1,309,092円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		1,341,083円		1,309,092円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			2,973,128円		2,855,052円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
年間発電量	元気くん1号、2号、3号の年間発電量の合計	ｋＷ	目標値		80,000	80,000	80,000	80,000
			実績値	0.0	126,078	103,943		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3	3		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.4	4.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	元気くん1号の羽根板が破損したため交換した。年々、発電量が減少している。また、視察者も少なくなっている。
令和2年度	家中川小水力市民発電所「元気くん1号、2号、3号」は、環境教育の場でもあるが、COVID-19感染防止対策のため、視察受入れは中止（但し、水車の自由見学は可能）。また、H18.4月の元気くん1号稼働から15年が経過しており、経年劣化を含め修繕の必要性や、家中川の水量不足からの発電能力の減少が見受けれらる。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	R3.1下旬に、元気くん1号のベアリング部分が破損したため、運転中止状態となっている。現状、修繕方法や費用について見積りしている段階だが、併せて保険対応が可能か調査中である。いずれにしても、早期に修繕し、再生可能エネルギー発電の推進を図っていきたい。
令和4年度予算に向けて	経年劣化などを含め、修繕が必要となる箇所が増えている。また、家中川の水量が少ないことから、発電量が減少している。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔　☑	矢嶋亘　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	自然エネルギー推進事業			款項目	04-01-07	評価責任者	矢嶋　亘
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	環境政策担当	記入者	八代哲之
会計	一般会計	事業開始年度	平成11年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅳ	生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
	施策	3	地球温暖化対策と自然エネルギーの普及
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 ・自立型再生可能エネルギー設備普及促進 ・市内の一般家庭に設置等する再生可能エネルギー発電設備の安心・安全な導入		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 ・自立型再生可能エネルギー設備設置費に対する補助金の交付 ・再生可能エネルギー発電設備を設置する際に、各種ガイドライン等の内容を遵守するよう指導及び助言		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 自立型再生可能エネルギー設備の普及により脱炭素社会の実現につなげる。また、今後の再生可能エネルギーに求められている蓄電・蓄エネを促進し、災害や停電等非常時のエネルギーの確保につなげる。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額［Ａ］		3,400,000円		1,000,000円					
	決算額［Ｂ］		609,000円		879,000円					
	執行率［Ｂ］/［Ａ］		17.9%		87.9%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		自立型再生可能エネルギー設備設置費補助金（609,000円）		自立型再生可能エネルギー設備設置費補助金（879,000円）					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	609,000円		879,000円					
	財源合計［Ｃ］(=［Ｂ］)		609,000円		879,000円					
人件費	一般職員		100人日	2,682,167円	100人日	2,671,616円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計［Ｄ］			2,682,167円		2,671,616円				
総事業費［Ｂ］+［Ｄ］			3,291,167円		3,550,616円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
補助金申請件数	自立型再生可能エネルギー補助金申請件数（累計）	件	目標値		6.0	12.0	18.0	24.0
			実績値	0.0	7.0	17.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.8	4.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	住宅用の自然エネルギー機器及び省エネ機器の導入を目的とした旧補助金（住宅用自然エネルギー及び省エネルギー機器補助金）が平成30年度末に廃止となり、次に自家消費を推進する観点（停電時も電力の自給自足が可能）から、蓄電システムの導入を必須条件とする「自立型再生可能エネルギー設備普及補助金」を平成31年4月1日に施行した。
令和2年度	太陽光発電により生み出した再生可能エネルギーの自家消費を推進する観点（停電時も電力の自給自足が可能）から、蓄電システムの導入を必須条件とする補助金制度を設けているが、年度後半に申請数が伸びたため、結果的に昨年度よりも件数、補助額とも実績が伸びた。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○				○						
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）					自立型再生可能エネルギー設備設置費補助金（補助制度の最終年度でもあり、増額を検討）								

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	平成21年度から始まった住宅用太陽光発電の余剰電力の買取期間（10年間）が、平成31年11月から順次満了を迎えているが、買取期間終了後の選択肢として、従来の単なる売電から「自家消費を促進する」ための補助金制度（H31.4施行）の周知を図り活用を促すことで、脱炭素社会の実現につなげる。
令和4年度予算に向けて	「自立型再生可能エネルギー設備設置費補助金」の最終年度となる。令和2年度前半は4件の申請だったため、R3年度の予算額を縮小したが、同年後半に申請数が伸びてR1年度を上回る実績となった。R2年のゼロカーボンシティ宣言や、2050年カーボンニュートラルなど話題性もあることから、令和4年度は増額を検討している。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔　☑	矢嶋亘　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地下水保全事業			款項目	04-01-07	評価責任者	矢嶋　亘
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	環境政策担当	記入者	八代哲之
会計	一般会計	事業開始年度	平成30年度	法定根拠・法令等	都留市地下水保全条例		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅳ	生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	1	いつまでも美しいまちづくり
	施策	3	里地・里山・里水の保全・活用
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市内に井戸を設置している、又は、これから設置する者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 ・市内の地下水位のモニタリングと採取の適正化のための量水器設置費の補助 ・市内に井戸を設置する際に、地下水保全条例等に基づき適切な指導等を行う		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 地下水資源の保護と採取の適正化を図り、良好で快適な生活環境を確保する		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		4,988,817円		5,826,000円					
	決算額[Ｂ]		4,360,050円		5,275,800円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		87.4%		90.6%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		地下水位観測業務委託料（1,095,050円） 量水器設置費補助金（7件 3,265,000円）		地下水位観測業務委託料（8箇所 1,790,800円） 量水器設置費補助金（6件 3,485,000円）					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	4,360,050円		5,275,800円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		4,360,050円		5,275,800円					
人件費	一般職員		80人日	2,145,733円	100人日	2,671,616円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		2,145,733円		2,671,616円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			6,505,783円		7,947,416円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
量水器の設置割合	条例施行前に井戸を設置していた者の内、量水器を未設置の方（23件）が、量水器を設置する割合（累計）	%	目標値		30.0	60.0	80.0	100.0
			実績値	13.0	47.8	739.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.4	4.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	地下水保全条例（H30.10.1施行）に基づき、施行以前からの井戸設置者は施行日から1年以内の届出が必要。その内、揚水機の吐出口の断面積が6㎠を超える場合は、取水量の報告義務が生ずる為、一定の条件を満たせば、量水器の設置に対する補助制度を整備（条例施行後3年以内の設置に限る）。一定の要件を満たしていない者に対して、量水器の設置を働き掛ける手法が困難。
令和2年度	地下水保全条例に基づき、一定の要件を満たしていない者に対する「量水器の設置補助」を行う条件である協定書（災害時における地下水の提供）の締結に取組み、20件の井戸設置者と協定を締結した。また、新たに6件の量水器の設置補助を行い、次年度からの地下水利用量を把握する体制を整えている。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○		○								
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）					地下水保全条例制定に係る量水器設置費補助金交付要綱は、Ｒ3年度内に終期を迎えるため								

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	地下水資源の保護と採取の適正化を図るため、量水器の設置指導を含めた取水量の管理並びに、新規の井戸設置者に対する適切な指導等を行う。
令和4年度予算に向けて	地下水保全条例に基づき、一定の要件を満たせば「量水器の設置補助」を行う補助要綱が、Ｒ3年度内に終期を迎える。今後は、地下水資源の保護と採取の適正化を図るため、取水量の管理並びに、新規の井戸設置者に対する適切な指導等並びに、市内7地点(8箇所)の地下水量のモニタリングを継続して行う。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔　☑	矢嶋亘　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	火葬場事業			款項目	04-01-08	評価責任者	矢嶋　亘
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	環境政策担当	記入者	八代哲之
会計	一般会計	事業開始年度	昭和３９年度	法定根拠・法令等	都留市火葬場条例		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	2	質の高い行政サービスが提供されるまち
	施策	1	信頼できる職員の育成と充足したサービス提供
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 火葬場の利用者等		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 都留市火葬場「ゆうきゅうの丘　つる」の管理運営（管理・修繕・現場環境等の確認）		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 ・市民等の公衆衛生その他公共の福祉の向上 ・故人との最後の別れを安らかに迎えられる環境の整備		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		25,056,183円	17,942,000円		
	決算額[Ｂ]		25,056,183円	17,086,853円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		100.0%	95.2%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		火葬場管理業務委託料（7,734,620円） 火葬場施設修繕費（9,801,780円） 火葬場施設消耗品購入費（1,137,631円）	火葬場管理業務委託料（7,122,500円） 火葬場施設修繕費（3,183,180円） 燃料費（2,017,675円）		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	9,415,000円	8,110,000円		
		一般財源	15,641,183円	8,976,853円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		25,056,183円	17,086,853円		

人件費		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	一般職員	100人日	2,682,167円	105人日	2,805,197円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]		2,682,167円		2,805,197円				
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			27,738,350円		19,892,050円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
苦情件数	火葬場使用者からの苦情件数	件	目標値		1.0	1.0	1.0	1.0
			実績値	1.0	0.0	1.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.8	4.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	修繕計画による大規模修繕とともに、経年劣化による小規模な機械不良の修繕も発生している。火葬場内には、常に静寂と尊厳ある緊張感が漂い、それに見合うサービスの提供が求められることから、施設メンテナンスや修繕等を適切に行い環境の整備を図る。
令和2年度	大きな修繕はなく、保冷庫の状態が悪いなどの経年劣化等による小規模な修繕で済んだ。また、新型コロナウイルス対策のため、防護服や非透過性納体袋の整備、並びに火葬場の利用方法を定め周知するなど、常に火葬場内での静寂と尊厳ある環境に見合うサービスの提供ができる体制を整えた。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	火葬場の管理業務受託者との連携を図るとともに、火葬場施設の状況等の確認を行い、1日の火葬回数や1回の利用時間（間隔）の適正化の見直しを含め、利用者に不快感を与えない施設の適切な管理と質の高いサービスの提供に努める。設備修繕に関しては、保守点検状況を踏まえて計画的に行い、施設修繕に関しては、個別施設計画により検証し、計画を立て実施する。
令和4年度予算に向けて	火葬場の管理業務受託者との連携を図り、新型コロナウイルス収束後は火葬場の利用状況等の確認を行う中で、1日の火葬回数や1回の利用時間（間隔）の適正化の見直しなど、利用者が利用しやすい環境を整えるとともに、施設の適切な管理と質の高いサービスの提供に努める。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔　☑	矢嶋亘　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	小林　勝之

部名	福祉保健部	課名	福祉課	担当名	地域福祉担当	記入者	柏木　秋宏

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	4.4人	4.4人		
	フルタイム会計年度任用職員	1.3人	3.0人		
	パートタイム会計年度任用職員	1.0人	0.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	4.4　人×　　0 日	4.4　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	1.3　人×　　0 日	3.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	03-01-01	一般会計	民生委員関係費	×	×	○	×	なし	90人日		101.8人日	50人日				
1	03-01-01	一般会計	社会福祉関係費	○	×	×	×	要評価	30人日		25人日	50人日				
	03-01-01	一般会計	援護関係費	×	×	×	×	なし	18人日	3人日	10人日	70人日				
	03-01-01	一般会計	行旅病人・死亡人取扱費	×	×	○	×	なし	3人日		0人日	0人日				
	03-01-01	一般会計	生活困窮者自立支援事業	○	×	○	×	なし	3人日		3人日	0人日				
	03-01-01	一般会計	プレミアム付商品券事業	×	×	○	×	なし	49人日		0人日	0人日				
	03-03-01	一般会計	生活保護運営対策事業	×	×	○	×	なし	0人日	72人日	0人日	20人日				
	03-03-01	一般会計	就労支援事業	×	×	○	×	なし	2人日	235人日	2人日	230人日				
	03-03-02	一般会計	生活保護費	○	×	○	×	なし	844人日		896人日	256人日				
	03-04-01	一般会計	支援員配置経費	×	×	○	×	なし	0人日		0人日	0人日				
	03-04-02	一般会計	中国残留邦人生活支援給付金	×	×	○	×	なし	5人日		10人日	0人日				
	03-04-02	一般会計	中国残留邦人生活支援給付金管理事業	×	×	○	×	なし	1人日		1人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
2	日本赤十字社に関すること		11人日	2人日	16人日	50人日				
3										
4										
5										
		人日合計	1056人日	312人日	1064.8人日	726人日				

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	社会福祉関係費			款項目	03-01-01	評価責任者	小林　勝之
担当部	福祉保健部	担当課	福祉課	担当	地域福祉担当	記入者	柏木　秋宏
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	1	★安心を提供する地域福祉の啓発と充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：社会福祉法人　都留市社会福祉協議会 対象物：事業費補助（ふれあいのまちづくり事業）		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 広報紙の発行　ボランティア団体への補助		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 ボランティアの養成や広報活動により、地域における福祉の推進を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]	2,810,000円		2,810,000円					
	決算額[Ｂ]	2,611,366円		1,333,553円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]	92.9%		47.5%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）	ふれあい福祉センター事業費（広報活動）247,000円 地域生活支援事業1,355,000円 住民参加による地域福祉事業1,208,000円		ふれあい福祉センター事業費（広報活動）253,000円 地域生活支援事業　570,446円 住民参加による地域福祉事業931,926円					
	財源内訳：国庫支出金								
	財源内訳：県支出金								
	財源内訳：地方債								
	財源内訳：その他特定財源								
	財源内訳：一般財源	2,611,366円		1,333,553円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])	2,611,366円		1,333,553円					
人件費	一般職員	30人日	804,650円	25人日	667,904円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	50人日	466,810円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]	804,650円		1,134,714円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]		3,416,016円		2,468,267円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
ボランティア活動へ参加した市民の割合	社会福祉協議会で実施した事業に参加した人数/総人口（10/1現在）	%	目標値		187.0	190.0	193.0	
			実績値	185.6	185.1	186.7		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3		
達成度（目標が実現できているか）	1	2		
平均得点	3.0	3.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	事業については、住民相互の支え合い・地域住民の社会参加に寄与するため継続的な支援は必要である。 財源については、市補助金・社協一般会費・共同募金配分金等で行っている。 令和元年度については、消費増税による補助額の増加を見込んでいる。
令和2年度	事業については、住民相互の支え合い・地域住民の社会参加に寄与するため継続的な支援は必要である。 財源については、市補助金・社協一般会費・共同募金配分金等で行っている。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度 コスト 削減	維持	増加	令和4年度 コスト 削減	維持	増加	令和5年度 コスト 削減	維持	増加	令和6年度 コスト 削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	現状の事業を維持しつつ、積極的な広報活動等を通して住民の社会活動への参加を引き続き促していく。 市も事業について協力を行う。
令和4年度予算に向けて	現状の事業を維持しつつ、積極的な広報活動等を通して住民の社会活動への参加を引き続き促していく。 市も事業について協力を行う。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	澄川　宏　☑	小林　勝之　☑	□	□

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	小林　勝之

部名	福祉保健部	課名	福祉課	担当名	障がい者支援担当	記入者	杉本　晴美

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	4.0人	5.0人		
	フルタイム会計年度任用職員	2.0人	0.0人		
	パートタイム会計年度任用職員	1.0人	2.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	4.0　人×　　0 日	5.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	2.0　人×　　0 日	0.0　人×　#### 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日			

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	03-01-01	一般会計	障害福祉総務費	×	×	○		なし	80人日		80人日					
	03-01-01	一般会計	障害者等自立支援給付事業	○	×	○		なし	110人日	150人日	150人日					
	03-01-01	一般会計	障害者自立支援医療費	○	×	○		なし	80人日		100人日					
1	03-01-01	一般会計	障害者等地域生活支援事業	○	×	×		要評価	150人日	100人日	200人日					
	03-01-01	一般会計	障害支援区分認定等審査事務	×	×	○		なし	60人日	90人日	120人日					
	03-01-01	一般会計	特別障害者手当支給事務	○	×	○		なし	50人日		50人日					
	03-01-01	一般会計	重度身心障害者医療費助成事業	○	×	○		なし	90人日		90人日					
2	03-01-01	一般会計	重度心身障害者等タクシー利用料金助成事業	○	×	×		要評価	50人日		50人日					
	03-02-01	一般会計	特別児童扶養手当取扱事務	×	×	○		なし	60人日		60人日					
	03-02-01	一般会計	障害児通所支援事業	○	×	○		なし	60人日	80人日	100人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
3	障害者（身体・精神・療育）手帳交付事務	障がい者支援担当	70人日	20人日	70人日					
4	自立支援医療申請受付事務	障がい者支援担当	70人日	20人日	90人日					
5	障害者各種制度申請受付事務	障がい者支援担当	30人日	20人日	50人日					
6										
		人日合計	960人日	480人日	1210人日	0人日				

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	障害者等地域生活支援事業	款項目	03-01-01	評価責任者	小林　勝之
担当部	福祉保健部	担当課	福祉課	担当	障がい者支援担当
記入者	杉本　晴美				
会計	一般会計	事業開始年度	平成18年	法定根拠・法令等	障害者総合支援法
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	3	障がい者の自立と社会参加の支援
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：障がい者及び障がい児		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 相談支援・成年後見制度利用支援・意思疎通支援・日常生活用具給付・移動支援・地域活動支援センター・福祉ホーム・日中一時支援・社会参加促進事業等		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 障害者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援する。		

２．実施結果（DO）

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]	38,302,000円	40,933,000円		
	決算額[Ｂ]	34,114,163円	34,010,566円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]	89.1%	83.1%		
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）	障害者相談員人件費 6,382,403円 委託料 22,670,273円 補助金 657,950円 扶助費 4,383,537円	障害者相談員人件費 4,782,910円 委託料 24,725,051円 補助金 317,000円 扶助費 4,059,605円		
財源内訳	国庫支出金	6,049,000円	6,243,000円		
	県支出金	2,302,000円	2,181,000円		
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源				
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])	8,351,000円	8,424,000円		

人件費									
一般職員	150人日	4,023,250円	200人日	5,343,231円				
対象外事業分		円		円				
会計年度（フル）	100人日	902,000円	0人日	円				
対象外事業分		円		円				
会計年度（パート）		円		円				
別担当職員		円		円				
人件費合計[Ｄ]		4,925,250円		5,343,231円				
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]		39,039,413円		39,353,797円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
地域生活支援事業サービス利用	各種サービス利用実人数	人	目標値		165.0	166.0	167.0	168.0
			実績値	164.0	167.0	178.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.2	4.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	地域の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを設置し、相談窓口の周知や地域の相談機能の強化に努めている。また令和2年度末までに障がいのある人の生活を地域全体で支える体制づくりのため、地域生活支援拠点の整備を行う必要がある。
令和2年度	地域の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを設置し、相談窓口の周知や地域の相談機能の強化に努めている。障がいのある人の生活を地域全体で支える体制づくりのため、東部圏域において地域生活支援拠点の整備を行い、運用について検討を行っている。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	東部圏域市村及び事業所と連携して地域生活支援拠点の整備準備を推進し、障がいのある人が地域で安心した生活が送れるよう支援体制の強化を図る。
令和4年度予算に向けて	障がい児者の緊急時の対応ができるよう、東部圏域市村及び事業所と連携して地域生活支援拠点の設置および運用を行い、障がいのある人が地域で安心した生活が送れるよう支援体制の強化を図る。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	澄川　宏　☑	小林　勝之　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	重度心身障害者等タクシー利用料金助成事業			款項目	03-01-01	評価責任者	小林　勝之
担当部	福祉保健部	担当課	福祉課	担当	障がい者支援担当	記入者	杉本　晴美
会計	一般会計	事業開始年度	平成4年	法定根拠・法令等	都留市福祉タクシー利用料金助成事業実施要綱		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	3	障がい者の自立と社会参加の支援
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 身体障害者手帳1・2級、療育手帳Ａに該当する者（自動車税の減免及び燃料費助成対象者を除く）		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市福祉タクシー利用料金助成事業実施要綱に基づき、重度心身障害者等の社会参加を促進するため、タクシー券により初乗り運賃の額を助成する。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 重度心身障害者（児）の行動範囲の拡大と社会参加促進、及び経済的負担の軽減を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額［Ａ］		599,000円		636,000円					
	決算額［Ｂ］		594,520円		573,890円					
	執行率［Ｂ］/［Ａ］		99.3%		90.2%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		タクシー初乗運賃（扶助費） 594,520円		タクシー初乗運賃（扶助費） 573,890円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金	28,615円		28,615円					
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源								
	財源合計［Ｃ］(=［Ｂ］)		28,615円		28,615円					
人件費	一般職員		50人日	1,341,083円	50人日	1,335,808円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計［Ｄ］		1,341,083円		1,335,808円					
総事業費［Ｂ］+［Ｄ］			1,935,603円		1,909,698円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
タクシー券利用状況	タクシー券利用回数	回	目標値		876.0	877.0	878.0	879.0
			実績値	875.0	878.0	846.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3	3		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3		
達成度（目標が実現できているか）	5	1		
平均得点	3.8	3.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	県の助成対象とならない聴覚・内部障害1・2級手帳所持者についても対象としている。またタクシー会社のほか福祉タクシー等の利用も助成対象としている。福祉タクシー等の利用者が増えているため、市単独助成額が多くなっている。
令和2年度	県の助成対象とならない聴覚・内部障害1・2級手帳所持者についても対象としている。またタクシー会社のほか福祉タクシー等の利用も助成対象としている。ドライバーの高齢化によりタクシー利用者は減少しているが、福祉タクシー等の利用者が増えているため、市単独助成額が多くなっている。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	今後も継続して対象者及びタクシー会社等への周知活動を行っていくことで、重度心身障害者及び障害児の社会参加の促進を図る。
令和4年度予算に向けて	今後も継続して対象者及びタクシー会社等への周知活動を行っていくことで、重度心身障害者及び障害児の社会参加の促進を図る。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	澄川　宏　☑	小林　勝之　☑	□	□

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	小林勝之

部名	福祉保健部	課名	福祉課	担当名	保健福祉センター担当	記入者	庄司一浩

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	1.5人	1.5人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員				

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	1.5 人× 0 日	1.5 人× 0 日	人× 日	人× 日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人× 日	人× 日	人× 日	人× 日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	03-01-04	一般会計	保健福祉センター管理運営事業(いきいきプラザ都留改修事業　高圧電線設備更新)	○	○	×	×	なし	10人日							
	03-01-04	一般会計	保健福祉センター管理運営事業(いきいきプラザ都留改修事業　防災設備改修)	○	○	×	×	なし	30人日							
1	03-01-04	一般会計	保健福祉センター管理運営事業(いきいきプラザ都留照明ＬＥＤ化事業)	○	○	×	×	要評価	20人日		20人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
2	各種証明書発行業務	施設担当	120人日		120人日					
3	施設維持管理業務	施設担当	180人日		180人日					
4										
5										
		人日合計	360人日		320人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	保健福祉センター管理運営事業（いきいきプラザ都留照明ＬＥＤ化事業）	款項目	03-01-04	評価責任者	小林勝之
担当部	福祉保健部	担当課	福祉課	担当	保健福祉センター担当	記入者	庄司一浩
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	
事業実施方法		←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅵ	行財政分野　実行します！新しいステージへ
	政策	2	質の高い行政サービスが提供されるまち
	施策	2	公有財産の有効活用と適正な配置
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市民（利用者）全体 対象物：都留市保健福祉センター		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 保健福祉センターの施設管理・運営事業（いきいきプラザ都留照明ＬＥＤ化事業）		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 コストを抑制しつつ、省エネ対策として電気照明のＬＥＤ化等、計画的に取り組み、電気量削減を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]	2,147,000円	2,780,000円		
	決算額[Ｂ]	2,052,000円	2,585,000円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]	95.6%	93.0%		
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）	保健福祉センター1階照明ＬＥＤ化修繕　2,052,000円	保健福祉センタ3階照明LED化修繕　2,585,000円		
	財源内訳：国庫支出金				
	財源内訳：県支出金				
	財源内訳：地方債				
	財源内訳：その他特定財源				
	財源内訳：一般財源	2,052,000円	2,585,000円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])	2,052,000円	2,585,000円		

人件費									
一般職員	20人日	536,433円	20人日	534,323円				
対象外事業分		円		円				
会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
対象外事業分		円		円				
会計年度（パート）		円		円				
別担当職員		円		円				
人件費合計[Ｄ]		536,433円		534,323円				
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]		2,588,433円		3,119,323円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
電気使用量の削減	施設整備計画を踏まえてＬＥＤの導入等、電気使用量の削減を図る。	円	目標値		6684220.00	6684219.00	6684218.00	6684217.00
			実績値	6684221.00	6729403.00	6652713.00		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3		
達成度（目標が実現できているか）	1	5		
平均得点	3.0	3.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	保健福祉センター1階部分の照明のＬＥＤ交換を実施したが、空調の不具合や施設利用日数の増加に伴い、結果的に電気使用量の削減には至らなかった。蛍光灯の製造終了に伴い、他の階についても順次ＬＥＤ化を進め、コスト削減に向けた節電対策強化を図り、徹底していく必要がある。
令和2年度	保健福祉センター3階部分の照明のＬＥＤ交換を実施したが、新型コロナウイルス感染予防対策として、各課分散勤務を行い、部屋の利用頻度の増加に伴うも、結果的に電気使用量金の削減にたった。蛍光灯の製造終了に伴い、他の階についても順次ＬＥＤ化を進め、コスト削減に向けた節電対策強化を図り、徹底していく必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	施設の老朽化に伴う大規模改修を見据える中で、長期的な整備計画（長寿命化計画）を立て、優先順位を決めて事業費予算の平準化を図り、施設整備を行っていく。
令和4年度予算に向けて	施設の老朽化に伴う大規模改修を見据える中で、長期的な整備計画（長寿命化計画）を立て、優先順位を決めて事業費予算の平準化を図り、施設整備を行っていく。【令和３年度に調査・実施設計、令和４年度から令和６年度にかけて改修工事を行う】
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	澄川　宏　☑	小林勝之　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	天野　奥津江

部名	福祉保健部	課名	長寿介護課	担当名	介護保険担当	記入者	奥脇　陽子

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	4.0人	5.0人		
	フルタイム会計年度任用職員	2.0人	2.0人		
	パートタイム会計年度任用職員	1.0人	1.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	4.0　人×　　0 日	5.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	2.0　人×　　0 日	2.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
1	03-01-02	一般会計	介護人材確保対策事業	○	×	×	×	要評価	1人日		5人日					
	01-01-01	介護特会	一般管理費	×	×	×	×	なし	66人日		85人日					
	01-03-01	介護特会	認定調査等費	×	×	×	×	なし	240人日	480人日	260人日	484人日				
	01-03-02	介護特会	認定審査会共同設置負担金	×	×	×	×	なし	1人日		35人日					
	01-04-01	介護特会	介護保険運営協議会費	×	×	×	×	なし	20人日		120人日					
	02-　-	介護特会	介護給付費（28項目）	×	×	○	×	なし	630人日		630人日					
	03-01-01	介護特会	財政安定化基金拠出金	×	×	○	×	なし			0人日					
	05-01-01	介護特会	給付準備基金積立金	×	×	×	×	なし	1人日		10人日					
	06-01-01	介護特会	第１号被保険者保険料還付金	×	×	×	×	なし			60人日					
	06-01-02	介護特会	国庫支出金等償還費	×	×	○	×	なし	1人日		5人日					
	06-01-03	介護特会	第１号被保険者還付加算金	×	×	○	×	なし			0人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
2										
3										
4										
5										
		人日合計	960人日	480人日	1210人日	484人日				

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	介護人材確保対策事業			款項目	03-01-02	評価責任者	天野　奥津江
担当部	福祉保健部	担当課	長寿介護課	担当	介護保険担当	記入者	奥脇　陽子
会計	一般会計	事業開始年度	平成29年度	法定根拠・法令等	都留市介護人材確保支援事業補助金交付要綱		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	2	健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 介護保険サービス事業者、地域密着型サービス事業者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市内で介護サービス等に従事する人材の確保・定着および、介護人材の能力向上を目指すため介護サービス事業者等への財政的支援を行う。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 新規介護人材の確保及び、介護サービスの質の維持・向上を目的とする。		

２．実施結果（DO）

単位：円		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]	500,000円		200,000円					
	決算額[Ｂ]	円		63,000円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]	0.0%		31.5%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）	研修費補助 100,000円×0件 未経験者等雇用補助 100,000円×0件		研修費補助 63,000円×1件 未経験者等雇用補助 0件					
	財源内訳　国庫支出金								
	財源内訳　県支出金								
	財源内訳　地方債								
	財源内訳　その他特定財源								
	財源内訳　一般財源	円		63,000円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])	円		63,000円					
人件費	一般職員	1人日	26,822円	5人日	133,581円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]	26,822円		133,581円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]		26,822円		196,581円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
申請件数	当該年度中に研修費助成または、未経験者等雇用補助の補助金申請の実績値（小計）	件	目標値		2.0	2.0	2.0	2.0
			実績値	0.0	0.0	1.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	2	3		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	1	3		
平均得点	3.2	3.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	本事業を開始した平成29年度から申請実績が1件のみであったため、当年度は事業所職員が集まる連絡会等を中心に積極的な普及活動と、本事業に関するアンケートを実施したところ、令和2年度中の申請相談を１件受けており、またアンケート結果に基づく制度の変更も検討している。
令和2年度	令和元年度からの補助金制度にかかる周知によって、令和2年度は相談が3件あり、うち1件が申請まで至った。令和元年度からの検討事項に、コロナ禍における職員採用や研修方法の変化をはじめ介護保険制度改正によって生じる新たな事業所ニーズを本補助金制度に追加することが必要と考える。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	共生型サービス（介護保険と障がい福祉のサービスを一体的に提供するサービス）の普及や、高齢者福祉サービスの充実を図るため、障がい福祉サービス事業所及び、サービス付高齢者住宅事業者も補助事業の対象とするよう制度内容の拡大を図る。
令和4年度予算に向けて	引き続いて制度の周知を図るとともに、令和3年度から事業所に努力義務として追加される認知症に関する研修（令和6年度から義務となる）の受講を推進させるため、本研修にかかる県の助成の動きを注視しながら補助の拡充について検討する。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	天野　奥津江　☑	天野　奥津江　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	天野奥津江

部名	福祉保健部	課名	長寿介護課	担当名	高齢者支援室	記入者	清水　友美子

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	2.0人	2.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員				

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	2.0　人×　　0 日	2.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	03-01-02	一般会計	老人福祉措置対策事業	○	×	○	×	なし	20人日		20人日					
1	03-01-02	一般会計	寿賀祝事業	○	×	×	×	要評価	45人日		45人日					
2	03-01-02	一般会計	老人福祉活動事業	○	×	×	×	要評価	30人日		30人日					
3	03-01-02	一般会計	地域福祉支援事業	○	×	×	×	要評価	25人日		25人日					
	03-01-02	一般会計	介護保険・サービス特別会計繰出金	○	×	○	×	なし	3人日		3人日					
	04-01-01	介護特会	介護予防・生活支援サービス事業費	○	×	○	×	なし	20人日		20人日					
	04-01-01	介護特会	高額介護予防サービス費相当事業	×	×	×	×	なし	1人日		1人日					
	04-01-02	介護特会	介護予防ケアマネジメント事業費	○	×	○	×	なし	35人日		35人日					
4	04-02-01	介護特会	一般介護予防事業費	○	×	×	×	要評価	50人日		50人日					
	04-03-01	介護特会	総合相談事業費	×	×	×	×	なし	50人日		54人日					
	04-03-02	介護特会	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	×	×	×	×	なし	30人日		30人日					
5	04-03-03	介護特会	任意事業費	○	×	×	×	要評価	80人日		80人日					
	04-03-04	介護特会	在宅医療・介護連携推進事業費	×	×	×	×	なし	20人日		20人日					
	04-03-05	介護特会	生活支援体制整備事業費	×	×	×	×	なし	20人日		20人日					
	04-03-06	介護特会	認知症総合支援事業費	×	×	×	×	なし	20人日		20人日					
	04-04-01	介護特会	審査支払手数料	×	×	×	×	なし	1人日		1人日					
	01-01-01	介護サ特会	居宅支援サービス事業費	○	×	○	×	なし	30人日		30人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
6										
7										
8										
9										
		人日合計	480人日		484人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	寿賀祝事業			款項目	03-01-02	評価責任者	天野奥津江
担当部	福祉保健部	担当課	長寿介護課	担当	高齢者支援室	記入者	清水　友美子
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市寿賀祝品支給条例		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	2	健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 基準日（9月15日）に喜寿（77歳）になる者、当該年度内に100歳になる者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 喜寿対象者には5千円の商品券、100歳対象者には10万円の商品券、祝状と額を贈呈		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 高齢者の生きがいづくりを支援し、健康寿命の延伸を目指す。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		2,995,000円		2,915,000円					
	決算額[Ｂ]		2,559,789円		2,311,020円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		85.5%		79.3%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		・77歳寿賀(1,740,000円) ・100歳寿賀(800,000円) ・祝品消耗品(19,789円)		・77歳寿賀(1,590,000円) ・100歳寿賀(700,000円) ・祝品消耗品(21,020円)					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	2,559,789円		2,311,020円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		2,559,789円		2,311,020円					
人件費	一般職員		45人日	1,206,975円	45人日	1,202,227円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		1,206,975円		1,202,227円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			3,766,764円		3,513,247円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
支給対象者数	健康寿命の延伸により65歳到達者のうち寿賀祝対象となる者を増加させる。	人	目標値		358.0	680.0	1057.0	1393.0
			実績値	345.0	358.0	683.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	3		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	2	2		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	2	2		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	3.4	3.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	77歳の喜寿祝は、本市の平均寿命に満たない年齢でのお祝いとなるため、今後、寿賀祝対象年齢について見直しを検討する必要がある。
令和2年度	人生100年時代を見据えた中で高齢者像も年々変化しており、77歳の喜寿祝は本市の平均寿命に満たない年齢でのお祝いとなるため、今後、寿賀祝対象年齢の見直しについて検討していく必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	健康寿命の延伸により、寿賀祝の対象年齢についての妥当性が課題となっている。現在、対象となっている喜寿（77歳）祝については、単にお祝するだけではなく、健康寿命の延伸や生きがいづくりの支援に向けて活用できるよう具体的に検討する。
令和4年度予算に向けて	寿賀祝対象年齢について引き続き検討を行い、特に市の平均寿命に満たない年齢での77歳喜寿祝については令和5年度から見直す方向で代替事業などの検討を進めて行く。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	天野　奥津江　☑	天野　奥津江　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	老人福祉活動事業			款項目	03-01-02	評価責任者	天野奥津江
担当部	福祉保健部	担当課	長寿介護課	担当	高齢者支援室	記入者	清水　友美子
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市地区敬老会補助金交付要綱		
事業実施方法	その他			←その他の場合の詳細	補助金等支出事業		

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	2	健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 老人クラブ月待の湯利用料助成：60歳以上高齢者、ねんりんピック参加支援：65歳以上高齢者、敬老会補助対象：70歳以上の敬老会参加者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 老人クラブ活動月待ちの湯の利用料助成、ねんりんピックの参加支援（参加者へ昼食の提供、バス送迎）敬老会開催への補助		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 高齢者の閉じこもりを防止し、社会参加の機会を創出することにより、健康的でいきいきとした生活を送ることができるよう支援する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		2,644,000円		2,738,000円					
	決算額[Ｂ]		2,092,960円		1,710,171円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		79.2%		62.5%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		・老人クラブ月待ちの湯利用料負担(835,840円) ・いきいき山梨ねんりんピック事業(108,120円) ・自治会等への敬老会補助(1,149,000円)		・自治会等への敬老会補助(1,694,965円)					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	2,092,960円		1,710,171円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		2,092,960円		1,710,171円					
人件費	一般職員		30人日	804,650円	30人日	801,485円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		804,650円		801,485円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			2,897,610円		2,511,656円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
敬老会開催数	敬老会を開催する自治会等の数（小計）	箇所	目標値		40.0	40.0	40.0	40.0
			実績値	39.0	35.0	50.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.4	3.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	敬老会への補助事業により、敬老会の継続開催につながっているが、自治会役員も毎年交代となり、自治会の担い手の高齢化や事務負担等の理由から継続実施が難しくなってきている状況もうかがえる。
令和2年度	コロナ禍の中で、ねんりんピックや老人クラブ入浴事業は実施できない状況にあったので、敬老会については臨時的に祝品の配布に対して補助を行い、声掛けや見守りの取り組みにつなげることができた。地域での関係性が希薄している中で、外出機会の創出に加え地域のつながりづくりを支援していく必要性がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	高齢者の閉じこもりを防止し、外出の機会を確保するため、身近な場所で集える「い一ばしょ」づくりをさらに推進するとともに、敬老会や老人クラブ活動についても継続して支援していく。
令和4年度予算に向けて	喜寿（77歳）祝の見直しと並行して、敬老会への補助制度についても見直しを行い、健康寿命の延伸や高齢者の社会参加及び生きがい支援につながる事業となるよう検討を行う。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	天野　奥津江　☑	天野　奥津江　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地域福祉支援事業			款項目	03-01-02	評価責任者	天野奥津江
担当部	福祉保健部	担当課	長寿介護課	担当	高齢者支援室	記入者	清水　友美子
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	老人福祉法		
事業実施方法				←その他の場合の詳細	一部委託、補助金等支出事業		

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	2	健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 老人クラブ会員、介護保険サービス利用者で支援を要する者、在宅生活高齢者で支援を要する者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 各地域の老人クラブ活動の支援、在宅独居等で支援を要する高齢者に対し寝具丸洗い等の支援、介護保険サービス利用者で支援を要する者に対し個人負担金の一部助成を行う。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 老人クラブ活動への支援により高齢者が元気でいきいきとした生活を送ることができるよう支援するとともに、介護保険サービス利用の充実を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		6,470,000円		6,872,000円					
	決算額[Ｂ]		5,356,196円		3,858,078円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		82.8%		56.1%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		・老人クラブ活動補助 (2,414,657円) ・布団丸洗い事業 (390,000円) ・介護保険サービス利用補助 (669,279円)		・老人クラブ活動補助 (2,497,432円) ・布団丸洗い事業 (393,361円) ・介護保険サービス利用補助 (425,068円)					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金	2,028,000円		1,705,000円					
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	3,328,196円		2,153,078円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		5,356,196円		3,858,078円					
人件費	一般職員		25人日	670,542円	25人日	667,904円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		670,542円		667,904円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			6,026,738円		4,525,982円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
老人クラブ数	老人クラブ数（小計）	箇所	目標値		43.0	43.0	44.0	44.0
			実績値	42.0	42.0	41.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	3	3		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.2	3.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	老人クラブ会員の高齢化や新規加入者の減少により、活動の維持が困難となる恐れもある。新規会員を確保するための対策を検討する。
令和2年度	老人クラブについては、役員の担い手不足や新規加入者の確保などの課題がある。高齢者像が変化している中で、より参加しやすい環境を整えられるよう関係者と協議し、継続支援を行っていく。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	老人クラブという名称に抵抗を感じている高齢者もいるため、参加しやすい名称への変更も検討しながら、継続して活動を行っていけるよう支援する。
令和4年度予算に向けて	老人クラブの事務局である社会福祉協議会との情報共有を図り、高齢者が参加しやすい体制づくりや、魅力ある活動内容の検討などにより、引き続き老人クラブ活動の継続支援を行う。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	天野　奥津江　☑	天野　奥津江　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	一般介護予防事業費			款項目	04-02-01	評価責任者	天野奥津江
担当部	福祉保健部	担当課	長寿介護課	担当	高齢者支援室	記入者	清水　友美子
会計	介護特会	事業開始年度	平成29年度	法定根拠・法令等	介護保険法		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	2	健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 65歳以上の全高齢者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 「いーばしょ」事業や健康ポイント事業などを通じて、自主的に運動や介護予防に取り組む高齢者を増加させる。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 健康づくり・介護予防事業を通じて健康寿命を延伸させる。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		10,543,899円	10,092,000円		
	決算額[Ｂ]		7,267,410円	5,914,446円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		68.9%	58.6%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		・「いーばしょ」づくり補助金　(3,424,480円) ・健康ポイント事業ポイント付与負担金　(1,323,537円) ・介護支援ボランティア業務委託(1,234,150円)	・「いーばしょ」づくり補助金　(1,809,940円) ・健康ポイント事業ポイント付与負担金　(2,087,534円) ・介護支援ボランティア業務委託(1,124,084円)		
	財源内訳	国庫支出金	1,816,853円	1,478,612円		
		県支出金	908,427円	739,306円		
		地方債				
		その他特定財源	2,870,626円	2,336,205円		
		一般財源	1,671,504円	1,360,323円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		7,267,410円	5,914,446円		

人件費		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	一般職員	50人日	1,341,083円	50人日	1,335,808円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]		1,341,083円		1,335,808円				
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			8,608,493円		7,250,254円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
「いーばしょ」の延べ参加人数	「いーばしょ」として開設している場所へ参加された延べ人数	人	目標値		5400.0	5600.0	5800.0	6000.0
			実績値	5392.0	6306.0	2400.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	4		
平均得点	4.6	4.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	市内23カ所の「いーばしょ」の継続支援をおこなっており、担当制で内容や代表者の相談にのることで、継続しての開催につながっている。新規開設への支援も行う中で、市内にある自主的な高齢者の集いの場も情報収集し、広く高齢者の参加ができるように周知活動を行っていくことで、高齢者の参加の機会を増やしてく。
令和2年度	コロナ禍において、セルフケアができるよう健康ポイント手帳を郵送するとともに、自主的に介護予防に取り組めるようフレイル予防の冊子を作成し全戸配布した。「いーばしょ」事業においては、感染予防対策の下、活動支援を行った。今後は、「いーばしょ」以外の通いの場にも専門職の関与による介護予防を進めていく。また介護ボランティアの普及啓発によりリーダー育成に努めていく。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	現在の「いーばしょ」を継続開催していけるようリーダー育成を行っていく。市内の自主的な高齢者の集いの場も情報収集し、広く高齢者の参加ができるように周知活動を行う。
令和4年度予算に向けて	引き続き「いーばしょ」の継続支援や新規開設支援を行うとともに、ニーズのある地域へ「いーばしょ」を開設できるよう、より戦略的に事業を進めていく。また、今後「いーばしょ」の開設数が増えても持続可能な事業となるよう既存の補助制度についての見直しを行う。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	天野　奥津江　☑	天野　奥津江　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	任意事業費			款項目	04-03-03	評価責任者	天野奥津江
担当部	福祉保健部	担当課	長寿介護課	担当	高齢者支援室	記入者	清水　友美子
会計	介護特会	事業開始年度		法定根拠・法令等	介護保険法		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	2	健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 65歳以上の虚弱な高齢者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 給食サービスや緊急通報装置の貸与など、都留市の状況に応じて様々な自立支援等に資するサービスを提供する。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できるよう支援する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額［A］		12,673,900円		12,641,000円					
	決算額［B］		9,330,716円		7,618,841円					
	執行率［B］/［A］		73.6%		60.3%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		・給食サービス事業業務委託(6,350,897円) ・ふれあいペンダント業務委託(2,579,146円) ・成年後見制度後見人謝金(216,000円)		・給食サービス事業業務委託(4,862,181円) ・ふれあいペンダント業務委託(2,465,652円) ・成年後見制度後見人謝金(216,000円)					
	財源内訳	国庫支出金	2,496,500円		2,089,988円					
		県支出金	1,248,250円		1,044,994円					
		地方債								
		その他特定財源	4,094,550円		3,235,295円					
		一般財源	1,491,416円		1,248,564円					
	財源合計［C］(=［B］)		9,330,716円		7,618,841円					
人件費	一般職員		80人日	2,145,733円	80人日	2,137,293円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計［D］		2,145,733円		2,137,293円					
総事業費［B］+［D］			11,476,449円		9,756,134円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
自立支援サービス利用者割合	75歳以上の後期高齢者で給食サービス・ふれあいペンダント・成年後見助成制度を利用している者の割合	%	目標値		2.33	2.32	2.31	2.30
			実績値	2.34	1.93	1.53		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.8	4.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	独居や高齢者のみの世帯が増加しており、本事業の利用を希望する高齢者の増加も見込まれるため、本事業のサービス対象者の見直しとともに、他のサービスでの対応や、ボランティア等による地域での見守り体制についても進めていく必要がある。
令和2年度	地域共生社会に向けて今後も必要なサービスと考えられる。ハード面だけではなくソフト面での見守り体制を構築できるよう進めていく必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	高齢者が住み慣れた自宅で継続して生活できるよう、本人の状況に応じたサービスの内容や現状のサービス対象者の見直し検討を行う。
令和4年度予算に向けて	それぞれの高齢者の状況に応じた見守りサービスを選択できるよう、既存の事業に加え、新たなサービスについて検討し検証を行っていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	天野　奥津江　☑	天野　奥津江　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	分部　照美

部名	福祉保健部	課名	健康子育て課	担当名	子育て支援担当	記入者	渡邉真由美

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	3.0人	3.0人		
	フルタイム会計年度任用職員	2.0人	0.0人		
	パートタイム会計年度任用職員	0.5人	0.8人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	3.0　人×　　0 日	3.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	2.0　人×　　0 日	0.0　人×　#DIV/0!　日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日			

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	03-02-01	一般会計	児童福祉対策費	×	×	○	×	なし	20人日	240人日	260人日					
	03-02-01	一般会計	児童扶養手当	○	×	○	×	なし	120人日		100人日					
	03-02-01	一般会計	児童手当支給事務	○	×	○	×	なし	100人日		90人日					
	03-02-01	一般会計	母子父子寡婦福祉対策費	○	×	○	×	なし	30人日	240人日	25人日					
1	03-02-01	一般会計	すこやか子育て医療費助成事業	○	×	×	×	要評価	140人日		40人日					
	03-02-01	一般会計	ひとり親家庭医療費助成事業	○	×	○	×	なし	80人日		40人日					
	03-02-01	一般会計	放課後児童健全育成事業	○	×	○	×	なし	100人日		109人日					
2	03-02-01	一般会計	子育て応援店事業費補助事業	○	×	×	×	要評価	5人日		2人日					
	03-02-01	一般会計	子ども・子育て支援事業	○	×	○	×	なし	125人日		60人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
3										
4										
5										
6										
		人日合計	720人日	480人日	726人日	0人日				

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	すこやか子育て医療費助成事業	款項目	03-02-01	評価責任者	分部　照美
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	子育て支援担当	記入者	渡邉真由美
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	すこやか子育て医療費助成金支給条例等
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
	施策	1	★地域における子育て支援の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 満18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子ども		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 医療保険各法の規定に基づく療養の給付を受けたとき、当該療養に係る一部負担金等を山梨県内の医療機関等については窓口無料、県外の医療機関等は償還払により助成する。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 こどもの疾病の早期発見・早期治療を促進するとともに、子育てに伴う保護者の経済的負担の軽減を図ることにより、子どもの健全な育成及び安心して子どもを産み育てる環境づくりを支援する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		123,261,000円	124,211,000円		
	決算額[Ｂ]		116,009,192円	88,606,279円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		94.1%	71.3%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		・窓口無料に係る現物給付 99,391,773円 ・償還払に係る現金給付 13,392,910円	・窓口無料に係る現物給付 80,690,517円 ・償還払に係る現金給付 5,577,628円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	21,675,131円	12,494,966円		
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	94,334,061円	76,111,313円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		116,009,192円	88,606,279円		
人件費	一般職員		140人日　3,755,033円	40人日　1,068,646円		
		対象外事業分	円	円		
	会計年度（フル）		0人日　円	0人日　円		
		対象外事業分	円	円		
	会計年度（パート）		円	60人日　449,640円		
	別担当職員		円	円		
	人件費合計[Ｄ]		3,755,033円	1,518,286円		
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			119,764,225円	90,124,565円		

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
事務負担の軽減	本事業に従事する職員の事務負担の軽減	人日	目標値		140.0	130.0	120.0	110.0
			実績値	190.0	140.0	100.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	5.0	5.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	令和元年11月より窓口無料の対象を15歳から18歳に延伸することにより、保護者の償還払申請等に係る負担軽減を図るとともに、職員の事務作業の削減を行った。また、医療機関の適正受診やジェネリック医薬品利用を促進を行い医療費の抑制策を講じた。
令和2年度	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、学校部活動等が制限されたことに伴い、窓口無料の対象外である整骨院等を受診する子どもが減少したこと、家庭内・学校等での感染症対策等の徹底により、医療機関への受診者が著しく減少したことにより、職員の事務負担が大幅に減少した。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	窓口無料年齢の拡大により、本事業実施に費やす職員人件費の削減が可能となるが、受診が気軽にできる環境となることから、医療費増加を招かないよう適正な医療機関受診やジェネリック医薬品の利用等を継続して周知する必要がある。
令和4年度予算に向けて	新型コロナウイルス感染症の影響がどの程度、医療機関への受診動向に影響を及ぼすか予測できない状況ではあるが、引き続き適正な医療機関受診やジェネリック医薬品の利用を促進する。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子　☑	分部照美　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	子育て応援店事業費補助事業	款項目	03-02-01	評価責任者	分部　照美
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	子育て支援担当
記入者	渡邉真由美				
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市子育て応援店登録事業実施要綱
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
	施策	1	★地域における子育て支援の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 子どもの遊び場や授乳スペース、おむつ替えができる設備などを有する市内店舗又はそれらを新たに設置しようとする店舗		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 店舗登録：申請し、確定された店舗に「子育て応援店」の啓発用物品を交付 補助金：設備の改修、若しくは備品の購入等に対し補助金を交付		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 子育て世代が利用しやすい店舗等を増やすとともに、市民に周知することで子育て環境を整備する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[A]		300,000円		100,000円					
	決算額[B]		円		25,000円					
	執行率[B]/[A]		0.0%		25.0%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		・令和元年度は執行見込無		・子育て応援店登録件数 美容室　1件					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源			25,000円					
	財源合計[C](=[B])		円		25,000円					
人件費	一般職員		5人日	134,108円	2人日	53,432円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[D]		134,108円		53,432円					
総事業費[B]+[D]			134,108円		78,432円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
登録店舗数	「子育て応援店」登録店舗数	件	目標値		10.0	10.0		
			実績値	9.0	9.0	10.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	2	2		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	1	1		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	2	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3		
達成度（目標が実現できているか）	1	5		
平均得点	1.8	2.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	登録店舗について、子育て世代に対するサービス提供を行う店舗等を対象とすること等を検討したが、県が実施する「やまなし子育て応援カード」事業と内容が重複するため見合わせることとした。これまでどおりの事業内容であれば市民ニーズは無いと判断し、令和2年度の状況により事業を廃止する予定である。
令和2年度	令和2年度は、新規開業の美容室1店舗が補助金を活用しキッズ・コーナーを設置し、応援店として登録されたが、子育て応援店への新たな登録を市内の事業所の状況を鑑みても困難である。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持				○								
	縮小												
	休止・廃止	○											
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	新型コロナウイルス感染症の影響により、補助率が実費の1/2であり、事業者が子どものための新たな設備投資を行うことは困難であると考えられ、補助金の在り方を検討する必要がある。
令和4年度予算に向けて	市内登録店舗は10店舗程度であり、補助金のニーズも減少傾向にある。今後の補助金の在り方については、実績が少ないことから、予算を削減しつつ、市民ニーズを把握していく必要がある。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子　☑	分部照美　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	分部照美

部名	福祉保健部	課名	健康子育て課	担当名	保育家庭担当	記入者	園部晃子

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	2.5人	2.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員	0.5人	1.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	2.5 人× 0 日	2.0 人× 0 日	人× 日	人× 日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人× 日	人× 日	人× 日	人× 日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	03-02-01	一般会計	保育支援費	○	×	○	×	なし	200人日		200人日					
	03-02-02	一般会計	子ども・子育て支援教育・保育給付費	○	×	○	×	なし	300人日		200人日					
	03-02-02	一般会計	子ども・子育て支援施設等利用給付費	×	×	○	×	なし	100人日		84人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
		人日合計	600人日		484人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	分部照美

部名	福祉保健部	課名	健康子育て課	担当名	子ども家庭担当・健康づくり担当	記入者	布施由美子

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	9.0人	8.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員	3.0人	3.3人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	9.0 人× 0 日	8.0 人× 0 日	人× 日	人× 日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人× 日	人× 日	人× 日	人× 日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
1	04-01-03	一般会計	母子健診・相談事業	○	×	×	×	要評価	384人日		440人日					
2	04-01-03	一般会計	母子健康づくり事業	○	×	×	×	要評価	110人日		61人日					
3	04-01-04	一般会計	健康教育・相談事業	○	×	×	×	要評価	172人日		150人日					
4	04-01-04	一般会計	健康診査事業	○	×	×	×	要評価	131人日		90人日					
5	04-01-04	一般会計	がん検診事業	○	×	×	×	要評価	90人日		120人日					
6	04-01-01	一般会計	保健衛生業務経費	○	×	×	×	要評価	285人日		285人日					
7	04-01-02	一般会計	予防接種事業	○	×	×	×	要評価	50人日		55人日					
	04-01-03	一般会計	未熟児養育事業	×	×	○	×	なし	15人日		15人日					
8	04-01-02	一般会計	感染症予防事業	○	×	×	×	要評価	5人日		720人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
9	個別ケース訪問事業	子ども家庭担当・健康づくり担当	282人日							
10	個別ケース所内相談事業	子ども家庭担当・健康づくり担当	276人日							
11	連絡調整コーディネート事業（各関係機関との連携）	子ども家庭担当・健康づくり担当	276人日							
12	個別及び地域ケース会議	子ども家庭担当・健康づくり担当	84人日							
		人日合計	2160人日		1936人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	母子健診・相談事業			款項目	04-01-03	評価責任者	分部照美
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	子ども家庭担当・健康づくり担当	記入者	布施由美子
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	母子保健法、児童福祉法、次世代育成支援対策推進法、やまなし子ども子育て条例等		
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
	施策	3	★子ども・保護者に対する健康の確保・増進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 妊産婦及びその家族、また、子育て中の保護者。乳幼児。		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 子育て世代包括支援センター事業、妊婦乳児一般健診、乳児全戸訪問、乳幼児健診、産後健診及び事後フォロー相談、新生児聴覚検査		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 妊娠中から出産後の母親の身体的心理的安定を図ることができ、安心して子育てに臨むことができる。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		34,334,168円	35,079,402円		
	決算額[B]		27,603,762円	26,073,987円		
	執行率[B]/[A]		80.4%	74.3%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		報酬 820,882円 賃金 1,278,750円 報償費 1,656,000円 委託料 18,943,076円 負担金、補助及び交付金 3,853,346円	報酬 1,061,076円 報償費 2,427,000円 委託料 16,759,085円 負担金、補助及び交付金 3,749,783円		
	財源内訳	国庫支出金	2,186,100円	1,382,000円		
		県支出金	351,000円	238,000円		
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	25,417,662円	33,459,402円		
	財源合計[C](=[B])		27,954,762円	35,079,402円		

人件費		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	一般職員	384人日	10,299,520円	440人日	11,755,109円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[D]		10,299,520円		11,755,109円				
総事業費[B]+[D]			37,903,282円		37,829,096円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる割合	4か月健診の問診票からゆったりとした気分で子どもと過ごせる割合	%	目標値		91.8	92.0	93.0	95.0
			実績値	91.4	87.7	87.6		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	4.0	4.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	妊産婦健診や不妊治療への助成などにより、出産しやすい環境づくりを整備してきた。更に、令和元年度より産後ケアセンターの自己負担金を全額助成し、妊娠への周知を行ったところ、前年度実績18泊から今年度27泊（R2.1月）と利用が増え、出産後の母親の不安軽減につながった。
令和2年度	新型コロナウイルスの影響により一部延期となった乳幼児健診において、感染予防を徹底する中で実施し、育児相談や保護者の不安の軽減を図り子育て支援を実施してきた。5歳児健診を新規にたちあげ、保護者や保育園等との連携を図り就学に向けての準備を行った。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持					○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		妊婦健診費用の助成の拡充											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	子育てにおいては経済的な支援が必要であり、特に妊婦健康診査においては保険適用外であり自己負担金が生じているため経済的負担の軽減をはかる支援の拡充を検討していく。
令和4年度予算に向けて	不妊治療助成事業において、治療費が高額となる体外受精や顕微授精は、国が保険適応とする動向があるため、助成内容を確認する中で経済的支援の軽減が図れるよう検討していく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 ☑	分部照美 ☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	母子健康づくり事業			款項目	04-01-03	評価責任者	分部照美
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	子ども家庭担当・健康づくり担当	記入者	布施由美子
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	母子保健法、児童福祉法、次世代育成支援対策推進法、やまなし子ども子育て条例等		
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
	施策	3	★子ども・保護者に対する健康の確保・増進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 妊産婦、子育てをしている保護者、乳幼児及び学童		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 ﾏﾀﾆﾃｨｸﾗｽ、離乳食教室、子育て応援セミナー、赤ちゃん広場、すくすく教室等		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 妊娠出産子育てに関する情報提供や各種体験・相談事業により、切れ目のない支援体制を構築する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額［A］		2,424,000円	2,394,000円		
	決算額［B］		1,791,878円	809,390円		
	執行率［B］/［A］		73.9%	33.8%		
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		賃金 476,000円 報償費 702,000円 委託料 262,800円 負担金、補助及交付金 231,100円	報償費 180,000円 需用費 38,390円 負担金、補助及交付金 195,000円		
	財源内訳	国庫支出金	150,000円	57,000円		
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	1,641,878円	2,337,000円		
	財源合計［C］(=［B］)		1,791,878円	2,394,000円		

人件費		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	一般職員	110人日	2,950,383円	61人日	1,629,686円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計［D］		2,950,383円		1,629,686円				
総事業費［B］+［D］			4,742,261円		2,439,076円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
子育てが楽しいと思う人の割合	4か月健診の問診票から子育てが楽しいと回答した人の割合。	%	目標値		90.0	100.0	100.0	100.0
			実績値	89.3	98.7	87.3%		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	1		
平均得点	4.6	3.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	マタニティクラスや離乳食教室等においては、開催時期や回数が限られておりまた、参加者が一部の方となっている。子育てについて気軽に相談できるよう体制整備が必要である。
令和2年度	新型コロナウイルスの感染予防のため、赤ちゃん広場、離乳食教室、すくすく教室において事業を一部または全部を中止してきたため、個別に状況を確認し子育て支援を行った。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度 コスト 削減	維持	増加	令和4年度 コスト 削減	維持	増加	令和5年度 コスト 削減	維持	増加	令和6年度 コスト 削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	各種教室に参加していない方も多いため、子育てサークル（ベビタス・ママタス、にこ研等）や子育て支援センター、愛育会や主任児童委員の地域組織との連携を図り、保護者が気軽に相談できる体制を整備していく必要がある。
令和4年度予算に向けて	子育て世代包括支援センターの機能が充実できるよう、子育て中の保護者によりそった切れ目ない支援が行えるよう、子育ての情報の発信をアプリを通じて行っていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 ☑	分部照美 ☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	健康教育・相談事業			款項目	04-01-04	評価責任者	分部照美
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	子ども家庭担当・健康づくり担当	記入者	布施由美子
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法				←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	1	★ライフステージに応じた健康づくり
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 一般市民		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 各地域、各組織等に対し、生活習慣病等および心の健康教育・相談を実施		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 生活習慣病の予防・心身の健康増進のために、市民一人一人が生活習慣の改善が図れるよう健康教育を通して支援する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額［A］		9,984,162円	8,959,000円		
	決算額［B］		8,206,287円	5,164,184円		
	執行率［B］/［A］		82.2%	57.6%		
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		委託料 4,115,864円 需用費 1,581,296円 賃金報償費 1,863,915円	委託料 4,009,633円 需用費 543,052円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	710,000円	673,000円		
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	7,496,287円	5,079,051円		
	財源合計［C］(=［B］)		8,206,287円	5,752,051円		
人件費	一般職員		172人日　4,613,327円	0人日　円		
		対象外事業分	円	円		
	会計年度（フル）		0人日　円	0人日　円		
		対象外事業分	円	円		
	会計年度（パート）		円	円		
	別担当職員		円	円		
	人件費合計［D］		4,613,327円	円		
総事業費［B］+［D］			12,819,614円	5,164,184円		

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
健康教育相談回数	各種健康教育・相談の回数（年間）の増加	回	目標値		45.0	47.0	50.0	52.0
			実績値	44.0	47.0	11.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	3		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	4		
平均得点	4.4	4.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	健康づくり事業（委託事業）2年目で、1年目の参加者の成果が見られてきている。いきいき動かし隊においては、卒業生が市民への生活習慣改善普及員の役割を担えるような啓発に取り組んでいく必要がある。健康ポイント事業においては、利用率、ポイント還元率も低い。インセンティブ事業の工夫が必要である。
令和2年度	いきいき動かし隊においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて内容の実施をした。各々の実践への働きかけについて工夫していく必要がある。健康ポイント手帳についても市主催のイベント等が中止になる中でポイント還元率が低く、利用について工夫していく必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持	○				○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		健康ポイント事業											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	健康ポイント事業においては、令和２年度、ポイント対象項目の工夫やポイント制限の改善、また、市民への周知の強化等、取り組みを見直しながら、実績を上げていきたい。
令和4年度予算に向けて	健康ポイント事業において、ポイント対象であるイベント等の項目の変更などを検討し、市民がより身近に実践しやすい内容にし、周知の強化を図る。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 ☑	分部照美 ☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	健康診査事業			款項目	04-01-04	評価責任者	分部照美
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	子ども家庭担当・健康づくり担当	記入者	布施由美子
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	健康増進法		
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	1	★ライフステージに応じた健康づくり
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 20歳以上39歳以下の方で会社等において健康診断を受ける機会のない人		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 基本健康診査		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 法定健診の対象外である39歳以下の人に対して、個人の健康意識の向上と健康の保持増進を図るきっかけの一つとして健康診査を実施する機会を提供する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額［A］		8,923,060円	11,391,000円		
	決算額［B］		7,540,112円	4,409,518円		
	執行率［B］/［A］		84.5%	38.7%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		委託料　7,419,830円 負担金　90,900円	委託料　3,942,610円 負担金　90,900円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	271,000円	562,000円		
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	7,269,112円	1,749,318円		
	財源合計［C］(=［B］)		7,540,112円	2,311,318円		

人件費		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	一般職員	131人日	3,513,638円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計［D］		3,513,638円		円				
総事業費［B］+［D］			11,053,750円		4,409,518円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
39歳以下の受診者割合	法定健診の対象外である20歳以上39歳以下の受診者が増加する。	%	目標値		6.5	7.5	7.8	8.0
			実績値	5.9	7.2	0.3		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	5.0	5.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	国保加入者数の状況を見ると、３９歳以下の受診率は５．９％となっている。２０歳代からの糖尿病予備軍対象者もいることから、若年層からの健診意識の向上を図る必要がある。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、集団での実施が予定より4分の１の日程しか実施できず、個別健康診査が実施できるように体制を整えたが、受診率が伸びなかった。今後の健康診査の在り方として、集団健診・個別健康診査も選択でき、受診率につながるよう体制を整えていく必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○				○						
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）					個別健康診査								

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	対象者の特性に応じて、企業や関係機関と連携する中で、周知方法等工夫する中で、受診行動の向上を図り受診者数を増加させる。
令和4年度予算に向けて	令和3年度の集団健診、個別健診の受診傾向をみながら周知方法を工夫し、受診者数の増加を図る。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子　☑	分部照美　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	がん検診事業			款項目	04-01-04	評価責任者	分部照美
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	子ども家庭担当・健康づくり担当	記入者	布施由美子
会計	一般会計	事業開始年度	H10年 老人保健法から一般財源化	法定根拠・法令等	健康増進法		
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	1	★ライフステージに応じた健康づくり
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 20歳以上の一般市民（ただし、前立腺がん：50歳以上の男性・乳がんは30歳以上の女性・子宮は20歳以上の女性）		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 胃がん、肺がん、大腸がん検診、肝がん検診、前立腺がん検診、乳がん検診については、特定健診と同日にパス検診として実施　子宮がん、乳がん検診については、医療機関において実施。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 がん検診を受診することにより、早期発見・早期治療にむすびつけ、がんによる死亡率を低下させる。		

２．実施結果（DO）

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]	34,811,778円	35,738,143円		
	決算額[B]	32,904,894円	19,993,561円		
	執行率[B]/[A]	94.5%	55.9%		
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）	委託料 32,468,057円 役務費 293,354円	委託料 19,409,640円 役務費 226,480円		
	財源内訳　国庫支出金	276,000円	252,000円		
	財源内訳　県支出金				
	財源内訳　地方債				
	財源内訳　その他特定財源				
	財源内訳　一般財源	32,628,894円	34,582,373円		
	財源合計[C](=[B])	32,904,894円	34,834,373円		

人件費									
一般職員	90人日	2,413,950円	0人日	円				
対象外事業分		円		円				
会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
対象外事業分		円		円				
会計年度（パート）		円		円				
別担当職員		円		円				
人件費合計[D]		2,413,950円		円				
総事業費[B]+[D]		35,318,844円		19,993,561円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
各種がん検診受診率の平均	胃、肺、肝がん、大腸がん、前立腺がん検診、乳がん検診、子宮がん検診の受診率	%	目標値		15.0	18.0	20.0	23.0
			実績値	14.6	14.4	7.5		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	3		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	4.0	3.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	国への報告の算定方法の変更（分母を人口とする）により受診率は下がっている。がん検診の受診率向上のため、周知を工夫していく必要がある。また、精密検査の受診率を増加させることを強化していく必要がある。 国のがん検診指針に基づいた、受診者の管理および市民への周知が徹底していく。
令和2年度	集団検診が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて縮小して実施となったため、個別がん検診の選択ができるよう個別がん検診の補助が受けられるよう整備した。がん検診の精密検査受診率の向上については引き続き強化していくことが必要となる。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度 コスト 削減	維持	増加	令和4年度 コスト 削減	維持	増加	令和5年度 コスト 削減	維持	増加	令和6年度 コスト 削減	維持	増加
成果の方向性	拡大						○						
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）					個別がん検診								

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	受診率向上に向け、周知方法を工夫する。また精密検査となった者への受診勧奨を検査機関と連携を図りながら、個人的な支援を入れながら徹底していく。
令和4年度予算に向けて	がん検診の受診率向上のため、がん検診の必要性について理解を得られる周知方法等検討していく。精密検査の受診率も同様に向上するよう。個別での働きかけの強化をしていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 ☑	分部照美 ☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	保健衛生業務経費			款項目	04-01-01	評価責任者	分部照美
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	子ども家庭担当・健康づくり担当	記入者	布施由美子
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法				←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	2	地域医療体制の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民及び保健師等		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 保健衛生業務に要する経費、保健師の資質の向上のための経費、健康科学大学入学奨励のための経費		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 保健業務の質の向上。健康科学大学入学生の増加		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		31,164,000円	34,668,922円		
	決算額[Ｂ]		28,245,555円	25,317,504円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		90.6%	73.0%		
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		負担金 22,335,640円 委託料 4,301,000円 補助金 1,200,000円	委託料 4,178,000円 負担金 19,036,005円 補助金 1,820,000円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	1,495,000円	1,416,000円		
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	26,750,555円	33,266,000円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		28,245,555円	34,682,000円		
人件費	一般職員		285人日　7,644,175円	285人日　7,614,105円		
		対象外事業分	円	円		
	会計年度（フル）		0人日　円	0人日　円		
		対象外事業分	円	円		
	会計年度（パート）		円	円		
	別担当職員		円	円		
	人件費合計[Ｄ]		7,644,175円	7,614,105円		
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			35,889,730円	32,931,609円		

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
健康科学大学看護学部入学奨励補助金利用者数	健科大入学者の負担を軽減し、看護師養成者数を増やし、市内医療機関の看護職員の増加を促す。	人	目標値		12.0	12.0	10.0	12.0
			実績値	11.0	4.0	8.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3	3		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	3		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.4	3.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	休日夜間急患診療体制については夜間の診療がなくなったが、2次医療機関の輪番制の体制が整備されている。健康科学大入学奨励補助金に対象者については、学校と連携をとることで入学者の把握が出来ている。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響で、小児救急利用者の激減により、負担金が倍額となり、補正対応とした。しかし、その分、小児の重症患者の増加等問題点は見れず、そもそもの小児救急の利用者が適切に利用しているかの把握が必要である。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度 コスト 削減	維持	増加	令和4年度 コスト 削減	維持	増加	令和5年度 コスト 削減	維持	増加	令和6年度 コスト 削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	県の看護担当及び健康科学大学と連携を図りながら、助成制度の周知を強化し、入学希望者を募る。 小児救急利用者が適切に利用するよう、周知啓発活動を行う。
令和4年度予算に向けて	県や大学関係者と連携を図りながら、助成制度の周知を行う。小児救急利用者が適切に利用できるよう、引き続き啓発活動を行っていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 ☑	分部照美 ☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	予防接種事業			款項目	04-01-02	評価責任者	分部照美
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	子ども家庭担当・健康づくり担当	記入者	布施由美子
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	予防接種法		
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	2	地域医療体制の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 定期予防接種対象者。大人の風しんワクチン対象者。インフルエンザ助成対象者。		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 予防接種法に基づく定期予防接種の実施。任意接種として、ロタウイルスワクチン、小児インフルエンザ、大人の風しんの予防接種費用の助成。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 予防接種を実施することで、伝染の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		76,433,939円	74,817,000円		
	決算額[Ｂ]		67,253,099円	71,647,869円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		88.0%	95.8%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		賃金 557,420円 委託料 60,858,063円 負担金・補助金 4,804,169円	賃金 418,450円 委託料 64,040,221円 負担金・補助金 6,487,700円		
	財源内訳	国庫支出金	2,490,000円	1,921,000円		
		県支出金	130,000円			
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	64,763,099円	72,896,000円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		67,383,099円	74,817,000円		
人件費	一般職員		50人日　1,341,083円	55人日　1,469,389円		
	対象外事業分		円	円		
	会計年度（フル）		0人日　円	0人日　円		
	対象外事業分		円	円		
	会計年度（パート）		円	円		
	別担当職員		円	円		
	人件費合計[Ｄ]		1,341,083円	1,469,389円		
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			68,594,182円	73,117,258円		

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
接種率	定期予防接種の接種者割合 ・接種期間の最終年齢より1歳上の年齢での接種率を算出	%	目標値		95.0	95.0	95.0	100.0
			実績値	91.2	91.3	93.5		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	1	4		
平均得点	4.2	4.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	小学校6年生で実施する2種混合（ジフテリア・破傷風）については、接種率が84.9%であり、他の予防接種率90%代と比較して低い現状である。
令和2年度	定期接種とならない令和2年4月から令和2年7月生まれまでの保護者に対して、任意接種であるロタウイルスワクチンの費用助成を行うことによって、保護者の経済的負担の軽減を図り子育て支援を行った。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	予防接種の受診率の向上を図るため未接種者通知等よる接種勧奨を積極的に行い、特に接種率の低い二種混合（小学校６年生）においては、中学校との連携を図り中学校入学式説明会において保護者へ接種勧奨をすることにより受診率の向上を目指す。
令和4年度予算に向けて	乳幼児期において実施する予防接種は、種類や回数が多く、スムーズに接種ができるようアプリの導入をすすめ、接種が滞っている保護者に関しては接種勧奨を実施していく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子　☑	分部照美　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	感染症予防事業			款項目	04-01-02	評価責任者	分部照美
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	子ども家庭担当・健康づくり担当	記入者	布施由美子
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法				←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	2	地域医療体制の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民一般及び各関係機関		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 感染症予防の普及啓発。新型インフルエンザ等対策の一環として、感染症予防医薬材料の備蓄。（新型インフルエンザ等行動計画に基づいて行動）		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 感染症のまん延を予防する。有事の際、実施体制がとれる。		

２．実施結果（DO）

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額［A］	522,541円	117,000円		
	決算額［B］	522,541円	65,340円		
	執行率［B］/［A］	100.0%	55.8%		
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）	需用費 522,541円	需用費65,340円		
	財源内訳　国庫支出金				
	財源内訳　県支出金				
	財源内訳　地方債				
	財源内訳　その他特定財源				
	財源内訳　一般財源	522,541円	65,340円		
	財源合計［C］(=［B］)	522,541円	65,340円		

人件費		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	一般職員	5人日	134,108円	720人日	19,235,633円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計［D］		134,108円		19,235,633円				
総事業費［B］+［D］			656,649円		19,300,973円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
感染症予防ガイドライン策定数	保育園等や放課後児童クラブや高齢者施設において感染症予防対策を策定した数（累計）	箇所	目標値		13.0	35.0	40.0	46.0
			実績値	1.0	1.0	12.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	1	2		
平均得点	4.2	4.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	これまではっきりとした備蓄計画を策定していなかったため、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、マスクやアルコール消毒の備蓄が十分ではなく対応に苦慮した。 今後は、各部署および各施設における感染症予防体制整備を図っていく必要がある。
令和2年度	新型コロナウイルスの影響により、庁内全体一丸となり感染予防対策を講じ、市民や保育園、放課後児童クラブへの周知や啓発を行った。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○		○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		備蓄の必要な量の把握を行い、不足分の整備。											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	有事の際に備え、庁内および関係機関との連携がスムーズ図れるよう体制整備の強化に努める。 また、備蓄用品についての必要量の見直しを行い、補充に努め感染症予防の徹底を図る必要がある。 市民や各課においての備蓄の必要性について周知していく必要がある。
令和4年度予算に向けて	新型コロナウイルスの終息が見通せない中で、引き続き感染予防の徹底が図られるよう市民への周知を行い、有事の際に備えられるよう啓発を行っていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子　☑	分部照美　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	分部照美

部名	福祉保健部	課名	健康子育て課	担当名	宝保育所	記入者	谷内ゆかり

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	1.0人	1.0人		
	フルタイム会計年度任用職員	9.0人	6.0人		
	パートタイム会計年度任用職員	7.0人	6.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	1.0 人× 0 日	1.0 人× 0 日	人× 日	人× 日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	9.0 人× 0 日	6.0 人× 0 日	人× 日	人× 日
	配分残0人日	配分残0人日		

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
1	03-02-03	一般会計	保育所管理費	○	○	×	×	要評価	180人日	100人日	150人日	100人日				
2	03-02-03	一般会計	保育所事業費	○	×	×	×	要評価	20人日	1500人日	72人日	1200人日				
	03-02-03	一般会計	特別保育事業	×	×	×	×	なし	40人日	560人日	20人日	152人日				

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
3										
4										
5										
6										
		人日合計	240人日	2160人日	242人日	1452人日				

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	保育所管理費			款項目	03-02-03	評価責任者	分部照美
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	宝保育所	記入者	谷内ゆかり
会計	一般会計	事業開始年度	昭和29年度	法定根拠・法令等	都留市宝保育所条例・都留市宝保育所管理規則		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
	施策	2	保育サービスの充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 未就学児童、保護者		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 保育に欠ける未就学児に、健全な保育環境と適切な保育を提供するための、施設の管理と運営		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 入所児が施設を安全に利用できるように、適切な施設・設備の管理を行い、健全な保育事業が行えるよう環境を整備する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		11,710,319円		9,671,000円					
	決算額[Ｂ]		9,876,698円		6,925,643円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		84.3%		71.6%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		嘱託医報酬　240,000円 臨時保育士等賃金 2,897,757円 暖房機更新ほか修繕 3,019,742円 土地賃貸借料1,175,000円		嘱託医報酬　180,000円 臨時保育士等賃金 836,352円 給食室エアコン取替ほか修繕 1,585,240円 土地賃貸借料1,175,000円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金	128,000円		75,000円					
		地方債								
		その他特定財源	888,461円		415,475円					
		一般財源	8,860,237円		6,435,168円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		9,876,698円		6,925,643円					
人件費	一般職員		180人日	4,827,900円	150人日	4,007,424円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		100人日	902,000円	100人日	933,620円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		5,729,900円		4,941,043円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			15,606,598円		11,866,686円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
保護者の評価	保育所評価アンケート結果（A評価の割合）	%	目標値		96.5	96.7	96.7	96.7
			実績値	96.5	96.3	92.6		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	4.0	4.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	園舎建設から26年が経過し、施設、設備の老朽化が進んでいる。土地の賃貸借契約期限が迫っているので、今後の方向性について早急に結論を導き出し、保護者や関係者に説明し、周知したい。
令和2年度	施設、設備の老朽化により、大型遊具の撤去や塗装修繕、雨漏り・厨房エアコン取替修繕を行った。土地の賃貸借契約期限が次年度末で満了となるので、今後の方向性を決定し、それに伴う保育士の確保や施設整備を行うとともに、コロナ禍における保育のあり方を検討し保護者や関係者に信頼される保育環境を維持していく。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	入所児が施設を安全快適に利用できる環境整備に努める。職員定数の基準を維持できるように努める。
令和4年度予算に向けて	コロナ感染予防対策を図り安全快適に利用できる環境を整備するとともに、職員定数の基準を維持し保育の質向上につながる人的整備に努める。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子　☑	分部照美　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	保育所事業費			款項目	03-02-03	評価責任者	分部照美
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	宝保育所	記入者	谷内ゆかり
会計	一般会計	事業開始年度	昭和29年度	法定根拠・法令等	都留市宝保育所条例・都留市宝保育所管理規則		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
	施策	2	保育サービスの充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 未就学児童、保護者		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 入所児童の保育に必要な教材の購入、安心・安全な給食の提供及び食育促進		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 入所児童の健全な育成　安心・安全な給食の提供や食育の取り組みにより、肥満や痩せている園児の減少を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		4,667,000円		5,338,000円					
	決算額[Ｂ]		4,001,485円		4,696,179円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		85.7%		88.0%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		保育用教材等　256,573円 調理用光熱水費860,843円 給食食材費　2,635,817円		保育用教材等　277,797円 調理用光熱水費844,490円 給食食材費　3,328,975円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金	91,000円		52,000円					
		地方債								
		その他特定財源	1,306,475円		2,531,328円					
		一般財源	2,604,010円		2,112,851円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		4,001,485円		4,696,179円					
人件費	一般職員		20人日	536,433円	72人日	1,923,563円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		1500人日	13,530,000円	1200人日	11,203,438円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		14,066,433円		13,127,001円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			18,067,918円		17,823,180円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
園児の標準的発育度の割合	カウプ指数（乳幼児の発育程度の指数）が正常値の園児の割合	%	目標値		85.5	86.0	86.0	86.0
			実績値	85.3	84.6	87.8		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	1	5		
平均得点	3.8	4.6		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	10月から副食費を実費徴収することになり、改めて給食の内容を見直す機会とし、食材の選択を検討し、より良い栄養価の高い安全な給食の提供ができるように努めた。
令和2年度	昨年まで別会計としていた以上児の主食費が予算に含まれたことから、食材費は昨年より増加している。アレルギー対応を踏まえた食材の選択を行い、栄養士が食事と栄養について絵本などを取り入れながら食育指導し、好き嫌いなく安心安全な給食の提供が出来るように努めた。食物アレルギーのある子のエピペン対応なども必要となる。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	燃料費、光熱水費は、前年度の実績と当年度の執行状況を踏まえ、適切な使用に努める。児童の健全な育成に資するよう、アレルギー対応などの適切な食材選択に努め、給食を提供するとともに、好き嫌いをなくすよう食育についても指導することにより、標準的発育度の園児が増えるよう取り組んでいく。
令和4年度予算に向けて	光熱水費等は、適切な使用及び削減に努める。給食については、児童の健全な育成に資するよう、アレルギー対応などの適切な食材選択に努め、食事提供するとともに、保護者と協力しながら食育について指導することにより、好き嫌いや偏食をなくし標準的発育度の園児が増えるよう取り組んでいく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

		令和1年度	令和2年度	令和3年度
評価責任者	志村佳子 ☑	分部照美 ☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	清水　正彦

部名	産業建設部	課名	産業課	担当名	商工観光担当	記入者	鈴木　美智也

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	5.0人	5.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員	2.0人	3.5人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	5.0　人×　　0 日	5.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（**上の配分残が０となるよう**に分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	02-05-01	一般会計	統計調査事務費	×	×	○	×	なし	5人日		5人日					
	02-05-02	一般会計	農林業センサス	×	×	○	×	なし	40人日		5人日					
	02-05-02	一般会計	全国消費実態調査	×	×	○	×	なし	40人日		5人日					
	02-05-02	一般会計	工業統計調査	×	×	○	×	なし	40人日		5人日					
	02-05-02	一般会計	国勢調査	×	×	○	×	なし	10人日		250人日					
	02-05-02	一般会計	経済センサス調査区管理事業	×	×	○	×	なし	10人日		30人日					
	02-05-02	一般会計	経済センサス基礎調査	×	×	○	×	なし	10人日		10人日					
1	06-01-02	一般会計	金融対策事業	○	×	×	×	要評価	30人日		30人日					
2	06-01-02	一般会計	商工業振興対策事業	○	×	×	×	要評価	10人日		10人日					
3	06-01-02	一般会計	産業振興対策事業	○	×	×	×	要評価	200人日		100人日					
4	06-01-02	一般会計	労働対策事業	○	×	×	×	要評価	5人日		5人日					
5	06-01-03	一般会計	観光宣伝事業	○	×	×	×	要評価	100人日		50人日					
6	06-01-03	一般会計	自然観光管理事業	○	×	×	×	要評価	80人日		80人日					
7	06-01-03	一般会計	公園管理事業	×	○	×	×	要評価	10人日		10人日					
8	06-01-03	一般会計	ふるさと芸能事業	○	×	×	×	要評価	250人日		55人日					
9	06-01-03	一般会計	富士の麓の小さな城下町振興事業	○	×	×	×	要評価	100人日		50人日					
10	06-01-04	一般会計	宝の山ふれあいの里管理運営事業	○	○	×	×	要評価	200人日		200人日					
11	06-01-04	一般会計	戸沢の森和みの里管理運営事業	○	○	×	×	要評価	30人日		30人日					
12	06-01-04	一般会計	十日市場・夏狩湧水群管理運営事業	×	○	×	×	要評価	30人日		30人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
13	新型コロナウイルス感染症対策事業	商工観光担当			250人日					
14										
15										
16										
		人日合計	1200人日		1210人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	金融対策事業			款項目	06-01-02	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	鈴木　美智也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	4	★地場産業・商業の活性化と起業の支援
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市内小規模企業者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 利子補給等を実施することにより、市内小規模事業者の設備投資の活性化を促す。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 設備資金等を促進し、地域経済活動の安定に資する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額［A］		10,200,000円		9,200,000円					
	決算額［B］		8,171,872円		6,300,222円					
	執行率［B］/［A］		80.1%		68.5%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		小規模商工業者事業資金利子補給　8,098,872円 都留市創業者支援利子補給金 73,000円		小規模商工業者事業資金利子補給　6,223,222円 都留市創業者支援利子補給金 77,000円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	8,171,872円		6,300,222円					
	財源合計［C］(=［B］)		8,171,872円		6,300,222円					
人件費	一般職員		30人日	804,650円	30人日	801,485円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計［D］		804,650円		801,485円					
総事業費［B］+［D］			8,976,522円		7,101,707円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
利子補給金額	H30年度を基準とした小規模商工業者事業資金利子補給事業の累計補給額	千円	目標値		17000.0	24500.0	31500.0	38500.0
			実績値	9512.4	17611.3	23834.5		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.4	4.6		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	今年度は小規模商工業者事業資金利子補給金の要綱改正を行い、設備投資を含む融資のみを対象とすることとした。設備投資は将来的な経済活動に資する資金であり、設備投資が継続的に行われていることは地域経済活動が安定していると判断できる。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の拡大による事業活動への影響は大きく、将来的な経済活動に資する資金である設備投資が減少したと考えられる。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持					○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	HPでの制度紹介のほか、商工会、金融機関等の関連団体と協力し制度周知をすすめ、市内小規模事業者が設備投資を行う場合の制度利用促進を図る。
令和4年度予算に向けて	コロナ対策の無利子融資も行われているため、今後数年は状況を注視する必要がある。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	商工業振興対策事業			款項目	06-01-02	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	鈴木　美智也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	4	★地場産業・商業の活性化と起業の支援
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 商工会及び商工業者の組合または団体		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 地場産業等の事業者の展示会参加等を助成する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内中小事業者の販路拡大などを促し地場産業の発展を推進する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		9,969,000円		4,640,000円					
	決算額[Ｂ]		8,543,735円		3,717,115円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		85.7%		80.1%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		豊かな産業のあるまちづくり補助金　3,095,307円 ポイントシステム事業補助金 4,950,867円		豊かな産業のあるまちづくり補助金　3,281,000円 創業支援事業補助金 156,691円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金			40,000円					
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	8,543,735円		3,677,115円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		8,543,735円		3,717,115円					
人件費	一般職員		10人日	268,217円	10人日	267,162円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		268,217円		267,162円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			8,811,952円		3,984,277円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市内事業所数	市内に事業所を設置している法人数	事業所	目標値		834.0	836.0	838.0	840.0
			実績値	832.0	837.0	824.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	1		
平均得点	4.6	3.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	創業支援事業、空き店舗・空き工場活用促進事業など、新規の企業を促す制度の活用頻度が少ない。商工会と協力し、制度の周知を進めていく必要がある。
令和2年度	商工会等関係機関との協力のもと、空き店舗・空き工場活用促進事業補助金は1件の活用があった。また、特定創業支援事業については5件の申請があったが、全体としては新型コロナの影響により事業者にとって厳しい状況であった。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	HPでの制度周知と併せて、商工会と連携し、支援制度の周知を行う。
令和4年度予算に向けて	引き続き、HPでの制度周知と併せて、商工会や金融機関等と連携し、支援制度の周知を行う。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	産業振興対策事業			款項目	06-01-02	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	鈴木　美智也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	4	★地場産業・商業の活性化と起業の支援
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 企業		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 異業種交流による新しい試み、発展の可能性を検討し、企業誘致を積極的に推し進める。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 企業の経営の近代化、安定化のための振興策を進め、地場産業の総合的な振興を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		2,537,000円		10,872,000円					
	決算額[Ｂ]		328,727円		6,994,700円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		13.0%		64.3%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		工場誘致・地場企業総合振興事業補助金　225,000円 産業アドバイザー報償 36,000円		都留市企業立地支援（投下固定資産に係る支援金）6,943,700円 山梨県地域経済牽引事業促進協議会負担金　51,000円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	328,727円		6,994,700円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		328,727円		6,994,700円					
人件費	一般職員		200人日	5,364,333円	100人日	2,671,616円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		5,364,333円		2,671,616円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			5,693,060円		9,666,316円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
シルバー産業等製品開発支援事業補助金累計件数	シルバー産業等製品の開発研究、試作品開発、販売促進のため補助金を活用した累計件数	件	目標値		0.0	3.0	4.0	5.0
			実績値	0.0	0.0	0.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	1	2		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	1	1		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）		1		
平均得点	2.8	2.6		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	シルバー産業等製品開発支援事業補助金要綱を制定し、市内のものづくり事業者が行う新製品・新技術開発及び市場参入の支援制度が構築された。
令和2年度	新型コロナの影響もあり、シルバー産業等製品開発支援事業補助金の活用はなかったが、企業立地支援条例の活用が1件あった。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	HP及び商工会との連携により、シルバー産業等製品開発支援事業補助金の制度周知を行う。
令和4年度予算に向けて	引き続き、HP及び商工会との連携により、シルバー産業等製品開発支援事業補助金の制度周知を行う。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	労働対策事業			款項目	06-01-02	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	鈴木　美智也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	1	★生涯活躍のまち・つるを中心とした企業誘致と産業創生
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 学生・就労者		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 就労機会を確保するため、学生や就労者に対する支援策を講じる。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内労働力の確保と労働環境の改善に資する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		5,365,000円	7,590,000円		
	決算額[Ｂ]		4,447,250円	5,164,887円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		82.9%	68.0%		
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		シルバー人材センター負担金　4,283,000円 高校生等就職支援資格取得費補助金　144,250円	シルバー人材センター負担金　4,750,000円 高校生等就職支援資格取得費補助金　89,600円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	4,447,250円	5,164,887円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		4,447,250円	5,164,887円		

人件費								
一般職員	5人日	134,108円	5人日	133,581円				
対象外事業分		円		円				
会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
対象外事業分		円		円				
会計年度（パート）		円		円				
別担当職員		円		円				
人件費合計[Ｄ]		134,108円		133,581円				
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]		4,581,358円		5,298,468円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
高校生等就職支援資格取得費補助金累計件数	H30年度を基準とした高校生等就職支援資格取得費補助金利用累計件数	件	目標値		70.0	105.0	140.0	175.0
			実績値	35.0	85.0	115.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	5.0	5.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	高校生等就職支援資格取得費補助金については、都留興譲館高校の生徒を中心に、毎年度30件程度の制度活用があり、資格取得に関し効果を発揮している。
令和2年度	奨学金返還支援事業補助金は2件、高齢者継続雇用奨励金は1件の活用があり、高校生等就職支援資格取得費補助金の制度についても市内雇用の安定に効果が生まれている。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度に創設する奨学金返還支援補助金の制度周知を徹底し、市内の若手就労人口の増加を図る。
令和4年度予算に向けて	新型コロナウイルスの影響により厳しい雇用情勢にあることを鑑み、制度の周知を図り、安定雇用に繋げていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	観光宣伝事業			款項目	06-01-03	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	鈴木　美智也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	3	★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 観光客		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 観光PR事業の推進		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 都留市の観光資源等の知名度上昇		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額［A］		8,293,488円		13,708,000円					
	決算額［B］		7,267,142円		6,547,410円					
	執行率［B］/［A］		87.6%		47.8%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		観光協会運営事業補助金 4,500,000円 高尾山・リニア地区負担金 1,655,000円		観光協会運営事業補助金 1,180,272円 つるさんぽ増刷 1,815,000円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	7,267,142円		6,547,410円					
	財源合計［C］(=［B］)		7,267,142円		6,547,410円					
人件費	一般職員		100人日	2,682,167円	50人日	1,335,808円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計［D］		2,682,167円		1,335,808円					
総事業費［B］+［D］			9,949,309円		7,883,218円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
観光入込客数	各年度の観光入込客数	千人	目標値		1460.2	1510.2	1560.2	1608.6
			実績値	1400.2	1536.6	983.9		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	1		
平均得点	4.6	3.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	道の駅つる、名勝田原の滝公園などの観光客が増加している施設はあるが、それらの施設を拠点として市内の他の観光施設への観光客誘導につながっていない。
令和2年度	新型コロナウイスルの影響により、観光協会が関係する産業まつりや甲州軍団出陣等のイベントが中止となる等、外出を控える状況の中での観光推進は難しい状況であったが、観光協会においてアフターコロナを見据えて観光冊子「つるさんぽ」を刷新した。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	周遊コースの整備と観光案内事業の強化により、市内観光施設への周遊客を増加させ、市内滞在時間の延長を図る。
令和4年度予算に向けて	新型コロナウイルス収束後の観光回復に向けた観光需要の動向を注視し、イベント内容やPR方法の充実を図る。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	自然観光管理事業			款項目	06-01-03	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	鈴木　美智也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	3	★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 自然観光施設		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 自然観光施設を維持管理することにより良好な状況を保つ。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 自然観光資源への観光客増加を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		5,407,000円	1,215,000円		
	決算額[Ｂ]		4,939,650円	946,970円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		91.4%	77.9%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		案内板設置業務委託 2,629,000円 10登山道整備業務委託 600,000円	9登山道整備業務委託 540,000円 バイオトイレ清掃業務委託 120,000円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	4,939,650円	946,970円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		4,939,650円	946,970円		

人件費								
一般職員	80人日	2,145,733円	80人日	2,137,293円				
対象外事業分		円		円				
会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
対象外事業分		円		円				
会計年度（パート）		円		円				
別担当職員		円		円				
人件費合計[Ｄ]		2,145,733円		2,137,293円				
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]		7,085,383円		3,084,263円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
都留アルプス登山者数	フリーハイキングイベントの平均参加者数(小計)	人	目標値		120.0	125.0	130.0	135.0
			実績値	99.0	153.0	56.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	3	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3		
達成度（目標が実現できているか）	5	1		
平均得点	3.8	3.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	登山道の維持管理については地元自治会を中心に委託してきたが、自治会役員の高齢化により委託が厳しい状況が発生している。山岳愛好者を中心に、委託先の掘り起こしをしていく必要がある。
令和2年度	都市部から近く車で行き来できるため、コロナ禍においても登山客は比較的多い状況であった。都留市２１秀峰をはじめとした山々は、本市において重要な観光資源であるため、良好な整備を維持する必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	日本トレッキング協会に加入し、トレッキング愛好家への市内各登山コースの周知を進める。
令和4年度予算に向けて	登山前後に市内での消費活動につながるよう、情報収集及び発信を強化していくとともに、フリーハイクイベント等の実施により来訪客の増加を図る。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	公園管理事業			款項目	06-01-03	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	鈴木　美智也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	2	快適で機能的なまちづくり
	施策	2	計画的な土地利用
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 公園		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市内公園の維持管理		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 安全・安心な公園の利用		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		728,000円		1,188,550円					
	決算額[Ｂ]		415,312円		1,100,914円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		57.0%		92.6%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		仲町公園清掃管理業務委託 120,000円 城山公園清掃管理業務委託 120,000円		仲町公園サクラ枝打ち業務委託　440,000円 城山公園下刈り業務委託 270,948円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	415,312円		1,100,914円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		415,312円		1,100,914円					
人件費	一般職員		10人日	268,217円	10人日	267,162円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		268,217円		267,162円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			683,529円		1,368,076円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
巡回回数	仲町・城山公園の累計巡回回数	回	目標値		208.0	312.0	416.0	520.0
			実績値	104.0	208.0	312.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3	3		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.2	4.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	城山城跡を訪れる人が増加しているが、市内のその他の施設等に誘導するコース設定が整備されていないため、滞在時間の延長に結び付いていない。
令和2年度	歴史ブームの中、コロナ禍においても城山を訪れる人は比較的多い状況であり、重要な歴史文化・観光資源である勝山城跡を魅力ある歴史観光地として整備を進める必要がある。本年度より「お城山ルネサンス事業」として城山の整備と整備後の活用等の事業を開始した。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持					○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	森林経営管理制度推進において進めている城山の歴史的価値を保全し以前の姿を再生するための事業と並行して、つる観光戦略推進班において、城があった時代を想像させる等の仕組みづくりにより、ミュージアム都留や屋台展示庫、寺町通りへとつながるモデルコースの整備をすすめ、市外からの来訪者増加を図る。
令和4年度予算に向けて	歴史文化・観光資源として城山の環境整備を進めるとともに、歴史に主軸をおいたAR等観光コンテンツの実装に向けた検討を行う。また、城山と谷村城下町を結び、滞在時間の延長と市内での消費活動の拡大を図る。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	ふるさと芸能事業			款項目	06-01-03	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	鈴木　美智也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	3	★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民・来訪者		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 歴史文化的資源等の保存を支援する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 歴史文化的資源・郷土に伝わる芸能を伝承し、観光資源として来訪者増加を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		6,544,000円		6,543,000円					
	決算額[Ｂ]		6,473,107円		2,552,357円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		98.9%		39.0%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		ふるさと芸能継承事業補助金 5,183,753円 交通信号機移設改良修繕 748,440円		ふるさと芸能継承事業補助金 2,235,380円 下天神町大名行列保存事業補助金　225,000円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	6,473,107円		2,552,357円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		6,473,107円		2,552,357円					
人件費	一般職員		250人日	6,705,417円	55人日	1,469,389円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		6,705,417円		1,469,389円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			13,178,524円		4,021,746円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
累計観客数	ふるさと時代祭りの累計観客数	人	目標値		48000.0	74000.0	101000.0	129000.0
			実績値	23000.0	53000.0	53000.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	3		
平均得点	5.0	4.6		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	現在市がふるさと時代祭り実行委員会事務局を担っているが、市民が主体的に取り組むための組織構築を目指す必要がある。出演者確保のための募集方法の改善や、打上花火の協賛金・広告料等の収入の確保等、自走できる体制の構築に課題がある。
令和2年度	新型コロナウイルスの影響により、ふるさと時代祭りは中止となったが、代替事業として「思い出のふるさと時代祭り」の発行や屋台展示庫のライトアップ、映画「かぐらめ」の都留ＣＡＴＶ放送など、次年度以降に繋げる事業を実施した。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	他の地域にはない本市の伝統あるイベントとして「シビックプライド」の醸成を図り、歴史を継承していくとともに、観光客を意識したイベントとして、関係団体の協力のもとPR方法やイベント内容の更なる充実を図る。
令和4年度予算に向けて	関係団体と協力し、本市の伝統・文化を伝えるイベントの歴史を継承するとともに、「シビックプライド」の醸成を図り、観光客の来訪を意識した多角的なPRに取り組む。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	富士の麓の小さな城下町振興事業	款項目	06-01-03	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	鈴木　美智也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	3	★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 観光客		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 つる観光戦略に基づく観光事業推進		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 観光入込客数の増加を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		10,150,000円		19,310,000円					
	決算額[Ｂ]		8,194,428円		13,788,800円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		80.7%		71.4%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		観光振興事業業務委託 7,200,000円 都留ハイキングBOOK作成業務委託　842,400円		観光振興事業業務委託 7,200,000円 移動観光案内事業業務委託 2,554,200円					
	財源内訳	国庫支出金			2,333,650円					
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	8,194,428円		11,455,150円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		8,194,428円		13,788,800円					
人件費	一般職員		100人日	2,682,167円	50人日	1,335,808円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		2,682,167円		1,335,808円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			10,876,595円		15,124,608円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
観光入込客数	各年度の観光入込客数	千人	目標値		1460.2	1510.2	1560.2	1608.6
			実績値	1400.2	1536.6	983.9		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	1		
平均得点	4.6	4.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	つる観光戦略の策定により、令和4年度までのつる観光の方向性が示されたため、戦略の達成に向けた事業を実施していく必要がある。
令和2年度	移動観光案内所「つるビークル」を導入し、名勝田原の滝公園などから他の観光施設へ観光客を誘導するとともに、対面による観光案内によってリピーター獲得への体制構築を進めた。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	つる観光戦略を推進するため、観光振興公社と連携し、都留市の観光産業へ携わる事業者やボランティアの育成を図る。
令和4年度予算に向けて	つる観光戦略の推進のため、大型バスツアー誘致等において観光振興公社との連携を強化するとともに、国内観光におけるマイクロツーリズムの需要の拡大をふまえた、個人客に対する情報発信の充実を図る。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	宝の山ふれあいの里管理運営事業	款項目	06-01-04	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	鈴木　美智也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	
事業実施方法	委託（指定管理含）実施事業	←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	3	★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：利用者 対象物：宝の山いきものふれあいの里		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市が所有する施設の適正な管理		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 観光施設としての利用者の安全を守り利用者数の増加を図る		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額［A］		5,031,090円		10,326,450円					
	決算額［B］		4,882,332円		9,606,973円					
	執行率［B］/［A］		97.0%		93.0%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		指定管理者委託料 2,422,222円 ネイチャーセンター草刈手数料　616,892円		指定管理者委託料 2,444,444円 ネイチャーセンター草刈手数料　618,800円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	4,882,332円		9,606,973円					
	財源合計［C］(=［B］)		4,882,332円		9,606,973円					
人件費	一般職員		200人日	5,364,333円	200人日	5,343,231円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計［D］		5,364,333円		5,343,231円					
総事業費［B］+［D］			10,246,665円		14,950,204円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
施設累計利用件数	平成30年度を基準値とした施設の累計利用件数	人	目標値		537.0	787.0	1037.0	1287.0
			実績値	281.0	478.0	518.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	4	3		
平均得点	4.6	4.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	施設の老朽化に伴い、緊急修繕の箇所が増加している。維持管理を計画的に行うため、修繕計画を作成する必要がある。
令和2年度	芝生広場に亀裂が生じ、当該部分を除去する緊急修繕を実施した。施設全体として老朽化が進んでいるため、計画的に修繕を行っていく必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度に行う指定管理者の選定において、施設の稼働率を上げるための事業計画の提案など、審査項目を精査する。また、レーザーカッターの活用により、新たな体験プログラムの開発と、木材を利用した看板整備を進める。
令和4年度予算に向けて	ウィズコロナ、アフターコロナにおけるキャンプや体験プログラム需要を見据え、指定管理者との協議のもと、施設の稼働率向上のためのコンテンツの充実を図る。また、アクティブラーニングにつなげるための新たな体験プログラムの開発を検討する。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	戸沢の森和みの里管理運営事業	款項目	06-01-04	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	鈴木　美智也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	
事業実施方法	委託（指定管理含）実施事業	←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	3	★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：利用者 対象物：戸沢の森和みの里		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市が所有する施設の適正な管理		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 観光施設としての利用者の安全を守り利用者数の増加を図る		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		10,965,982円		4,793,000円					
	決算額[Ｂ]		10,536,447円		4,694,415円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		96.1%		97.9%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		指定管理者委託料 5,046,296円 ローラー滑り台　885,600円		指定管理者委託料 3,055,555円 FFヒーター機器交換修繕 678,700円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	10,536,447円		4,694,415円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		10,536,447円		4,694,415円					
人件費	一般職員		30人日	804,650円	30人日	801,485円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		804,650円		801,485円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			11,341,097円		5,495,900円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
施設累計利用客数	平成30年度を基準値とした施設の累計利用客数	人	目標値		145662.0	215662.0	285662.0	355662.0
			実績値	75662.0	149572.0	192494.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.8	5.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	施設の老朽化に伴い、緊急修繕の箇所が増加している。維持管理を計画的に行うため、修繕計画を作成する必要がある。
令和2年度	温泉換気塔の屋根改修工事や故障したヒーターの入替えを行ったが施設全体として老朽化は進んでいるため計画的に修繕を行っていく必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○		○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度に行う指定管理者の選定において、施設の稼働率を上げるための事業計画の提案など、審査項目を精査する。また、施設老朽化の対応だけでなく、指定管理者との協議により魅力ある温泉施設として観光客の滞在時間を延ばすための必要な改修を進めていく。
令和4年度予算に向けて	コロナ禍における温泉需要を検証し、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、指定管理者と協議を行う中で魅力ある温泉施設としてのブラッシュアップを図る。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	十日市場・夏狩湧水群管理運営事業	款項目	06-01-04	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	鈴木　美智也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	3	★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 観光客		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 十日市場・夏狩湧水群を中心とした観光資源の維持管理と活用		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 湧水群の維持管理を行いつつ、観光周遊コースとして整備し観光客の増加を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		1,010,440円		2,022,600円					
	決算額[Ｂ]		817,679円		657,671円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		80.9%		32.5%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		太郎・次郎滝駐車場賃借料 360,000円 太郎・次郎滝駐車場看板設置業務委託 86,900円		太郎・次郎滝駐車場賃借料 360,000円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	817,679円		657,671円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		817,679円		657,671円					
人件費	一般職員		30人日	804,650円	30人日	801,485円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		804,650円		801,485円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			1,622,329円		1,459,156円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
名勝田原の滝来客者数	ツアーバスによる名勝田原の滝来客者数	人	目標値		15000.0	16000.0	17000.0	18000.0
			実績値	12632.0	21994.0	1174.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	1		
平均得点	4.6	3.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	十日市場・夏狩湧水群や田原の滝公園への来訪者は増加しているが、地元の収入増加につなげられていない。
令和2年度	新型コロナウイルスの影響により、大型バスツアーによる観光客は減少したが、コロナ禍におけるマイクロツーリズムの受け入れ先としての可能性は高い。また、名勝田原の滝ライトアップイベントにおけるイベント出店は見合わせたが、移動観光案内所による情報発信により周辺飲食店等への誘導を図った。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	田原の滝ライトアップイベントの出店を市民主導で行ってもらうなど、十日市場・夏狩湧水群一帯の観光振興が地元産業の活性化と収入増をにつながる体制を構築する。
令和4年度予算に向けて	十日市場・夏狩湧水群と名勝田原の滝を結び付け、十日市場・夏狩湧水群を時間をかけてゆっくり巡るスタイルの観光の定着に向け、情報発信の強化と環境整備を図る。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	清水　正彦

部名	産業建設部	課名	産業課	担当名	農林振興担当	記入者	後藤　孝

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	4.0人	5.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員	3.0人	2.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	4.0　人×　　0 日	5.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	05-01-02	一般会計	農業総務費	×	×	×	×	なし	10人日		10人日					
	05-01-03	一般会計	農業経営所得安定対策事業	○	×	○	×	なし	50人日		50人日					
	05-01-03	一般会計	農業振興地域整備対策事業	×	×	○	×	なし	20人日		20人日					
1	05-01-03	一般会計	農業振興事業	○	×	×	×	要評価	170人日		200人日					
2	05-01-03	一般会計	道の駅つる管理運営事業	○	○	×	×	要評価	70人日		80人日					
	05-01-03	一般会計	畜産振興事業	×	×	×	×	なし	20人日		0人日					
3	05-01-03	一般会計	中山間地域総合整備事業	○	×	×	×	要評価	180人日		170人日					
4	05-01-03	一般会計	農産物振興事業	○	×	×	×	要評価	20人日		20人日					
5	05-01-03	一般会計	有害鳥獣対策事業	○	×	×	×	要評価	150人日		150人日					
6	05-01-03	一般会計	地域おこし協力隊推進事業（産業課分）	○	×	×	×	要評価	50人日		50人日					
7	05-01-03	一般会計	高収益作物導入事業	○	×	×	×	要評価	70人日		100人日					
8	05-02-01	一般会計	林業振興費	○	×	×	×	要評価	100人日		150人日					
	05-02-03	一般会計	造林事業	×	×	○	×	なし	10人日		10人日					
9	05-02-01	一般会計	森林経営管理事業	○	×	×	×	要評価	30人日		150人日					
10	05-02-01	一般会計	地域おこし協力隊推進事業（産業課分）	○	×	×	×	要評価	10人日		50人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
11										
12										
13										
14										
		人日合計	960人日		1210人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	農業振興事業			款項目	05-01-03	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	後藤　孝
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：農家、就農希望者、農業法人 対象物：農業全般		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 農家への各種補助事業等による支援、新規就農者等の掘り起こし、農地の貸借の支援による農地集積及び遊休農地対策。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 農業が産業・仕事として確立され、農家の所得向上や農地の有効利用が図られること。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		28,305,452円		23,240,197円					
	決算額[Ｂ]		21,777,184円		20,289,468円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		76.9%		87.3%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		機構借受農地整備事業　1,438千円 青年就農給付金 1,500千円 やまなし農業支援事業　8,170千円 活力ある水田農業支援事業費補助金　1,797千円 地産地消補助金 1,118千円 6次産業化　825千円 多面的機能支払　4,545千円		機構借受農地整備事業　1,558千円 農業次世代人材投資資金　1,500千円 農業振興施策コーディネーター事業 5,000千円 ハウス強靭化緊急対策事業 1,099千円 農泊地域魅力磨き上げ事業　1,000千円 地産地消補助金　4,507千円					
	財源内訳	国庫支出金			2,500,000円					
		県支出金	17,197,328円		8,020,974円					
		地方債								
		その他特定財源	210,000円		180,000円					
		一般財源	4,369,856円		9,588,494円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		21,777,184円		20,289,468円					
人件費	一般職員		170人日	4,559,683円	200人日	5,343,231円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		4,559,683円		5,343,231円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			26,336,867円		25,632,699円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
担い手への農地集積面積	認定農業者、新規就農者、道の駅への出荷者等地域の中心となる担い手への農地集積面積	ha	目標値		78.0	80.0	82.0	84.0
			実績値	76.0	78.0	80.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.2	4.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	新規の担い手が増加し、農地の権利移動も活発化してきており、農業振興施策の効果が見え始めている。一方で、高齢化によるリタイア等によって担い手が減少することもあるため、新規就農者の確保や法人の農業参入など新たな担い手の確保が必要。また、道の駅においても、未だ品目数・生産量が十分ではないため、引き続き支援を行う必要がある。
令和2年度	道の駅つるのオープン以降、農家の中で農業がしごとになるという意識が醸成され始め、担い手の増加及び農地の流動化が進んできているため、今年度、新たに「農業振興施策コーディネーター」を配置し、農家の相談等にきめ細やかに対応する体制を整えた。相談者も増加傾向にあり、農業振興に向けた動きが加速化しているため、引き続き、各種の支援策を講じていく。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	以前に比べて市民の農業に対する関心も高まってきているので、引き続き、担い手の確保、農地集積や、販路拡大等による高収益化・効率化による農業所得の向上を図るために農業振興施策を推進していく。
令和4年度予算に向けて	高収益作物を含めて、市民の農業に対する関心が高まってきているため、引き続き、担い手の確保、農地集積及び販路拡大等による高収益化・効率化による農業所得の向上を図るために農業振興施策を推進していく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	道の駅つる管理運営事業			款項目	05-01-03	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	後藤　孝
会計	一般会計	事業開始年度	平成26年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：農林産物等の生産者 対象物：農林産物直売所		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 農林業従事者び市内の商工業者等が生産した、農林産物・加工品の販売拠点となる農林産物直売所を建設しその後の運営を行う。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 農林業従事者及び市内の商工業者の所得向上を目指す。また、来場者に本市の魅力を発信する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額［A］		10,453,000円		13,091,000円					
	決算額［B］		10,006,598円		11,516,624円					
	執行率［B］/［A］		95.7%		88.0%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		道の駅つる指定管理料 8,498千		道の駅つる指定管理料 8,576千円 IPカメラ設置業務　550千円 喫煙所設置業務　603千円 基本計画策定業務 1,000千円					
	財源内訳	国庫支出金			500,000円					
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源	306,620円		300,000円					
		一般財源	9,763,933円		10,716,624円					
	財源合計［C］(=［B］)		10,070,553円		11,516,624円					
人件費	一般職員		70人日	1,877,517円	80人日	2,137,293円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計［D］		1,877,517円		2,137,293円					
総事業費［B］+［D］			11,884,115円		13,653,917円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
来場者数	農林産物直売所及びレストランの来場者数	万人	目標値		73.3	76.7	80.0	82.0
			実績値	70.0	70.0	50.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.8	3.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	昨年度から売上・来場者ともに増加していたが、今年度は、台風による中央道の通行止め、リニアモーターカーの試験走行の休止、コロナウィルスの影響等マイナス要因が重なり、来場者、売上高が伸び悩んだ。今後は市外の観光客だけでなく、より多くの地域住民が来場するような仕組みが必要。
令和2年度	新型コロナウイルスの感染拡大によって、最も売り上げが期待できる時期（GW前後）に休業せざるをえない状況になり、その後も第3波等の影響により、売上及び来場者数が伸び悩むこととなった。イベントの開催等も見送ることとなり、改めて、地域住民に利用してもらえるような仕組みづくりが急務であることを痛感した。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	生産者と商品の確保を進めるため、従来の補助事業や講習会の内容の拡充により生産者の支援を進める必要がある。また、リタイアした高齢者や移住者も積極的に新規就農できるよう支援を行う。また、品質の向上や、収益性の高い作物の生産振興、イベントの拡充等の取り組みが必要。
令和4年度予算に向けて	新型コロナウイルスの影響が長引いているため、感染防止対策を徹底する中で、集客を確保できる仕組みづくりが必要である。指定管理者とも協議を行い、イベントの開催、生産者組合員への支援策等、様々な取組みを適切に実施していく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	中山間地域総合整備事業	款項目	05-01-03	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	後藤　孝
会計	一般会計	事業開始年度	平成27年度	法定根拠・法令等	
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：計画区域内の受益者 対象物：農業生産基盤（農道・水路・ほ場等）		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 県営土地改良事業により市内農業生産基盤及び農村環境の整備を行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 既存農家や将来の農業の担い手が効率的に利用できる農業生産基盤の整備。また条件不利な農村住民等のくらしやすい生活環境の整備。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		108,439,282円		90,969,163円					
	決算額[Ｂ]		48,789,645円		87,199,971円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		45.0%		95.9%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		県営土地改良事業負担金 現年：4,700千円 Ｈ30事故繰越：5,100千円 Ｈ30明許繰越：32,700千円 付帯事業委託費 5,912千円		県営土地改良事業負担金 現年：26,750千円 Ｈ31事故繰越：12,300千円 Ｈ31明許繰越：46,5000千円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源			490,000円					
		一般財源	48,789,645円		86,709,971円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		48,789,645円		87,199,971円					
人件費	一般職員		180人日	4,827,900円	170人日	4,541,747円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		4,827,900円		4,541,747円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			53,617,545円		91,741,718円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
施工済み事業費	県が施工を完了した事業費	百万円	目標値		465.3	632.0	800.0	1000.0
			実績値	298.0	583.0	1140.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.4	4.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	昨年度に引き続き、事業を行ってるが、事業費が年々増加してきているため、他の業務と並行して事業の執行管理を行うことが困難になりつつある。
令和2年度	県営事業であるが、地元との調整等を市で対応しているため、苦情対応等に苦慮している。ほ場整備、道路改良等の様々な生産基盤の整備を実施しているため、業務量の増加により、執行管理が難しくなってきている。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	予算の確保と並行して事業の円滑な遂行を図るため、県及び市内部の他課との情報共有及び連携を図り、事業の円滑な遂行ができる体制の整備を行う。
令和4年度予算に向けて	現在、都留西部地区で事業を実施しているが、予算の確保と並行して事業の円滑な遂行を図るため、県及び市内部の他課との情報共有及び連携を図り、事業の円滑な遂行ができる体制の整備を行う。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	農産物振興事業			款項目	05-01-03	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	後藤　孝
会計	一般会計	事業開始年度	平成26年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：農家等		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 農林産物直売所に出荷する農林産物の生産技術・販路開拓の手法や、加工品の等の出荷に必要や技術を取得するための講習会などの実施。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 独自のブランド農産物や加工品の開発		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		1,376,250円	1,232,000円		
	決算額[Ｂ]		648,718円	579,300円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		47.1%	47.0%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		富士湧水野菜生産振興補助金 648千円	富士湧水野菜生産振興補助金 579千円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	648,718円	579,300円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		648,718円	579,300円		

人件費								
一般職員	20人日	536,433円	20人日	534,323円				
対象外事業分		円		円				
会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
対象外事業分		円		円				
会計年度（パート）		円		円				
別担当職員		円		円				
人件費合計[Ｄ]		536,433円		534,323円				
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]		1,185,151円		1,113,623円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
農林産物直売所生産者組合員数	市内に住所を有する生産者組合員数の累計	人	目標値		136.0	143.0	150.0	160.0
			実績値	129.0	137.0	139.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	3	3		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	3		
達成度（目標が実現できているか）	5	4		
平均得点	4.0	3.6		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	水掛菜等の富士湧水を活用した野菜は本市の特産品であるが、高齢化等により生産量が減少しているため、新規の担い手の確保等により生産を振興していく必要がある。
令和2年度	恵まれた自然環境と清らかな湧水を活用して育てられた「水掛菜」及び「わさび」は本市の特産品である。生産量及び作付面積の減少が見られていたが、今年度は、新たな担い手も増え、「クレソン」の栽培にも挑戦する予定となっており、新たな特産品として期待が寄せられている。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	富士湧水野菜については、市の特産品として道の駅つるでも人気商品となっているため、引き続き振興を図っていく必要があり、富士湧水が活用できるエリアの遊休農地等について、希望者にあっせんする等に加えて、生産者の技術向上に資する取組も進めていく必要がある。
令和4年度予算に向けて	湧水を活用した農産物は道の駅つるでも人気であり、市内外に向けて更にPRを進めて行く中で、生産振興を図っていく必要がある。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	有害鳥獣対策事業			款項目	05-01-03	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	後藤　孝
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：有害鳥獣による被害を受けている住民及び狩猟者 対象物：有害鳥獣		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 有害鳥獣の捕獲や追い払い等による被害の軽減及び対策の担い手となる狩猟者と地域住民への啓発		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 有害鳥獣による被害の軽減		

２．実施結果（DO）

単位：円		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]	14,477,000円		14,115,000円					
	決算額[Ｂ]	12,654,779円		10,438,722円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]	87.4%		74.0%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）	有害鳥獣対策実施隊員などへの報酬　7,877千円 有害鳥獣被害対策協議会補助金　3,901千円 防止柵設置・免許取得のための補助金　449千円		有害鳥獣対策実施隊員などへの報償　6,219千円 有害鳥獣被害対策協議会補助金　2,990千円 防止柵設置・免許取得のための補助金　806千円					
財源内訳	国庫支出金								
	県支出金	6,056,500円		5,209,500円					
	地方債								
	その他特定財源	42,600円		33,000円					
	一般財源	6,555,679円		5,196,222円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])	12,654,779円		10,438,722円					
人件費	一般職員	150人日	4,023,250円	150人日	4,007,424円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]	4,023,250円		4,007,424円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]		16,678,029円		14,446,146円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
捕獲頭数	ニホンザル・ニホンジカ・イノシシの捕獲頭数の累計	頭	目標値		1058.0	1300.0	1400.0	1500.0
			実績値	837.0	1266.0	1639.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.2	4.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	有害鳥獣による被害は年々増加傾向にあり、捕獲頭数も増加し続けているが、実施隊員数は横ばいであるため、個々の隊員の負担増加が顕著になってきた。農地内での食害や生活被害等も報告されており、特にシカによる被害が増加傾向にある。
令和2年度	県営中山間総合整備事業の導入により、地域によっては広域的な獣害柵の整備が進み、継続して開催している「駆逐用煙火」を活用した安全講習会により、地域での追い払い体制も構築されつつある。行政、猟友会、地域住民で協力する中で、獣害に強いまちづくりを推進していきたい。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	有害鳥獣の捕獲数は大幅に増加しているものの、被害は減少していない。前年に引き続き捕獲を進めるとともに、大型捕獲檻による多頭捕獲や鳥獣害防護柵の更なる推進等といった捕獲以外の方法もさらに充実させる必要がある。また、実施隊員の確保及び負担軽減に資するためのシステム整備等も検討していく。
令和4年度予算に向けて	現場で対応にあたる実施隊員（猟友会員）の高齢化は顕著であるが、新たに狩猟免許を取得して隊員となる若手も現れている。世代交代がうまく進んでいくことが望ましいが、根本的な対応体制を見直していく時期が近くなっているため、先進事例等を踏まえて研究していく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地域おこし協力隊推進事業（産業課分）	款項目	05-01-03	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	後藤　孝
会計	一般会計	事業開始年度	平成27年度	法定根拠・法令等	
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：地域おこし協力隊員		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 地域おこし協力隊員の活動を支援。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 都市から移住した人材を活用し地域の維持・強化を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		21,000,000円		13,757,678円					
	決算額[Ｂ]		13,813,091円		12,284,211円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		65.8%		89.3%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		隊員への報酬 7,470千円 家賃補助等 2,097千円		隊員への報酬　4,450千円 家賃補助等　1,200千円 起業支援補助金 3,000千円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	13,813,091円		12,284,211円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		13,813,091円		12,284,211円					
人件費	一般職員		50人日	1,341,083円	50人日	1,335,808円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		1,341,083円		1,335,808円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			15,154,174円		13,620,019円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
隊員の定住又は起業数	隊員が任期終了後、定住や起業した数を目標値とする。任期中の起業も含め、それぞれ1カウントとする。	人	目標値		1.0	1.0	1.0	1.0
			実績値	0.0	1.0	4.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.2	4.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	活動のテーマを具体的に絞って募集した隊員の方が目的意識が高いので、新たな分野においても、本制度を活用して都留市の地域活性化に向けた取組みを進めたい。
令和2年度	今年度は、4名の隊員が任期満了となり、全員が定住する見込みとなっている。特に地域唯一の養豚事業の承継を行った2名については様々な問題をクリアして現在に至るため、事業が前向きに進むことを期待したい。また、地域初の果樹専業農家となる隊員についても、今後の活躍が期待される。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○		○								
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	隊員の定住に向けた取組みに対し、積極的な支援を行う。
令和4年度予算に向けて	地域おこし協力隊を活用する際には、できるだけテーマを絞り、地域に溶け込んでスムーズに定住できるように、きめ細やかな支援を積極的に行っていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	高収益作物導入事業			款項目	05-01-03	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	後藤　孝
会計	一般会計	事業開始年度	平成29年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：農家等		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市が試験圃場を開設して、果樹などの高収益作物の栽培実証を行い、その成果を農家に普及する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 高収益な作物の導入により、農家の所得向上を図るとともに、道の駅における品ぞろえを充実させる。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		3,728,000円		12,518,820円					
	決算額[Ｂ]		2,077,431円		11,540,945円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		55.7%		92.2%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		苗木及び資材費 725千円 備品購入費 450千円 農家向け助成金 270千円		苗木及び資材費 2,004千円 ブドウ棚整備　2,530千円 果樹研究会補助金 2,380千円 農家向け助成金　4,214千円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金			4,690,000円					
		地方債								
		その他特定財源			1,404,000円					
		一般財源	2,077,431円		5,446,945円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		2,077,431円		11,540,945円					
人件費	一般職員		70人日	1,877,517円	100人日	2,671,616円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		1,877,517円		2,671,616円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			3,954,948円		14,212,561円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
果樹農家数	本事業による普及活動により果樹の栽培に取り組む農家を増やす。	件	目標値		2.0	4.0	6.0	8.0
			実績値	0.0	4.0	10.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	2	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	3.4	4.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	試験ほ場での果樹の生育は順調で、小粒ながら着果が見られ、来年には出荷が見込める状況である。また、高標高地及び中山間地域での果樹栽培については、あまり事例が無く、果樹栽培に適した土づくりや病虫害対策等の課題があるため、効果検証が必要となる。
令和2年度	試験ほ場で生育した果実については、道の駅つるに出荷できるまでに至り、本市でも果樹栽培が可能であることは実証された。今年度は、山梨県等の関係機関と連携する中で研究会を設立し、土づくり、病虫害対策等の効果検証を進めることにより「栽培マニュアル」を策定した。今後は本マニュアルを活用することで、果樹栽培に係る普及啓発を推進していきたい。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○								
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	果樹等の高収益作物の栽培を市内各地へ波及させ、ブランド化や新たな担い手の確保を図る中で、儲かる農業の仕組みを構築し、「つるの葡萄林」及び「つるの桃林」が市内各地で見られるよう基盤整備についても検討していく。
令和4年度予算に向けて	果樹栽培については、苗木の植付から収穫可能になるまで数年の期間を要し、この未収益期間の短縮が課題となっている。また、ほ場の確保に向けても10年以上の使用期間が望まれるため、貸し借りの手続きの際に地権者の抵抗感が強いことが多く、意識改革も必要となっている。これらの課題の解決に向けて、有効な手段等を検討していく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	林業振興費			款項目	05-02-01	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	後藤　孝
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：森林所有者等		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市内の森林情報を一元的に管理する「林地台帳」の運用、関係団体への負担金		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 森林所有者が所有山林に対する意識を持ち、適切な維持管理を継続して実施すること		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		823,000円		9,131,500円					
	決算額[Ｂ]		823,000円		1,592,120円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		100.0%		17.4%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		南都留森林組合職員設置負担金　760千円		勝山城環境整備業務 759千円 南都留森林組合職員設置負担金　760千円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源			1,592,120円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		円		1,592,120円					
人件費	一般職員		100人日	2,682,167円	150人日	4,007,424円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		2,682,167円		4,007,424円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			3,505,167円		5,599,544円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
活用件数	林地台帳データの提供要望に対応した件数	件	目標値		1.0	1.0	5.0	10.0
			実績値	0.0	0.0	0.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3	3		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.0	3.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	森林経営管理制度を適切に推進していくための基礎データとなる「林地台帳」の整備に向けた取組みを実施する必要がある。
令和2年度	山梨県から提供された「林地台帳原案」について、公図や課税データ等の様々な情報を活用する中で制度の向上を図るための業務委託を実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて緊急事態宣言が発令され、委託業者の業務の進捗に遅れが生じることとなり、事故繰越となった。早期の完成を目指し、適切な業務の実施を図る必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○		○								
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	台帳の整備及び維持管理が必要なため、必要な作業の洗い出しを進める中で、適切な運用方法を検討していく。
令和4年度予算に向けて	台帳情報の精度向上に向けて、県や関係機関との情報共有を図る中で、必要な作業を進めていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	森林経営管理事業			款項目	05-02-01	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	後藤　孝
会計	一般会計	事業開始年度	令和1年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：森林所有者等　対象：民有林の人工林（森林法第5条森林）		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 経営管理が行われていない対象森林について、市町村が主体的に経営管理を推進する		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 森林が持つ公益的機能が適切に発揮される状態、木材の利用促進及び林業に携わる担い手の増加		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		8,794,000円		18,495,000円					
	決算額[Ｂ]		8,703,000円		18,495,000円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		99.0%		100.0%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		谷村町城下町テイスト黒塀塗炭事業業務委託　1,900千円 森の学校事業業務委 2,269千円 レーザーカッター導入 1,343千円 基金への積立　3,030千円		谷村町城下町テイスト黒塀塗炭事業　4,683千円 森の学校事業業 3,531千円 森林経営管理制度業務 765千円 基金への積立　8,900千円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源	8,703,000円		18,496,000円					
		一般財源								
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		8,703,000円		18,496,000円					
人件費	一般職員		30人日	804,650円	150人日	4,007,424円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		804,650円		4,007,424円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			9,507,650円		22,502,424円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
意向調査面積	森林所有者に対して経営管理に係る意向調査を実施した面積	ｈａ	目標値		1.0	1.0	1.0	5.0
			実績値	0.0	0.0	0.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.4	3.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	森林経営管理事業の創設により、市町村が主体的に経営管理を進めて行く必要があるため、担い手の確保及び木材利用の普及啓発を進めて行く必要がある。
令和2年度	担い手確保のための「森の学校事業」、木材利用促進及び意識醸成のための「黒塀塗炭事業」・「間伐材を活用した名札ケース」の開発を進めていることに加えて、市の推進方針も策定することができたため、事業は順調に進んでいる。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	意向調査を展開していくための全体計画策定が必要であるため、それに必要となる各種資料を準備するための業務を進めていく。
令和4年度予算に向けて	全体計画が策定されたあとは、計画的に意向調査を進めていき、準備が整った箇所から実際の森林施業を実施していくこととなる。林業経営体等と連携を密にすることで、円滑な作業の推進を図っていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地域おこし協力隊推進事業（産業課分）	款項目	05-02-01	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	後藤　孝
会計	一般会計	事業開始年度	令和1年度	法定根拠・法令等	
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：地域おこし協力隊員		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 地域おこし協力隊員の活動を支援。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 都市から移住した人材を活用し地域の維持・強化を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		4,300,000円		8,000,000円					
	決算額[Ｂ]		300,000円		6,146,783円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		7.0%		76.8%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		地域おこし協力隊の募集に係る経費　300千円		支援機関業務委託料 6,147千円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	300,000円		6,146,783円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		300,000円		6,146,783円					
人件費	一般職員		10人日	268,217円	50人日	1,335,808円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		268,217円		1,335,808円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			568,217円		7,482,591円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
隊員の定住又は起業数	隊員が任期終了後、定住や起業した数を目標値とする。任期中の起業も含め、それぞれ1カウントとする。	人	目標値		1.0	1.0	1.0	2.0
			実績値	0.0	0.0	0.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.4	3.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	活動のテーマを具体的に絞って募集した隊員の方が目的意識が高いので、新たな分野においても、本制度を活用して都留市の地域活性化に向けた取組みを進めたい。
令和2年度	森林経営管理制度の創設により、地域内の森林整備が加速的に進んでいくことが想定されるが、担い手の不足が顕著であるため、南都留森林組合に2名の隊員を配置した。これから、各種の森林施業や企画の立案及び運営に携わってもらう中で、地域林業の担い手として活躍する人材に成長することを期待する。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○		○								
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	隊員の定住に向けた取組みに対し、積極的な支援を行う。
令和4年度予算に向けて	支援機関となっている南都留森林組合と連携を密にしていくことで、必要な対策を洗い出し、積極的な支援を検討していく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮　文彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	清水正彦

部名	産業建設部	課名	建設課	担当名	管理担当	記入者	広瀬敦士

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	2.0人	2.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員	1.0人	1.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	2.0 人× 0 日	2.0 人× 0 日	人× 日	人× 日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人× 日	人× 日	人× 日	人× 日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	07-01-01	一般会計	土木総務費	×	×	×	×	なし	320人日		323人日					
	07-01-01	一般会計	地籍管理費	×	×	×	×	なし	160人日		161人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
		人日合計	480人日		484人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	清水　正彦

部名	産業建設部	課名	建設課	担当名	都市計画担当	記入者	勝俣　彰仁

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	2.0人	2.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員	1.0人	1.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	2.0　人×　　0 日	2.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（**上の配分残が０となるよう**に分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	02-01-12	一般会計	土地利用対策費	×	×	×	×	なし	10人日		10人日					
	02-01-12	一般会計	国道バイパス建設促進事業	×	×	×	×	なし	0人日		0人日					
	07-04-01	一般会計	都市計画総務費	×	×	×	×	なし	40人日		40人日					
1	07-04-01	一般会計	景観形成事業	○	×	×	×	要評価	190人日		254人日					
2	07-04-02	一般会計	都市公園管理事業	○	○	×	×	要評価	100人日		110人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
3	開発許可業務	都市計画担当	50人日		50人日					
4	中央新幹線保守基地建設業務	都市計画担当	60人日		20人日					
5	大原線道路改良事業	道路担当	30人日		0人日					
6										
		人日合計	480人日		484人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	景観形成事業			款項目	07-04-01	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	都市計画担当	記入者	勝俣　彰仁
会計	一般会計	事業開始年度	平成30年度	法定根拠・法令等	景観法		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅳ	生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
	施策	2	ふるさとへの誇りを醸成する景観づくり
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市民、事業者、来訪者 対象物：市内の景観資源		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 景観計画策定により、景観形成に関する基本的な考え方や方針、基準等を明らかにするとともに、各種施策の実施により、都留市らしい良好な景観まちづくりの実現を図る。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 住む人にとっても、訪れる人にとっても心地よい誇りと交流を育む景観まちづくりの実現		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額［A］		9,885,000円		3,247,717円					
	決算額［B］		9,169,100円		3,018,000円					
	執行率［B］/［A］		92.8%		92.9%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		景観計画策定業務委託 8,943,000円 景観計画策定委員会委員報酬 220,000円		景観計画策定業務委託 2,057,000円 景観計画及び景観計画概要版印刷製本 891,000円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	9,169,100円		3,018,000円					
	財源合計［C］(=［B］)		9,169,100円		3,018,000円					
人件費	一般職員		190人日	5,096,117円	254人日	6,785,904円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計［D］		5,096,117円		6,785,904円					
総事業費［B］+［D］			14,265,217円		9,803,904円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
良好な景観まちづくりの実施	景観まちづくり活動の実施件数(年度毎)	件	目標値		2.0	3.0	4.0	5.0
			実績値	1.0	2.0	3.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3	3		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.4	4.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	景観条例制定(令和3年4月施行予定)に向け、景観づくり庁内検討会及び外部組織である景観計画策定委員会に諮り景観計画案を作成している。今後は、住民説明会、パブリック・コメント、都市計画審議会を実施し、景観計画の作成及び景観条例を制定する。
令和2年度	景観計画策定委員会、パブリック・コメント、都市計画審議会に諮り景観条例の制定(令和2年12月)及び景観計画を策定(令和3年1月)した。また、計画内容の周知及び景観に対する市民意識醸成のため、広報2月号と合わせ景観計画概要版を配布した。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○											
	維持					○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	景観計画に基づく各種施策の実施により、景観に対する市民意識を醸成するともに良好な景観まちづくりを図る。
令和4年度予算に向けて	関係各課と協力する中で、景観計画に基づく各種施策の実施により、景観に対する市民意識を醸成するともに良好な景観まちづくりを図る。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　正彦　☑	清水　正彦 小俣　秀樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	都市公園管理事業			款項目	07-04-02	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	都市計画担当	記入者	勝俣　彰仁
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都市計画法・都市公園法		
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	2	快適で機能的なまちづくり
	施策	1	効率的・効果的なインフラの維持保全
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：都市公園利用者 対象物：都市公園		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 都市公園の整備及び維持管理		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 安全・安心で快適に利用ができる都市公園		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		4,887,000円		5,493,283円					
	決算額[Ｂ]		4,171,417円		4,993,524円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		85.4%		90.9%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		都市公園等清掃管理業務委託 311,557円 田原の滝公園清掃管理業務委託　558,580円 楽山風致公園桜植栽済箇所下刈業務委託　848,880円		都市公園等清掃管理業務委託 528,075円 田原の滝公園清掃管理業務委託　568,568円 楽山風致公園植栽済箇所下刈り業務委託 1,020,800円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	4,171,417円		4,993,524円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		4,171,417円		4,993,524円					
人件費	一般職員		100人日	2,682,167円	110人日	2,938,777円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		2,682,167円		2,938,777円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			6,853,584円		7,932,301円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
公園管理に関する苦情件数	適切な公園管理を実施し、利用者の満足度を向上させる(苦情数を減少させる)。	件	目標値		3.0	2.0	1.0	0.0
			実績値	5.0	3.0	0.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.4	4.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	都留市総合運動公園内の楽山球場は建設から30年以上経過しており、経年劣化や老朽化が顕著であり、計画的な維持補修の必要がある。また、職員数が限られる中、各種団体へ清掃業務などを委託するとともに、職員による遊具等の日常点検(月1回)を実施し、利用者の安全・安心を確保する。
令和2年度	都留市総合運動公園内の楽山球場は建設から30年以上経過しており、経年劣化や老朽化が顕著であり、計画的な維持補修の必要がある。また、職員数が限られる中、各種団体へ清掃業務などを委託するとともに、職員による遊具等の日常点検(月1回)を実施し、利用者の安全・安心を確保する。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	財政状況を踏まえる中で、長寿命化計画に基づき楽山球場の計画的な改修を行う。また、利用者が安全・安心で快適な利用ができるよう委託業務受注者と連絡を密にとるとともに、職員による遊具等の日常点検を継続的に実施する。
令和4年度予算に向けて	財政状況を踏まえる中で、長寿命化計画に基づき楽山球場の計画的な改修を行う。また、利用者が安全・安心で快適な利用ができるよう委託業務受注者と連絡を密にとるとともに、職員による遊具等の日常点検を継続的に実施する。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　正彦　☑	清水　正彦 小俣　秀樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	清水　正彦

部名	産業建設部	課名	建設課	担当名	建築住宅担当	記入者	関戸　章雄

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	3.0人	3.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員				

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	3.0　人×　　0 日	3.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（**上の配分残が０となるよう**に分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	07-05-01	一般会計	公営住宅管理事務費	×	×	×	×	なし	15人日		15人日					
1	07-05-01	一般会計	公営住宅施設管理費	○	○	×	×	要評価	425人日		425人日					
	07-05-01	一般会計	公営住宅整備関係経費	×	×	×	×	なし	5人日		5人日					
	07-05-02	一般会計	木造住宅等耐震支援事業	×	×	×	×	なし	203人日		209人日					
	07-05-02	一般会計	アスベスト飛散防止対策事業	×	×	×	×	なし	0人日		0人日					
2	07-05-02	一般会計	ブロック塀等撤去促進事業	○	×	×	×	要評価	32人日		32人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
3	建築確認等申請業務		40人日		40人日					
4										
5										
6										
		人日合計	720人日		726人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	公営住宅施設管理費			款項目	07-05-01	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	建築住宅担当	記入者	関戸　章雄
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	公営住宅法、都留市営住宅条例等		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	2	快適で機能的なまちづくり
	施策	1	効率的・効果的なインフラの維持保全
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市営住宅入居者、市営住宅入居希望者 対象物：市営住宅		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市営住宅及び特定公共賃貸住宅の適正な管理 経年劣化・老朽化等にともなう修繕、入退去時におけるリフォーム、住宅設備の保守点検等		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市営住宅入居者の快適な生活		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		52,515,600円	45,876,637円		
	決算額[Ｂ]		41,771,484円	43,770,957円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		79.5%	95.4%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		市営住宅修繕費 26,014,101円 市営住宅保守点検等業務委託 15,033,594円 市営住宅退去時室内清掃等手数料　1,075,544円	市営住宅修繕費 33,062,575円 市営住宅保守点検等業務委託 7,668,729円 市営住宅退去時室内清掃等手数料　1,481,350円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	41,771,484円	43,770,957円		
		一般財源				
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		41,771,484円	43,770,957円		

人件費		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	一般職員	425人日	11,399,208円	425人日	11,354,367円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]		11,399,208円		11,354,367円				
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			53,170,692円		55,125,324円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市営住宅入居率	市営住宅の年度末における入居率	%	目標値		90.0	90.0	90.0	90.0
			実績値	89.8	86.7	86.1		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3	3		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.8	3.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	新規入居者に比べ退去者が多く、入居率の低下が課題となっている。令和元年度から新婚・子育て世帯家賃助成金制度が開始されたが、入居率の向上には至らなかった。入居率の動向や必要ストック数の情報収集に努め、市営住宅の有効活用を検討する。
令和2年度	新婚・子育て世帯家賃助成制度について、ホームページ、広報、都留CATVなどで周知し、また成人式、保育園、乳幼児健診においてチラシを配布した。新規入居者数は前年度より増えたが、退去者数が増え、引き続き、入居率の低下が課題となっている。今後は、公営住宅の必要管理戸数や県の長寿命化計画を基に、都留市公営住宅等長寿命化計画の策定を行う。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大						○						
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	民間のストック戸数や市営住宅のニーズなど情報収集を行う。令和4年度に策定される公営住宅等長寿命化計画を見据え、市営住宅としての必要ストック戸数の把握に努める。既存ストックが必要ストック戸数に比べ多い場合には、目的外使用も含めた既存ストックの有効活用についても検討する。
令和4年度予算に向けて	新婚・子育て世帯家賃助成制度については、引き続き同様の周知を行う。民間のストック戸数、市営住宅のニーズ及び県の長寿命化計画を基に、都留市公営住宅等長寿命化計画の策定を行う。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　正彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	ブロック塀等撤去促進事業			款項目	07-05-02	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	建築住宅担当	記入者	関戸　章雄
会計	一般会計	事業開始年度	平成30年度	法定根拠・法令等	都留市ブロック塀等撤去促進事業費補助金交付要綱		
事業実施方法	補助金等支出事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	3	★災害対策及び消防救急の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：ブロック塀等の所有者又は管理者 対象物：地震発生時において倒壊し、又は転倒する危険性のあるブロック塀等		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 危険なブロック塀等の撤去を行う者に対し、補助金を交付する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 危険なブロック塀等の撤去を促進することにより、地震発生時の危険なブロック塀等の倒壊又は転倒による災害を防止する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		2,250,000円	1,500,000円		
	決算額[Ｂ]		997,000円	179,000円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		44.3%	11.9%		
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		ブロック塀等撤去促進事業 997,000円	ブロック塀等撤去促進事業 179,000円		
	財源内訳	国庫支出金	392,000円	89,000円		
		県支出金	193,000円	44,000円		
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	412,000円	46,000円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		997,000円	179,000円		

人件費									
一般職員	32人日	858,293円	32人日	854,917円					
対象外事業分		円		円					
会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円					
対象外事業分		円		円					
会計年度（パート）		円		円					
別担当職員		円		円					
人件費合計[Ｄ]		858,293円		854,917円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]		1,855,293円		1,033,917円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
補助件数	年度末における補助金交付件数	件	目標値		13.0	14.0	15.0	16.0
			実績値	12.0	14.0	2.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	3		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	1		
平均得点	5.0	3.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	今年度、補助金交付実績は14件、99万7千円である。今後更に補助制度の周知を図るとともに、ブロック塀等の安全点検について啓発する中で、撤去を促進し災害の防止に努める必要がある。
令和2年度	今年度、補助金交付実績は2件、17万9千円である。ブロック塀等の撤去については、ホームページ、広報、窓口などで周知していたが、目標達成には至らなかった。この事業は令和5年度まで延長され、令和3年度より建替え、改修も対象となった。また、一般路線、重要路線（緊急輸送道路、指定避難所まで至る経路）に分かれ、それぞれ補助金も増額となった。引き続き周知を図り、災害の防止に務める必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	都留市の補助期間が令和2年度末までの時限措置となっている。延長された場合は、補助制度の周知を図るとともに、補助限度額の見直しを検討する。
令和4年度予算に向けて	この事業は令和5年度まで延長され、建替え、改修も対象となった。また、一般路線、重要路線（緊急輸送道路、指定避難所まで至る経路）に分かれ、それぞれ補助金も増額となった。補助制度の周知を図り、災害の防止に務めるとともに、重要路線については戸別訪問し耐震改修を行うよう促す。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　正彦　☑	清水　正彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	清水　正彦

部名	産業建設部	課名	建設課	担当名	道路河川担当	記入者	廣嶋　正寛

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	5.5人	6.0人		
	フルタイム会計年度任用職員	2.0人	1.0人		
	パートタイム会計年度任用職員				

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	5.5　人×　　0 日	6.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	2.0　人×　　0 日	1.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
1	07-02-01	一般会計	市単道路橋梁維持補修事業	○	×	×	×	要評価	230人日	190人日	287人日	60人日				
	07-02-01	一般会計	補助道路橋梁維持補修事業	○	×	×	○	なし	90人日		130人日					
2	07-02-01	一般会計	除雪関係事業	○	×	×	×	要評価	50人日	20人日	60人日	10人日				
	07-02-01	一般会計	橋梁修繕事業	○	×	×	○	なし	70人日		80人日					
	07-02-02	一般会計	中央新幹線保守基地関連事業	○	×	×	○	なし	10人日		20人日					
	07-02-02	一般会計	市単道路改良事業	○	×	×	○	なし	130人日		140人日					
	07-02-02	一般会計	補助道路改良事業	○	×	×	○	なし	0人日		0人日					
	10-02-01	一般会計	道路橋梁災害復旧費	×	×	×	○	なし	60人日	30人日	60人日					
	05-01-04	一般会計	補助土地改良事業	○	×	×	○	なし	15人日		15人日					
3	05-01-04	一般会計	市単土地改良事業	○	×	×	×	要評価	175人日		200人日	50人日				
4	05-02-02	一般会計	林業施設事業	○	×	×	×	要評価	70人日	30人日	100人日	15人日				
5	07-03-01	一般会計	定式関係事業	○	×	×	×	要評価	20人日	80人日	30人日	30人日				
	07-03-01	一般会計	市単河川改修事業	×	×	×	×	なし	140人日	100人日	160人日	67人日				
	10-01-01	一般会計	農地農業用施設災害復旧費	×	×	○	○	なし	30人日	20人日	40人日					
	10-01-02	一般会計	林業施設災害復旧費	×	×	○	○	なし	20人日	10人日	30人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
6	補助道路改良事業（令和元年度繰越明許）	都市計画担当	30人日		10人日					
7	中央新幹線保守基地関連事業	都市計画担当	50人日		10人日					
8	河川・水路内支障物撤去業務	道路河川担当	70人日		50人日					
9	準用河川流量管理業務	道路河川担当	40人日		20人日					
10	城南公園前鯉溜池管理清掃業務	道路河川担当	20人日		10人日	10人日				
		人日合計	1320人日	480人日	1452人日	242人日				

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	市単道路橋梁維持補修事業	款項目	07-02-01	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	道路河川担当	記入者	廣嶋　正寛
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	道路法
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	2	快適で機能的なまちづくり
	施策	1	効率的・効果的なインフラの維持保全
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：都留市民（道路利用者） 対象物：市道、都留市公共物（赤線）及び橋梁		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市道、都留市公共物（赤線）及び橋梁の維持管理		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市民等の安全で快適な道路及び橋梁の確保		

２．実施結果（DO）

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]	54,486,000円	345,287,000円		
	決算額[Ｂ]	51,699,449円	242,261,128円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]	94.9%	70.2%		
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）	市内道路・河川管理業務委託 15,143,700円 道路修繕費 17,825,417円 道路原材料費 5,070,395円	市内道路・河川管理業務委託 14,135,000円 道路修繕費 13,638,833円 道路原材料費 3,581,231円		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源		19,833,300円		
	一般財源	115,718,189円	222,427,828円		
財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		115,718,189円	242,261,128円		

人件費		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	一般職員	230人日	6,168,983円	287人日	7,667,537円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	190人日	1,713,800円	60人日	560,172円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]	7,882,783円		8,227,709円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]		59,582,232円		250,488,837円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
事故件数	警察及び市民からの通報による道路管理者の瑕疵件数（単年度）	件	目標値		0.0	0.0	0.0	0.0
			実績値	1.0	1.0	3.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.6	3.6		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	今年度の事故については、1件という結果であり、その内容はグレーチングの跳ね上がりによる車両の損傷であった。今後、事故が起こらないようパトロールを強化する。
令和2年度	今年度の事故については、3件という結果であり、その内容は舗装のポットホールによるパンクの損傷であった。今後、事故が起こらないようパトロールを強化する。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	今後、事故が起こらないよう道路河川管理業務委託及び職員によるパトロールを強化し、利用者の安全確保を図る。
令和4年度予算に向けて	今後、事故が起こらないよう道路河川管理業務委託及び職員によるパトロールを強化し、利用者の安全確保を図る。特に予防保全型管理に取り組む。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　正彦　☑	清水　正彦 小俣　秀樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	除雪関係事業			款項目	07-02-01	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	道路河川担当	記入者	廣嶋　正寛
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	道路法		
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	2	快適で機能的なまちづくり
	施策	1	効率的・効果的なインフラの維持保全
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：都留市民（道路利用者） 対象物：市道及び都留市公共物道路（赤線）		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 積雪量が15cm以上になった場合は、市道及び都留市公共物道路（赤線）の除雪		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 車両及び歩行者の通行帯の確保（市民等の安全で快適な道路の確保）		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		16,079,000円		19,992,000円					
	決算額[Ｂ]		12,211,208円		5,090,453円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		75.9%		25.5%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		融雪剤散布業務委託 862,215円 除雪業務委託 9,928,060円 融雪剤購入費 1,353,264円		融雪剤散布業務委託 382,800円 除雪業務委託 4,309,250円 融雪剤購入費 167,200円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	12,336,688円		5,090,453円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		12,336,688円		5,090,453円					
人件費	一般職員		50人日	1,341,083円	60人日	1,602,969円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		20人日	180,400円	10人日	93,362円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		1,521,483円		1,696,331円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			13,732,691円		6,786,784円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
除雪による苦情	職員が受けた苦情件数とし、指標は単年度とする。（除雪依頼等は含まない）	件	目標値		58.0	57.0	56.0	55.0
			実績値	60.0	25.0	0.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.4	4.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	除雪路線を変更したことにより、駐車場出入口や畑等に除雪した雪を押し付けてしまうケースが見受けられる。
令和2年度	除雪業者が今年度は１社辞退してしまい、今後も除雪業者が減る可能性があるが、除雪業者が減ることにより、負担が増えている可能性がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	除雪路線を変更した場合については、降雪前に事前に数回現場確認を実施してもらい、除雪の対応をしてもらう必要がある。
令和4年度予算に向けて	除雪路線を変更した場合については、降雪前に事前に数回現場確認を実施してもらい、除雪の対応をしてもらう必要がある。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　正彦　☑	清水　正彦 小俣　秀樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	市単土地改良事業			款項目	05-01-04	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	道路河川担当	記入者	廣嶋　正寛
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：近隣耕作者　　対象物：農業用水路及び道路		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 農業用施設の適正な維持管理・老朽箇所の修繕（業者依頼・直営）		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 農繁期に支障なく施設を利用し耕作する		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		32,587,266円	49,508,000円		
	決算額[Ｂ]		26,207,266円	46,029,892円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		80.4%	93.0%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		消耗品費　24,466円 修繕費 9,689,030円 原材料費 331,470円	消耗品費　3,961円 修繕費 5,818,785円 原材料費 398,208円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金		6,150,000円		
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	26,262,266円	39,879,892円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		26,262,266円	46,029,892円		

人件費		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	一般職員	175人日	4,693,792円	200人日	5,343,231円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	50人日	466,810円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]		4,693,792円		5,810,041円				
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			30,901,058円		51,839,933円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
苦情件数	農業用施設の修繕が必要な苦情（年度小計）	件	目標値		56.0	55.0	54.0	53.0
			実績値	58.0	53.0	27.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してい	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.4	4.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	経年劣化により、市内各所の水路から漏水が発生している。その都度修繕を実施しているが、根本的な解決にはならず、改修工事が必要。
令和2年度	経年劣化により、市内各所の水路から漏水が発生している。その都度修繕を実施しているが、根本的な解決にはならず、改修工事が必要。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○			○						
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		修繕料・漏水箇所が多数あり、緊急性及び優先度を考慮すると改修工事実施までの維持は不可能。			修繕対応した箇所の耐久年数は短く、再び漏水が発生してしまうので抜本的な解決方法としては改修工事が必要となる								

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	これまでも修繕を行っているが、経年により耐用年数が経過している構造物がほとんどであるため、維持補修では追いつかない。本来は改修工事をすべきだが、箇所及び延長が多数あり追いつかないため、修繕により維持する。
令和4年度予算に向けて	経年劣化により、市内各所の水路から漏水が発生している。その都度修繕を実施しているが、根本的な解決にはならない。長期的な視点から職員の対応回数頻度や修繕費のライフサイクルコストを精査する。緊急性及び優先度を考慮し、交付金や補助金を利用して改修工事を実施する。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　正彦　☑	清水　正彦 小俣　秀樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	林業施設事業			款項目	05-02-02	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	道路河川担当	記入者	廣嶋　正寛
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法				←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅰ	産業・基盤分野　創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：林道利用者　　対象物：林道		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市営林道の適正な維持管理・路面洗堀及び倒木処理等の修繕（業者依頼・直営）		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 山間部にあるため安全に通行できる		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		8,159,000円	106,815,000円		
	決算額[Ｂ]		6,701,852円	79,232,260円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		82.1%	74.2%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		修繕費　1,244,986円 委託料　5,445,000円 原材料費　11,866円	修繕費　1,450,460円 使用料及び賃借料　0円 原材料費　0円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	2,749,000円			
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	15,662,852円	79,232,260円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		18,411,852円	79,232,260円		

人件費									
	一般職員	70人日	1,877,517円	100人日	2,671,616円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	30人日	270,600円	15人日	140,043円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]		2,148,117円		2,811,659円				
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			8,849,969円		82,043,919円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
苦情件数	林業施設の修繕が必要な苦情（年度小計）	件	目標値		3.0	3.0	2.0	2.0
			実績値	4.0	6.0	2.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施して	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	2	2		
達成度（目標が実現できているか）	1	5		
平均得点	3.0	3.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	林道は山間部にあり大部分が未舗装となっているため、台風等の荒天後は路面洗堀及び倒木が発生する。今年度は、台風19号の台風で路面洗堀及び法面崩落等の修繕が多数発生した。
令和2年度	林道は山間部にあり大部分が未舗装となっているため、台風等の荒天後は路面洗堀及び倒木が発生する。今年度は、台風が無かったため修繕が少なかった。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○			○						
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		修繕料は台風の影響により年々増加傾向にある。定期的な補修を行い健全な状態を維持したい。			修繕費は台風の影響により年々増加傾向にある。定期的な補修を行い健全な状態を維持したい。								

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	なるべく被害を抑えるよう整備はしているが、近年の荒天は想定を超えることが多い。林道が被災すると復旧に掛かる経費が大きくなることから、未然に防ぐため維持に努める。
令和4年度予算に向けて	なるべく被害を最小限に抑えるよう整備はしているが、近年の荒天は想定を超えることが多い。林道が被災すると復旧に掛かる経費が大きくなることから、未然に防ぐため維持に努める。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　正彦　☑	清水　正彦 小俣　秀樹　☑	□	□

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	定式関係事業			款項目	07-03-01	評価責任者	清水　正彦
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	道路河川担当	記入者	廣嶋　正寛
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅳ	生活・環境分野　繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
	施策	1	★快適な住環境の整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：利用者　　対象物：農業用水路及び道路側溝		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 水路の適正な維持管理		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 通年を通して支障なく施設を利用する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		1,246,000円	1,246,000円		
	決算額[Ｂ]		1,114,436円	990,310円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		89.4%	79.5%		
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		役務費　6,000円 使用料及び賃借料 1,108,436円	役務費　6,000円 使用料及び賃借料　984,310円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	1,114,436円	990,310円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		1,114,436円	990,310円		

人件費		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	一般職員	20人日	536,433円	30人日	801,485円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	80人日	721,600円	30人日	280,086円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]		1,258,033円		1,081,571円				
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			2,372,469円		2,071,881円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
参加自治会数	市内定式参加自治会数（年度小計）	自治会	目標値		43.0	43.0	44.0	45.0
			実績値	42.0	46.0	46.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してい	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.8	4.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	近年は水路に蓋が多くみられ土砂浚渫箇所が減少しているが、自治会の協力を得て定式を行い機能維持に努めている。
令和2年度	近年は水路に蓋が多くみられ土砂浚渫箇所が減少しているが、自治会の協力を得て定式を行い機能維持に努めている。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	事業の推進を図ることにより水路等の機能維持管理が行えるため、参加していない自治会にＰＲを行っていく必要がある。
令和4年度予算に向けて	事業の推進を図ることにより水路等の機能維持管理が行えるため、参加していない自治会にＰＲを行っていく必要があるが、コロナ禍の影響及び自治会内の高年齢化による不参加等が懸念される。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　正彦　☑	清水　正彦 小俣　秀樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	渡辺一貴

部名	産業建設部	課名	上下水道課	担当名	下水道管理担当	記入者	庄子　昇

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	2.0人	2.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員	1.0人	1.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	2.0　人×　　0 日	2.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	01-01-01	下水特会	管理総務費	×	×	×	×	なし	110人日		110人日					
	01-01-01	下水特会	普及促進費	×	×	×	×	なし	120人日		130人日					
	01-01-02	下水特会	管理事務費	×	×	×	×	なし	142人日		145人日					
	01-01-02	下水特会	施設管理費	×	×	×	×	なし	50人日		57人日					
	01-01-02	下水特会	流域下水道維持管理費	○	○	○	×	なし	26人日		20人日					
	01-02-01	下水特会	下水道整備費	○	×	×	○	なし	0人日		0人日					
	01-03-01	下水特会	桂川流域下水道建設費負担金	○	×	○	○	なし	10人日		10人日					
	02-01-01	下水特会	公共下水道事業償還金	×	×	○	×	なし	6人日		4人日					
	02-01-01	下水特会	流域下水道事業償還金	×	×	○	×	なし	6人日		4人日					
	02-01-01	下水特会	資本費平準化債償還金	×	×	○	×	なし	10人日		4人日					
	02-01-02	下水特会	公共下水道事業償還利子	×	×	○	×	なし								
	02-01-02	下水特会	流域下水道事業償還利子	×	×	○	×	なし								
	02-01-02	下水特会	資本費平準化債償還利子	×	×	○	×	なし								

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
		人日合計	480人日		484人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	渡辺　一貴

部名	産業建設部	課名	上下水道課	担当名	水道管理担当	記入者	田代　崇

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員		3.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員		2.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	人×　　日	3.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
		配分残0人日		
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	01-02-35	水道事会	上水道整備	○	○	×	○	なし			436人日					
	01-02-35	簡水道事会	簡易水道整備	○	○	×	○	なし			290人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
		人日合計			726人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	渡辺　一貴

部名	産業建設部	課名	上下水道課	担当名	工務担当	記入者	佐藤　政啓

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	5.0人	5.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員	1.0人	1.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	5.0　人×　　0 日	5.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	01-02-01	簡水特会	直営簡易水道施設整備費	○	○	×	○	なし	360人日		335人日					
	01-02-01	下水特会	人件費（公共下水道建設費）	×	×	○	×	なし	1人日		1人日					
	01-02-01	下水特会	下水道整備費	○	×	×	○	なし	375人日		364人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
	給水申し込みに伴う閉開栓業務	水道管理担当	124人日		110人日					
	給水装置工事申し込みに伴う書類審査及び現地検査		100人日		110人日					
	水道施設日常点検		100人日		100人日					
	漏水修繕に伴う現場立会い		140人日		190人日					
		人日合計	1200人日		1210人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	長坂　文史

部名		課名	会計課	担当名	出納担当	記入者	武井　千春

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	3.8人	4.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員	0.8人	1.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	3.8　人×　　0 日	4.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	02-01-05	一般会計	出納事務	×	×	○	×	なし	912人日		968人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
		人日合計	912人日		968人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	佐藤好男

部名	市立病院	課名	病院事務局	担当名	総務企画担当	記入者	佐藤和哉

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	2.0人	3.0人	3.0人	
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員	2.0人	1.0人	1.0人	

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	2.0 人× 0 日	3.0 人× 0 日	3.0 人× 0 日	人× 日
	配分残0人日	配分残0人日	配分残0人日	
会計（フル）	人× 日	人× 日	人× 日	人× 日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
1		病院事会	公営企業会計システム（市立病院整備事業）	○	×	×	×	要評価	12人日		12人日		15人日			

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
2	出納処理業務	総務企画担当	117人日		240人日		240人日			
3	人事給与業務	総務企画担当	242人日		365人日		365人日			
4	決算業務	総務企画担当	60人日		60人日		60人日			
5	予算業務	総務企画担当	49人日		49人日		49人日			
		人日合計	480人日		726人日		729人日			

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	公営企業会計システム（市立病院整備事業）			款項目		評価責任者	佐藤好男
担当部	市立病院	担当課	病院事務局	担当	総務企画担当	記入者	佐藤和哉
会計	病院事会	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	2	地域医療体制の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 企業会計システム		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 企業会計システムの運用		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 公営企業会計処理		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		10,183,000円		6,824,000円					
	決算額[Ｂ]		9,311,000円		6,822,041円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		91.4%		100.0%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		電算機器等使用負担金 3,375千円 企業開会構築システム委託 5,336千円 企業会計保守業務 600千円		電算機器等使用負担金 4,672千円 企業会計保守業務 2,152千円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	9,311,000円		6,822,041円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		9,311,000円		6,822,041円					
人件費	一般職員		12人日	321,860円	12人日	320,594円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		1人日	6,510円	1人日	7,494円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		328,370円		328,088円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			9,639,370円		7,150,129円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
使用不可日数	障害によりシステムが使用できなかった日数	日	目標値		0.0	0.0	0.0	0.0
			実績値	0.0	0.0	0.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	5.0	5.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	企業会計稼働パソコンがWindows10に対応しておらず、パソコンの入れ替え及びシステム採用の必要であったが上下水道課との企業会計システムの相乗りが基幹系パソコンでの作業となることから5年間のランニングコストを比較し、独自の企業会計システム導入に至った。
令和2年度	独自システムを導入したことによる、既存システムとの相違点など、担当レベルで調整・再確認する必要があるが、概ね順調に進んだ。今後は各担当からシステムの改善要望などがあれば順次、対応していく。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	今後は、独自のシステムとなったことで柔軟な仕様変更・故障や災害時対応の体制構築を築く。
令和4年度予算に向けて	入れ替えをおこなったシステムが特に大幅な変更が必要でなければ、そのままの仕様で継続していく。大幅な変更が必要な時は、費用対効果を考慮しながら検討していく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	鬢櫛美咲　☑	□	□	□

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	坂巻　寛

部名	市立病院	課名	医事課	担当名	システム管理担当	記入者	関戸章雄

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	2.0人			
	フルタイム会計年度任用職員	2.0人			
	パートタイム会計年度任用職員	1.0人			

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	2.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日			
会計（フル）	2.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日			

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
1		病院事会	電子カルテシステム・オーダリングシステム管理事業	○	×	×	×	要評価	100人日		100人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
2	収入金管理・各種照会業務・各種委託契約業務		190人日	180人日						
3	検診・各種請求・各種報告業務		190人日							
4	介護保険・予防接種請求・電子カルテマスタ管理業務			300人日						
5										
		人日合計	480人日	480人日						

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	電子カルテシステム・オーダリングシステム管理事業			款項目		評価責任者	坂巻　寛
担当部	市立病院	担当課	医事課	担当	システム管理担当	記入者	関戸章雄
会計	病院事会	事業開始年度	令和元年度	法定根拠・法令等	医師法等		
事業実施方法	委託（指定管理含）実施事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	2	地域医療体制の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：外来及び入院患者、病院職員 対象物：電子カルテシステム・オーダリングシステム等		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 電子カルテシステム・オーダリングシステムの円滑な機器更改作業		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 効率的な診療体制を構築し、医療サービスの向上に繋げる		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		217,888円							
	決算額[Ｂ]		182,270円							
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		83.7%							
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		電子カルテ機器等（サーバ・端末）更改費用							
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債	217,800円							
		その他特定財源								
		一般財源	88円							
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		217,888円							
人件費	一般職員		100人日	2,682,167円						
		対象外事業分		円						
	会計年度（フル）		0人日	円						
		対象外事業分		円						
	会計年度（パート）			円						
	別担当職員			円						
	人件費合計[Ｄ]		2,682,167円							
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			2,864,437円							

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
患者数	入院及び外来の患者数	人	目標値		130400.0	135000.0	140000.0	145000.0
			実績値	130357.0	133353.0	127258.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5			
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4			
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3			
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4			
達成度（目標が実現できているか）	5	1		
平均得点	4.2	1.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	次回入替（２０２５年）まで、故障を抑制した運用（使用方法等）を行う。
令和2年度	本事業（機器更改作業）は、令和１年度に終了しています。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	
令和4年度予算に向けて	
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	坂巻　寛　☑	☐	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	佐藤　好男

部名		課名	介護老人保健施設「つる」	担当名	老健管理担当	記入者	高山　みどり

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	2.0人	2.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員	1.0人	1.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	2.0　人×　　0 日	2.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
		病院事会	老健機械備品整備事業(市立病院整備事業)	○	×	×	○	なし	20人日		20人日					
		病院事会	老健施設整備事業（市立病院整備事業）	○	×	×	○	なし	20人日		20人日					
1		病院事会	老健施設管理事業（市立病院整備事業）	×	○	×	×	要評価	80人日		84人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
2	職員管理業務		120人日		120人日					
3	介護報酬請求事務		80人日		80人日					
4	窓口業務		160人日		160人日					
5										
		人日合計	480人日		484人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	老健施設管理事業（市立病院整備事業）	款項目		評価責任者	佐藤　好男
担当部		担当課	介護老人保健施設「つる」	担当	老健管理担当	記入者	高山　みどり
会計	病院事会	事業開始年度	平成2年度	法定根拠・法令等	
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	2	地域医療体制の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 介護老人保健施設「つる」利用者		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 介護老人保健施設「つる」の施設管理		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 利用者が安心・安全に暮らせる施設		

２．実施結果（DO）

単位：円		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]	98,513,000円		77,843,965円					
	決算額[Ｂ]	83,256,469円		71,744,600円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]	84.5%		92.2%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）	消耗備品費 588,660円 光熱水費 16,694,318円 燃料費 8,251,685円 修繕費 3,711,982円 委託料 54,009,824円		消耗備品費 3,622,153円 光熱水費 17,269,482円 燃料費 9,221,700円 修繕費 4,104,869円 委託料 37,526,396円					
財源内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他特定財源								
	一般財源	83,256,469円		71,744,600円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])	83,256,469円		71,744,600円					
人件費	一般職員	80人日	2,145,733円	84人日	2,244,157円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]	2,145,733円		2,244,157円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]		85,402,202円		73,988,757円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
施設管理費の割合	老健事業費に占める施設管理費の割合	%	目標値		17.8	17.6	17.4	17.2
			実績値	18.0	17.0	14.2		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.4	4.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	老朽化による施設設備や利用者の状況に合う環境整備のため修繕費が増加している。　24時間・365日体制のため光熱水費・燃料費の削減は難しい。
令和2年度	新型コロナウイルス感染対策のため消耗品、備品等の購入が増加。また感染対策及び老朽化に伴う施設内整備のための修繕実施。入所者増加や感染対策のための機器使用増加による光熱水費が増加。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	施設整備計画を策定し、修繕、消耗備品の購入を行い、施設の維持管理に努める。
令和4年度予算に向けて	感染対策を実施・継続するため施設整備を行い、利用者の安心・安全な生活を確保する。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	鬘櫛　美咲　☑	佐藤　好男　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	中野武夫

部名	消防本部	課名	消防課	担当名	庶務担当	記入者	向山伸一

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	1.0人	2.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員	1.0人	1.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	1.0 人× 0 日	2.0 人× 0 日	人× 日	人× 日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人× 日	人× 日	人× 日	人× 日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
1	08-01-01	一般会計	常備消防総務関係費	×	○	×	×	要評価	40人日		80人日					
	08-01-01	一般会計	消防設備関係費	○	×	○	×	なし	40人日		80人日					
2	08-01-01	一般会計	教育訓練関係費	○	×	×	×	要評価	40人日		80人日					
	08-01-04	一般会計	消防施設費（市単独分）	○	×	×	○	なし	80人日		164人日					
	08-01-06	一般会計	災害対策費	×	×	×	×	なし	40人日		80人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
3										
4										
5										
6										
		人日合計	240人日		484人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	常備消防総務関係費			款項目	08-01-01	評価責任者	中野武夫
担当部	消防本部	担当課	消防課	担当	庶務担当	記入者	向山伸一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	消防組織法		
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	3	★災害対策及び消防救急の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 庶務・渉外業務管理、対外行事、施設運営管理		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 庶務・渉外業務に係る消耗品等物品調達管理業務並びに、災害拠点である消防庁舎・施設の日常点検及び保守点検を実施し、緊急性及び必要性を判断し修繕・更新を検討。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 消防庁舎・施設の点検業務を定期的に行い維持管理に努め施設の長寿命化を目指す。また、庁舎の維持管理費を含む庶務に係る業務全般の物品調達に対し費用対効果・ﾗﾝﾆﾝｸﾞｺｽﾄ等を考慮し経費削減を目指す。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		9,765,557円		9,186,000円					
	決算額[Ｂ]		8,401,754円		7,158,967円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		86.0%		77.9%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		光熱水費　4,510,667円 消耗品費　477,998円 修繕料　465,817円		光熱水費　3,752,169円 消耗品費　374,173円 修繕料　248,050円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	8,401,754円		7,158,967円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		8,401,754円		7,158,967円					
人件費	一般職員		40人日	1,072,867円	80人日	2,137,293円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		1,072,867円		2,137,293円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			9,474,621円		9,296,260円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
経費削減	光熱水費の経費削減	千円	目標値		4519.0	4473.0	4428.0	4383.0
			実績値	4565.0	4510.0	3752.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.6	4.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	7月中に消防庁舎2階照明のLED化取替修繕を実施、令和2年度に1階照明のLED化取替修繕を計上している。職員の節電意識の徹底と併せ経費削減を進めなければならない。
令和2年度	7月から9月にかけ消防庁舎1階照明のLED化取替修繕を実施。昨年度から実施している庁舎照明LED化により光熱水費の経費削減に繋がっている。令和3年度に消防庁舎3.4階及び訓練棟のLED化取替修繕を計上しており、職員の節電意識を徹底し、更なる経費削減を進める。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○								
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		光熱費等の経費削減			光熱費等の経費削減								

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和3年度に庁舎全体のLED化が完了する予定である。職員の節電意識を徹底し、更なる経費削減を目指す。
令和4年度予算に向けて	令和3年度に消防庁舎全体の照明LED化が完了し一定の経費削減が見込まれる。職員の節電意識を徹底し、継続的に節電を行い、更なる削減を図る。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮山みゆき　☑	中野武夫　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	教育訓練関係費			款項目	08-01-01	評価責任者	中野武夫
担当部	消防本部	担当課	消防課	担当	庶務担当	記入者	向山伸一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法		←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	3	★災害対策及び消防救急の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：消防職員 対象物：消防業務全般		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 消防職員の教育訓練及び各種業務に係る研修会等へ派遣		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 積極的に教育訓練、研修会に職員を派遣し、各担当業務並びに複雑多様化する災害に対応するべく、職員のスキルアップを目指し、少数精鋭で質の高い各種業務の遂行及び災害対応が出来るよう組織力を上げる。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額［A］		6,027,000円		4,020,000円					
	決算額［B］		3,202,040円		3,040,775円					
	執行率［B］/［A］		53.1%		75.6%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		負担金　2,849,277円 ※初任科入校経費 1,431,000円 大型自動車免許 587,464円 ドローン検定 269,400円		負担金　2,892,274円 ※初任科入校経費 1,944,000円 中型自動車免許 329,100円 高所作業車技能講習 26,400円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	3,202,040円		3,040,775円					
	財源合計［C］(=［B］)		3,202,040円		3,040,775円					
人件費	一般職員		40人日	1,072,867円	80人日	2,137,293円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計［D］		1,072,867円		2,137,293円					
総事業費［B］+［D］			4,274,907円		5,178,068円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
職員1人あたりの研修等参加回数	研修等参加者（年間延べ人数）÷4月1日現在の職員数	回	目標値		0.6	0.9	1.2	1.5
			実績値	0.3	0.9	1.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	5.0	5.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	世代交代の大量退職を回避すべく採用の分散化を計っているため、脆弱な状況にある。令和元年度は救命士研修出向予定者が退職、令和2年度研修の出向も中止となる。退職者、傷病休暇者が発生し、研修は見合わせ無ければならないこともあり、着実に出向できる体制を構築中である。
令和2年度	世代交代の大量退職を回避すべく採用の分散化を計っているため、脆弱な状況にあるが、令和3年度は救急救命士養成研修への出向、また消防学校等の消防職員教育研修、車両関係の免許取得や技能講習等への出向を予定しており、職員のスキルアップを実現し、組織力の向上を図る。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	必要性と有効性を勘案し、有用な研修に積極的に出向できる体制を作る。
令和4年度予算に向けて	複雑多様化する災害に対応するべく、教育訓練や研修会に職員を派遣出来るよう体制を整え、積極的に参加させ職員のスキルアップを目指し、組織力の強化を図る。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮山みゆき　☑	中野武夫　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	中野武夫

部名	消防本部	課名	消防課	担当名	庶務	記入者	向山伸一

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	1.0人	2.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員				

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	1.0 人× 0 日	2.0 人× 0 日	人× 日	人× 日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人× 日	人× 日	人× 日	人× 日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	08-01-03	一般会計	人件費（非常備消防費）	×	×	○	×	なし								
1	08-01-03	一般会計	都留市消防団管理運営費	○	×	×	×	要評価	240人日		484人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
2										
3										
4										
5										
		人日合計	240人日		484人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	都留市消防団管理運営費	款項目	08-01-03	評価責任者	中野武夫
担当部	消防本部	担当課	消防課	担当	庶務	記入者	向山伸一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	消防組織法第8条
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	2	★地域防災力・減災力の強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：都留市消防団		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 消防団員の報酬・褒章　災害時の安全確保のための装備の充実 各種研修等での災害対応能力の向上		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 法で定められた消防団員の装備充実　消防団員の資質の向上		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		14,902,000円		14,204,000円					
	決算額[Ｂ]		12,736,602円		9,818,562円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		85.5%		69.1%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		災害出動・訓練に要する出動費　消防団員消耗品・安全装備品に係る経費 消防団車両、機械器具点検等の維持管理 共済関係掛金・負担金に要する経費		災害出動・訓練に要する出動費　消防団員消耗品・安全装備品に係る経費 消防団車両、機械器具点検等の維持管理 共済関係掛金・負担金に要する経費					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	12,736,602円		9,818,562円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		12,736,602円		9,818,562円					
人件費	一般職員		240人日	6,437,200円	484人日	12,930,620円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		6,437,200円		12,930,620円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			19,173,802円		22,749,182円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
消防団員の装備充実	法で定められた消防団員の装備充実	%	目標値		90.0	90.0	100.0	100.0
			実績値	60.0	90.0	90.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.6	4.6		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	消防団員を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律に順じ、消防団員の装備の充実を図っている。また、災害の多様化・大規模化において地域に密着した消防団は、従来の消火活動に加え避難誘導や避難所運営支援活動等、多様な場面で様々な役割が求められている。
令和2年度	消防団員を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律に順じ、消防団員の装備の充実・強化を図っている。地域に密着した消防団は従来の消火活動に加え避難誘導や避難所運営支援活動等、多様な場面で様々な役割が求められていることから、継続的な装備の充実・強化、また消防団員教育研修等への参加により消防団員の質の向上を図り、災害対応能力の強化が必要となる。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	災害の多様化・大規模化において地域に密着した消防団は、従来の消火活動に加え避難誘導や避難所運営支援活動等、多様な場面で様々な役割が求められているため、訓練等が重要である。また、団員確保が困難な状況の中で機能別消防団員制度や学生消防団活動認定制度の導入を前向きに検討する。
令和4年度予算に向けて	災害の多様化・大規模化において地域に密着した消防団は、従来の消火活動に加え避難誘導や避難所運営支援活動等、多様な場面で様々な役割が求められているため、訓練等が重要である。また、団員確保が困難な状況の中で機能別消防団員制度や学生消防団活動認定制度の導入を前向きに検討する。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮山みゆき ☑	中野武夫 ☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	小宮　文彦

部名		課名	議会事務局	担当名		記入者	佐藤　靖恵

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	3.0人	4.0人		
	フルタイム会計年度任用職員	1.0人			
	パートタイム会計年度任用職員				

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	3.0　人×　　0 日	4.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	1.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日			

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	01-01-01	一般会計	議員人件費	×	×	○	×	なし	10人日		10人日					
	01-01-01	一般会計	議会活動費	×	×	○	×	なし	646人日	236人日	900人日					
1	01-01-01	一般会計	議会だより発行事業	○	×	×	×	要評価	64人日	4人日	58人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
2										
3										
4										
5										
		人日合計	720人日	240人日	968人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	議会だより発行事業			款項目	01-01-01	評価責任者	小宮　文彦
担当部		担当課	議会事務局	担当		記入者	佐藤　靖恵
会計	一般会計	事業開始年度	昭和46年度	法定根拠・法令等	都留市議会基本条例第16条		
事業実施方法				←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	2	市政情報提供手法の充実・多角化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 各定例会の議会活動を周知するため5月・8月・11月・2月に発行し、各自治会を通じて世帯に配布する。市のホームページでも公開している。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 開かれた議会を目指し、議会情報を積極的に提供する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		2,544,000円	2,913,000円		
	決算額[Ｂ]		2,442,711円	1,932,208円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		96.0%	66.3%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		カラープリンタトナー代 86,896円 議会だより印本費 2,258,939円 つる市政のあらまし印本費 70,308円	カラープリンタトナー代 78,122円 議会だより印本費 1,758,218円 つる市政のあらまし印本費 69,300円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,442,711円	1,932,208円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		2,442,711円	1,932,208円		

人件費		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	一般職員	64人日	1,716,587円	58人日	1,549,537円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	4人日	36,080円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]		1,752,667円		1,549,537円				
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			4,195,378円		3,481,745円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市民が議会活動に関心を持つ広報づくり	定例会等の情報提供だけでなく、行政視察の成果など活動報告の場である議会報告会の参加者の充実を図り、積極的に周知する。	人	目標値		282.0	285.0	287.0	290.0
			実績値	281.0	168.0	0.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3	3		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	2	2		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.0	3.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	議会活動を市民に伝える手段の一つとして「議会だより」を発行しているが、それが市民にとって読みたいと思えるものなのか。来年度は特別号の発行予定もあるが、作り手である議会サイドが満足するのではなく、読み手をもっと意識し、より市民目線での編集が必要であると考える。
令和2年度	今年度はコロナ禍により議会活動も様々な制約を受け、積極的な活動はできなかった。このため、発行を予定していた特別号の作成は見合わせとなったが、来年度においても発行は厳しいと思われる。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	議会だより、ホームページ、市政のあらましにかかる予算は現状を維持する中で、よりわかりやすく読みやすくするための改善を行いながら発行していく。また、議会報告会は、感染症の影響により開催が難しいが、開かれた議会に向けた取り組みとして事業を継続する必要があるため、開催の目途がつくまでは代替事業（市議会への手紙等）を検討し実施していく。
令和4年度予算に向けて	議会基本条例第16条において、「議会は、情報技術の発達を踏まえた多様な手段を活用することにより、市民が議会及び市政に関心を持つよう広報活動に努めるものとする。」と定められているため、感染症の状況や代替事業の効果検証を行う中、事業予算について検討していく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	久保田　昌宏　☑	小宮　文彦　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	高山　竜一

部名	教育委員会	課名	学校教育課	担当名	学校教育担当	記入者	石原　優一

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	4.0人			
	フルタイム会計年度任用職員	9.0人			
	パートタイム会計年度任用職員	1.0人			

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	4.0　人×　240 日	人×　　日	人×　　日	人×　　日
	配分残960人日			
会計（フル）	9.0　人×　240 日	人×　　日	人×　　日	人×　　日
	配分残2,160人日			

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
1	09-01-03	一般会計	適応指導教室事業	○	×	×	×	要評価	0人日	0人日						

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
2										
3										
4										
5										
		人日合計	0人日	0人日						

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	適応指導教室事業			款項目	09-01-03	評価責任者	高山　竜一
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原　優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市適応指導教室設置要綱		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 不登校児童生徒		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 適応指導教室（スマイル教室）の運営		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 不登校に陥っている児童生徒に対する学習補充支援や仲間との触れ合いを通じ、再登校への意欲を持たせ学校へ繋げる。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		765,835円	1,537,000円		
	決算額[Ｂ]		708,519円	956,133円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		92.5%	62.2%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		適応指導教室パソコン機器構築委託料 660,000円	パソコン機器等使用料 177,396円 適応指導教室備品購入費 243,430円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源		210,000円		
		一般財源	708,519円	746,133円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		708,519円	956,133円		

人件費								
一般職員	0人日	円	0人日	円				
対象外事業分		円		円				
会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
対象外事業分		円		円				
会計年度（パート）		円		円				
別担当職員		円		円				
人件費合計[Ｄ]		円		円				
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]		708,519円		956,133円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
学校復帰への割合	適応指導教室入室児童生徒が学校へ復帰した割合	%	目標値		0.0	20.0	30.0	40.0
			実績値	0.0	0.0	30.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.4	4.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	県が運営するこすもす教室が撤退するため、令和２年度から市が適応指導教室（スマイル教室）を運営するため、環境整備を行う。また、道志村からの依頼により道志村の不登校児童生徒の受入れを行う見込みである。
令和2年度	県が運営していた「こすもす教室」が令和元年度で終了となったため、令和2年度より市営の適応指導教室「スマイル教室」を不登校児童・生徒の居場所として受入を開始した。不登校に陥っている児童生徒に対する学習補充援助や仲間との触れ合いを通じ、再登校へ繋げる支援を行っている。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	不登校児童生徒が低年齢化するなかで、市独自で運営することにより対象児童の年齢を下げた対応が可能となった。今後は、不登校児童生徒が増えている状況のなかで、一人でも多くの児童生徒が再登校できるよう支援に努める。
令和4年度予算に向けて	市教育研修センターや県に配置されているチーフスクールカウンセラーと連携しながら、様々な事案に対応できる体制の構築を進めるとともに一人でも多くの児童生徒が再登校へと繋がる支援に努めていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹　☑	高山　竜一　☑	□	□

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	高山　竜一

部名	教育委員会	課名	学校教育課	担当名	学校教育担当	記入者	石原　優一

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	4.0人	4.0人		
	フルタイム会計年度任用職員	9.0人			
	パートタイム会計年度任用職員	1.0人	10.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	4.0　人×　　0 日	4.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	9.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日			

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	02-05-02	一般会計	学校基本調査事業	×	×	○	×	なし	10人日		10人日					
	09-01-01	一般会計	教育委員会費	×	×	×	×	なし	20人日		20人日					
1	09-01-03	一般会計	学生アシスタント・ティーチャー事業（SAT）	○	×	×	×	要評価	20人日		20人日					
2	09-01-03	一般会計	学校教育事業	○	×	×	×	要評価	60人日		60人日					
3	09-01-03	一般会計	教育研修センター事業	○	×	×	×	要評価	30人日	960人日	30人日					
4	09-01-03	一般会計	障害児教育事業	○	×	×	×	要評価	40人日	240人日	40人日					
5	09-01-03	一般会計	教育課程特例校推進事業	○	×	×	×	要評価	15人日		15人日					
6	09-01-03	一般会計	外国語指導者招致事業	○	×	×	×	要評価	15人日		15人日					
7	09-01-03	一般会計	学力向上フォローアップ事業	○	×	×	×	要評価	20人日		20人日					
8	09-01-03	一般会計	学校運営協議会設置推進事業	○	×	×	×	要評価	20人日		20人日					
	09-01-03	一般会計	学校施設寿命化関係事業	○	×	×	○	なし	45人日		45人日					
9	09-02-01	一般会計	小学校管理事業（学校教育課分）	○	○	×	×	要評価	115人日		115人日					
	09-02-01	一般会計	小学校地震対策事業	○	○	×	○	なし	20人日		20人日					
10	09-02-02	一般会計	小学校教育振興事業（学校教育課分）	○	×	×	×	要評価	55人日		55人日					
11	09-03-01	一般会計	中学校管理事業（学校教育課分）	○	○	×	×	要評価	95人日		95人日					
12	09-03-02	一般会計	中学校教育振興事業（学校教育課分）	○	×	×	×	要評価	55人日		55人日					
13	09-06-03	一般会計	学校給食運営事業	○	○	×	×	要評価	240人日	720人日	240人日	720人日				
14	09-06-03	一般会計	学校給食会委託事業	○	×	×	×	要評価		240人日		240人日				
	09-01-03	一般会計	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	×	×	×	×	なし			3人日					
15	09-01-03	一般会計	教員住宅管理事業	○	○	×	×	要評価			5人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
16	予算編成		35人日		35人日					
17	調査		50人日		50人日					
18	就学時健診									
19	会計年度任用職員採用関係									
		人日合計	960人日	2160人日	968人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	学生アシスタント・ティーチャー事業（SAT）		款項目	09-01-03		評価責任者	高山　竜一
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原　優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	学生アシスタント・ティーチャー配置事業実施要項		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	1	知の資源と連携したまちづくり
	施策	1	★大学等と連携した教育施策の展開
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市内小中学校児童・生徒		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 小中学校の放課後における小グループでの学習支援を中心とする活動（Aタイプ）、小中学校における授業支援を中心とする活動（Bタイプ）、小中学校において、学力不振、不登校傾向、多動、障害等による困難をもつ子供を対象に、個別的な支援や当該児童生徒のいる学級での補助的な活動（Cタイプ）		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 都留文科大学の教員志望の学生を「学生アシスタント・ティーチャー」として市内小中学校に配置し、子ども中心のきめ細やかな指導を一層充実させるとともに、教職員の多忙化解消の一助となる取組を行う。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		3,348,780円	4,229,000円		
	決算額[B]		2,463,547円	1,264,881円		
	執行率[B]/[A]		73.6%	29.9%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		学生アシスタント・ティーチャータクシー使用料 1,880,470円 学生アシスタント・ティーチャー事業旅費 505,360円	学生アシスタント・ティーチャータクシー使用料 941,880円 学生アシスタント・ティーチャー事業旅費 277,880円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	479,000円			
		一般財源	1,984,547円	1,264,881円		
	財源合計[C](=[B])		2,463,547円	1,264,881円		

人件費									
一般職員	20人日	536,433円	20人日	534,323円					
対象外事業分		円		円					
会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円					
対象外事業分		円		円					
会計年度（パート）		円		円					
別担当職員		円		円					
人件費合計[D]		536,433円		534,323円					
総事業費[B]+[D]		2,999,980円		1,799,204円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
学校受入満足率	SAT事業の学校受入希望数の割合（学生派遣希望数/学校受入希望数）【単年】	%	目標値		60.0	65.0	70.0	75.0
			実績値	59.0	53.0	68.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	1	5		
平均得点	3.8	4.6		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	令和2年度より、都留文科大学学校教育学科の新設により、学生のSAT事業への参加が必修となる。それに伴い、小中学校において参加希望者にバラつきが生じたり、学校の受入可能人数を超えた学生が派遣されることが懸念される。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、前期SAT事業が中止となり、後期SAT事業も10月から11月までの短期間で実施となった。今年度から本事業が都留文科大学学校教育学科での必修科目となったが、コロナ禍のため通年の状況は把握できなかった。今後、受け入れ学生は増員となるが、教員を目指す意識の高い学生ばかりではなくなることが懸念される。SAT事業の経費等については、令和3年度から費用の大部分を都留文科大学が負担する事となり、大幅なコストの縮減に繋がった。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持	○			○								
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	学生のSAT事業が一部の学生に必修となったことで参加人数が増加し経費増加も見込まれるが、教育現場でのきめ細やかな指導を充実させるとともに、教員志望の学生が教育現場を経験することで教員に必要な資質能力に関する自信に繋げる。また、当事業は都留文科大学とその設置者である行政が協議し展開する稀有な事業であり、教育養成の側面と教員の多忙化改善の一助ともなっているためさらなる発展をしていく必要がある。
令和4年度予算に向けて	教育現場でのきめ細やかな指導を充実させるとともに、教員志望の学生が教育現場を経験することで教員に必要な資質能力に関する自信に繋げる。また、学校教育学科の必修科目となったため、SAT事業の経費等について令和３年度から大学側で負担するよう働きかけ大幅な経費削減を図った。今後は、都留文科大学と市内小中学校が連携・協力し、「教育首都つる」を掲げる本市の特色ある事業として進めていく必要がある。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹　☑	高山　竜一　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	学校教育事業			款項目	09-01-03	評価責任者	高山　竜一
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原　優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市内小中学校児童・生徒		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 基礎学力の定着と学力向上を目指した取組の推進 児童・生徒が安全・安心に学校生活を行える支援の推進		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		220,047,742円		236,306,000円					
	決算額[Ｂ]		36,998,674円		152,287,370円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		16.8%		64.4%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		個性をはぐくむ学校づくり推進事業補助金 3,082,072円 日本スポーツ振興センター保護者掛金 1,934,245円 学校医等報酬　6,702,000円		GIGAｽｸｰﾙ構想に構想に伴う無線LAN環境整備事業 109,266,960円（令和元年度繰越明許費） 個性をはぐくむ学校づくり推進事業補助金 1,376,808円					
	財源内訳	国庫支出金			44,722,000円					
		県支出金	50,750円		32,050円					
		地方債			63,900,000円					
		その他特定財源	1,712,044円		1,375,114円					
		一般財源	35,235,880円		42,258,206円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		36,998,674円		152,287,370円					
人件費	一般職員		60人日	1,609,300円	60人日	1,602,969円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		1,609,300円		1,602,969円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			38,607,974円		153,890,339円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
事業等開催回数	地域の人が講師として開催した事業等の回数（単年）	回	目標値		120.0	130.0	140.0	150.0
			実績値	114.0	127.0	60.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3		
達成度（目標が実現できているか）	5	1		
平均得点	4.2	3.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	各学校への地域性や独自性に係る活動に対して予算的な補助をしているが、学校で地域性・独自性が失われてきており振興事業との差別化が難しくなってきている。また、「個性」の形成を支援する医療等の保障についても更なる発展をしていく必要がある。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校が臨時休業となった影響で学校行事の精選や時間割編成の工夫など通常とは違った学校運営となった。そのため、地域性や独自性に係る活動も中止となり、ほとんど事業は実施できない状況であった。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	個性を育む学校づくりを形成するために、地域や学校との連携を密にとり、より有意義な補助金にしていく。
令和4年度予算に向けて	地域性や独自性を主体的に取り組む各学校での個性を育む学校づくりを推進していくために、地域や学校との連携を生かしながら、学校ごとに地域の状況に合った独自の活動を展開していく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹　☑	高山　竜一　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	教育研修センター事業			款項目	09-01-03	評価責任者	高山　竜一
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原　優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市内小中学校児童・生徒及び保護者、教育関係職員		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 教育関係職員の研修、児童・生徒及び保護者の教育相談、児童・生徒の各種発表会等の運営		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 新学習指導要領に沿った創意工夫による特色ある教育活動を推進し、児童・生徒の「生きる力」を育む。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		3,911,934円		6,063,900円					
	決算額[Ｂ]		3,723,453円		953,107円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		95.2%		15.7%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		市内中学校演劇鑑賞会委託料 864,000円 社会科見学・演劇鑑賞会・親善音楽会バス借上げ 1,788,847円		社会科見学バス借上げ 289,408円 スーパーバイザー謝金 290,000円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源	248,000円							
		一般財源	3,475,453円		953,107円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		3,723,453円		953,107円					
人件費	一般職員		30人日	804,650円	30人日	801,485円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		960人日	8,659,200円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		5人日	32,550円	960人日	7,194,240円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		9,496,400円		7,995,725円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			13,219,853円		8,948,832円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
研修の参加率	教育関係職員の市主催研修への参加率（単年）	%	目標値		81.0	85.0	90.0	90.0
			実績値	80.0	80.0	82.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3		
達成度（目標が実現できているか）	1	3		
平均得点	3.0	3.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	年間を通じて、各研究委員会においてテーマを決め教育専門職の資質向上を図るため、研究会を実施しているが、教育現場で深刻化する教員の働き方の問題も踏まえ、研修会への参加について実施方法等の工夫が必要である。
令和2年度	年間を通じて各研究委員会においてテーマを決め教育専門職の資質向上を図るため、研究会を実施している。今後はGIGAスクール構想に伴う教職員の研修なども加え、教職員がICTを活用した教育活動がスムーズに実施できるよう支援する必要がある。今年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で、いくつかの事業を例年どおり実施することができなかった。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	これまで通り教員の資質の向上を図ることを目的に短期・長期研修の充実を図る。また読書感想文作品集の製本及び配布を行っていき、小学校社会科見学及び中学校演劇鑑賞会等の支援事業を実施、児童生徒及び就学前の幼児に係る教育相談を実施していく。
令和4年度予算に向けて	1人１台端末と学校における高速通信ネットワークの整備が完了したため、教職員を対象にデジタル教科書やドリル教材など新しい教材の活用方法を研修を通して実践的に活用できるよう支援の充実を図る。また、児童生徒の問題行動・不登校が増加傾向にあるため、アウトリーチ型支援の充実を図り、関係諸機関との連携を強化していく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹　☑	高山　竜一　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	障害児教育事業			款項目	09-01-03	評価責任者	高山　竜一
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原　優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法				←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市内小中学校児童・生徒		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 特別支援学級設置事業		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 障がいのある児童生徒が十分に教育を受けられるための合理的配慮及びその基礎となる環境整備により、特別支援教育の構築を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		14,326,431円		20,177,113円					
	決算額[Ｂ]		10,962,731円		19,264,774円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		76.5%		95.5%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		特別支援学級担当教員補助員賃金 8,730,582円 特別支援教育用教材費 388,354円		特別支援学級担当教員補助員報酬 14,128,273円 特別支援教育用教材費 55,968円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	10,962,731円		19,264,774円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		10,962,731円		19,264,774円					
人件費	一般職員		40人日	1,072,867円	40人日	1,068,646円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		240人日	2,164,800円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円	240人日	1,798,560円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		3,237,667円		2,867,206円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			14,200,398円		22,131,980円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
特別支援学級教員補助員配置校	特別支援学級教員補助員を配置できた校数	校	目標値		6.0	6.0	7.0	7.0
			実績値	7.0	6.0	6.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	5.0	5.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	特別支援教育においては個別の支援計画に基づき個々の特性にあった教育環境の整備が重要であるとともに、家族支援も含めた取組が必要となる。関係機関と連携を図り支援していくことが必要である。
令和2年度	特別支援教育においては個別の支援計画に基づき個々の特性にあった教育環境の整備が重要であるとともに、家族支援も含めた取組が必要となる。引き続き関係機関と連携を図り支援していくことが必要である。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	関係機関との連携を密にし、情報の共有を図ることで支援の内容を検討し充実させていく。
令和4年度予算に向けて	社会環境の変化により、特別支援学級を必要とする児童生徒が増加しており、インクルーシブ教育においても保護者の同意の中で支援員などの協力を得ながら普通学級の中で対応することも今後増加していく可能性もあるため、個々の状況に適した環境を整えていくとともに支援内容の充実にも取り組んでいく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹　☑	高山　竜一　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	教育課程特例校推進事業			款項目	09-01-03	評価責任者	高山　竜一
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原　優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	教育課程特例校制度		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：都留文科大学附属小学校の児童		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 都留文科大学附属小学校を教育課程特例校の指定校とし、学習指導要領によらない小学校1年生から6年生までの一貫した英語教育を行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 児童数の確保を図るとともに、低学年からの英語教育を施すことで実践力を養い、また都留文科大学との連携を強化する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		5,324,000円		5,362,000円					
	決算額[Ｂ]		5,322,791円		5,334,996円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		100.0%		99.5%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		外国語指導助手派遣業務委託 5,286,503円		外国語指導助手派遣業務委託 5,334,996円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	5,322,791円		5,334,996円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		5,322,791円		5,334,996円					
人件費	一般職員		15人日	402,325円	15人日	400,742円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		402,325円		400,742円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			5,725,116円		5,735,738円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
英語検定合格者	都留文科大学附属小学校の英語検定合格者人数（5級以上）	人	目標値		2.0	2.0	3.0	3.0
			実績値	0.0	2.0	1.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	3		
平均得点	4.4	4.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	都留文科大学附属小学校に専任のALTを配置し、小学校1,2年生から英語活動に触れることができ、授業中だけではなく掃除や給食なども交流の時間があるため英語力と国際力が培われてはいるが、新学習指導要領の改正により他の学校との差別化ができなくなってきている。
令和2年度	教育課程特例校に指定され6年が経過し、今年度が最終年度となる。新学習指導要領により他の小学校でも外国語が導入されているが、差別化を図るため地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要がある。既に文部科学省へ変更申請を提出し、Ｒ３～８までの６年間を特例校としての承認を受けている。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度末に英語特区の期間が満了することに伴い、教育課程特例校の見直しを図る必要がある。令和2年度より新学習指導要領の改正があり、英語特区としての特長を生かした学校運営を都留文科大学との連携を強化するなか進めていく。
令和4年度予算に向けて	文部科学省から教育課程特例校の承認を受け、引き続き令和3年度から令和８年度までの6年間を教育課程特例校として進めていく。地域の特色を生かした教育課程編成として都留文科大学と連携し、特色ある外国語教育の推進していく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹　☑	高山　竜一　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	外国語指導者招致事業			款項目	09-01-03	評価責任者	高山　竜一
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原　優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	招致外国青年就業規則		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市内小中学校児童・生徒（都留文科大学附属小学校を除く10校）		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 外国語指導者（ALT）による新学習指導要領に沿った英語教育を実施する。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 ALTによる外国語教育、国際理解教育の充実を図り国際性豊かな子供の育成に資する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		31,876,920円	32,120,000円		
	決算額[Ｂ]		31,772,996円	32,010,004円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		99.7%	99.7%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		外国語指導助手派遣業務委託 31,718,996円 外国語指導助手に関する教育研修委託 54,000円	外国語指導助手派遣業務委託 32,010,004円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	31,772,996円	32,010,004円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		31,772,996円	32,010,004円		

人件費		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	一般職員	15人日	402,325円	15人日	400,742円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]		402,325円		400,742円				
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			32,175,321円		32,410,746円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
外国語指導者配置数	都留文科大学附属小学校を除く市内小中学校に外国語指導者（ＡＬＴ）を配置した人数（単年）	人	目標値		6.0	7.0	8.0	9.0
			実績値	4.0	6.0	6.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	4		
平均得点	4.4	4.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	ALTによるネイティブな外国語教育により、英語力と国際力が培われている。平成30年9月より、委託事業者を変更しALTを４名配置。また、令和元年度にはさらに2名を増員し、各学校での英語教育を取り組む時間が増えている。
令和2年度	令和2年度の学習指導要領の改訂に伴い、小学校外国語が教科化されたことで、ALTによるネイティブな外国語による授業を行う中で、現在のALT6名体制からの増員やALTが英語専科教員と円滑な授業を実施していくために何が必要か研究する必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	新学習指導要領の改正により、小学校でも「英語」の授業のウエイトが高くなった。ALTを活用した授業を展開していくことはもちろん、運動会やその他の学校行事への参加、他国の文化に触れあう時間を増やしていき児童・生徒に必要なコミュニケーション能力の形成、英語への興味関心を高めていく。
令和4年度予算に向けて	令和3年度末で外国語指導助手派遣業務委託の契約期間が終了するため、次年度からの委託業者を選定していく中で都留市にあった形の事業になるよう事業の方向性について検討を行う。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹　☑	高山　竜一　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	学力向上フォローアップ事業			款項目	09-01-03	評価責任者	高山　竜一
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原　優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市内小中学校児童・生徒		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 放課後や授業の空き時間、長期休業等を活用し学力に不安のある児童の基礎学力向上を図る。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 学力に不安のある児童・生徒への基礎学力の定着を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		3,346,000円		3,310,000円					
	決算額[Ｂ]		2,524,750円		666,036円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		75.5%		20.1%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		学習支援講師謝金 2,524,750円		学習支援講師謝金　665,000円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金	682,000円							
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	1,842,750円		666,036円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		2,524,750円		666,036円					
人件費	一般職員		20人日	536,433円	20人日	534,323円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		536,433円		534,323円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			3,061,183円		1,200,359円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
学力向上フォローアップ事業の拡大	市内小中学校すべての学校において学力向上フォローアップ事業を行う。（単年）	校	目標値		11.0	11.0	11.0	11.0
			実績値	10.0	10.0	8.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.2	3.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	現状、講師として大学生や地域人材を活用しているが費用面の負担が増加している。学力に不安のある児童・生徒への基礎学力の向上を担っているものの、数字等での客観的な成果が見えづらく今後取組内容等の検討が必要である。
令和2年度	令和2年度から教育補助員等が会計年度任用職員として任用されたため、長期休業期間の実施校については、教育補助員が空いている時間に配置校以外の学校で学習サポートを行うなど、学生やボランティアだけでなく、補助員のサポートも加わる中で着実に事業に関わる人の多様化が進んだ。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○											
	維持					○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		会計年度任用職員報酬											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度より、会計年度任用職員（教員補助員）の業務の中に学力向上フォローアップ事業を盛り込むため従来に比べて費用面は抑えられる。ただし、学力を示す数値として客観的な指標が出づらいためICT機器を用いた学習環境の構築等と併用していく必要性がある。
令和4年度予算に向けて	会計年度任用職員（教員補助員）の業務の中に学力向上フォローアップ事業を盛り込むため従来に比べて費用面は抑えられる。しかし学力の向上が図られたかを示す数値として客観的な分析方法がないため、1人一台パソコンを活用した学習環境の構築等とセットで進めていく必要性がある。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹　☑	高山　竜一　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	学校運営協議会設置推進事業	款項目	09-01-03	評価責任者	高山　竜一
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原　優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	教育基本法及び学校教育法
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市内小中学校		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 保護者・地域住民が学校運営に参画し、学校組織全体の総合力を高める協議会の推進		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内各小学校への運営協議会の設置し、地域と連携した学校運を行う。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		222,000円		222,000円					
	決算額[Ｂ]		112,856円		107,950円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		50.8%		48.6%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		学校運営協議会報酬 100,000円		学校運営協議会報酬 100,000円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	112,856円		107,950円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		112,856円		107,950円					
人件費	一般職員		20人日	536,433円	20人日	534,323円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		536,433円		534,323円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			649,289円		642,273円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市内学校運営協議会設置数	市内に学校運営協議会を設置した校数（累計）	校	目標値		3.0	5.0	8.0	11.0
			実績値	1.0	1.0	1.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.2	3.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	本市での設置は、旭小学校のみとなっているが、山梨県全体の設置数も低く、文部科学省の方針により学校運営協議会の設置が努力義務から義務化する可能性もあるため導入計画を立て学校・地域と連携し、順次導入していかなければならない。
令和2年度	現在市内では小学校1校に学校運営協議会が設置され、教育目標や教育課程の編成など協議会の承認を経て学校運営を行っている。今後、学校運営協議会の設置が義務化する可能性もあるため、国の動向等を注視していく必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持					○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		文科省において、学校運営協議会の設置が推奨・拡大傾向にあるため。 委員報酬											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	学校運営協議会を他学校にも導入するためには、学校と地域の協力が不可欠である。行政での導入計画を明確にしたうえで学校・地域の協力を要請していく。また、すでに導入済みの学校についても更なる推進をしていく。
令和4年度予算に向けて	学校運営協議会を他学校にも導入するためには、学校と地域の協力が不可欠である。行政での導入計画を明確にしたうえで学校・地域の協力を引き続き要請していくとともにすでに導入済みの学校についても更なる推進をしていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹　☑	高山　竜一　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	小学校管理事業（学校教育課分）	款項目	09-02-01	評価責任者	高山　竜一
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当
記入者	石原　優一				
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	学校基本法及び学校教育法
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市内小学校児童 対象物：市内小学校		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市の共有する小学校の適正な管理 経年劣化・老朽化による修繕、設備の保守点検等		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 小学校児童の快適な学校生活		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		342,965,000円		148,993,790円					
	決算額[Ｂ]		326,847,332円		144,059,515円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		95.3%		96.7%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		電気料・上下水道料 30,952,834円 谷村第二小学校に係る土地購入費5,970,000円 スクールバス運行業務委託 14,348,760円		電気料・上下水道料 24,097,416円 ネットワーク分離構築（強靭化）9,039,800円 スクールバス運行業務委託 15,204,420円					
	財源内訳	国庫支出金	38,258,000円							
		県支出金	317,192円							
		地方債								
		その他特定財源	697,560円		739,268円					
		一般財源	287,574,580円		143,320,247円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		326,847,332円		144,059,515円					
人件費	一般職員		115人日	3,084,492円	115人日	3,072,358円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		3,084,492円		3,072,358円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			329,931,824円		147,131,873円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
小学校トイレ洋式化及び乾式化	トイレの洋式化及び乾式化して整備された校数（累計）	校	目標値		1.0	2.0	3.0	4.0
			実績値	0.0	0.0	0.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.6	3.6		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	学校要望における施設修繕や施設改修について状況を確認し、児童が安心で安全な教育環境整備に努める。
令和2年度	各学校の老朽化が年々進んでいる中で限られた予算の範囲内で修繕に取り組んでいるが、経年劣化による対応箇所を学校からの施設修繕や施設改修の要望について状況を確認し、優先順位の高い個所から順次対応を行うなど、児童の安全・安心が確保される教育環境整備に努めている。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	長寿命化計画に基づき予算との整合性を調整しつつ計画的な改修をしていく。
令和4年度予算に向けて	長期総合計画実施計画と長寿命化計画との整合性を図る中で回収する部分の優先順位の明確化と費用負担の平準化をバランスよく組み込みながら計画的な改修及び修繕を進めていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹　☑	高山　竜一　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	小学校教育振興事業（学校教育課分）	款項目	09-02-02	評価責任者	高山　竜一
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原　優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	学校基本法及び学校教育法
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市内小学校児童 対象物：市内小学校		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 新学習指導要領に沿った教育環境の提供		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 「情報活用の実践力」「情報の科学的理解」「情報社会に参画する態度」を3つの柱とし、溢れる情報の中から必要な情報を主体的に選択・活用できる力を身につける。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		42,764,000円		48,308,000円					
	決算額[Ｂ]		38,659,890円		40,704,674円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		90.4%		84.3%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		PC教室用パソコン使用料（228台分）23,328,000円 電子黒板リース料（40台分）3,597,804円 教師用学習系端末リース料（40台分）3,182,976円		PC教室用パソコン使用料（228台分）23,328,000円 電子黒板リース料（40台分）6,167,664円 教師用学習系端末リース料（40台分）3,182,976円					
	財源内訳	国庫支出金	415,944円		356,452円					
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	38,243,946円		40,348,222円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		38,659,890円		40,704,674円					
人件費	一般職員		55人日	1,475,192円	55人日	1,469,389円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		1,475,192円		1,469,389円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			40,135,082円		42,174,063円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
児童1人1台ノートパソコンの整備率	児童1人1台ノートパソコンの整備を行う。	%	目標値		50.0	100.0	100.0	100.0
			実績値	20.0	20.0	20.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.8	3.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	児童の教材備品等の整備や新学習指導要領の改正に合わせたICT機器等の整備を進めている。平成30年度までにパソコン教室等へのタブレットの整備、令和元年度には電子黒板の整備をしており、引き続きICT機器の整備・拡大を目指す。
令和2年度	GIGAｽｸｰﾙ構想の前倒しにより一人一台ﾀﾌﾞﾚｯﾄ端末を購入し、無線LANに対応するための設定業務委託を次年度への繰越事業として早期の完成を目指す。次年度に全ての普通教室・理科室・パソコン教室へ電子黒板の整備される予定のため、設置された機器をいかに授業の中で有効に活用できるかが課題となっている。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持					○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		さらなるICT環境の整備 会計年度職員人件費 機器リース料など											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	電子黒板やタブレットなどのハード面の整備と並行して、ドリル教材やデジタル教科書等のソフト面の整備を実施していく。また、ICT機器を積極的に活用できる環境を整えるために教員の負担軽減を考慮した研修やICT機器の準備や操作等、ICT活用技術に知見を有する専門スタッフを配置していく。
令和4年度予算に向けて	ハード面の整備は概ね整っており、学習支援ソフトやデジタル教科書等も令和3年度に導入する。前年度に引き続き、ICT機器を積極的に活用できる環境を整えるために教員の負担軽減を考慮した研修やICT機器の準備や操作など実施していく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹　☑	高山　竜一　☑	□	□

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	中学校管理事業（学校教育課分）	款項目	09-03-01	評価責任者	高山　竜一
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	
事業実施方法		←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市内中学校生徒 対象物：市内中学校		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市の所有する中学校の適正な管理 経年劣化・老朽化による修繕、設備の保守点検等		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 中学校生徒の快適な学校生活		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		160,364,000円	84,760,000円		
	決算額[Ｂ]		154,126,072円	72,154,844円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		96.1%	85.1%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		都留第二中学校電車通学定期使用料4,020,340円 スクールバス運行業務委託20,996,540円 電気料・上下水道料15,296,863円	都留第二中学校電車通学定期使用料3,718,120円 スクールバス運行業務委託20,826,960円 電気料・上下水道料10,603,239円		
	財源内訳	国庫支出金	14,351,000円			
		県支出金	260,947円	37,000円		
		地方債				
		その他特定財源	1,660,650円	1,669,422円		
		一般財源	137,853,475円	70,448,422円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		154,126,072円	72,154,844円		
人件費	一般職員		95人日　2,548,058円	95人日　2,538,035円		
		対象外事業分	円	円		
	会計年度（フル）		0人日　円	0人日　円		
		対象外事業分	円	円		
	会計年度（パート）		円	円		
	別担当職員		円	円		
	人件費合計[Ｄ]		2,548,058円	2,538,035円		
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			156,674,130円	74,692,879円		

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
中学校トイレ洋式化及び乾式化	トイレの洋式化及び乾式化して整備された校数（累計）	校	目標値		1.0	1.0	2.0	2.0
			実績値	0.0	0.0	0.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	5		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.2	3.6		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	学校要望における施設修繕や施設改修について状況を確認し、適切な手配を進めている。
令和2年度	各学校の老朽化が年々進んでいる中で限られた予算の範囲内で修繕に取り組んでいるが、経年劣化による対応箇所を学校からの施設修繕や施設改修の要望について状況を確認し、優先順位の高い個所から順次対応を行うなど、児童の安全・安心が確保される教育環境整備に努めている。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	長寿命化計画に基づき予算との整合性を調整しつつ計画的な改修をしていく。
令和4年度予算に向けて	長期総合計画実施計画と長寿命化計画との整合性を図る中で回収する部分の優先順位の明確化と費用負担の平準化をバランスよく組み込みながら計画的な改修及び修繕を進めていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹　☑	高山　竜一　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	中学校教育振興事業（学校教育課分）	款項目	09-03-02	評価責任者	高山　竜一
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原　優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	学校基本法及び学校教育法
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市内中学校生徒 対象物：市中学校		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 新学習指導要領に沿った教育環境の提供		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 「情報活用の実践力」「情報の科学的理解」「情報社会に参画する態度」を3つの柱とし、溢れる情報のなかから必要な情報を主体的に選択・活用できる力を身につける。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]		28,033,000円	31,213,000円		
	決算額[B]		24,825,126円	18,586,405円		
	執行率[B]/[A]		88.6%	59.5%		
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		PC教室用パソコン使用料（132台分）12,658,800円 電子黒板リース料 3,522,048円 教師用学習系端末リース料 806,112円	PC教室用パソコンリース・再リース料（132台分）5,808,418円 電子黒板リース料（21台分）3,668,976円 教師用学習系端末リース料（25台分）806,112円		
	財源内訳	国庫支出金	421,056円	260,548円		
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	24,404,070円	18,325,857円		
	財源合計[C](=[B])		24,825,126円	18,586,405円		

人件費									
一般職員	55人日	1,475,192円	55人日	1,469,389円				
対象外事業分		円		円				
会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
対象外事業分		円		円				
会計年度（パート）		円		円				
別担当職員		円		円				
人件費合計[D]		1,475,192円		1,469,389円				
総事業費[B]+[D]		26,300,318円		20,055,794円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
生徒1人1台ノートパソコンの整備	生徒1人1台ノートパソコンの整備を行う。	%	目標値		30.0	100.0	100.0	100.0
			実績値	20.0	20.0	20.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.8	3.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	生徒の教材備品等の整備や新学習指導要領の改正に合わせたICT機器等の整備を進めている。令和30年度にタブレットの整備、令和元年度には電子黒板の整備をしており、引き続きICT機器の整備・拡大を目指す。
令和2年度	GIGAｽｸｰﾙ構想の前倒しにより一人一台ﾀﾌﾞﾚｯﾄ端末を購入し、無線LANに対応するための設定業務委託を次年度への繰越事業として早期の完成を目指す。次年度に全ての普通教室・理科室・パソコン教室へ電子黒板の整備される予定のため、設置された機器をいかに授業の中で有効に活用できるかが課題となっている。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持					○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		さらなるICT環境の整備											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	電子黒板やタブレットなどのハード面の整備と並行して、ドリル教材やデジタル教科書等のソフト面の整備を実施していく。また、ICT機器を積極的に活用できる環境を整えるために教員の負担軽減を考慮した研修やICT機器の準備や操作等、ICT活用技術に知見を有する専門スタッフを配置していく。
令和4年度予算に向けて	ハード面の整備は概ね整っており、学習支援ソフトやデジタル教科書等も令和3年度に導入する。前年度に引き続き、ICT機器を積極的に活用できる環境を整えるために教員の負担軽減を考慮した研修やICT機器の準備や操作など実施していく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹　☑	高山　竜一　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	学校給食運営事業			款項目	09-06-03	評価責任者	高山　竜一
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原　優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	学校教育法、学校給食法		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市内小中学校、児童生徒		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市内小中学校に統一献立・共同物質による共同調理場及び単独調理場方式による給食の提供		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 給食を安心・安全に提供することとし、身体の発育期にある児童生徒に対し、栄養バランスの取れた給食を提供するとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		74,692,000円		84,586,000円					
	決算額[Ｂ]		68,132,200円		72,604,816円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		91.2%		85.8%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		各種消耗品 8,083,775円 修繕費5,87,870円、委託料 21,439,998円、備品購入費 1,378,080円		各種消耗品　8,278,787円 修繕費　10,316,534円 委託料　21,528,636円　備品購入費　1,703,781円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源	986,850円		986,788円					
		一般財源	67,145,350円		71,618,028円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		68,132,200円		72,604,816円					
人件費	一般職員		240人日	6,437,200円	240人日	6,411,878円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		720人日	6,494,400円	720人日	6,722,063円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		12,931,600円		13,133,941円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			81,063,800円		85,738,757円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
学校給食地場産物の使用	学校給食地産地消の推進	%	目標値		30.0	30.0	30.0	30.0
			実績値	12.6	12.9	9.9		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.6	3.6		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	機械設備の経年劣化に伴い、長期計画に盛り込み更新や修繕を実施し計画していく。また、センターの機械設備は特注品であり、躯体に対する付属部品の劣化等の点検を行い、長寿命化を図っていく。
令和2年度	機械設備の経年劣化に伴い、長期的な計画に盛り込むなど給食調理業務等に支障が発生しないよう進めていく。また、センターの機械設備は特注品であるため、早めの部品交換などを定期的に行い、本体の故障に繋がらないようメンテナンスの強化を図っていく。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大						○						
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	これまでの安心安全を継続しつつ、経費削減を図ることを目的として事業の成果を上げて行く。
令和4年度予算に向けて	給食費の管理を公会計へ移行することにより、教職員の多忙化の解消や負担軽減となることにより、児童生徒に寄り添う時間の確保が教育の改善へと繋がっていく事が期待されている。令和3年度中に公会計化に必要となるシステム構築や各種手続き、例規整備等を確実に行い、スムーズに公会計化が図られるよう準備を進める。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹　☑	高山　竜一　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	学校給食会委託事業			款項目	09-06-03	評価責任者	高山　竜一
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原　優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	学校教育法、学校給食法		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 都留市小中学校給食会		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市内小中学校の統一献立、共同物資による給食調理の運営		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 給食を安心・安全に提供することとし、身体の発育期にある児童生徒に対し、栄養バランスの取れた給食を提供するとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		70,662,000円	71,509,000円		
	決算額[Ｂ]		64,983,035円	59,738,630円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		92.0%	83.5%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		調理従事者の給与及び賃金 58,512,008円 給食運営費 1,012,377円 給食用食材費 1,695,591円	調理従事者の給与及び賃金 54,784,521円 給食運営費 981,950円 給食用食材費 1,797,353円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	64,983,035円	59,738,630円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		64,983,035円	59,738,630円		
人件費	一般職員		0人日　円	0人日　円		
		対象外事業分	円	円		
	会計年度（フル）		240人日　2,164,800円	240人日　2,240,688円		
		対象外事業分	円	円		
	会計年度（パート）		円	円		
	別担当職員		円	円		
	人件費合計[Ｄ]		2,164,800円	2,240,688円		
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			67,147,835円	61,979,318円		

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
調理従事者	就業規則に沿った調理従事者の雇用（累計）	人	目標値		23.0	23.0	23.0	23.0
			実績値	22.0	17.0	22.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.6	3.6		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	調理員の人手不足に伴い、今後の学校給食提供に不安定な要素が見られる。引き続き調理員確保を重視した中で、専門性を有する民間事業者への委託などの検討が必要と考えられる。
令和2年度	調理員の人手不足による学校給食提供体制に不安定な要素が見られるため、引き続き調理員確保を重点的に進めていく中で、今後の給食提供体制のあり方について、民間のノウハウの導入等も含めて検討していく必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大						○						
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	これまでと同様に安心安全でおいしい給食を提供していくため、調理員の退職や欠員の確保を図り、今後近隣市町村の現状を踏まえ、調理員の待遇及び予算の見直し等を行っていく。 また、令和４年度の公会計化に向け準備を進めていく。
令和4年度予算に向けて	これまでと同様に安心安全でおいしい給食を提供していくため、調理員の退職や欠員の確保を図り、今後近隣市町村の状況を踏まえ、調理員の待遇や運営の方法など今後の方向性について総合的に検討を進めていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹　☑	高山　竜一　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	教員住宅管理事業			款項目	09-01-03	評価責任者	高山　竜一
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原　優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細	都留市教員住宅条例、都留市教員住宅条例施行規則		

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：教員住宅入居者 対象物：教員住宅		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市の所有する教員住宅の適正な管理 経年劣化・老朽化等による修繕、入退去によるリフォーム、住宅設備の保守点検等		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 教員住宅入居者の快適な生活		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		970,100円	1,110,100円		
	決算額[Ｂ]		808,207円	1,000,705円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		83.3%	90.1%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		教員住宅（深田・大幡）修繕 400,000円 浄化槽清掃管理業務委託 75,900円 消防設備保守点検業務委託 83,600円	清掃業務委託（深田・大幡） 226,600円 教員住宅（深田）修繕 123,420円 浄化槽清掃管理業務委託 66,000円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	808,207円	1,000,705円		
		一般財源				
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		808,207円	1,000,705円		

人件費		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	一般職員	0人日	円	5人日	133,581円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]		円		133,581円				
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			808,207円		1,134,286円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
修繕要望数	入居者が安心して暮らせる施設を提供するための要望に対する対応数	箇所	目標値		4.0	4.0	3.0	3.0
			実績値	5.0	6.0	5.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.6	3.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	教員住宅は建設からかなりの年数が経っており、経年劣化や老朽化がかなり見受けられる。また、大幡教員住宅については、教員住宅以外の用途の在り方を検討していかなければならない。
令和2年度	企画推進局での審議により大幡教員住宅の存続が決定したため、建築から25年以上経過し経年劣化も散見される状況の教員住宅について、次年度以降に大規模改修を計画的に進めていくことを検討していく必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持					○							
	縮小	○											
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		大幡教員住宅について、使用用途の再検討											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	これまで通り適正な管理を行う中で、今後教員住宅の用途を多様化するニーズに合わせて変更をする必要がある。
令和4年度予算に向けて	深田教員住宅の令和5年度工事に向けて、屋根外壁等改修工事実施設計の予算計上を予定している。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣　秀樹　☑	高山　竜一　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	田中　正樹

部名	教育委員会	課名	生涯学習課	担当名	スポーツ振興担当	記入者	田中　裕二

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	2.0人	2.0人		
	フルタイム会計年度任用職員	1.0人	1.0人		
	パートタイム会計年度任用職員	2.0人	2.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	2.0　人×　　0 日	2.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	1.0　人×　　0 日	1.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	09-06-01	一般会計	一般社会体育事業	×	×	×	×	なし	60人日	20人日	60人日	30人日				
1	09-06-01	一般会計	体育スポーツ振興事業	○	×	×	×	要評価	80人日	20人日	60人日	30人日				
2	09-06-01	一般会計	体育スポーツ奨励事業	○	×	×	×	要評価	90人日	100人日	64人日	32人日				
3	09-06-02	一般会計	野球場管理運営事業	×	○	×	×	要評価	50人日	20人日	60人日	30人日				
4	09-06-02	一般会計	体育館管理運営事業	×	○	×	×	要評価	50人日	20人日	60人日	30人日				
5	09-06-02	一般会計	各体育施設管理運営事業	×	○	×	×	要評価	50人日	20人日	60人日	30人日				
6	09-06-02	一般会計	やまびこ競技場管理運営事業	○	○	×	×	要評価	50人日	20人日	60人日	30人日				
7	09-06-02	一般会計	健康ジム管理運営事業	○	○	×	×	要評価	50人日	20人日	60人日	30人日				

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
8										
9										
10										
11										
		人日合計	480人日	240人日	484人日	242人日				

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	体育スポーツ振興事業			款項目	09-06-01	評価責任者	田中　正樹
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当	記入者	田中　裕二
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	2	明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市民全般及びスポーツ指導者ほか		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 スポーツを通じた健康づくり行事の実施		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市民がいつでも自分のスタイルでスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ環境の創出		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		1,565,000円		1,640,000円					
	決算額[Ｂ]		899,576円		99,910円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		57.5%		6.1%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		市民初心者子どもスケート教室に伴う大型バス等借り上げ 506,750円 各種教室及び大会保険料 162,400円		ロードレース大会公式ホームページサーバー使用料　55,000円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源	468,746円		円					
		一般財源	430,830円		99,910円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		899,576円		99,910円					
人件費	一般職員		80人日	2,145,733円	60人日	1,602,969円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		20人日	180,400円	30人日	280,086円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		80人日	520,800円	30人日	224,820円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		2,846,933円		2,107,875円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			3,746,509円		2,207,785円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
参加者の満足度	スポーツ健康教室参加者の満足度（アンケート）	%	目標値		95.2	95.5	95.8	96.1
			実績値	95.0	95.2	0.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3	3		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	1		
平均得点	4.0	3.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	スポーツ健康教室の参加者は増加（平成30年度102人→令和元年度464人）したが、市民初心者子どもスケート教室（平成30年度194人→令和元年度164人）、市民歩け歩け大会（平成30年度78人→令和元年度48人）等の参加者が減少している。スポーツ健康教室は教室の内容の変更（軽スポーツ→バドミントン・卓球）、スケート教室、歩け歩け大会は雨天が要因と考えられる。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症感染拡大を受け、市民の健康や安全面を最優先に考慮し、スポーツ健康教室、市民初心者子どもスケート教室、市民歩け歩け大会を中止した。代替事業としてスポーツ推進委員により「スポーツ推進委員だより」を作成したほか、自宅で簡単にできる体操動画の作成、オリンピック・パラリンピックに関するクイズの作成などを行った。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	教室等について、参加者へのアンケートの実施等により市民のニーズに応じた内容の見直しを行い、教室を契機として自主的にスポーツが行えるよう導く。
令和4年度予算に向けて	新型コロナウイルス感染症の状況によるが、スポーツ教室開催に向けたガイドラインを定めるなどし、当面は参加者数を制限して実施せざるを得ないと考える。スマートフォンのアプリを活用した「オクトバー・ラン＆ウォーク」事業の参加者数を増加させるとともに、効果検証を行っていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬　☑	田中　正樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	体育スポーツ奨励事業			款項目	09-06-01	評価責任者	田中　正樹
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当	記入者	田中　裕二
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業		←その他の場合の詳細				

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	2	明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：スポーツ団体及びスポーツ大会事業等ほか		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 スポーツ大会事業等の助成など		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 スポーツ推進計画に基づいた市民スポーツの振興及び地域の活性化		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		16,730,000円		7,930,000円					
	決算額[Ｂ]		14,347,467円		5,370,000円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		85.8%		67.7%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		リニアと翔る都留ロードレース大会補助金　6,660,275円 特定非営利活動法人都留市体育協会補助金 4,705,000円		特定非営利活動法人都留市スポーツ協会補助金 4,705,000円 小中学校体育連盟都留支部補助金 500,000円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	14,347,467円		5,370,000円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		14,347,467円		5,370,000円					
人件費	一般職員		90人日	2,413,950円	64人日	1,709,834円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		100人日	902,000円	32人日	298,758円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		110人日	716,100円	32人日	239,808円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		4,032,050円		2,248,400円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			18,379,517円		7,618,400円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
参加者のリピーター数	リニアと翔る都留ロードレース大会の参加者のリピーター数（年度小計）	人	目標値		300.0	350.0	400.0	450.0
			実績値	287.0	346.0	0.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	1		
平均得点	4.6	3.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	ロードレース大会の日程を11月としたほか、仮装ランナー賞の特別表彰を新たに設けるなどしたため、定員を上回る参加申込みがあったが、市内・県内の方が多く、今後、継続的な開催を目指すためには、近隣の関東圏からの参加者をより多く集客する必要がある。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症感染拡大を受け、市民の健康や安全面を最優先に考慮し、第1回つる湧水の里ハーフマラソンを中止した。代替事業としてスマートフォンのアプリを活用したスポーツイベント「オクトーバーラン＆ウォーク」を実施し、504名が参加した。人口あたりの参加率が全国1位となった。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持					○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	広報、インターネットへの掲載に加え、ＣＡＴＶへの広告掲載、公共施設へのチラシ配布等などの取組を積極的に行う。ＳＮＳ等の活用も検討する。多種多様な媒体による広報活動に加え、地元特産品の販売ブースの出店など参加者の興味を引く企画を考案し、集客を図る。
令和4年度予算に向けて	新型コロナウイルス感染症の状況によるが、つる湧水の里ハーフマラソン開催に向けたガイドラインを定めるなどし、感染症防止対策を徹底した大会運営が求められる。給水エイドで地元特産品を提供するほか、カップルコースなど新たなコース設定の導入などにより一層の集客を図る工夫を継続する。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬　☑	清水　敬　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	野球場管理運営事業			款項目	09-06-02	評価責任者	田中　正樹
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当	記入者	田中　裕二
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市都市公園条例、都留市住吉球場条例		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	2	明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：球場使用者　対象物：市営住吉球場・楽山球場		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 球場の適正な管理、経年劣化・老朽化等による修繕、施設設備の保守点検ほか		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 球場使用者の安全・快適な利用		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額［A］		5,367,000円		4,428,010円					
	決算額［B］		4,332,135円		4,118,943円					
	執行率［B］/［A］		80.7%		93.0%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		住吉球場駐車場鉄板取付修繕 172,810円 楽山球場汚水貯留槽汚泥引抜業務委託 509,760円		住吉球場ダッグアウト屋根修繕 755,700円 楽山球場トイレ電灯設備修繕 128,700円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源	574,550円		403,000円					
		一般財源	3,757,585円		3,715,943円					
	財源合計［C］(=［B］)		4,332,135円		4,118,943円					
人件費	一般職員		50人日	1,341,083円	60人日	1,602,969円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		20人日	180,400円	30人日	280,086円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		90人日	585,900円	30人日	224,820円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計［D］		2,107,383円		2,107,875円					
総事業費［B］+［D］			6,439,518円		6,226,818円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市民利用者数	市民の年間延べ利用者数（楽山・住吉）	人	目標値		12455.0	12465.0	12475.0	12485.0
			実績値	12443.0	9584.0	7392.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.4	3.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	楽山球場は、公園施設長寿命化計画に基づき、大規模改修を実施している。住吉球場は、今年度策定した長寿命化計画に基づき施設の改修と維持管理を実施し、施設のライフサイクルコストの最適化と建物の長寿命化を図っていく必要がある。
令和2年度	楽山球場は、公園施設長寿命化計画に基づき、大規模改修を実施しており、令和2年度はスコアボードの更新工事を施工した。住吉球場は、教育施設長寿命化計画に基づき施設の改修と維持管理を実施し、施設のライフサイクルコストの最適化と建物の長寿命化を図っていく必要がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	長寿命化計画に基づき施設の適切な管理を行い、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所は計画的に修繕・改修を行う。
令和4年度 予算に向けて	長寿命化計画に基づき施設の適切な管理を行い、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所は計画的に修繕・改修を行う。住吉球場の夜間照明について、水銀灯の製造が終了したため、長寿命化計画に基づき計画的なLED化を進めるほか、バックネットが老朽化しているため、長寿命化に基づく改修を要する。
令和5年度 予算に向けて	
令和6年度 予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬　☑	田中　正樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	体育館管理運営事業			款項目	09-06-02	評価責任者	田中　正樹
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当	記入者	田中　裕二
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市民総合体育館条例		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	2	明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：体育館使用者　対象物：市民総合体育館・下谷体育館ほか		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 体育館の適正な管理、経年劣化・老朽化等による修繕、施設設備の保守点検ほか		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 体育館使用者の安全・快適な利用		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		15,281,376円		14,904,000円					
	決算額[Ｂ]		14,458,832円		12,039,274円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		94.6%		80.8%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		市民総合体育館受付管理業務委託料 7,100,565円 都留市民総合体育館網戸取付修繕 684,050円		市民総合体育館受付管理業務委託料 7,100,565円 下谷体育館バスケットゴール修繕 279,400円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源	3,780,286円		2,610,810円					
		一般財源	10,678,546円		9,428,464円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		14,458,832円		12,039,274円					
人件費	一般職員		50人日	1,341,083円	60人日	1,602,969円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		20人日	180,400円	30人日	280,086円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		50人日	325,500円	30人日	224,820円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		1,846,983円		2,107,875円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			16,305,815円		14,147,149円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市民利用者数	市民の年間延べ利用者数（民体・下谷）	人	目標値		62000.0	62010.0	62020.0	62030.0
			実績値	61993.0	61559.0	28585.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.4	3.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	耐震工事や改修工事を行ってはいるが、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所もある。今年度策定した長寿命化計画に基づき施設の改修と維持管理を実施し、施設のライフサイクルコストの最適化と建物の長寿命化を図っていく必要がある。評価指標の利用者数が前年度より低い一因は、新型コロナウイルス感染症予防対応で約30日開館日数が少ないため。
令和2年度	教育施設長寿命化計画に基づき施設の改修と維持管理を実施し、施設のライフサイクルコストの最適化と建物の長寿命化を図っていく必要がある。評価指標の利用者数が前年度より低い一因は、新型コロナウイルス感染症予防対応で約90日開館日数が少ないほか、県内在住者のみの貸出とし同一時間帯での利用者数の制限を行っているため。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	長寿命化計画に基づき施設の適切な管理を行い、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所は計画的に修繕・改修を行う。
令和4年度予算に向けて	教育施設長寿命化計画に基づき施設の適切な管理を行い、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所は計画的に修繕・改修を行う。市民総合体育館は令和6年度に内装部位修繕、令和7年度に外壁修繕を実施し、下谷体育館は令和8年度以降に状況を確認し対応を検討する。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬　☑	田中　正樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	各体育施設管理運営事業			款項目	09-06-02	評価責任者	田中　正樹
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当	記入者	田中　裕二
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市都市公園条例、都留市テニスコート条例ほか		
事業実施方法	一部委託事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	2	明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：社会体育施設使用者　対象物：玉川グラウンド、大輪スポーツ広場、市営テニスコート、市民プール、水沼グラウンド、各小中学校の体育館及びグラウンドの維持管理		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 社会市体育施設等の適正な管理、経年劣化・老朽化等による修繕、施設設備の保守点検ほか		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 体育館使用者の安全・快適な利用		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		14,752,342円		36,228,000円					
	決算額[Ｂ]		12,299,726円		10,823,881円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		83.4%		29.9%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		小中学校体育館管理人賃金 1,346,400円 玉川グラウンド夜間照明交換修繕 950,400円 夜間照明管理委託料 690,000円		東桂中学校夜間照明灯交換修繕 1,834,000円 小中学校体育館管理人賃金 1,512,800円 夜間照明管理委託料 690,000円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源	6,494,130円		5,141,460円					
		一般財源	5,805,596円		5,682,421円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		12,299,726円		10,823,881円					
人件費	一般職員		50人日	1,341,083円	60人日	1,602,969円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		20人日	180,400円	30人日	280,086円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		50人日	325,500円	30人日	224,820円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		1,846,983円		2,107,875円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			14,146,709円		12,931,756円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市民利用者数	市民の年間延べ利用者数（玉川・テニス・大輪・水沼）	人	目標値		49100.0	49150.0	49200.0	49250.0
			実績値	49048.0	46838.0	30209.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.4	3.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	市民プール、水沼グラウンド、大輪スポーツ広場の利用率が低い。これは、市民プールの温水化未整備、水沼グラウンドの駐車場未整備等が要因と考えられる。夜間照明や市民プールなど、経年劣化や老朽化がかなり見受けられる。今年度策定した長寿命化計画に基づき施設の改修と維持管理を実施し、施設のライフサイクルコストの最適化と建物の長寿命化を図っていく必要がある。評価指標の利用者数が前年度より低い一因は、新型コロナウイルス感染症予防対応で約30日開館日数が少ないため。
令和2年度	教育施設長寿命化計画に基づき施設の改修と維持管理を実施し、施設のライフサイクルコストの最適化と建物の長寿命化を図っていく必要がある。評価指標の利用者数が前年度より低い一因は、新型コロナウイルス感染症予防対応で約90日開館日数が少ないほか、県内在住者のみの貸出とし同一時間帯での利用者数の制限を行っているため。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	長寿命化計画に基づき施設の適切な管理を行い、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所は計画的に修繕・改修を行う。水沼グラウンドの駐車場の借り受け等を検討する。
令和4年度予算に向けて	教育施設長寿命化計画に基づき施設の適切な管理を行い、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所は計画的に修繕・改修を行う。玉川グラウンドの人工芝の耐用年数が過ぎていることから、状況を確認し長寿命化計画に基づいた対応を検討する。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬　☑	田中　正樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	やまびこ競技場管理運営事業	款項目	09-06-02	評価責任者	田中　正樹
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当
記入者	田中　裕二				
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市都市公園条例
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	2	明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：やまびこ競技場、多目的広場使用者　対象物：やまびこ競技場、多目的広場		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 やまびこ競技場、多目的広場の適正な管理、経年劣化・老朽化等による修繕、施設設備の保守点検ほか		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 やまびこ競技場、多目的広場使用者の安全・快適な利用		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		36,254,636円		55,344,900円					
	決算額[Ｂ]		35,250,954円		53,890,760円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		97.2%		97.4%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		施設管理業務委託料 1,774,000円 芝生管理業務委託料 937,200円 やまびこ競技場3種公認競技場更新に伴う改修工事 30,250,000円		施設管理業務委託料 1,774,000円 芝生管理業務委託料 937,200円 やまびこ競技場3種公認競技場更新に伴う改修工事 48,840,000円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債	22,600,000円		32,900,000円					
		その他特定財源	637,420円		372,520円					
		一般財源	12,013,534円		20,618,240円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		35,250,954円		53,890,760円					
人件費	一般職員		50人日	1,341,083円	60人日	1,602,969円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		20人日	180,400円	30人日	280,086円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		50人日	325,500円	30人日	224,820円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		1,846,983円		2,107,875円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			37,097,937円		55,998,635円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市民利用者数	市民の年間延べ利用者数（やまびこ・多目的広場）	人	目標値		16050.0	16100.0	16150.0	16200.0
			実績値	15999.0	11182.0	5999.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.4	3.4		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	やまびこ競技場第３種公認競技場更新に伴う改修工事を平成29年度から5年計画で実施することから、工事期間中は、施設が使用できないことから、利用者数も減少すると考える。
令和2年度	やまびこ競技場第３種公認競技場更新に伴う改修工事を平成29年度から5年計画で実施することから、工事期間中は、施設が使用できないことから、利用者数も減少すると考える。評価指標の利用者数が前年度より低い一因は、新型コロナウイルス感染症予防対応で約90日開館日数が少ないほか、県内在住者のみの貸出とし同一時間帯での利用者数の制限を行っているため。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大			○									
	維持				○								
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）		やまびこ競技場3種公認競技場更新に伴う改修工事											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	やまびこ競技場第３種公認競技場更新に伴う改修工事を極力短期間で完了し、市民の利用日をできるだけ多く確保する。
令和4年度予算に向けて	やまびこ競技場第３種公認競技場更新に伴う改修工事が令和3年度末で完了することから、市民の利用日をできるだけ多く確保する。設備機器の老朽化に伴い故障が多くなっていることから、計画的な設備機器の修繕または交換を要する。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬　☑	田中　正樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	健康ジム管理運営事業			款項目	09-06-02	評価責任者	田中　正樹
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当	記入者	田中　裕二
会計	一般会計	事業開始年度	平成29年度	法定根拠・法令等	都留市健康ジム条例		
事業実施方法	委託（指定管理含）実施事業	←その他の場合の詳細					

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野　育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	1	★ライフステージに応じた健康づくり
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：健康ジム利用者　対象物：健康ジム		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 指定管理による健康ジムの適正な運営管理		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 健康ジムの利用者を増やし、健康増進や介護予防を推進		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		27,412,946円		28,482,023円					
	決算額[Ｂ]		26,685,600円		26,930,420円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		97.3%		94.6%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		指定管理料26,685,600円		指定管理料26,930,420円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	26,685,600円		26,930,420円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		26,685,600円		26,930,420円					
人件費	一般職員		50人日	1,341,083円	60人日	1,602,969円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		20人日	180,400円	30人日	280,086円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		50人日	325,500円	30人日	224,820円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		1,846,983円		2,107,875円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			28,532,583円		29,038,295円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
健康ジム利用者数	年間延べ利用者数（健康ジム）	人	目標値		31000.0	31100.0	31200.0	31300.0
			実績値	30973.0	27698.0	13689.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.8	3.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	毎月、指定管理者と市担当者で定例会を開催し、利用者数の分析、設備の不具合の有無などの確認を行っている。利用者のニーズに応じて、プログラムや講座を新規開設するなど指定管理者の自主事業に工夫が必要。評価指標の利用者数が前年度より低い一因は、新型コロナウイルス感染症予防対応で約30日開館日数が少ないため。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症予防対応で約60日開館日数が少ないほか、県内在住者のみの貸出とし同一時間帯での利用者数の制限を行っていることなどから評価指標の利用者数が前年度より低くなっている。毎月、指定管理者と市担当者で定例会を開催し、利用者数の分析、設備の不具合の有無などの確認を行っているほか、利用者のニーズを調査し、指定管理者においてプログラムや講座の新規開設など対応を講じている。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○										
	維持					○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	利用者のニーズに合致したプログラムや講座の新規開設のほか、幼少期・青年期から運動習慣を定着させるようなプログラムなどの提案を指定管理者に要望する。
令和4年度予算に向けて	健康ジム施設まで来訪することが難しい市民を対象としたサービスの提供など利用者のニーズに合致したプログラムや講座の新規開設のほか、都留市スポーツ推進計画に基づいた幼少期・青年期から運動習慣を定着させるようなプログラムなどの提案を指定管理者に要望する。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬　☑	田中　正樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	田中正樹

部名	教育委員会	課名	生涯学習課	担当名	文化振興担当	記入者	奈良健三

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	2.0人	2.0人		
	フルタイム会計年度任用職員		1.0人		
	パートタイム会計年度任用職員	1.0人			

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	2.0 人× 0 日	2.0 人× 0 日	人× 日	人× 日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人× 日	1.0 人× 0 日	人× 日	人× 日
		配分残0人日		

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	法定受託事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
1	09-05-06	一般会計	増田誠大賞公募展開催事業	○	×	×	×	要評価	95人日		95人日					
2	09-05-06	一般会計	芭蕉の里づくり事業	○	×	×	×	要評価	170人日		124人日					
3	09-05-07	一般会計	文化財保護事業	○	×	×	×	要評価	60人日		95人日	200人日				
4	09-05-07	一般会計	尾県郷土資料館運営事業	○	○	×	×	要評価	50人日		50人日	21人日				
5	09-05-07	一般会計	商家資料館運営事業	○	○	×	×	要評価	35人日		50人日	21人日				
6	09-05-07	一般会計	八朔祭屋台展示庫事業	×	○	×	×	要評価	15人日		15人日					
7	09-05-09	一般会計	都の杜うぐいすホール管理運営事業	○	○	×	×	要評価	45人日		45人日					
8	09-05-09	一般会計	都の杜うぐいすホール事業費補助事業	○	×	×	×	要評価	10人日		10人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
9										
10										
11										
12										
		人日合計	480人日		484人日	242人日				

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	増田誠大賞公募展開催事業	款項目	09-05-06	評価責任者	田中正樹
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	奈良健三
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 一般市民、美術愛好家		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 郷土の画家　増田誠を広く周知し、芸術文化の振興を図る。 自ら絵画を作成するきっかけとなる絵画コンテストを開催する。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 芸術文化の振興に務める。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		267,000円		233,000円					
	決算額[Ｂ]		180,323円		174,130円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		67.5%		74.7%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		審査員謝礼・入賞者賞賜金：45千円 入賞者記念楯・参加賞購入：102千円 チラシ印刷：43千円		審査員謝礼・入賞者賞賜金：45千円 入賞者記念楯・参加賞購入：87千円 チラシ印刷：33千円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	180,323円		174,130円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		180,323円		174,130円					
人件費	一般職員		95人日	2,548,058円	95人日	2,538,035円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		2,548,058円		2,538,035円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			2,728,381円		2,712,165円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
大賞展出品件数	公募展への出品点数（一般の部、小中学生の部）	点	目標値		260.0	262.0	264.0	266.0
			実績値	256.0	271.0	373.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	3	3		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.0	4.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	小・中学生の応募者数が減少傾向にある。学校のヒアリングでは賞金よりも参加賞の方が子どもが申込む意欲が増すという回答が複数の教員からあった。
令和2年度	募集方法の周知について、チラシの方法以外にも新規にホームページ等を追加したことにより、公募展への出品点数の増加へとつながった。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和元年度からは入賞者への賞金は一般の部のみとし、小中学生の部の出品者に対しては参加賞を用意した。チラシの配布先を増やしたりＳＮＳなどインターネット上でのＰＲを推進する。
令和4年度予算に向けて	引き続き、チラシの配布先を増やしたり（書店・画材店など）、ＳＮＳなどインターネット上でのＰＲを推進することにより、公募展への出品点数の増加に努めていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬　☑	田中正樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	芭蕉の里づくり事業			款項目	09-05-06	評価責任者	田中正樹
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	奈良健三
会計	一般会計	事業開始年度	平成4年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 一般市民、全国俳句愛好家		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 都留市ふれあい全国俳句大会を開催し、全国各地の俳句愛好家が俳句を通じてふれあう機会を提供する。 高校生・大学生部門を設け、若年層の掘り起こしと全国へ都留文科大学のＰＲを行う。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 俳句大会を通じて、俳句の振興を図るとともに、都留市が松尾芭蕉ゆかりの地であることを全国にアピールし、俳句大会だけでなく、まちづくりにも活かせるよう芭蕉の里づくりを推進する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額［Ａ］		3,035,349円		3,185,000円					
	決算額［Ｂ］		2,897,629円		2,248,910円					
	執行率［Ｂ］/［Ａ］		95.5%		70.6%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		賃金：365千円 応募句選者謝礼：1,060千円 記念講演謝礼：250千円 入賞記念品：164千円 作品集印刷：358千円 投句用紙印刷：154千円		賃金：214千円 応募句選者謝礼：1,060千円 入賞記念品：214千円 作品集印刷：337千円 投句用紙印刷：148千円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源	871,000円		963,000円					
		一般財源	2,026,629円		1,285,910円					
	財源合計［Ｃ］(=［Ｂ］)		2,897,629円		2,248,910円					
人件費	一般職員		170人日	4,559,683円	124人日	3,312,803円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計［Ｄ］		4,559,683円		3,312,803円					
総事業費［Ｂ］+［Ｄ］			7,457,312円		5,561,713円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
応募作品の部投句数	一般部門、高校生・大学生部門の投句数を合計（年間）したもの	句	目標値		4050.0	4060.0	4070.0	4080.0
			実績値	4025.0	4642.0	4146.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	3	3		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	5		
平均得点	4.2	4.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	俳句大会の一般部門については参加者の年齢層が上がり、リタイアしていくのに反比例して、新規の参加者が増えていない。高校・大学生の部では応募する学校数が増えているのに参加者数が減少していることから、リピーターがつかないことも考えられる。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大により、令和２年度の大会は中止とした。今後は、新型コロナウイルス感染症拡大防止等を想定した大会運営が求められる。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	大会当日の運営の中心であった都留市俳句連盟の会員数減少と高齢化に伴い、学生アルバイトの人員を増やすなど、大会運営方法の検討をする必要がある。県内外へのＰＲ活動を進め、投句数の増加に努める。また、大学生の投句が少ないため、大学への広報を重点的に行い、ＳＮＳでもＰＲも推進する。
令和4年度予算に向けて	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、高齢者等が室内でもできる趣味として俳句に興味を持っていただけるような普及・啓発活動を行い、継続して県内外へのＰＲ活動を進め、投句数の増加に努める。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬　☑	田中正樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	文化財保護事業			款項目	09-05-07	評価責任者	田中正樹
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	奈良健三
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	文化財保護法、都留市文化財保護条例		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 一般市民		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 埋蔵文化財の調査、文化財の調査・研究・指定、指定文化財の保存・活用 文化財保護のための補助		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内にある文化遺産の保護・継承		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額［Ａ］		1,687,088円		5,207,670円					
	決算額［Ｂ］		874,599円		2,396,947円					
	執行率［Ｂ］/［Ａ］		51.8%		46.0%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		文化財審議会報酬：100千円 埋蔵文化財調査・整理作業員賃金：588千円 試掘調査重機借上げ：950千円		埋蔵文化財調査謝礼：287千円 田野倉倉庫解体委託料：1,038千円 試掘調査重機借上げ：88千円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金	335,000円		344,000円					
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	539,599円		2,052,947円					
	財源合計［Ｃ］(=［Ｂ］)		874,599円		2,396,947円					
人件費	一般職員		60人日	1,609,300円	95人日	2,538,035円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	200人日	1,867,240円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計［Ｄ］		1,609,300円		4,405,275円					
総事業費［Ｂ］+［Ｄ］			2,483,899円		6,802,222円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
埋蔵文化財包蔵地の照会件数	市内での開発行為の際、計画地に埋蔵文化財があるかどうかの確認する必要があり、その照会件数	件	目標値		455.0	460.0	465.0	470.0
			実績値	454.0	412.0	309.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	4.2	4.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	地域の貴重な財産である文化財を後世に引き継いで行くことが目的であるが、保存・活用には、多額の費用が必要であるので財源確保が重要である。また、文化財調査や研究には、人材の確保と育成も重要である。特に埋蔵文化財の発掘調査は、大学で専門教育を受け経験者の下で指導を受けた者が調査にあたるため、他の担当から異動してきた職員では対応することはできないので、長期的計画の上での人事配置が必要である。
令和2年度	埋蔵文化財の発掘調査は、大学で専門教育を受け経験者の下で指導を受けた者が調査にあたるため、他の担当から異動してきた職員では対応することはできないので、長期的計画の上での人事配置が必要である。特に本市においての重要な課題は、文化財調査や研究には、人材の確保と育成が重要である。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	今後も、文化財の保護や調査に努め、地域の歴史や文化、年中行事等の保存継承を進め、併せて文化財の活用についても検討していく。
令和4年度予算に向けて	今後も、文化財の保護や調査に努め、地域の歴史や文化、年中行事等の保存継承を進め、併せて文化財の活用についても検討していく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬　☑	□	□	□

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	尾県郷土資料館運営事業	款項目	09-05-07	評価責任者	田中正樹
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	奈良健三
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 一般市民、観光客		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 教育関係の資料館として一般公開する。（毎週火・木・土・日曜日、祝日に開館） 資料館協力会の協力のもと、資料館まつりを10月下旬に開催する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内にある文化遺産の保護・継承		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		2,766,100円		1,798,676円					
	決算額[Ｂ]		2,726,743円		1,542,030円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		98.6%		85.7%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		資料館まつり賃金：64千円 資料館まつり講師謝金：110千円 光熱水費：134千円 資料館まつり賄い：25千円 館長執務謝礼：1020千円 植木選定委託料：86千円		光熱水費：109千円 館長執務謝礼：1020千円 植木選定委託料：157千円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	2,726,743円		1,542,030円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		2,726,743円		1,542,030円					
人件費	一般職員		50人日	1,341,083円	50人日	1,335,808円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	21人日	196,060円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		1,341,083円		1,531,868円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			4,067,826円		3,073,898円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
入館者数	尾県郷土資料館の年間入館者数	人	目標値		2400.0	2420.0	2460.0	2480.0
			実績値	2391.0	2309.0	2218.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	4.2	4.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	資料館の活用という点では、来館者数を増やすことはもちろんだが、来館者の約半数は地元利用者のとくに高齢者と小学生である。現代、高齢者と小学生ともに「居場所」づくりが求められているが、資料館は「居場所」としての機能を有しているといえ、この点を強化する取組は課題である。
令和2年度	新型コロナウイルスの影響により、昨年度より開館日が減少したため入館者数も減少した。今後は、コロナ禍の状況の中で、入館者数を増やしていく新たな仕組みづくりや取り組みが必要となる。しかし、ドラマロケ地として活用されたことにより、県外からの訪問客は例年より増えた状況であった。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	来館者の増加については、従来のチラシやインターネット利用の他、ＳＮＳを活用していく。高齢者と小学生の「居場所」としての資料館づくりについては、資料館を色々な面で支えてくれる地元住民からなる「資料館協力会」とともにその方途を検討していきたい。
令和4年度予算に向けて	来館者の増加については、従来のチラシやインターネット利用の他、ＳＮＳを活用していく。高齢者と小学生の「居場所」としての資料館づくりについては、資料館を色々な面で支えてくれる地元住民からなる「資料館協力会」とともにその方途を検討していきたい。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬　☑	田中正樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	商家資料館運営事業			款項目	09-05-07	評価責任者	田中正樹
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	奈良健三
会計	一般会計	事業開始年度	平成6年度	法定根拠・法令等	都留市商家資料館設置条例		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 一般市民、観光客		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 資料館として一般公開する。（毎週火・木・土・日曜日、祝日に開館）		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内にある文化遺産の保護・継承		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		2,871,917円		19,282,984円					
	決算額[Ｂ]		2,868,860円		19,058,373円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		99.9%		98.8%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		光熱水費：42千円 館長執務謝礼：1020千円 小修繕：100千円 負担金(街灯維持)：20千円		光熱水費：35千円 館長執務謝礼：1020千円 修繕費：3,684千円 土地購入費：11,800千円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	2,868,860円		19,058,373円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		2,868,860円		19,058,373円					
人件費	一般職員		35人日	938,758円	50人日	1,335,808円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	21人日	196,060円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		938,758円		1,531,868円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			3,807,618円		20,590,241円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
入館者数	商家資料館の年間入館者数	人	目標値		870.0	880.0	890.0	900.0
			実績値	867.0	592.0	214.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3	3		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.2	3.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	平成30年度まで来館者数は増加傾向にあるが、偶発的な団体利用によって増減する傾向があるため、定常的な団体利用を促すことを検討する必要がある。また、尾県郷土資料館と比較すると地元住民の利用率は低いため、地元利用を促す方策も同時に検討する必要がある。
令和2年度	新型コロナウイルスの影響により、昨年度より開館日が減少したため、入館者数が大幅に減少した。今後は、コロナ禍の状況の中で、入館者数を増やしていく新たな仕組みづくりや取り組みが必要となる。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	団体利用については、学校見学のほか、他市町村の教育委員会の研修会が多いため、学校や県内教育委員会向けに資料館をＰＲすることを検討する。また、地元利用者の増については、魅力的なイベントを開催するなど集客に努めたい。
令和4年度予算に向けて	令和2年度に整地した商家資料館の駐車場（裏）を有効活用し、魅力的なイベントを開催するなどの工夫を行い、これまで以上に集客の増加に努めていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬　☑	田中正樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	八朔祭屋台展示庫事業			款項目	09-05-07	評価責任者	田中正樹
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	奈良健三
会計	一般会計	事業開始年度	平成11年度	法定根拠・法令等	博物館法、ミュージアム都留条例		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 一般市民、歴史文化・芸術文化の研究者・愛好家、観光客		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 八朔祭の屋台3台を保管・展示及び早馬町屋台会館の維持。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 都留市の貴重な財産である八朔祭の屋台（市指定文化財）を保護する。		

２．実施結果（DO）

単位：円		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]	2,138,775円		2,228,000円					
	決算額[Ｂ]	2,128,564円		2,168,998円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]	99.5%		97.4%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）	機械警備料:239千円 正面扉ガラス清掃委託料:26千円 土地使用料(織協)：1,500千円		機械警備料:239千円 正面扉ガラス清掃委託料:24千円 土地使用料(織協)：1,500千円					
財源内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他特定財源								
	一般財源	2,128,564円		2,168,998円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])	2,128,564円		2,168,998円					
人件費	一般職員	15人日	402,325円	15人日	400,742円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]	402,325円		400,742円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]		2,530,889円		2,569,740円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
屋台の保管	屋台の保管	台	目標値		3.0	3.0	3.0	3.0
			実績値	3.0	3.0	3.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	2	2		
達成度（目標が実現できているか）	5	#DIV/0!		
平均得点	4.0			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	・建物の敷地は、谷村織協から借用している。3年に1度契約の更新を行っているが、現契約が令和4年度末に満了となるので、このまま借り続けるのか、買収することが可能か検討する必要がある。 ・早馬町屋台会館は建設から29年が経過し、今後外壁などの補修が必要になってくる
令和2年度	・建物の敷地は、谷村織協から借用している。3年に1度契約の更新を行っているが、現契約が令和4年度末に満了となるので、このまま借り続けるのか、買収することが可能か検討する必要がある。 ・早馬町屋台会館は建設から30年が経過し、今後外壁などの補修が必要になってくる
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	建設から23年が経過し、建物の補修の必要が今後考えられる。長寿命化計画の策定等も実施していく。
令和4年度予算に向けて	建設から24年が経過し、建物の補修の必要が今後考えられる。長寿命化計画の策定等も実施していく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬　☑	田中正樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	都の杜うぐいすホール管理運営事業	款項目	09-05-09	評価責任者	田中正樹
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	奈良健三
会計	一般会計	事業開始年度	平成8年度	法定根拠・法令等	都の杜うぐいすホール条例
事業実施方法		←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	1	★いきがいを高める生涯学習の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 一般市民、芸術愛好家		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 多種多様な芸術文化の鑑賞の機会を提供する。 文化活動の推進のため、貸館サービスを充実されると共に、市内外に積極的にＰＲを行う。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市民に上質な芸術文化を鑑賞する機会を提供する。また、市民自らが創造する参加型イベントを実施し、芸術文化の振興を図るほか、独自の事業を展開することにより、都留市をＰＲする。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[Ａ]		106,439,771円	119,945,670円		
	決算額[Ｂ]		106,434,411円	119,383,691円		
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		100.0%	99.5%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		中央監視システム修繕：21,384千円 大小ホール調光盤修繕：1,959千円 屋上自家発電機触媒栓式鉛蓄電池取替修繕：721千円 指定管理料：80,356千円	大ホールスピーカー修繕：29,700千円 小ホールスポットライト更新修繕：1,265,000円 高圧受電設備修繕：6,050,000円 指定管理料：79,287千円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	21,084,000円	29,700,000円		
		一般財源	85,350,411円	89,683,691円		
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		106,434,411円	119,383,691円		

人件費		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	一般職員	45人日	1,206,975円	45人日	1,202,227円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	0人日	円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計[Ｄ]		1,206,975円		1,202,227円				
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			107,641,386円		120,585,918円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
施設利用率	大ホール・小ホールの利用率の平均値	%	目標値		64.0	64.2	64.4	64.6
			実績値	63.6	62.2	48.1		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	4.0	4.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	・指定管理者制度を導入し(一財)都留楽友協会に管理運営を委託している。開館から22年が経過し、建物本体や給排水設備、舞台機構、照明・音響設備等が老朽化している。毎年少しずつ修繕を行っているが、高額な設備もあるため中長期的な更新計画を作成しなければならない。建物本体や空調設備の大規模改修の基本計画は作成済みであるので、それに続く実施計画の作成を進める必要がある。
令和2年度	新型コロナウイルスの影響により、昨年度より開館日が減少したことで、利用率が低下した。今後は、コロナ禍の状況の中で、利用率を増やしていくために、自主事業の開催や貸館利用の促進を指定管理者と協議していく。また、施設については経年劣化により老朽化対策への対応が必要となっている。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大						○						
	維持		○										
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	・大規模改修の実施設計、舞台機構の修繕等を長期計画に上げ、事業を推進する。 ・舞台関係の修繕を引き続き実施して行く。 ・利用率を増やすような自主事業の開催や貸館利用の促進を指定管理者と協議していく。
令和4年度予算に向けて	経年劣化による老朽化への対応や、来場者の安全確保のため、優先的に吊天井の改修を令和4年度・5年度にかけて実施していく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬　☑	田中正樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	都の杜うぐいすホール事業費補助事業	款項目	09-05-09	評価責任者	田中正樹
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	奈良健三
会計	一般会計	事業開始年度	平成8年度	法定根拠・法令等	都の杜うぐいすホール企画事業費補助金交付要綱
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	1	★いきがいを高める生涯学習の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 一般市民、芸術愛好家		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 同種のイベントしては、多くの参加者が集まる市民参加で開催される「市民第九演奏会」への補助		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市民の文化意識の向上を図る。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		3,500,000円		3,500,000円					
	決算額[Ｂ]		3,500,000円		円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		100.0%		0.0%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		市民第九演奏会補助金：3,500千円		開催中止					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	3,500,000円							
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		3,500,000円		円					
人件費	一般職員		10人日	268,217円	10人日	267,162円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		0人日	円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）			円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		268,217円		267,162円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			3,768,217円		267,162円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市民第九演奏会参加者数	入場者数	人	目標値		680.0	690.0	700.0	710.0
			実績値	669.0	649.0	中止		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	1	#VALUE!		
平均得点	3.8			

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	今年度から補助事業が市民第九演奏会単独となった。この事業については全事業費に係る市の補助割合が高いという問題点がある。
令和2年度	この事業については全事業費に係る市の補助割合が高いという問題点がある。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	（一財）楽友協会に他の補助金が活用できないか働きかける必要がある。また、市民第九演奏会についても、チラシの配布先の見直しなどを行い、積極的にPRして入場者の増加を図る。
令和4年度予算に向けて	市民第九演奏会については、PR方法等の見直しを行い、積極的に多様な方法でPRして入場者の増加を図り、自主財源の確保などに努めていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬　☑	田中正樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	田中正樹

部名	教育委員会	課名	生涯学習課	担当名	まちづくり交流センター	記入者	奥秋清子

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	1.0人	2.0人		
	フルタイム会計年度任用職員	2.5人	0.0人		
	パートタイム会計年度任用職員	1.0人	3.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	1.0 人× 0 日	2.0 人× 0 日	人× 日	人× 日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	2.5 人× 0 日	0.0 人× #DIV/0! 日	人× 日	人× 日
	配分残0人日			

■担当で持っている予算事業一覧　　フル-2.5

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
1	09-05-02	一般会計	はつらつ鶴寿大学事業	○	×	×	×	要評価	30人日	120人日	60人日					
	09-05-02	一般会計	公民館振興事業	×	×	×	×	なし	50人日	120人日	100人日					
	09-05-02	一般会計	公民館各種教室事業	×	×	×	×	なし	10人日	70人日	40人日					
	09-05-02	一般会計	公民館学級費	×	×	×	×	なし	20人日	120人日	60人日					
2	09-05-03	一般会計	まちづくり交流センター管理運営事業	×	○	×	×	要評価	80人日	90人日	124人日					
3	09-05-10	一般会計	ふるさと会館管理運営事業	○	○	×	×	要評価	50人日	80人日	100人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
4										
5										
6										
7										
		人日合計	240人日	600人日	484人日	0人日				

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	はつらつ鶴寿大学事業			款項目	09-05-02	評価責任者	田中正樹
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	まちづくり交流センター	記入者	奥秋清子
会計	一般会計	事業開始年度	平成１７年度	法定根拠・法令等	都留市はつらつ鶴寿大学設置要綱		
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	1	★いきがいを高める生涯学習の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市内高齢者（概ね60歳以上の市民）		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 各種講座（福祉、俳句、短歌、歴史、陶芸、健康など）及び講演会・実地研修旅行等の開催		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 高齢者の生きがいづくり、仲間作りが達成され、卒業後も社会参加による地域活性化に寄与することにより、ひいては医療費の是正が期待される。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額［A］		905,000円	913,000円		
	決算額［B］		644,798円	70,133円		
	執行率［B］/［A］		71.2%	7.7%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		講師謝金：85千円 視察研修バス借上げ費：394千円 消耗品購入等：83千円	通信運搬費：20千円 火災保険料等：50千円		
	財源内訳	国庫支出金	165,000円			
		県支出金	68,000円			
		地方債				
		その他特定財源	98,000円			
		一般財源	313,798円	70,133円		
	財源合計［C］(=［B］)		644,798円	70,133円		
人件費	一般職員		30人日　804,650円	60人日　1,602,969円		
		対象外事業分	円	円		
	会計年度（フル）		120人日　1,082,400円	0人日　円		
		対象外事業分	円	円		
	会計年度（パート）		50人日　325,500円	円		
	別担当職員		円	円		
	人件費合計［D］		2,212,550円	1,602,969円		
総事業費［B］+［D］			2,857,348円	1,673,102円		

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
年度修了者数	3つの学年の修了者（開講講座の半数以上を受講）の合計	人	目標値		100.0	110.0	115.0	120.0
			実績値	99.0	97.0	中止		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.2	3.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	この数年は入学者数がほぼ定員を満たす程度まで増加しているが、卒業後再入学する「リピーター」が依然多いため、申込みの時期により新規入学希望者が入学できないケースが発生している。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和２年度の活動は１年間の休校とし、全学年の学生はそのまま令和３年度に移行することとした。令和３年度は新規入学者を募集しないため、令和４年度には、多くの新規入学希望者が入学できる体制づくりを進めていく。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	前年度までの方針を踏襲して内容の充実や広報活動、他組織等との連携や交流を進めるとともに、新規入学希望者を優先するための募集要項の改訂等を行う。また令和2年度より一般会計事業となったため、経費節約とともに、学費値上げ等収入増加の方策を検討していく。
令和4年度予算に向けて	新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況であり、学生が高齢であることから、感染症対策に十分配慮する中で事業内容の充実、他組織等との連携や交流も進めていけるよう具体的な方策を検討していく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬　☑	田中正樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	まちづくり交流センター管理運営事業	款項目	09-05-03	評価責任者	田中正樹
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	まちづくり交流センター
記入者	奥秋清子				
会計	一般会計	事業開始年度	平成25年度	法定根拠・法令等	都留市まちづくり交流センター条例
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	4	★個々の果たす役割の明確化と環境の整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 一般市民		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 公民館、図書館、交流室等を内包する複合施設として、市民の生涯学習及び多世代交流の場を提供するために適切な施設管理を行ない、また学習や交流を促進するために講座・イベント等を開催する。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市民の生涯学習活動・世代間交流等を支援・促進することにより、各種文化活動の興隆を図り心豊かな市民の暮らしを実現する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		18,476,000円		29,069,928円					
	決算額[Ｂ]		17,046,391円		26,077,836円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		92.3%		89.7%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		保守点検委託料：8,550千円 光熱水費：4,342千円 燃料費：1,733千円 修繕費：921千円 消耗品費：510千円		保守点検委託料：9,448千円 光熱水費：3,613千円 燃料費：1,690千円 修繕費：9,631千円 消耗品費：593千円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源	716,997円		545,149円					
		一般財源	16,329,394円		25,532,687円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		17,046,391円		26,077,836円					
人件費	一般職員		80人日	2,145,733円	124人日	3,312,803円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		90人日	811,800円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		50人日	325,500円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		3,283,033円		3,312,803円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			20,329,424円		29,390,639円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
施設利用率	貸館施設（大ホール・会議室1～3・3階多目的ルーム）の利用率の平均	%	目標値		52.3	53.9	55.5	57.2
			実績値	50.8	52.2	33.9		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	5	1		
平均得点	4.0	3.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	・受変電設備やエレベーターなど館内設備において、経年劣化によるリスク増大等が見込まれ、機器更新や改修が必要となっている。 ・「暮らしに役立つみんなの広場」において参加者数が募集人数を満たす講座が少なかった。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大及び感染防止を図る観点から、施設の利用人数等の制限を行っているため、利用率を上げることは難しい状況であった。当面は感染防止対策を徹底する中で、施設の安心・安全な利用促進に努めていく。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	・館内設備機器について、適宜修繕等を行なっていくとともに、必要な機器更新等を計画的に実施していく。 ・「暮らしに役立つみんなの広場」を生涯学習事業の一環として位置づけ、より広い範囲の内容・講師・参加者を募っていく。
令和4年度予算に向けて	新型コロナウイルス感染状況が良好となった場合は、ガイドラインでの利用制限を緩和し、慎重に判断をする中、徐々に利用者の拡大を図っていく。施設修繕については、「都留市教育施設等長寿命化計画」に基づき、予算を平準化する方法により、数カ年計画で修繕を行い、施設の維持・管理に努めていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬　☑	田中正樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	ふるさと会館管理運営事業	款項目	09-05-10	評価責任者	田中正樹
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	まちづくり交流センター
記入者	奥秋清子				
会計	一般会計	事業開始年度	平成3年度	法定根拠・法令等	都留市ふるさと会館条例
事業実施方法	委託（指定管理含）実施事業	←その他の場合の詳細	都留市健康ジム指定管理者が受託		

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅴ	安全・安心、コミュニティ分野　紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	4	★個々の果たす役割の明確化と環境の整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 一般市民		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市民の生涯学習及び多世代交流の場を提供するために、隣接する県立男女共同参画推進センター（びゅあ富士）及びまちづくり交流センターと連携して適切な施設管理を行なう。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市民の生涯学習活動・世代間交流等を支援・促進することにより、各種文化活動の興隆を図り心豊かな市民の暮らしを実現する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		8,944,000円		7,642,072円					
	決算額[Ｂ]		8,379,287円		5,672,980円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		93.7%		74.2%					
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		保守点検委託料：2,452千円 負担金(光熱水費等)：2,639千円 修繕費：2,678千円 使用料及び賃借料：434千円		保守点検委託料:2,695千円 負担金(光熱水費等):2,293千円 修繕費:452千円 使用料及び賃借料:38千円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源	2,041,705円		1,461,935円					
		一般財源	6,337,582円		4,211,045円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		8,379,287円		5,672,980円					
人件費	一般職員		50人日	1,341,083円	100人日	2,671,616円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		80人日	721,600円	0人日	円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		20人日	130,200円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		2,192,883円		2,671,616円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			10,572,170円		8,344,596円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
施設利用率	貸館施設（2階展示ホール・3階第1～4研修室）の利用率の平均	%	目標値		15.5	15.8	16.1	16.5
			実績値	15.2	12.4	4.8		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	3	3		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3	3		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	2.8	2.8		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	・建物本体及び内部設備に経年劣化による不具合(雨漏り等)が発生している。 ・2階及び3階へのバリアフリー対策として階段外側に手摺を追加設置した。 ・まちづくり交流センターと比較して利用率が低い。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大及び感染防止を図る観点から、施設の利用人数等の制限を行っているため、まちづくり交流センターと同様に、利用率を上げることは難しい状況であった。当面は感染防止対策を徹底する中で、施設の安心・安全な利用促進に努めていく。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○							
	維持												
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	・長寿命化計画に基づき、経年劣化による損傷、不具合等は更新、修繕等適宜対処していく。 ・利用率の向上に向けて、館内のさらなるバリアフリー化等も含め方策を検討する。
令和4年度予算に向けて	経年劣化による損傷、不具合等が多くなっている状況であり、「都留市教育施設等長寿命化計画」に基づき、予算を平準化する方法により、数カ年計画で修繕を行い、施設の維持・管理に努めていく。また、コロナ禍ではあるが、利用率の向上に向けて、ガイドラインを設定しながら、市民利用のために今後も対処していく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬　☑	田中正樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	田中正樹

部名	教育委員会	課名	生涯学習課	担当名	市立図書館	記入者	志村元康

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	2.0人	1.5人		
	フルタイム会計年度任用職員	4.8人	1.0人		
	パートタイム会計年度任用職員	1.0人	5.5人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	2.0 人× 0 日	1.5 人× 0 日	人× 日	人× 日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	4.8 人× 0 日	1.0 人× 0 日	人× 日	人× 日
	配分残0人日	配分残0人日		

■担当で持っている予算事業一覧　　フル：1　パート：5.5

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
1	09-05-04	一般会計	図書館運営事業	○	×	×	×	要評価	408人日	648人日	260人日	216人日				
	09-05-04	一般会計	読書支援事業	×	×	×	×	なし	48人日	168人日	50人日	12人日				
2	09-05-04	一般会計	子ども読書活動支援事業	○	×	×	×	要評価	24人日	336人日	50人日	12人日				
	09-05-04	一般会計	新型ウイルス感染症対策事業（図書等消毒対策）	×	×	×	×	なし			3人日	2人日				

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
3										
4										
5										
6										
		人日合計	480人日	1152人日	363人日	242人日				

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	図書館運営事業			款項目	09-05-04	評価責任者	田中正樹
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	市立図書館	記入者	志村元康
会計	一般会計	事業開始年度	昭和29年度	法定根拠・法令等	図書館法、都留市立図書館設置条例		
事業実施方法				←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	1	★いきがいを高める生涯学習の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民等		
事業内容手段・手法※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 図書等各種資料を収集整備し市民等利用者へ提供、館内利用・学習環境を整備し提供		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市民等の読書活動促進、教養の涵養、生涯学習に資する。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
事業費	予算現額[Ａ]		26,707,000円		18,886,000円					
	決算額[Ｂ]		25,353,036円		18,071,755円					
	執行率[Ｂ]/[Ａ]		94.9%		95.7%					
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）		・資料購入費 10,006千円 ・図書館システム更新機器構築委託料 9,900千円 ・図書館システム保守委託料1,973千円、同機器使用料1,425千円　・ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ等使用料1,007千円		・（図書・雑誌・視聴覚）資料購入費 10,267千円 ・図書館システム保守委託料2,244千円、同機器使用料3,802千円　・ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ等使用料979千円					
	財源内訳	国庫支出金								
		県支出金								
		地方債								
		その他特定財源								
		一般財源	25,353,036円		18,071,755円					
	財源合計[Ｃ](=[Ｂ])		25,353,036円		18,071,755円					
人件費	一般職員		408人日	10,943,240円	260人日	6,946,201円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）		648人日	5,844,960円	216人日	2,016,619円				
		対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）		240人日	1,562,400円		円				
	別担当職員			円		円				
	人件費合計[Ｄ]		18,350,600円		8,962,820円					
総事業費[Ｂ]+[Ｄ]			43,703,636円		27,034,575円					

■指標　※コロナ対応による入館人数制限のため計測なし

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
利用数	入館者数（のべ人数）	人	目標値		116100.0	116200.0	116300.0	116400.0
			実績値	113522.0	98056.0	※		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	4.2	4.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	行事・展示等に注力し、利用の増加、新規利用者の獲得をめざし高齢者層、乳幼児の利用増が顕著であった。今後もこの需要増が見込まれ、合理化・重点化等業務見直しによる効率化だけでは対応困難な人員不足が懸念される。評価指標の入館者数が前年より低いのは、機器入替及び感染症予防対応で約40日開館日数が少ないため。
令和2年度	コロナ対策として臨時休館、利用時間・人数・サービス等の縮小、制限により、貸出冊数は前年比7割弱、貸出人数は6割強となった。多くの行事・イベントは催行できなかったが時宜に適う内容での企画を行った。今後も適切な感染予防に配慮した図書館運営が課題である。また、非来館型の貸出サービスとして電子書籍の導入を検討する。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	高齢社会に対応する資料整備、事業・行事用予算及び人員の確保 ニーズにそった企画・展示や図書の購入など
令和4年度予算に向けて	・図書館専門職員の確保 ・高齢化社会に対応した事業、行事等の予算確保 ・非来館型貸出サービスとして電子書籍の導入を検討
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬　☑	田中正樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	子ども読書活動支援事業	款項目	09-05-04	評価責任者	田中正樹
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	市立図書館	記入者	志村元康
会計	一般会計	事業開始年度	平成15年度	法定根拠・法令等	
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細			

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	1	★いきがいを高める生涯学習の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 乳幼児及び学童（下記：①７か月乳児世帯　②小学1年生　③小学４年生）		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 子どもの発達段階（年齢）に即した3つの施策（①ブックスタート②セカンドブック③サードブック）による読書活動の促進する絵本、図書館バッグ、利用案内ほか利用啓発資料の配布や説明		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 対象者の読書活動の増進		

２．実施結果（DO）

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額［A］	381,000円	817,000円		
	決算額［B］	327,734円	675,806円		
	執行率［B］/［A］	86.0%	82.7%		
	事業費詳細（主な経費を３～５つ）	・報償費（事業実施時補助）33千円　・消耗品費（利用啓発資料購入：絵本53千円、ﾌﾞｯｸｽﾀｰﾄﾊﾞｯｸﾞ112千円、通帳ｹｰｽ72千円）・消耗品費（ﾄﾅｰ、用紙他）60千円	・消耗品費（利用啓発事業用：絵本92千円・図書館通い袋280千円・通帳ｹｰｽ70千円）・消耗品費（ｲﾍﾞﾝﾄ用）42千円、・消耗品費（書籍清拭電解水、ｶﾗｰﾌﾞﾘﾝﾀｰﾄﾅｰ、他）198千円		
	財源内訳　国庫支出金				
	財源内訳　県支出金				
	財源内訳　地方債				
	財源内訳　その他特定財源	16,000円	4,000円		
	財源内訳　一般財源	311,734円	671,806円		
	財源合計［C］(=［B］)	327,734円	675,806円		

人件費									
一般職員	24人日	643,720円	50人日	1,335,808円				
対象外事業分		円		円				
会計年度（フル）	336人日	3,030,720円	12人日	112,034円				
対象外事業分		円		円				
会計年度（パート）		円		円				
別担当職員		円		円				
人件費合計［D］	3,674,440円		1,447,842円					
総事業費［B］+［D］	4,002,174円		2,123,648円					

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
対象利用登録率	新規利用登録者に占める対象の割合（%）（幼児・小学生）	%	目標値		36.0	41.0	42.0	43.0
			実績値	34.4	40.3	27.7		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	5	1		
平均得点	5.0	4.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	前年度後期よりﾌﾞｯｸｽﾀｰﾄ実施方法の見直し（会場を乳児健康相談会場から図書館へ変更）を行い、乳幼児世帯の利用を伸ばした。今年度は、子どもの発達段階に即した３番目の読書支援施策として、「ｻｰﾄﾞﾌﾞｯｸ」（読書通帳の利用促進等）を開始し、学童の利用を喚起する取組を行った。今後は実質的な貸出を伸ばす工夫が必要。
令和2年度	コロナ対策のため変則的な事業執行となり、所期の効果は得られなかった。今後は家庭で過ごす時間が多くなる状況を踏まえ、適切な感染予防を行いつつ「貸出」に重点をおいた施策や、同様に行事等の催行がもとめられる。なお、指標による実績は見込で27.7%（前年比69%）だが、分母となる全体の登録数は前年比で25%増加している。（利用登録者のみに入館制限したため）
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	読書通帳の利用促進を含め、子ども読書活動推進イベント等開催のための経費（報償費、消耗品費等）を確保する。
令和4年度予算に向けて	読書通帳の利用促進を含め、子ども読書活動推進イベント等開催のための経費（報償費、消耗品費等）を確保する。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬　☑	田中正樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	田中正樹

部名	教育委員会	課名	生涯学習課	担当名	ミュージアム都留	記入者	重森　収

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	2.0人	3.0人		
	フルタイム会計年度任用職員		1.0人		
	パートタイム会計年度任用職員	2.0人			

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	2.0　人×　　0 日	3.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人×　　日	1.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
		配分残0人日		

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
1	09-05-08	一般会計	ミュージアム都留管理運営事業	○	○	×	×	要評価	220人日		333人日	145人日				
2	09-05-08	一般会計	ミュージアム都留企画展等開催事業	○	×	×	×	要評価	260人日		393人日	97人日				

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
3										
4										
5										
6										
		人日合計	480人日		726人日	242人日				

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	ミュージアム都留管理運営事業	款項目	09-05-08	評価責任者	田中正樹
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	ミュージアム都留	記入者	重森　収
会計	一般会計	事業開始年度	平成11年度	法定根拠・法令等	博物館法、ミュージアム都留条例
事業実施方法		←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 一般市民、歴史文化・芸術文化の研究者・愛好家、観光客		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 資料の収集・保管及び利用者に対して、必要な説明・助言・指導等を行う。また資料に関する案内書、解説書、調査研究報告書の作成を行う。都留市の歴史や文化等に関する講演会・講習会・研修会等を開催する。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 考古・民俗・美術・その他の資料を収集、保管、展示を行い、併せてこれらの博物館資料の調査研究を行い、市民の学術文化の向上に役立てる。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額［A］		13,783,835円	27,884,155円		
	決算額［B］		13,477,912円	26,147,828円		
	執行率［B］/［A］		97.8%	93.8%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		光熱水費：4,399千円 修繕料：1,970千円 保守点検委託料:5,918千円	光熱水費：3,258千円 修繕料：13,027千円 保守点検委託料:8,046千円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	5,469,654円	6,000,384円		
		一般財源	8,008,258円	20,147,444円		
	財源合計［C］(=［B］)		13,477,912円	26,147,828円		

人件費		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	一般職員	220人日	5,900,767円	333人日	8,896,480円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	145人日	1,353,749円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）	160人日	1,041,600円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計［D］		6,942,367円		10,250,229円				
総事業費［B］+［D］			20,420,279円		36,398,057円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
入館者数	常設展・企画展、図書情報室、エントランスホールの利用者の合計	人	目標値		9500.0	9900.0	10200.0	10500.0
			実績値	9376.0	7820.0	5081.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	4.0	4.0		

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	開館から20年が経過し、館内の各種設備の老朽化に伴う故障が増えてきている。すべての機器を更新するためには多額の費用が必要である。増田誠美術館を統合したが利用者が思ったほど増加しておらず、常設展示と同様に一度見ているため繰り返し見たいと思わせる資料が展示できていない状況にある。常設展示のリニューアルも今後検討していかなければならない課題である。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により入館者数が減少したが、コロナ禍にあっても、入館者を増やすために企画展等の工夫が必要となる。また、施設は開館から21年が経過し、館内の各種設備の老朽化に伴う故障が増えてきている。すべての機器を更新するためには多額の費用が必要である。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名 （増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	・保守点検結果に基づいた修繕を実施し、今後必要となる設備更新のための計画を作成していく。 ・常設展示や企画展開催により、多くの人に来館してもらうための新聞広告やホームページを使ったＰＲ活動を実施していく。
令和4年度 予算に向けて	・「都留市長寿命化計画」に基づき、予算の平準化を図る中、計画的に施設の改修に努めていく。 ・常設展示や企画展開催により、多くの人に来館してもらうための新聞広告やホームページを使ったＰＲ活動を実施していく。
令和5年度 予算に向けて	
令和6年度 予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬　☑	田中正樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	ミュージアム都留企画展等開催事業	款項目	09-05-08	評価責任者	田中正樹
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	ミュージアム都留	記入者	重森　収
会計	一般会計	事業開始年度	平成11年度	法定根拠・法令等	博物館法、ミュージアム都留条例
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細	

１．事業概要（PLAN）　施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野　輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 一般市民、歴史文化・芸術文化の研究者・愛好家、観光客		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 企画展、特別展（５年に１回程度開催）の開催により、広く市民に都留の歴史や文化を紹介する。展示に合わせた関連イベントも開催する。また、夏休み期間中は子供向けの展示会を開催する。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 中世の小山田氏、近世の秋元氏の業績、天和３年に谷村を訪れた松尾芭蕉、八朔祭の屋台や飾り幕などの都留市の特色ある歴史や文化に対し、市民が関心をもち、誇りに思えるようにする。		

２．実施結果（DO）

単位：円			令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額［Ａ］		3,324,165円	10,528,845円		
	決算額［Ｂ］		2,984,114円	6,787,497円		
	執行率［Ｂ］/［Ａ］		89.8%	64.5%		
	事業費詳細 （主な経費を３～５つ）		イベント講師謝礼:122千円 ポスター・チラシ印刷(3回分):342千円 企画展図録印刷製本(3回分):317千円 展示ディスプレイ作成委託料(3回分):808千円	イベント講師謝礼:471千円 企画展図録・ポスター・チラシ印刷(2回分):1,708千円 展示ディスプレイ作成委託料(2回分):736千円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	336,600円	1,771,350円		
		一般財源	2,647,514円	5,016,147円		
	財源合計［Ｃ］(=［Ｂ］)		2,984,114円	6,787,497円		

人件費		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	一般職員	260人日	6,973,633円	393人日	10,499,450円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（フル）	0人日	円	97人日	905,611円				
	対象外事業分		円		円				
	会計年度（パート）	160人日	1,041,600円		円				
	別担当職員		円		円				
	人件費合計［Ｄ］		8,015,233円		11,405,061円				
総事業費［Ｂ］+［Ｄ］			10,999,347円		18,192,558円				

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
企画展・特別展入館者数	第2展示室で開催する企画展・特別展の入館者数	人	目標値		5200.0	5400.0	5600.0	5800.0
			実績値	5047.0	3817.0	3712.0		

３．事業評価（CHECK）

項　目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4		
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5		
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4		
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	2	2		
達成度（目標が実現できているか）	1	1		
平均得点	3.2	3.2		

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに５段階で評価をしてください。

低い ⟷ 高い

1	2	3	4	5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	企画展の内容により、関心を持って来館してくれる人が左右され、評価が一定しないが、増田誠展や郷土の画家展など都留市に関連のある企画展を開催して行きたい。また、特別展については、調査研究に時間がかかるため、今後も開館記念に合わせた開催をして行きたい。
令和2年度	令和2年度は、特別展として、全国的にも人気の高い「刀剣展」を開催したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入館者数の大幅な増加にはつながらなかった。コロナ禍にあっても、動画等を活用し、企画展の内容を全国に伝えることに努め、多様な方法によりPR活動を実施していく。
令和3年度	
令和4年度	

４．今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を１つ付けてください		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		コスト			コスト			コスト			コスト		
		削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大												
	維持		○			○							
	縮小												
	休止・廃止												
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）													

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	市民企画との協働での企画展をこれからも実施するが、マンネリ化に注意する。また、都留市の歴史文化の調査研究を継続するとともに多種多様な企画展が開催できるよう、いろいろな分野についても調査を行う。
令和4年度予算に向けて	増田誠展や郷土の画家展など都留市の関連のある企画展と、刀剣展や将棋の駒などの全的にも人気が高く集客の見込める企画展等の2つの視点を踏まえた内容の企画展の開催を進めていく。
令和5年度予算に向けて	
令和6年度予算に向けて	

■全ての内容について協議の上確認（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水　敬　☑	田中正樹　☑	☐	☐

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	鬢櫛美咲

部名		課名	選挙管理委員会	担当名		記入者	田邉伸二

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	2.0人	2.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員				

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	2.0 人× 0 日	2.0 人× 0 日	人× 日	人× 日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人× 日	人× 日	人× 日	人× 日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	02-04-01	一般会計	選挙管理委員会運営事業	×	×	×	×	なし	140人日		140人日					
	02-04-02	一般会計	選挙啓発事業	×	×	×	×	なし	4人日		4人日					
	02-04-03	一般会計	山梨県議会議員選挙費	×	×	○	×	なし	4人日							
	02-04-03	一般会計	鹿留財産区議会議員選挙費	×	×	○	×	なし			14人日					
	02-04-04	一般会計	市議会議員選挙費	×	×	○	×	なし	70人日							
	02-04-05	一般会計	参議院議員選挙費	×	×	○	×	なし	120人日							
	02-06-01	一般会計	監査委員運営費	×	×	×	×	なし	140人日		140人日					
	02-02-01	一般会計	固定資産評価審査委員会費	×	×	×	×	なし	2人日		2人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
1	特別定額給付金給付事業費・事務費	横瀬晴紀・佐藤佑汰郎			140人日					
2	市民生活応援商品券発送事務等	横瀬晴紀・佐藤佑汰郎			40人日					
3										
4										
		人日合計	480人日		480人日					

第６次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価事業一覧表

■担当の詳細

評価責任者	小宮　文彦
記入者	藤江　耕正

部名	産業建設部	課名	農業委員会事務局	担当名	

職員体制（事業費に含む者は除く）	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	一般職員	1.0人	1.0人		
	フルタイム会計年度任用職員				
	パートタイム会計年度任用職員	1.0人	1.0人		

■職員数を入力することで年間出勤日が計算され、担当の配分人日が表示されます

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員	1.0　人×　　0 日	1.0　人×　　0 日	人×　　日	人×　　日
	配分残0人日	配分残0人日		
会計（フル）	人×　　日	人×　　日	人×　　日	人×　　日

■担当で持っている予算事業一覧

No.	款項目	会計名	事業名	実施計画に掲載されている	施設管理事業を含む事業である	市の裁量が及ばない事務等である	普通建設事業のみの事業である	評価の有無（いずれの場合も右の人員は入力）	事業にかかった人員（上の配分残が０となるように分配してください）							
									令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
									職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
例	02-01-14	一般会計	生涯にわたって活躍できるまちづくり推進事業	○	○	×	×	要評価	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日	100人日	60人日
	05-01-01	一般会計	農業委員会費	×	×	○	×	なし	240人日		242人日					

■予算事業にはないが人件費のかかった事業・他担当にて人件費のかかかった事業

No.	事業名	事業担当名	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			職員	嘱託	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）	職員	会計（フル）
		人日合計	240人日		242人日					

資料（３）

第６次都留市長期総合計画中期基本計画　行政評価

（令和2年度事業分）

事務事業評価：今後の方向性について

山梨県都留市

令和2年度行政評価（事務事業評価）一覧　　※着色箇所は今後の方向性として成果の拡大を予定している事業

所属			長期総合計画及び				自己評価					今後の方向性		
部局	課名	担当名	リーディングプロジェクト		事業名	決算額	必要性	有効性	効率性	公平性	達成度	成果	コスト	手段・手法
総務部	総務課	職員担当	Ⅵ-2-1		職員研修事業	1,086,653円	5	4	4	5	5	拡大	維持	新型コロナウイルス感染症の影響を考え、今後拡大されるリモート研修に対応するよう環境整備を充実させていく。また、最新の研修動向を調査し、一度だけの受講だけではない、継続して受ける研修などを取り入れ、職員の能力向上を図っていく。
		危機管理担当	Ⅴ-1-2	○	地域防災力強化対策事業	6,487,333円	5	5	4	5	3	拡大	維持	市の防災資機材（備蓄食等含む）の備えを維持・強化するため、購入年度計画に基づき、引き続き整備に努めていく。また、市民一人一人の危機管理意識醸成に向け、セーフコミュニティの対策委員会や自主防災会と連携し、対策を講じていく。
			Ⅴ-1-2	○	防災行政無線管理事業	197,587,828円	5	5	4	5	5	拡大	維持	防災行政無線を適切に維持し、有事に確実に情報を伝達できるよう備えていく。また、「防災つるメール」等の多様な情報伝達手段を周知等、放送を聞き取りにくい方にも確実に防災関連情報を伝達できるよう、新たな手段の検討を含め、対応していく。
		法制広報担当	Ⅴ-2-5		国際交流事業	19,000円	3	3	4	2	4	維持	維持	新型コロナウイルス感染症の収束後に向けた事業計画を立て、交流が可能になった段階で速やかに相手方と協議が進められるよう必要な準備を進めていく。ヘンダーソンビルとの交流事業については、訪問及び来訪に大幅な変更が生じる可能性があるので、今後の理事会・総会で検討を行い、より良い交流を継続させていく。
			Ⅴ-2-2		広報発行事業	9,232,348円	5	5	5	5	5	維持	維持	広報つる、ホームページを中心とし、様々なメディアを活用した情報発信について引き続き効果的な手法を検討していく。特にＳＮＳについては、各課が活用し情報発信しやすいような運用方法を構築し、有用な情報発信を行っていく。
		政策担当	Ⅰ-1-4	○	ふるさと応援寄付金事務費	1,000,000,000円	5	5	5	4	5	拡大	増加	寄附者対応について自治体のホスピタリティ力を向上させるために、寄附受領証明書の早期発送等を行い、寄附者に満足のいくサービスを提供する。また、寄附金を活用した事業を寄附者に報告することにより、都留市のファンづくりにも取り組む。
		企画担当	Ⅵ-1-1		行財政改革推進費	10,505,000円	5	5	5	5	5	維持	維持	公共施設等総合管理計画の改定が終了し、企画担当として特段の予算措置が必要な事業費は生じない見込。
			Ⅲ-1-2	○	公立大学法人都留文科大学関係費	1,052,960,100円	5	5	5	5	3	維持	維持	新棟整備事業に拠点整備交付金を活用し、補正予算債の借り入れを行うことで、今後、起債返済額の負担を運営費交付金上にどのように反映されるかの協議が必要となる。また、生涯活躍のまち・つる事業の大学連携型施設の整備も本格化する。

令和2年度行政評価（事務事業評価）一覧　　※着色箇所は今後の方向性として成果の拡大を予定している事業

所属			長期総合計画及び				自己評価					今後の方向性		
部局	課名	担当名	リーディングプロジェクト		事業名	決算額	必要性	有効性	効率性	公平性	達成度	成果	コスト	手段・手法
	企画課	情報政策担当	Ⅵ-1-2		情報ネットワーク管理事業	79,868,921円	5	5	4	5	5	維持	維持	テレワーク、リモートワーク、無線LANによる利用等の環境整備に伴い、「情報セキュリティーポリシー」を改訂し、適切な維持、管理を図る。
			Ⅵ-1-2		基幹系システム管理事業	133,193,620円	5	5	4	5	5	維持	維持	これまでの自庁導入型の基幹系システムからデータセンターを利用したクラウドサービス型の基幹系システムへ確実に移行するとともに、将来的な自治体クラウドへの移行に向けて業務の標準化を推進する。
			Ⅵ-1-2		各種業務システム管理事業	10,220,406円	5	4	5	5	5	維持	維持	統合型ＧＩＳシステム等で利用している家屋図、地番図等と、業務主管課の道路台帳や上下水道等の部門GISシステムで管理されている地図情報について、空間データを整備し、基盤地図データのデータ規格、フォーマットを統一した共通仕様書を作成し、システムとデータのベンダーロック等の問題解決を図る。
			Ⅵ-1-2		総合行政ネットワーク事業	270,864円	5	5	4	5	5	維持	維持	LGWAN網との接続における可用性を向上させるため、アクセス回線及びLGWAN接続ルータを冗長構成等について研究、検討し、更なる安定稼働に向けた取組みを行う。
			Ⅵ-1-2		社会保障・税番号制度事業	0円	5	4	4	4	5	維持	維持	今後もマイナンバー法本来の運用として、その趣旨に則った適切な運用を図ると共にマイナンバーの利用促進に関する取組みを実施する。
		つる創生推進室	Ⅰ-1-1	○	生涯活躍のまち・つる事業	31,003,503円	5	5	5	5	5	拡大	維持	複合型PJについては、R4年度中に交流拠点が完成予定であり、整備後施設を活用するためのソフト事業などに幅広く取組み、エリア全体の活性課を図る必要がある。
			Ⅰ-1-1	○	地域おこし協力隊推進事業	19,360,000円	4	4	5	5	5	維持	維持	令和4年度以降も原則、まちづくり団体に委託し当該団体に所属する者を、地域おこし協力隊として委嘱し、引き続き、まちづくりの取組みを推進いただく予定。
			Ⅰ-1-5	○	定住人口対策費	16,826,492円	5	5	4	3	2	拡大	維持	今後、二地域居住等のニーズも高まる可能性があるので、これらに対応した制度を検討する。なお、通学補助については、県の補助事業がR3をもって終了する予定であることから、県の動向を踏まえ、補助の内容を見直す必要がある。
	財務課	財政担当	Ⅵ-1-1		地方公会計制度推進事業	3,492,500円	5	4	5	4	5	維持	維持	類似他団体との数値の比較及び財務書類の中身についての理解を深めることで、より一層財政運営の参考指標として活用するとともに、国の研究会の動向、指標の活用方法等を注視し、制度変更等にも適切に対応できるよう引き続き情報収集に努める。
		管財担当	Ⅵ-2-2		財産管理関係経費	51,984,719円	5	3	3	5	1	維持	維持	今後も新型コロナウイルス対策としての設定温度の変更は致し方ないと思われるが、なるべく節電に対する周知を行いつつ、古いエアコンの入れ替えによる節電対策を実施する。また、良質で安価な電力を安定供給できるよう電力会社の見直しを行う。
			Ⅵ-2-2		公用車車両管理経費	10,797,693円	5	5	5	5	5	維持	維持	事故件数が大幅に増加しないように、令和３年度に実施できなかった研修会等を実施する。

令和2年度行政評価（事務事業評価）一覧　　※着色箇所は今後の方向性として成果の拡大を予定している事業

所属			長期総合計画及び				自己評価					今後の方向性		
部局	課名	担当名	リーディングプロジェクト		事業名	決算額	必要性	有効性	効率性	公平性	達成度	成果	コスト	手段・手法
市民部	市民課	市民窓口担当	Ⅴ-2-4	○	結婚相談事業	184,067円	4	4	3	3	3	維持	維持	パーティ―参加者への事前研修会等を開催し、当日のカップル成立数を増やす。
		コミュニティーセンター	Ⅵ-2-2		コミュニティセンター管理事業	11,029,809円	4	3	3	4	1	維持	維持	東桂コミセンについては、老朽化による不具合が多数発生していることから、建替えにより施設整備を行う。また、東桂コミセンを除く各施設については、個別施設計画により計画的に施設の長寿命化を図っていく。
	税務課		Ⅵ-1-1		債権回収特別対策費	7,226,775円	5	4	4	5	1	維持	維持	新規滞納者に対しては訪問、電話催告を実施し、過年度分滞納者に対しては分納履行管理を徹底する。滞納処分について、預金・給与差押えを速やかに実施する。
			Ⅵ-1-1		賦課徴収費	57,530,093円	5	3	3	5	5	拡大	増加	事務の効率化、人的ミスの防止を図るため、令和3年度の基幹系システムの入替に併せ、納税通知書の印刷・封入等の業務委託を行う。また、収納事務の効率化、納税者の利便性向上のため、市税等のスマホ決済アプリを導入する。確定申告期間の延長に伴う4～5月における、職員の申告書入力作業を低減するため、作業委託等について検討する。
		地域振興担当	Ⅴ-1-5	○	交通安全対策事業	3,501,165円	5	4	4	5	5	維持	維持	セーフコミュニティ事業により市内の交通安全に対する課題が明確になったため、セーフコミュニティ交通安全対策委員会の取り組みを支援する予算及び行政が実施した方が効果的な事業に特化するような予算を検討していく。
			Ⅴ-1-5	○	交通安全施設設置事業	5,815,700円	5	5	5	5	5	維持	維持	令和3年同様、交通安全施設危険度調査を基に策定した長期修繕計画に沿って実施していく。
			Ⅳ-2-4	○	地域公共交通対策費	20,002,000円	4	4	3	3	1	拡大	増加	公共交通維持の費用は増加傾向にあるため、令和5年度中に「地域公共交通計画」の策定に向けた調査研究及び、地域の実情にあった交通形態の見直しを検討していくなかで、利用の少ない路線バスを廃止し、デマンド化及び循環バスの増便による、交通空白地域のカバーと利用者の利便性の両立を図る。
			Ⅴ-2-1	○	まちづくり推進事業	18,575,383円	4	3	3	4	1	維持	維持	自治会長の負担削減のため市の充て職の見直し自治会活動の活性化のため他自治会の活動の紹介等をし、活性化につながる施策を行っていく。
			Ⅴ-2-4	○	協働のまちづくり事業	1,068,597円	4	4	4	5	1	維持	維持	新型コロナウイルスの中においても活動可能な事業を実施してもらったが、この状況が続くようであると、組織全体が低下するおそれがある。
			Ⅴ-2-4	○	男女共同参画推進事業	493,680円	4	3	4	3	－	維持	維持	令和3年度に実施する市民意識調査の結果等を踏まえ、これまでの活動の見直しを検討し、新たな事業に即した予算計上を行う。
			Ⅴ-1-1	○	セーフコミュニティ事業	3,268,854円	5	5	4	4	5	拡大	削減	令和8年度の再認証に向けて、取組活動を継続していくが、セーフコミュニティ独自のS+PDCAサイクルによる事業評価により、活動は活発化していくため、対策委員会ごとの啓発に要する費用は増加する見込みである。
			Ⅴ-1-4	○	防犯対策事業	40,224,445円	5	4	4	5	5	維持	維持	安全ステーションのより充実した活用策の検討

令和2年度行政評価（事務事業評価）一覧　　※着色箇所は今後の方向性として成果の拡大を予定している事業

所属			長期総合計画及び				自己評価					今後の方向性		
部局	課名	担当名	リーディングプロジェクト		事業名	決算額	必要性	有効性	効率性	公平性	達成度	成果	コスト	手段・手法
	地域環境課	環境保全担当	Ⅳ-2-1	○	合併処理浄化槽設置費補助事業	22,386,000円	5	5	5	3	3	維持	維持	令和2年から5年間の地域計画に基づき、合併処理浄化槽設置事業補助金を交付している。合併処理浄化槽の設置により、市内の河川水質向上が図られることから、補助金交付事業の周知徹底を図っていきたい。
			Ⅳ-2-1	○	環境保全対策事業	2,930,804円	4	4	4	4	1	維持	維持	市内の環境保全に欠かせない事業であり、不法投棄廃棄物処理や河川水質検査等、継続が必要である。また、市民一人一人の心がけでコストは減少していく事業でもある。ごみの減量化の啓発を積極的に行い、河川の水質向上のため、浄化槽の法定検査未受験者への受験指導も県浄化槽協会と連携し行っていく。
			Ⅳ-1-2		清掃事業	28,697,211円	5	5	4	4	3	維持	維持	ごみステーションダストボックス・ネット等については経年劣化により必要になるものであるから、現状維持とする。生ごみ処理器具設置費補助金は設置する市民が増加傾向にあり、設置することによりごみの減量化が図れることから現状維持とする。
		環境政策担当	Ⅳ-2-1	○	空家等対策推進事業	103,560円	5	4	5	4	5	拡大	維持	令和2年度に作成した「空き家問題小冊子」も活用し、空き家の適正管理を周知するとともに、令和3年度からの「不良空家等解体事業費補助金」を空家の所有者に活用いただく中で、市内の不良空家の解体が進むよう取り組む。
			Ⅳ-2-3		家中川小水力市民発電所管理運営事業	1,545,960円	5	3	4	5	5	拡大	維持	経年劣化などを含め、修繕が必要となる箇所が増えている。また、家中川の水量が少ないことから、発電量が減少している。
			Ⅳ-2-3		自然エネルギー推進事業	879,000円	5	5	5	4	5	拡大	増加	「自立型再生可能エネルギー設備設置費補助金」の最終年度となる。令和2年度前半は4件の申請だったため、R3年度の予算額を縮小したが、同年後半に申請数が伸びてR1年度を上回る実績となった。R2年のゼロカーボンシティ宣言や、2050年カーボンニュートラルなど話題性もあることから、令和4年度は増額を検討している。
			Ⅳ-1-3		地下水保全事業	5,275,800円	5	5	5	4	5	拡大	削減	地下水保全条例に基づき、一定の要件を満たせば「量水器の設置補助」を行う補助要綱が、R3年度内に終期を迎える。今後は、地下水資源の保護と採取の適正化を図るため、取水量の管理並びに、新規の井戸設置者に対する適切な指導等並びに、市内7地点(8箇所)の地下水量のモニタリングを継続して行う。
			Ⅵ-2-1		火葬場事業	17,086,853円	5	4	5	5	5	拡大	維持	火葬場の管理業務受託者との連携を図り、新型コロナウイルス収束後は火葬場の利用状況等の確認を行う中で、1日の火葬回数や1回の利用時間（間隔）の適正化の見直しなど、利用者が利用しやすい環境を整えるとともに、施設の適切な管理と質の高いサービスの提供に努める。

令和2年度行政評価（事務事業評価）一覧　　※着色箇所は今後の方向性として成果の拡大を予定している事業

所属			長期総合計画及び				自己評価					今後の方向性		
部局	課名	担当名	リーディングプロジェクト		事業名	決算額	必要性	有効性	効率性	公平性	達成度	成果	コスト	手段・手法
福祉保健部	福祉課	地域福祉担当	Ⅱ-2-1	○	社会福祉関係費	1,333,553円	4	4	3	3	2	維持	維持	現状の事業を維持しつつ、積極的な広報活動等を通して住民の社会活動への参加を引き続き促していく。市も事業について協力を行う。
		障がい者支援担当	Ⅱ-2-3		障害者等地域生活支援事業	34,010,566円	5	4	4	3	5	維持	維持	障がい児者の緊急時の対応ができるよう、東部圏域市村及び事業所と連携して地域生活支援拠点の設置および運用を行い、障がいのある人が地域で安心した生活が送れるよう支援体制の強化を図る。
			Ⅱ-2-3		重度心身障害者等タクシー利用料金助成事業	573,890円	4	3	4	3	1	維持	維持	今後も継続して対象者及びタクシー会社等への周知活動を行っていくことで、重度心身障害者及び障害児の社会参加の促進を図る。
		保健福祉センター	Ⅵ-2-2		保健福祉センター管理運営事業（いきいきプラザ都留照明ＬＥＤ化事業）	2,585,000円	4	4	3	3	5	維持	維持	施設の老朽化に伴う大規模改修を見据える中で、長期的な整備計画（長寿命化計画）を立て、優先順位を決めて事業費予算の平準化を図り、施設整備を行っていく。【令和３年度に調査・実施設計、令和４年度から令和６年度にかけて改修工事を行う】。
	長寿介護課	介護保険担当	Ⅱ-2-2		介護人材確保対策事業	63,000円	5	3	3	5	3	拡大	維持	引き続いて制度の周知を図るとともに、令和3年度から事業所に努力義務として追加される認知症に関する研修（令和6年度から義務となる）の受講を推進させるため、本研修にかかる県の助成の動きを注視しながら補助の拡充について検討する。
		高齢者支援室	Ⅱ-2-2		寿賀祝事業	2,311,020円	3	2	3	2	5	維持	維持	寿賀祝対象年齢について引き続き検討を行い、特に市の平均寿命に満たない年齢での77歳喜寿祝については令和5年度から見直す方向で代替事業などの検討を進めて行く。
			Ⅱ-2-2		老人福祉活動事業	1,710,171円	4	4	4	4	1	維持	維持	喜寿（77歳）祝の見直しと並行して、敬老会への補助制度についても見直しを行い、健康寿命の延伸や高齢者の社会参加及び生きがい支援につながる事業となるよう検討を行う。
			Ⅱ-2-2		地域福祉支援事業	3,858,078円	3	4	4	4	1	維持	維持	老人クラブの事務局である社会福祉協議会との情報共有を図り、高齢者が参加しやすい体制づくりや、魅力ある活動内容の検討などにより、引き続き老人クラブ活動の継続支援を行う。
			Ⅱ-2-2		一般介護予防事業費	5,914,446円	5	5	4	4	4	拡大	維持	引き続き「い一ばしょ」の継続支援や新規開設支援を行うとともに、ニーズのある地域へ「い一ばしょ」を開設できるよう、より戦略的に事業を進めていく。また、今後「い一ばしょ」の開設数が増えても持続可能な事業となるよう既存の補助制度についての見直しを行う。
			Ⅱ-2-2		任意事業費	7,618,841円	5	5	5	4	5	拡大	維持	それぞれの高齢者の状況に応じた見守りサービスを選択できるよう、既存の事業に加え、新たなサービスについて検討し検証を行っていく。
		子育て支援担当	Ⅱ-1-1	○	すこやか子育て医療費助成事業	88,606,279円	5	5	5	5	5	維持	維持	新型コロナウイルス感染症の影響がどの程度、医療機関への受診動向に影響を及ぼすか予測できない状況ではあるが、引き続き適正な医療機関受診やジェネリック医薬品の利用を促進する。
			Ⅱ-1-1	○	子育て応援店登録事業	25,000円	2	1	3	3	5	維持	削減	市内登録店舗は10店舗程度であり、補助金のニーズも減少傾向にある。今後の補助金の在り方については、実績が少ないことから、予算を削減しつつ、市民ニーズを把握していく必要がある。

令和2年度行政評価（事務事業評価）一覧　　※着色箇所は今後の方向性として成果の拡大を予定している事業

所属			長期総合計画及び				自己評価					今後の方向性		
部局	課名	担当名	リーディングプロジェクト		事業名	決算額	必要性	有効性	効率性	公平性	達成度	成果	コスト	手段・手法
	健康子育て課	健康推進室	Ⅱ-1-3	○	母子健診・相談事業	26,073,987円	5	5	5	4	1	維持	維持	不妊治療助成事業において、治療費が高額となる体外受精や顕微授精は、国が保険適応とする動向があるため、助成内容を確認する中で経済的支援の軽減が図れるよう検討していく。
			Ⅱ-1-3	○	母子健康づくり事業	809,390円	5	5	4	4	1	維持	維持	子育て世代包括支援センターの機能が充実できるよう、子育て中の保護者によりそった切れ目ない支援が行えるよう、子育ての情報の発信をアプリを通じて行っていく。
			Ⅱ-3-1	○	健康教育・相談事業	5,164,184円	5	3	4	4	4	維持	維持	健康ポイント事業において、ポイント対象であるイベント等の項目の変更などを検討し、市民がより身近に実践しやすい内容にし、周知の強化を図る。
			Ⅱ-3-1	○	健康診査事業	4,409,518円	5	5	5	5	5	拡大	増加	令和3年度の集団健診、個別健診の受診傾向をみながら周知方法を工夫し、受診者数の増加を図る。
			Ⅱ-3-1	○	がん検診事業	19,993,561円	5	3	5	5	1	拡大	増加	がん検診の受診率向上のため、がん検診の必要性について理解を得られる周知方法等検討していく。精密検査の受診率も同様に向上するよう。個別での働きかけの強化をしていく。
			Ⅱ-3-2		保健衛生業務経費	25,317,504円	5	3	3	3	1	維持	維持	県や大学関係者と連携を図りながら、助成制度の周知を行う。小児救急利用者が適切に利用できるよう、引き続き啓発活動を行っていく。
			Ⅱ-3-1	○	予防接種事業	71,647,869円	5	5	5	5	4	維持	維持	乳幼児期において実施する予防接種は、種類や回数が多く、スムーズに接種ができるようアプリの導入をすすめ、接種が滞っている保護者に関しては接種勧奨を実施していく。
			Ⅱ-1-3	○	感染症予防事業	65,340円	5	5	5	5	2	拡大	維持	新型コロナウイルスの終息が見通せない中で、引き続き感染予防の徹底が図られるよう市民への周知を行い、有事の際に備えられるよう啓発を行っていく。
		宝保育園	Ⅱ-1-2		保育所管理費	6,925,643円	5	5	5	4	1	維持	維持	コロナ感染予防対策を図り安全快適に利用できる環境を整備するとともに、職員定数の基準を維持し保育の質向上につながる人的整備に努める。
			Ⅱ-1-2		保育所事業費	4,696,179円	4	5	5	4	5	維持	維持	光熱水費等は、適切な使用及び削減に努める。給食については、児童の健全な育成に資するよう、アレルギー対応などの適切な食材選択に努め、食事提供するとともに、保護者と協力しながら食育について指導することにより、好き嫌いや偏食をなくし標準的発育度の園児が増えるよう取り組んでいく。

令和2年度行政評価（事務事業評価）一覧　　※着色箇所は今後の方向性として成果の拡大を予定している事業

所属			長期総合計画及び				自己評価					今後の方向性		
部局	課名	担当名	リーディングプロジェクト		事業名	決算額	必要性	有効性	効率性	公平性	達成度	成果	コスト	手段・手法
産業建設部	産業課	商工観光担当	Ⅰ-1-4	○	金融対策事業	6,300,222円	5	5	4	4	5	維持	維持	コロナ対策の無利子融資も行われているため、今後数年は状況を注視する必要がある。
			Ⅰ-1-4	○	商工業振興対策事業	3,717,115円	5	4	4	5	1	維持	維持	引き続き、HPでの制度周知と併せて、商工会や金融機関等と連携し、支援制度の周知を行う。
			Ⅰ-1-4	○	産業振興対策事業	6,994,700円	5	2	1	4	1	拡大	維持	引き続き、HP及び商工会との連携により、シルバー産業等製品開発支援事業補助金の制度周知を行う。
			Ⅰ-1-1	○	労働対策事業	5,164,887円	5	5	5	5	5	拡大	維持	新型コロナウイルスの影響により厳しい雇用情勢にあることを鑑み、制度の周知を図り、安定雇用に繋げていく。
			Ⅰ-1-3	○	観光宣伝事業	6,547,410円	5	5	3	5	1	拡大	維持	新型コロナウイルス収束後の観光回復に向けた観光需要の動向を注視し、イベント内容やPR方法の充実を図る。
			Ⅰ-1-3	○	自然観光管理事業	946,970円	4	5	4	3	1	拡大	維持	登山前後に市内での消費活動につながるよう、情報収集及び発信を強化していくとともに、フリーハイクイベント等の実施により来訪客の増加を図る。
			Ⅰ-2-2		公園管理事業	1,100,914円	4	3	5	4	5	維持	維持	歴史文化・観光資源として城山の環境整備を進めるとともに、歴史に主軸をおいたAR等観光コンテンツの実装に向けた検討を行う。また、城山と谷村城下町を結び、滞在時間の延長と市内での消費活動の拡大を図る。
			Ⅰ-1-3	○	ふるさと芸能事業	2,552,357円	5	5	5	5	3	拡大	維持	関係団体と協力し、本市の伝統・文化を伝えるイベントの歴史を継承するとともに、「シビックプライド」の醸成を図り、観光客の来訪を意識した多角的なPRに取り組む。
			Ⅰ-1-3	○	富士の麓の小さな城下町振興事業	13,788,800円	5	5	4	5	1	拡大	維持	つる観光戦略の推進のため、大型バスツアー誘致等において観光振興公社との連携を強化するとともに、国内観光におけるマイクロツーリズムの需要の拡大をふまえた、個人客に対する情報発信の充実を図る。
			Ⅰ-1-3	○	宝の山ふれあいの里管理運営事業	9,606,973円	5	4	4	5	3	維持	維持	ウィズコロナ、アフターコロナにおけるキャンプや体験プログラム需要を見据え、指定管理者との協議のもと、施設の稼働率向上のためのコンテンツの充実を図る。また、アクティブラーニングにつなげるための新たな体験プログラムの開発を検討する。
			Ⅰ-1-3	○	戸沢の森和みの里管理運営事業	4,694,415円	5	5	5	5	5	拡大	維持	コロナ禍における温泉需要を検証し、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、指定管理者と協議を行う中で魅力ある温泉施設としてのブラッシュアップを図る。
			Ⅰ-1-3	○	十日市場・夏狩湧水群管理運営事業	657,671円	5	5	4	4	1	拡大	維持	十日市場・夏狩湧水群と名勝田原の滝を結び付け、十日市場・夏狩湧水群を時間をかけてゆっくり巡るスタイルの観光の定着に向け、情報発信の強化と環境整備を図る。

令和2年度行政評価（事務事業評価）一覧　　※着色箇所は今後の方向性として成果の拡大を予定している事業

所属			長期総合計画及び				自己評価					今後の方向性		
部局	課名	担当名	リーディングプロジェクト		事業名	決算額	必要性	有効性	効率性	公平性	達成度	成果	コスト	手段・手法
		農林振興担当	Ⅰ-1-2	○	農業振興事業	20,289,468円	4	4	4	4	5	拡大	維持	高収益作物を含めて、市民の農業に対する関心が高まってきているため、引き続き、担い手の確保、農地集積及び販路拡大等による高収益化・効率化による農業所得の向上を図るために農業振興施策を推進していく。
			Ⅰ-1-2	○	道の駅つる管理運営事業	11,516,624円	5	4	5	4	1	拡大	維持	新型コロナウイルスの影響が長引いているため、感染防止対策を徹底する中で、集客を確保できる仕組みづくりが必要である。指定管理者とも協議を行い、イベントの開催、生産者組合員への支援策等、様々な取組みを適切に実施していく。
			Ⅰ-1-2	○	中山間地域総合整備事業	87,199,971円	5	4	4	4	5	拡大	維持	現在、都留西部地区で事業を実施しているが、予算の確保と並行して事業の円滑な遂行を図るため、県及び市内部の他課との情報共有及び連携を図り、事業の円滑な遂行ができる体制の整備を行う。
			Ⅰ-1-2	○	農産物振興事業	579,300円	3	4	4	3	4	拡大	維持	湧水を活用した農産物は道の駅つるでも人気であり、市内外に向けて更にPRを進めて行く中で、生産振興を図っていく必要がある。
			Ⅰ-1-2	○	有害鳥獣対策事業	10,438,722円	5	4	4	4	5	拡大	維持	現場で対応にあたる実施隊員（猟友会員）の高齢化は顕著であるが、新たに狩猟免許を取得して隊員となる若手も現れている。世代交代がうまく進んでいくことが望ましいが、根本的な対応体制を見直していく時期が近くなっているため、先進事例等を踏まえて研究していく。
			Ⅰ-1-2	○	地域おこし協力隊推進事業	12,284,211円	4	4	4	4	5	拡大	維持	地域おこし協力隊を活用する際には、できるだけテーマを絞り、地域に溶け込んでスムーズに定住できるように、きめ細やかな支援を積極的に行っていく。
			Ⅰ-1-2	○	高収益作物導入事業	11,540,945円	4	4	4	3	5	拡大	削減	果樹栽培については、苗木の植付から収穫可能になるまで数年の期間を要し、この未収益期間の短縮が課題となっている。また、ほ場の確保に向けても10年以上の使用期間が望まれるため、貸し借りの手続きの際に地権者の抵抗感が強いことが多く、意識改革も必要となっている。これらの課題の解決に向けて、有効な手段等を検討していく。
			Ⅰ-1-2	○	林業振興費	1,592,120円	4	3	4	3	1	拡大	削減	台帳情報の精度向上に向けて、県や関係機関との情報共有を図る中で、必要な作業を進めていく。
			Ⅰ-1-2	○	森林経営管理事業	18,495,000円	4	4	4	4	1	拡大	維持	全体計画が策定されたあとは、計画的に意向調査を進めていき、準備が整った箇所から実際の森林施業を実施していくこととなる。林業経営体等と連携を密にすることで、円滑な作業の推進を図っていく。
			Ⅰ-1-2	○	地域おこし協力隊推進事業	6,146,783円	4	4	4	4	1	拡大	削減	支援機関となっている南都留森林組合と連携を密にしていくことで、必要な対策を洗い出し、積極的な支援を検討していく。

令和2年度行政評価（事務事業評価）一覧　　※着色箇所は今後の方向性として成果の拡大を予定している事業

所属			長期総合計画及び				自己評価					今後の方向性		
部局	課名	担当名	リーディングプロジェクト		事業名	決算額	必要性	有効性	効率性	公平性	達成度	成果	コスト	手段・手法
	建設課	道路担当	Ⅰ-2-1		市単道路橋梁維持補修事業	242,261,128円	5	4	4	4	1	拡大	維持	今後、事故が起こらないよう道路河川管理業務委託及び職員によるパトロールを強化し、利用者の安全確保を図る。特に予防保全型管理に取り組む。
			Ⅰ-2-1		除雪関係事業	5,090,453円	5	4	4	4	5	拡大	維持	除雪路線を変更した場合については、降雪前に事前に数回現場確認を実施してもらい、除雪の対応をしてもらう必要がある。
		河川担当	Ⅰ-1-2	○	市単土地改良事業	46,029,892円	5	4	5	3	5	拡大	増加	経年劣化により、市内各所の水路から漏水が発生している。その都度修繕を実施しているが、根本的な解決にはならない。長期的な視点から職員の対応回数頻度や修繕費のライフサイクルコストを精査する。緊急性及び優先度を考慮し、交付金や補助金を利用して改修工事を実施する。
			Ⅰ-1-2	○	林業施設事業	79,232,260円	4	4	4	2	5	拡大	増加	なるべく被害を最小限に抑えるよう整備はしているが、近年の荒天は想定を超えることが多い。林道が被災すると復旧に掛かる経費が大きくなることから、未然に防ぐため維持に努める。
			Ⅳ-2-1	○	定式関係事業	990,310円	5	5	5	4	5	維持	維持	事業の推進を図ることにより水路等の機能維持管理が行えるため、参加していない自治会にＰＲを行っていく必要があるが、コロナ禍の影響及び自治会内の高年齢化による不参加等が懸念される。
		都市計画担当	Ⅳ-2-2		景観形成事業	3,018,000円	5	3	4	5	5	維持	維持	関係各課と協力する中で、景観計画に基づく各種施策の実施により、景観に対する市民意識を醸成するともに良好な景観まちづくりを図る。
			Ⅰ-2-1		都市公園管理事業	4,993,524円	4	4	4	5	5	維持	維持	財政状況を踏まえる中で、長寿命化計画に基づき楽山球場の計画的な改修を行う。また、利用者が安全・安心で快適な利用ができるよう委託業務受注者と連絡を密にとるとともに、職員による遊具等の日常点検を継続的に実施する。
		建築住宅担当	Ⅰ-2-1		公営住宅施設管理費	43,770,957円	5	3	5	5	1	拡大	増加	新婚・子育て世帯家賃助成制度については、引き続き同様の周知を行う。民間のストック戸数、市営住宅のニーズ及び県の長寿命化計画を基に、都留市公営住宅等長寿命化計画の策定を行う。
			Ⅴ-1-3	○	ブロック塀等撤去促進事業	179,000円	5	3	5	5	1	維持	維持	この事業は令和5年度まで延長され、建替え、改修も対象となった。また、一般路線、重要路線（緊急輸送道路、指定避難所まで至る経路）に分かれ、それぞれ補助金も増額となった。補助制度の周知を図り、災害の防止に務めるとともに、重要路線については戸別訪問し耐震改修を行うよう促す。

令和2年度行政評価（事務事業評価）一覧　　※着色箇所は今後の方向性として成果の拡大を予定している事業

所属			長期総合計画及び				自己評価					今後の方向性		
部局	課名	担当名	リーディングプロジェクト		事業名	決算額	必要性	有効性	効率性	公平性	達成度	成果	コスト	手段・手法
市立病院	総務企画課	総務企画担当	Ⅱ-3-2		公営企業会計システム（市立病院整備事業）	6,822,041円	5	5	5	5	5	維持	維持	入れ替えをおこなったシステムが特に大幅な変更が必要でなければ、そのままの仕様で継続していく。大幅な変更が必要な時は、費用対効果を考慮しながら検討していく。
	老人保健施設「つる」	老健施設管理事業（市立病院整備事業）	Ⅱ-3-2		老健施設管理事業	71,744,600円	5	5	4	5	5	維持	維持	感染対策を実施・継続するため施設整備を行い、利用者の安心・安全な生活を確保する。
消防本部	消防課	庶務担当	Ⅴ-1-3	○	常備消防総務関係費	7,158,967円	5	5	4	5	5	拡大	削減	令和3年度に消防庁舎全体の照明LED化が完了し一定の経費削減が見込まれる。職員の節電意識を徹底し、継続的に節電を行い、更なる削減を図る。
			Ⅴ-1-3	○	教育訓練関係費	3,040,775円	5	5	5	5	5	拡大	維持	複雑多様化する災害に対応するべく、教育訓練や研修会に職員を派遣出来るよう体制を整え、積極的に参加させ職員のスキルアップを目指し、組織力の強化を図る。
		消防団担当	Ⅴ-1-2	○	都留市消防団管理運営費	9,818,562円	4	5	4	5	5	拡大	維持	災害の多様化・大規模化において地域に密着した消防団は、従来の消火活動に加え避難誘導や避難所運営支援活動等、多様な場面で様々な役割が求められているため、訓練等が重要である。また、団員確保が困難な状況の中で機能別消防団員制度や学生消防団活動認定制度の導入を前向きに検討する。
議会	議会事務局		Ⅴ-2-2		議会だより発行事業	1,932,208円	5	3	2	5	1	維持	維持	議会基本条例第16条において、「議会は、情報技術の発達を踏まえた多様な手段を活用することにより、市民が議会及び市政に関心を持つよう広報活動に努めるものとする。」と定められているため、感染症の状況や代替事業の効果検証を行う中、事業予算について検討していく。

令和2年度行政評価（事務事業評価）一覧　　※着色箇所は今後の方向性として成果の拡大を予定している事業

所属			長期総合計画及び				自己評価					今後の方向性		
部局	課名	担当名	リーディングプロジェクト		事業名	決算額	必要性	有効性	効率性	公平性	達成度	成果	コスト	手段・手法
教育委員会	学校教育課	学校教育担当	Ⅲ-1-1	○	学生アシスタント・ティーチャー事業（SAT）	1,264,881円	5	5	4	4	5	維持	削減	教育現場でのきめ細やかな指導を充実させるとともに、教員志望の学生が教育現場を経験することで教員に必要な資質能力に関する自信に繋げる。また、学校教育学科の必修科目となったため、 SAT事業の経費等について令和３年度から大学側で負担するよう働きかけ大幅な経費削減を図った。今後は、都留文科大学と市内小中学校が連携・協力し、「教育首都つる」を掲げる本市の特色ある事業として進めていく必要がある。
			Ⅲ-2-1	○	学校教育事業	152,287,370円	5	5	3	3	1	維持	維持	地域性や独自性を主体的に取り組む各学校での個性を育む学校づくりを推進していくために、地域や学校との連携を生かしながら、学校ごとに地域の状況に合った独自の活動を展開していく。
			Ⅲ-2-1	○	教育研修センター事業	953,107円	4	4	3	3	3	維持	維持	1人１台端末と学校における高速通信ネットワークの整備が完了したため、教職員を対象にデジタル教科書やドリル教材など新しい教材の活用方法を研修を通して実践的に活用できるよう支援の充実を図る。また、児童生徒の問題行動・不登校が増加傾向にあるため、アウトリーチ型支援の充実を図り、関係諸機関との連携を強化していく。
			Ⅲ-2-1	○	障害児教育事業	19,264,774円	5	5	5	5	5	維持	維持	社会環境の変化により、特別支援学級を必要とする児童生徒が増加しており、インクルーシブ教育においても保護者の同意の中で支援員などの協力を得ながら普通学級の中で対応することも今後増加していく可能性もあるため、個々の状況に適した環境を整えていくとともに支援内容の充実にも取り組んでいく。
			Ⅲ-2-1	○	教育課程特例校推進事業	5,334,996円	5	5	3	4	3	維持	維持	文部科学省から教育課程特例校の承認を受け、引き続き令和3年度から令和８年度までの6年間を教育課程特例校として進めていく。地域の特色を生かした教育課程編成として都留文科大学と連携し、特色ある外国語教育の推進していく。
			Ⅲ-2-1	○	外国語指導者招致事業	32,010,004円	5	5	3	4	4	維持	維持	令和3年度末で外国語指導助手派遣業務委託の契約期間が終了するため、次年度からの委託業者を選定していく中で都留市にあった形の事業になるよう事業の方向性について検討を行う。
			Ⅲ-2-1	○	学力向上フォローアップ事業	666,036円	5	4	4	3	1	維持	維持	会計年度任用職員（教員補助員）の業務の中に学力向上フォローアップ事業を盛り込むため従来に比べて費用面は抑えられる。しかし学力の向上が図られたかを示す数値として客観的な分析方法がないため、1人一台パソコンを活用した学習環境の構築等とセットで進めていく必要性がある。
			Ⅲ-2-1	○	学校運営協議会設置推進事業	107,950円	4	4	4	3	1	維持	維持	学校運営協議会を他学校にも導入するためには、学校と地域の協力が不可欠である。行政での導入計画を明確にしたうえで学校・地域の協力を引き続き要請していくとともにすでに導入済みの学校についても更なる推進をしていく。
			Ⅲ-2-1	○	小学校管理事業（学校教育課分）	144,059,515円	5	4	3	5	1	維持	維持	長期総合計画実施計画と長寿命化計画との整合性を図る中で回収する部分の優先順位の明確化と費用負担の平準化をバランスよく組み込みながら計画的な改修及び修繕を進めていく。
			Ⅲ-2-1	○	小学校教育振興事業（学校教育課分）	40,704,674円	5	4	4	5	1	維持	維持	ハード面の整備は概ね整っており、学習支援ソフトやデジタル教科書等も令和3年度に導入する。前年度に引き続き、ICT機器を積極的に活用できる環境を整えるために教員の負担軽減を考慮した研修やICT機器の準備や操作など実施していく。

令和2年度行政評価（事務事業評価）一覧　　※着色箇所は今後の方向性として成果の拡大を予定している事業

所属			長期総合計画及び				自己評価					今後の方向性		
部局	課名	担当名	リーディングプロジェクト		事業名	決算額	必要性	有効性	効率性	公平性	達成度	成果	コスト	手段・手法
			Ⅲ-2-1	○	中学校管理事業（学校教育課分）	72,154,844円	5	4	3	5	1	維持	維持	長期総合計画実施計画と長寿命化計画との整合性を図る中で回収する部分の優先順位の明確化と費用負担の平準化をバランスよく組み込みながら計画的な改修及び修繕を進めていく。
			Ⅲ-2-1	○	中学校教育振興事業（学校教育課分）	18,586,405円	5	4	4	5	1	維持	維持	ハード面の整備は概ね整っており、学習支援ソフトやデジタル教科書等も令和3年度に導入する。前年度に引き続き、ICT機器を積極的に活用できる環境を整えるために教員の負担軽減を考慮した研修やICT機器の準備や操作など実施していく。
			Ⅲ-2-1	○	学校給食運営事業	72,604,816円	5	5	3	4	1	拡大	増加	給食費の管理を公会計へ移行することにより、教職員の多忙化の解消や負担軽減となることにより、児童生徒に寄り添う時間の確保が教育の改善へと繋がっていく事が期待されている。令和3年度中に公会計化に必要となるシステム構築や各種手続き、例規整備等を確実に行い、スムーズに公会計化が図られるよう準備を進める。
			Ⅲ-2-1	○	学校給食会委託事業	59,738,630円	5	5	3	4	1	拡大	増加	これまでと同様に安心安全でおいしい給食を提供していくため、調理員の退職や欠員の確保を図り、今後近隣市町村の状況を踏まえ、調理員の待遇や運営の方法など今後の方向性について総合的に検討を進めていく。
			Ⅲ-2-1	○	教員住宅管理事業	1,000,705円	4	4	5	3	1	維持	維持	深田教員住宅の令和5年度工事に向けて、屋根外壁等改修工事実施設計の予算計上を予定している。
			Ⅲ-2-1	○	適応指導教室事業	956,133円	5	5	4	3	5	維持	維持	市教育研修センターや県に配置されているチーフスクールカウンセラーと連携しながら、様々な事案に対応できる体制の構築を進めるとともに一人でも多くの児童生徒が再登校へと繋がる支援に努めていく。

令和2年度行政評価（事務事業評価）一覧　　※着色箇所は今後の方向性として成果の拡大を予定している事業

所属			長期総合計画及び				自己評価					今後の方向性		
部局	課名	担当名	リーディングプロジェクト		事業名	決算額	必要性	有効性	効率性	公平性	達成度	成果	コスト	手段・手法
		生涯学習担当	Ⅴ-2-4	○	成人式開催事業	394,886円	5	4	5	5	1	維持	維持	新型コロナウイルス感染症の状況によるが、当面は式典の規模を縮小して実施せざるを得ないと考える。令和2年度は、会場入口付近が混雑したり、式典終了後に成人者が外で多人数で集まってしまう状況が見られたので、今後は誘導係を増員するなど、密を避ける対策を工夫していく。
			Ⅱ-1-1	○	青少年健全育成事業（のびのび興譲館）	566,045円	5	4	5	4	5	維持	維持	コロナ禍にあっても、子どもたちの体験活動や交流の機会が奪われることのないよう、参加塾生の健康と安全を第一に考えながら、活動内容を工夫していく。塾生アンケートを踏まえ、新たな塾の創設も視野に検討していく。
			Ⅱ-1-1	○	青少年健全育成事業（放課後子ども教室事業補助金）	7,511,424円	5	5	4	4	1	拡大	増加	全ての就学児童を対象とした事業であり、現在子ども教室を開設していない2小学校区についても、順次開設を目指していく。そのためには地域の理解と協力が必須であるため、地域協働のまちづくり推進会へ子ども教室事業についての説明を行い、地域の実情を把握しながら、実現可能性について検討していく。
		文化振興担当	Ⅲ-3-3	○	増田誠大賞公募展開催事業	174,130円	3	4	4	4	5	維持	維持	引き続き、チラシの配布先を増やしたり（書店・画材店など）、ＳＮＳなどインターネット上でのＰＲを推進することにより、公募展への出品点数の増加に努めていく。
			Ⅲ-3-3	○	芭蕉の里づくり事業	2,248,910円	3	5	4	4	5	拡大	維持	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、高齢者等が室内でもできる趣味として俳句に興味を持っていただけるような普及・啓発活動を行い、継続して県内外へのＰＲ活動を進め、投句数の増加に努める。
			Ⅲ-3-3	○	文化財保護事業	2,396,947円	5	5	5	5	1	維持	維持	今後も、文化財の保護や調査に努め、地域の歴史や文化、年中行事等の保存継承を進め、併せて文化財の活用についても検討していく。
			Ⅲ-3-3	○	尾県郷土資料館運営事業	1,542,030円	5	5	5	5	1	維持	維持	来館者の増加については、従来のチラシやインターネット利用の他、ＳＮＳを活用していく。高齢者と小学生の「居場所」としての資料館づくりについては、資料館を色々な面で支えてくれる地元住民からなる「資料館協力会」とともにその方途を検討していきたい。
			Ⅲ-3-3	○	商家資料館運営事業	19,058,373円	5	3	3	4	1	維持	維持	令和2年度に整地した商家資料館の駐車場（裏）を有効活用し、魅力的なイベントを開催するなどの工夫を行い、これまで以上に集客の増加に努めていく。
			Ⅲ-3-3	○	八朔屋台展示庫事業	2,168,998円	4	5	4	2	5	維持	維持	建設から24年が経過し、建物の補修の必要が今後考えられる。長寿命化計画の策定等も実施していく。
			Ⅲ-3-1	○	都の杜うぐいすホール管理運営事業	119,383,691円	4	5	5	4	1	拡大	増加	経年劣化による老朽化への対応や、来場者の安全確保のため、優先的に吊天井の改修を令和4年度・5年度にかけて実施していく。
			Ⅲ-3-1	○	都の杜うぐいすホール事業費補助事業	0円	4	5	5	4	－	維持	維持	市民第九演奏会については、PR方法等の見直しを行い、積極的に多様な方法でPRして入場者の増加を図り、自主財源の確保などに努めていく。

令和2年度行政評価（事務事業評価）一覧　　※着色箇所は今後の方向性として成果の拡大を予定している事業

所属			長期総合計画及び				自己評価					今後の方向性		
部局	課名	担当名	リーディングプロジェクト		事業名	決算額	必要性	有効性	効率性	公平性	達成度	成果	コスト	手段・手法
	生涯学習課	スポーツ振興担当	Ⅲ-3-2		体育スポーツ振興事業	99,910円	4	3	3	5	1	維持	維持	新型コロナウイルス感染症の状況によるが、スポーツ教室開催に向けたガイドラインを定めるなどし、当面は参加者数を制限して実施せざるを得ないと考える。スマートフォンのアプリを活用した「オクトバー・ラン＆ウォーク」事業の参加者数を増加させるとともに、効果検証を行っていく。
			Ⅲ-3-2		体育スポーツ奨励事業	5,370,000円	5	5	4	4	1	維持	維持	新型コロナウイルス感染症の状況によるが、つる湧水の里ハーフマラソン開催に向けたガイドラインを定めるなどし、感染症防止対策を徹底した大会運営が求められる。給水エイドで地元特産品を提供するほか、カップルコースなど新たなコース設定の導入などにより一層の集客を図る工夫を継続する。
			Ⅲ-3-2		野球場管理運営事業	4,118,943円	4	4	4	4	1	維持	維持	長寿命化計画に基づき施設の適切な管理を行い、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所は計画的に修繕・改修を行う。住吉球場の夜間照明について、水銀灯の製造が終了したため、長寿命化計画に基づき計画的なLED化を進めるほか、バックネットが老朽化しているため、長寿命化に基づく改修を要する。
			Ⅲ-3-2		体育館管理運営事業	12,039,274円	4	4	4	4	1	維持	維持	教育施設長寿命化計画に基づき施設の適切な管理を行い、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所は計画的に修繕・改修を行う。市民総合体育館は令和6年度に内装部位修繕、令和7年度に外壁修繕を実施し、下谷体育館は令和8年度以降に状況を確認し対応を検討する。
			Ⅲ-3-2		各体育施設管理運営事業	10,823,881円	4	4	4	4	1	維持	維持	教育施設長寿命化計画に基づき施設の適切な管理を行い、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所は計画的に修繕・改修を行う。玉川グラウンドの人工芝の耐用年数が過ぎていることから、状況を確認し長寿命化計画に基づいた対応を検討する。
			Ⅲ-3-2		やまびこ競技場管理運営事業	53,890,760円	4	4	4	4	1	維持	削減	やまびこ競技場第３種公認競技場更新に伴う改修工事が令和3年度末で完了することから、市民の利用日をできるだけ多く確保する。設備機器の老朽化に伴い故障が多くなっていることから、計画的な設備機器の修繕または交換を要する。
			Ⅱ-3-1	○	健康ジム管理運営事業	26,930,420円	5	5	4	4	1	維持	維持	健康ジム施設まで来訪することが難しい市民を対象としたサービスの提供など利用者のニーズに合致したプログラムや講座の新規開設のほか、都留市スポーツ推進計画に基づいた幼少期・青年期から運動習慣を定着させるようなプログラムなどの提案を指定管理者に要望する。
		まちづくり交流センター	Ⅲ-3-1	○	はつらつ鶴寿大学事業	70,133円	4	4	4	3	1	拡大	維持	新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況であり、学生が高齢であることから、感染症対策に十分配慮する中で事業内容の充実、他組織等との連携や交流も進めていけるよう具体的な方策を検討していく。
			Ⅴ-2-4	○	まちづくり交流センター管理運営事業	26,077,836円	4	4	3	4	1	拡大	維持	新型コロナウイルス感染状況が良好となった場合は、ガイドラインでの利用制限を緩和し、慎重に判断をする中、徐々に利用者の拡大を図っていく。施設修繕については、「都留市教育施設等長寿命化計画」に基づき、予算を平準化する方法により、数カ年計画で修繕を行い、施設の維持・管理に努めていく。
			Ⅴ-2-4	○	ふるさと会館管理運営事業	5,672,980円	3	3	3	4	1	拡大	維持	経年劣化による損傷、不具合等が多くなっている状況であり、「都留市教育施設等長寿命化計画」に基づき、予算を平準化する方法により、数カ年計画で修繕を行い、施設の維持・管理に努めていく。また、コロナ禍ではあるが、利用率の向上に向けて、ガイドラインを設定しながら、市民利用のために今後も対処していく。

令和2年度行政評価（事務事業評価）一覧　　※着色箇所は今後の方向性として成果の拡大を予定している事業

所属			長期総合計画及び				自己評価					今後の方向性		
部局	課名	担当名	リーディングプロジェクト		事業名	決算額	必要性	有効性	効率性	公平性	達成度	成果	コスト	手段・手法
		図書館	Ⅲ-3-1	○	図書館運営事業	18,071,755円	5	5	5	5	1	維持	維持	・ 図書館専門職員の確保 ・ 高齢化社会に対応した事業、行事等の予算確保 ・ 非来館型貸出サービスとして電子書籍の導入を検討
			Ⅲ-3-1	○	子ども読書活動支援事業	675,806円	5	5	5	5	1	維持	維持	読書通帳の利用促進を含め、子ども読書活動推進イベント等開催のための経費（報償費、消耗品費等）を確保する。
		ミュージアム都留	Ⅲ-3-3	○	ミュージアム都留管理運営事業	26,147,828円	5	5	4	5	1	維持	維持	・「都留市長寿命化計画」に基づき、予算の平準化を図る中、計画的に施設の改修に努めていく。 ・ 常設展示や企画展開催により、多くの人に来館してもらうための新聞広告やホームページを使ったＰＲ活動を実施していく。
			Ⅲ-3-3	○	ミュージアム都留企画展等開催事業	6,787,497円	4	5	4	2	1	維持	維持	増田誠展や郷土の画家展など都留市の関連のある企画展と、刀剣展や将棋の駒などの全的にも人気が高く集客の見込める企画展等の2つの視点を踏まえた内容の企画展の開催を進めていく。